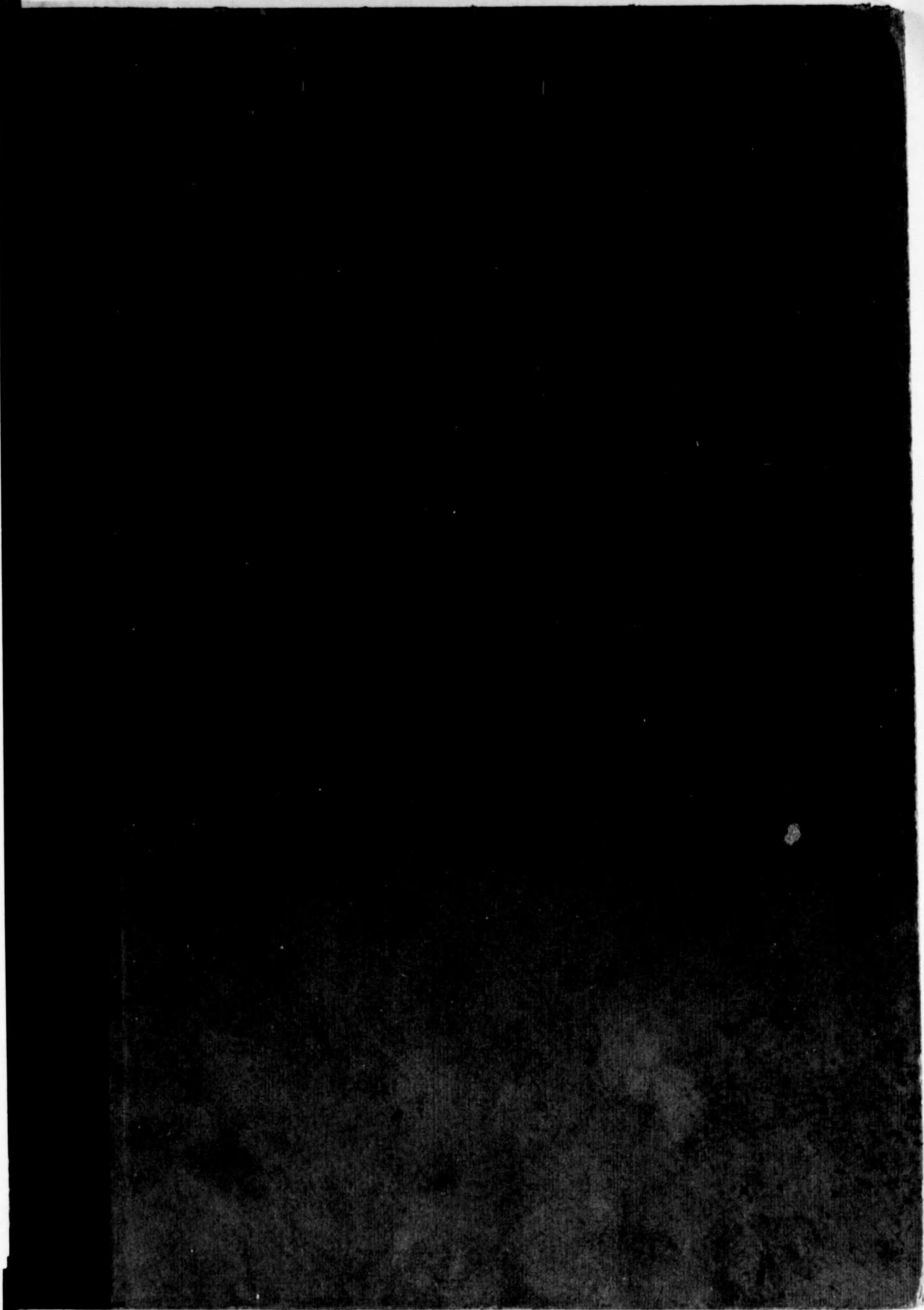


始



940

3

13006
2



日立製作所全貌

HITACHI LTD.
ORGANIZATION
AND
PRODUCTS

GF-014



日立製作所

東京・丸の内



發行所寄贈本

目 次

概 要	1
緒言 創業 資本 役員 沿革 弊社の最近の姿勢 本店 営業所所在地	
製品概目 製品の特色と行程 海外発展の状況	
工場概要	19
日立工場 多賀工場 龜戸工場 龜有工場 笠戸工場	
戸畑工場 若松工場 木津川工場 深川工場 戸塚工場	
安來工場 尼崎工場 弊社工場の現況	
試験 研究設備 (附 工業所有権)	71
概要 研究部門 工業所有権	
製 品	81
水車発電機 火力機器 直流機器 電動機 調相機器 變壓器	
誘導調整器 遮断器 避雷器 配電盤 計器 繼電器 電話器及び交換機	
電線 絶縁材料 電装品 電動工具 電氣熔接機 電氣收塵装置 電氣	
機關車 蒸氣機關車 客貨車 起重機 輸送装置 捲揚機 壓縮機	
送風機 ポンプ 鑄鐵 鑄鋼 ロール機 家庭用電氣品	
文化施設	125
概要 一覽表	
教育施設 體育施設 經濟施設 保健衛生施設 保安施設 慰安施設	
及び娛樂施設 向上施設 協調施設その他	
投資會社	137
株式會社大阪鐵工所 日立航空機株式會社 日立兵器株式會社 日立工	
作機株式會社 株式會社滿洲日立製作所 國產精機株式會社 東京機器	
工業株式會社 向島船渠株式會社 原田造船株式會社 日本エレベータ	
一製造株式會社 共成工業株式會社 日立瓦斯株式會社	

542
H77



緒 言
 創 業 資 本 役 員
 沿 革
 弊 社 最 近 の 姿 勢
 本 店 及 び 營 業 所 所 在 地
 製 品 概 目
 製 品 の 特 色 と 行 程
 海 外 發 展 の 狀 況

結 言

弊社は明治四十二年茨城県日立村（現日立市）に創業し、當時我國としては海外よりの供給に依存せざるを得なかつた電気機器その他諸機械の純國産化を目指して勇往邁進致しました。爾來三十有餘年、その間一途に日本人のみの頭腦、技能、資本の總力に倚りまして刻苦經營只管製作技術の研鑽向上と生産能力の増進充實とに孜々として精進を續けて参りましたが、幸にして社礎年と共に堅きを加へ能く今日の姿勢を備ふるに至つた次第であります。

現在弊社では多數の専門技術者と熟練工員を十二の専門工場と五つの分工場に配屬致しまして發變電、通信、鐵道、造船、鑛山、製鐵、土木、建築、化學等各般の事業に必要な諸機械及材料を、その電氣的たると機械的たるとに論なく、又如何ほど大容量のものでも、將又精度高き機器でもこれが製作供給に應じ得る所謂綜合製作の實を擧げて居ります。従つて技術者間の協力が容易であると謂ふ利益があるのみでなく、製作品の出來榮に對し善惡とも全責任を負ひ得るのであります。この點は我國機械工業界に於て異例とすべき一大特色であると信じます。

弊社は又強力な研究機關と完備せる試験設備とを充分に利用致しまして製作品の不斷の改良と新規製品の創作とに精進し、我が機械工業をして歐米の夫に伍するやう努力するは勿論製品を海外市場に輸出致し歐米製品に對し必勝の實を擧げつゝあります。

今や我國は、學國一致東亞新秩序建設に邁進する重大なる秋に當り、重工業の充實發展こそ焦眉の急務であります。斯る時局下弊社はその特長を發揮し全能力を擧げて銃後工業界に奮闘してをります。本小冊子は弊社の組織、設備、製品の概觀を伺ふに役立つかと存じ刊行致しました。時局下何かの御参考となれば欣幸に存じます。

創 業 ・ 資 本 ・ 役 員

創 業 明 治 四 十 二 年

資 本 金 貳 億 四 百 五 拾 萬 圓

役 員

取締役會長	鮎	川	義	介
取締役社長	小	平	浪	平
取締役副社長	高	尾	直	三郎
常務取締役	馬	場	榮	夫
常務取締役	秋	田	政	一
常務取締役	森	島	貞	一
常務取締役	大	庭	滿	平
常務取締役	池	田	亮	次
取締役	六	角	三	郎
取締役	山	下	興	家
取締役	下	河	邊	建二
取締役	横	田	千	秋
取締役	堀	岡	利	一
取締役	伊	藤	文	壽
取締役	福	元		稔
監査役	山	田	敬	亮
監査役	木	村	雄	次
監査役	玉	河	久	雄

沿革

- 明治四十二年** 久原鑛業所（現滿洲重工業開發株式會社）の經營にかゝる日立鑛山の
一附屬事業として創業せられ、専ら自家用電氣諸機械の修理並に製作
をなす。
- 明治四十四年七月** 日立鑛山より分離し久原鑛業所日立製作所と稱し、廣く一般の需要に
應ず。
- 大正七年十月** 久原鑛業株式會社の一事業たる個島製作所を合併これを日立製作所龜
戸工場と稱し従來の工場を同日立工場と改稱し本社を東京に移す。
- 大正九年二月** 久原鑛業株式會社より分離獨立し、資本金壹千萬圓を以て株式會社日
立製作所を創立す。
- 大正十年二月** 山口縣下松町（現下松市）所在日本汽船株式會社笠戸造船所を買收し
これを笠戸工場と稱す。
- 昭和五年三月** 茨城縣多賀郡助川町（現日立市）に日立海岸工場を新設す。
- 昭和八年十二月** 資本金を金貳千萬圓に増額す。
- 昭和十年八月** 資本金を金四千五百萬圓に増額す。
- 昭和十二年五月** 當社諸種製產品の注文著増の機運に鑑み更に資本を倍額の金九千萬圓
に増額、同時に國産工業株式會社を合併し總額金一億一千七百九十萬
圓の資本となる。
- 昭和十三年九月** 東京市足立區大谷田町に龜有工場を新設す。
- 昭和十四年一月** 資本金を金貳億圓に増額す。
- 昭和十四年四月** 日立工場商品部關係を同工場より分離し新に茨城縣多賀郡多賀町に多
賀工場を新設す。
- 昭和十四年五月** 東京瓦斯電氣工業株式會社を吸收合併し資本は金貳億四百五十萬圓と
なる。

弊社最近の姿勢

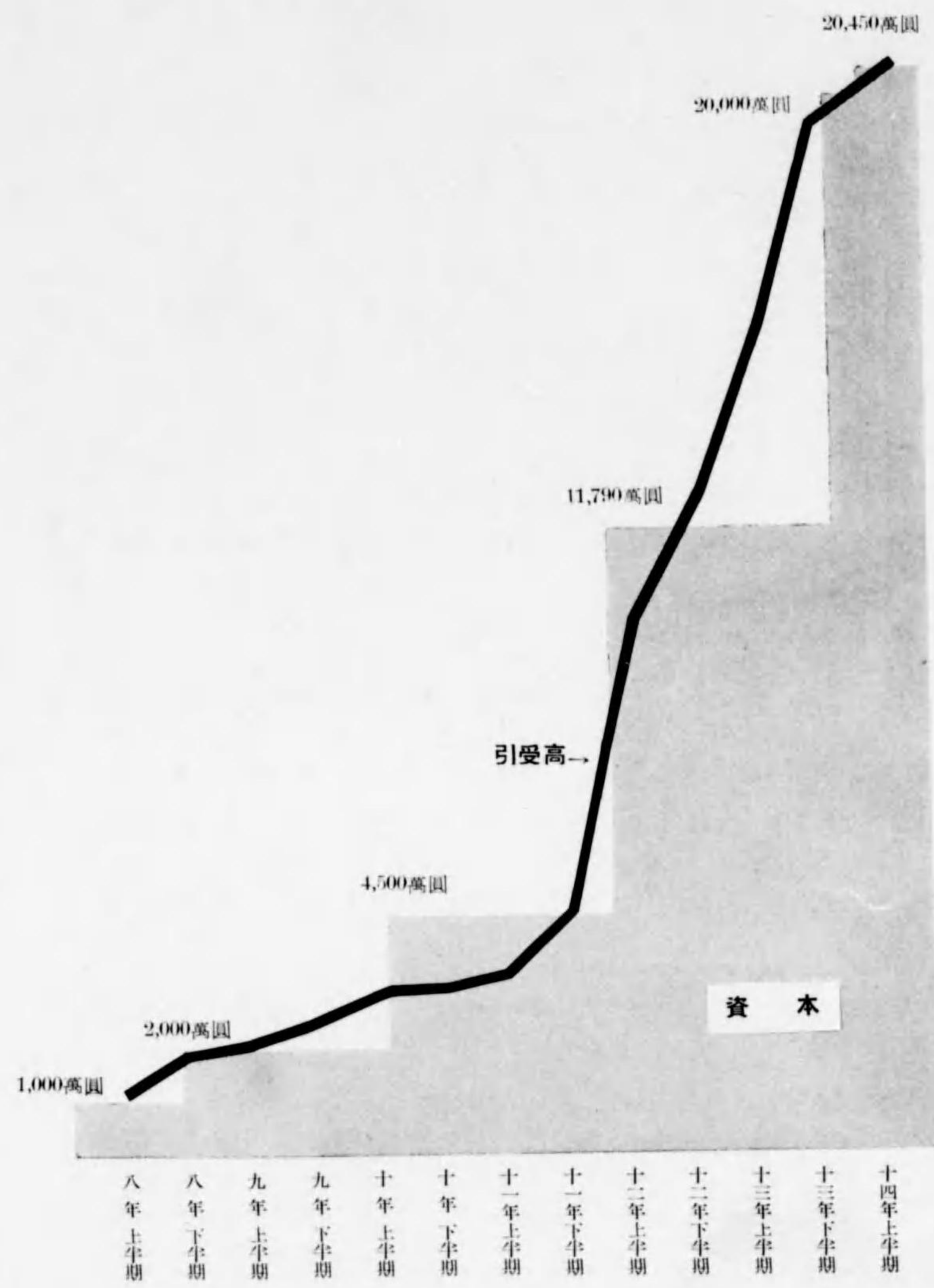
滿洲事變勃發を契機として進展し來れる我國事業界殊に重工業部門は支那事變對策である長期
建設、生産力擴充の推進力とも云ふべき基本産業として急速の發展を遂げつゝあります。

従つて弊社の事業もこの趨勢に依り跳躍的發展を遂げました。以下近年に於ける弊社發展の概
要を御紹介致します。

資本の膨脹 昭和八年十二月第一回増資（金壹千萬圓を貳千萬圓に増額）以來數度の増資が
行はれ昭和十四年五月に至りまして、遂に現在の金貳億四百五十萬圓に達しました。即ち僅々約
五ヶ年に約二十倍の激増でありまして最近の弊社の發展振りが如何に跳躍的であつたかが知られ
ます。而もかゝる資本の膨脹に拘らず配當は昭和九年上半期以來引續き年壹割貳分を維持して順
調なる營業成績を収めて居る次第であります。

製作工場の擴大 昭和十二年五月國産工業株式會社の合併により日立、龜戸、及び笠戸の三
大工場に更に七工場を加へて合計十工場（日立工場一山手、電線、海岸の三工場）となり、これ
に新設龜有、多賀工場及び分工場を加へますと現在實に十七工場の多數に上ります。現下の非常
時局の進展につれ、生産力の擴充は益々重要性を加ふることゝなりこれに順應して各工場も數地
擴張、工場の増築をなし又新たに東京市足立區大谷田町に龜有工場、茨城縣多賀郡多賀町に多賀
工場の老大なる規模を有つ二大工場を新設致しました。龜有工場は昭和十三年九月、又多賀工場
は昭和十四年四月より操業し、尙引續き第二次設備の完成を急いで居ります。これに加ふるに目
下茨城縣水戸市附近及朝鮮仁川附近に更に大規模な大工場建設の計畫が進められて居り、工場規
模に於ても我國重工業界の第一人者としての面目を遺憾なく發揮して居る次第であります。

綜合製作の充實 弊社は創業以來機械の歐米依存よりの脱却と綜合製作力の樹立とを目標と
して邁進して参りましたので年を重ねるに従つて技術に於ても諸外國品を凌駕すると共に製品種
目も急速度を以て増加致しました。現に大容量の火力又は水力發電所の設備に要する電氣的及び
機械的機器の一切を弊社一手で供給し得る次第でありましてこれに依ても製品種目の廣範圍に互
つて居ることを推知するに難くないと存じます。弊社の綜合製作の範圍は鐵道、船舶、鑛山、製
鐵、造船、建築、土木、化學、冷凍、ディーゼル機關、ディーゼル自動車等各般の事業に必須の諸機
械、諸機器より高級工作機、熔接機、電動工具、速心清淨機、電話機、電話交換機その他家庭電



氣機器にまで及んで居ります。又製造用資材としては電線、電機、特殊鋼、マレブル鋳鋼、チルドロール、鐵管機手、絶縁諸材料、絶縁塗料等孰れも自信ある製品を出して居ります。將來も新製品の創作に努めまして益々綜合製作力の充實を致し依つて歐米依存よりの脱却に徹底し直に我國産業の躍進に寄與する上に遺憾なきを念願して居る次第であります。

受注額の激増 昭和六年下半年金四百七十八萬九千五百二十餘圓の注文引受高を以て沈滞期を切抜け昭和八年上半期以降、期を改むる毎に引受高を追増しましたことは別表に示された通りでありまして昭和十四年上半期（自十四年三月至十四年八月）は金貳億參千六百五十五萬八千五百五十五圓の引受高を計上するに至りました。

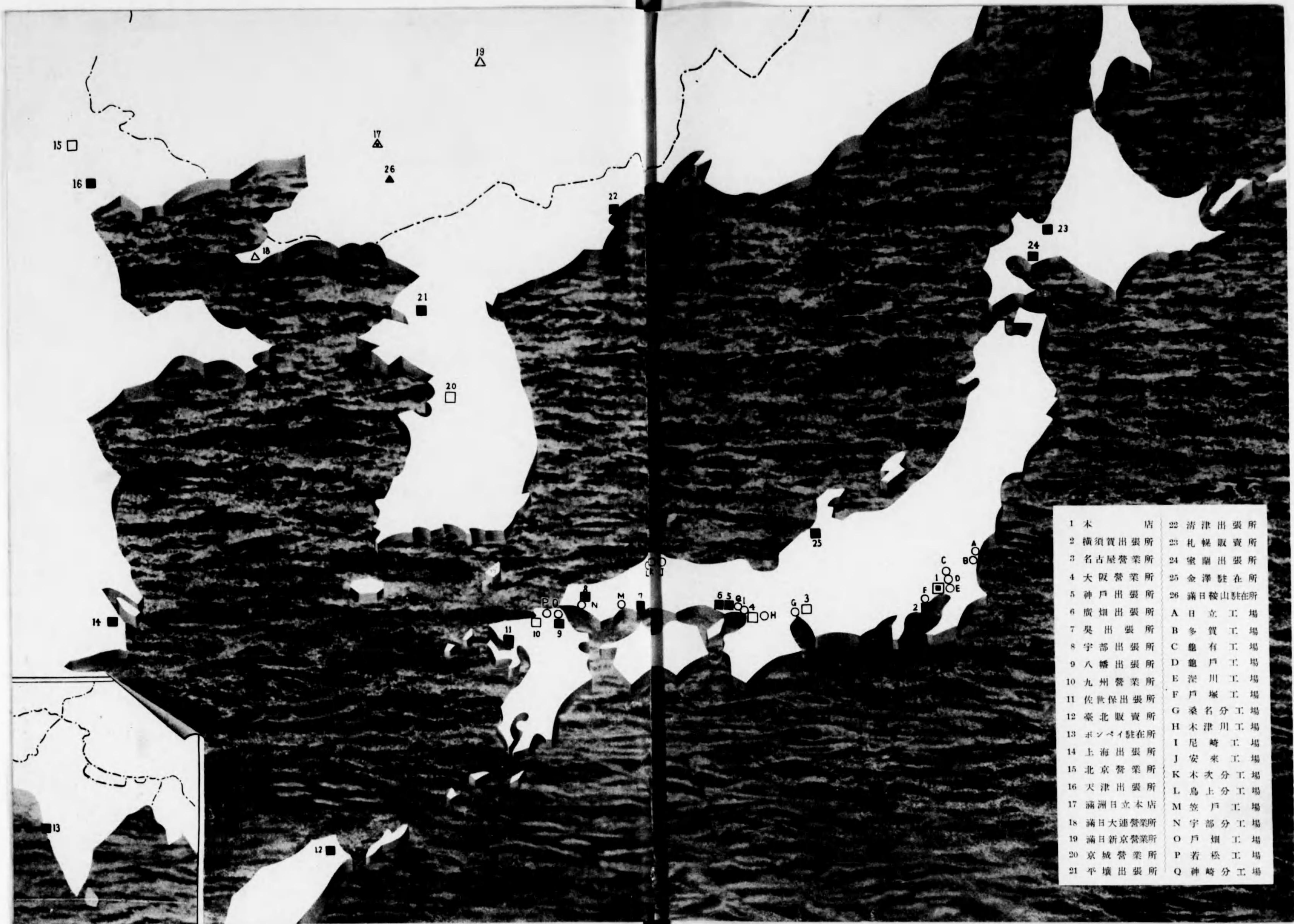
尙前記龜有、多賀兩工場の事業開始、既設各工場に於ける増産施設の進捗及び營業所の増設並に増員による販賣網の擴張等に依りまして、今後受注高は益々記録的昇進の一途を辿るものと思はれます。

従業員の激増 以上工場の擴大、受注額の増大の結果は必然的に従業員の夥しい増加を來して居ります。即ち昭和八年下半年末（九年二月末）現在の六千數百人に對し、昭和十四年上半期末（十四年八月末）現在に於きましては、實に十數倍の多數に上つて居ります。

躍進する投資事業 弊社最近の情勢は大略以上の通りであります、この外弊社は多數の關係投資會社を通じ更に多方面の事業の經營に參割して居ります。

即ち主なるものとしては昭和十一年二月大阪鐵工所をその翼下に收めると共に向島船渠株式會社、原田造船所の經營にも任じ、造船事業進出の第一歩を踏出し、昭和十三年五月には大阪鐵工所を三倍増資し益々この方面への基礎を固めて居ります。又昭和十四年五月東京瓦斯電氣工業株式會社を吸収合併し、同時に日立航空機株式會社、日立兵器株式會社、日立工作機株式會社の三會社を設立、非常時局下に於ける最重要産業として超躍進を期待される航空機、兵器、造機の三部門に進出し、國策遂行の重き任務の一端を荷つて居る次第であります。更に又日滿經濟ブロック確立の急務が叫ばれるや昭和十三年三月資本金五百萬圓を以て滿洲日立製作所を滿洲國奉天に創設し大陸方面にも活躍して居ります。

尙以上の外弊社の投資會社と謂ふべきものは十數社あり、何れも活潑なる發展を續けて居ります。（投資會社の項御参照）



1 本店	22 清津出張所
2 横須賀出張所	23 札幌販賣所
3 名古屋営業所	24 室蘭出張所
4 大阪営業所	25 金澤駐在所
5 神戸出張所	26 満日鞍山駐在所
6 廣畑出張所	A 日立工場
7 吳出張所	B 多賀工場
8 宇部出張所	C 龜有工場
9 八幡出張所	D 龜戸工場
10 九州営業所	E 深川工場
11 佐世保出張所	F 戸塚工場
12 臺北販賣所	G 桑名分工場
13 ポンペイ駐在所	H 木津川工場
14 上海出張所	I 尼崎工場
15 北京営業所	J 安來工場
16 天津出張所	K 木次分工場
17 満洲日立本店	L 鳥上分工場
18 満日大連営業所	M 笠戸工場
19 満日新京営業所	N 宇部分工場
20 京城営業所	O 戸畑工場
21 平壤出張所	P 若松工場
	Q 神崎分工場

本店・營業所所在地



本館



明治生命館

本 店

電氣部 機械部 車輛部 金物部 弱電部 軍納部 收計部
 東京市麴町區丸ノ内二丁目十二番地
 電話(23) 代表—2362(8) 2591(8) 3131(6) 3511(6)
 丸ノ内 980(7) 5425(3)

商品部 電線部 輸出部
 東京市麴町區丸ノ内二丁目十六番地(明治生命館)
 電話(23) 代表—1371(8) 4386(4)
 丸ノ内 5626(2)

横須賀出張所

横須賀市旭町二二 電話横須賀 1165 2169

金澤駐在所

金澤市南町十六 電話金澤 5069

上海出張所

上海黃浦灘路二四(横濱正金ビル)電話 10922

ボンベイ駐在所

c/o Japan Cotton Trading Co., Menkwa Bldg.,
 Outram Road, Fort, Bombay, INDIA.

ブラジル駐在所

T. Hasegawa,
 Rua Bahia 509, Sao Paulo, Brasil.



大阪營業所

大阪營業所

大阪市南區長堀橋筋一丁目三番地
電話南(75)代表 31(5) 8531(9) 8931(5)

神戸出張所

神戸市神戸區西町四二(日生ビル) 電話三宮 3293

廣畑出張所

姫路市本町六五 電話姫路 493

吳出張所

吳市藏本通十丁目十 電話吳 4083 4200



九州營業所

九州營業所

福岡市天神町二(千代田ビル)
電話福岡西代表 2273(6) 5078

八幡出張所

八幡市仲本町四丁目(山田屋ビル) 電話八幡 726

宇部出張所

宇部市西區朝日町三丁目五 電話宇部 138

佐世保出張所

佐世保市下京町六七(親和銀行ビル)
電話佐世保(長) 3355 5151(2)



京城營業所

京城營業所

京城府古市町十二(片倉館)
電話京城本局(2)代表 6181(3) (長)6185

平壤出張所

平壤府濱町五(片倉ビル) 電話平壤 4327

清津出張所

清津府港町十六(商工會議所) 電話清津 2863



名古屋營業所

名古屋營業所

名古屋市中區廣小路通二丁目十一(朝日ビル)
電話本局 5171(3)

北京營業所

北京內一區王府大街六十號 電話東 1811

天津出張所

天津日本租界漢路街七ノ四ノ二 電話(長)(2) 1134

札幌販賣所

札幌市北二條西二丁目四 電話(長) 497

室蘭出張所

室蘭市常盤町百十 電話室蘭 652

臺北販賣所

臺北市表町二丁目十六(大阪商船ビル) 電話臺北 3842



北京營業所



札幌販賣所



台北販賣所

株式會社 滿洲日立製作所 (滿洲總代理店)

本店 { 奉天市鐵西區馬工街四段第十九號
電話代表(3) 6816

營業部分室 { 奉天市大和區加茂町(三井ビル)
電話奉天(2) 5683 2843 3034

新京營業所 { 新京市大同大街四百六(東拓ビル)
電話新京本局(長) 1864

大連營業所 { 大連市山縣通り二(東拓ビル)
電話大連本局代表(長) 3191(3)

鞍山駐在所 { 鞍山市北二條町二八
電話鞍山 2972

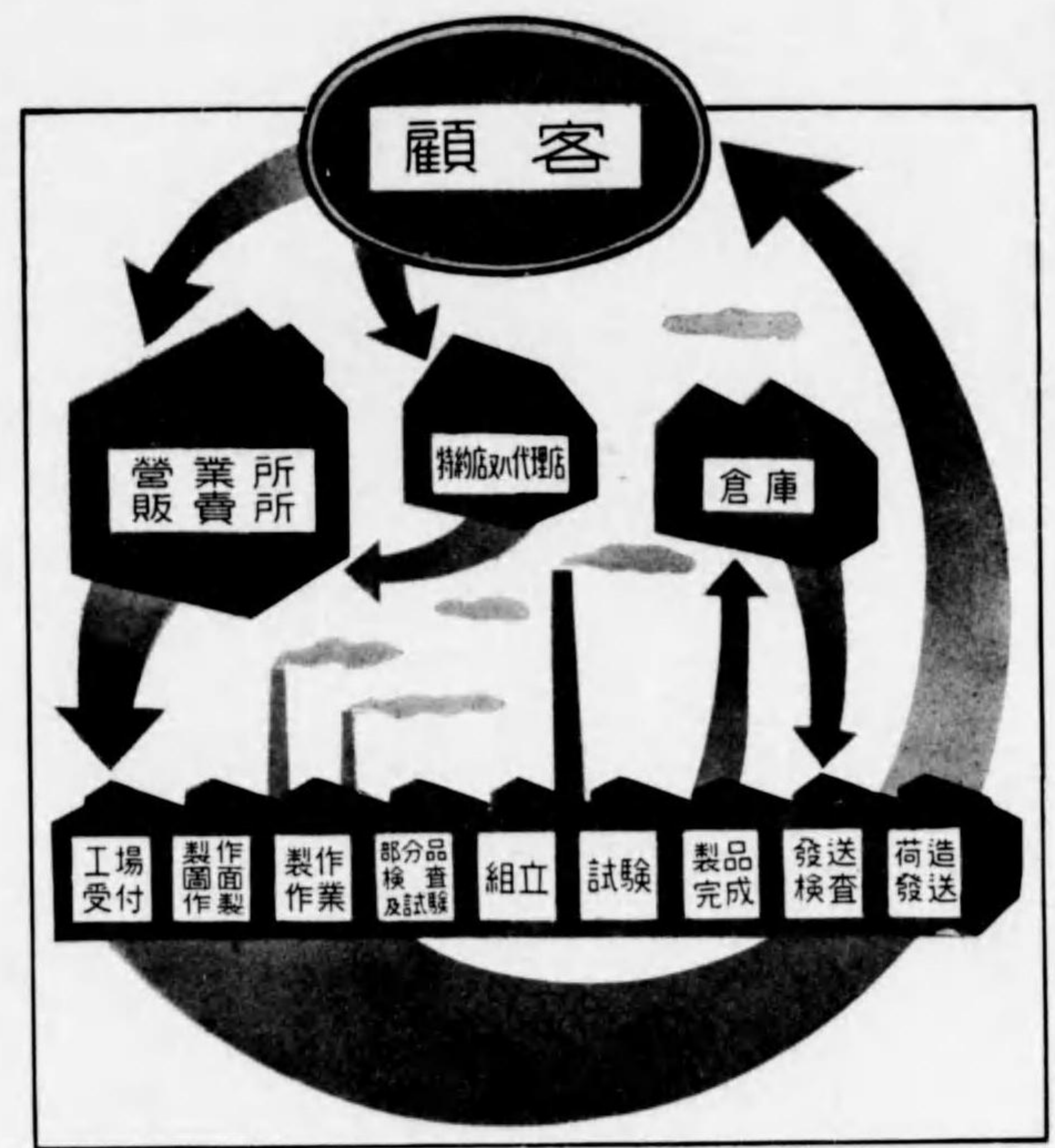
製品概目

發電調靜周回水變誘配制遮開避計繼電電電電電電電水電交無放エ電	電動相蓄電變換電流流整電電御斷閉雷電氣收熔工氣冷裝化氣電話換線聲ベ線	機機器機器器器盤函器器器器置機具扇庫品器爐槽機機機置一機	絶緣材水ボ水起卷ホ輸送空冷コ整遠汽蒸チ蒸電内客運鐵リト自動カ培ク特	線ン重上イ送風壓凍カ岩清心タビル自關關貨搬管クッコ鑄物ローダシ殊	料車ブ機機機ト置機機機一機機罐ン關車車車車車手ン輪品機機爐一鋼
--------------------------------	------------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

製品の特徴と行程

弊社の製造技術は悉く独自の研究にかゝるものでありますから、外國の制肘を受ける事がなく自由に販路を世界市場に求めることが出来ます。製品は一貫した綜合製作に依つて完成されたものでありますから製作技術上の責任は總て弊社がその衝に當ることが出来ます。

弊社製品は總て次の行程を経て納入せられたもので、各行程は又數十の行程から成り、全體としては極めて複雑したものとりますが、行程中及び完成後に嚴重なる試験を施し機能の優秀なことを確めた後發送されます。



海外発展の状況

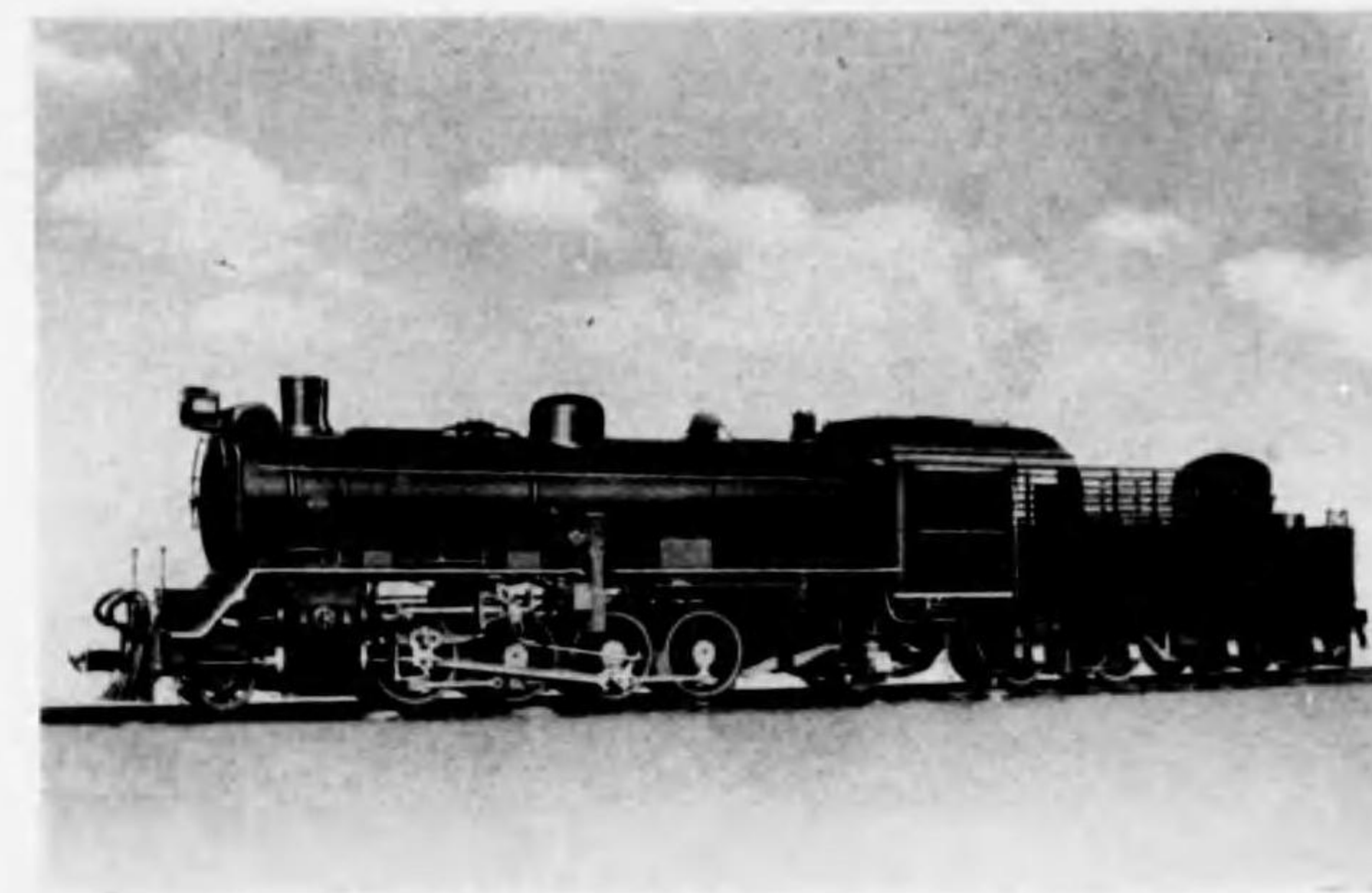
電気機器製作事業は一國産業発展の基礎部門をなすものであり、特に現下国際経済がブロック化する情勢下に於ては、その消長は誠に重大關心事となつて居ります。弊社は創業當初よりこの電気機器の國産化を目指し、營々苦闘研究の三十餘年を経て来たものでありますが、今やその眞摯な努力は酬われ、技術に於て外國品を凌駕し輸入防遏に成功するは勿論、逆に海外市場に先進諸國品に伍し、純國産の旗印も雄々しく堂々活潑なる進出を見るに至つて居ります。これ本邦製作界に萬丈の氣を吐くと共に、國家的見地から誠に欣快に堪へない次第であります。

抑々弊社が海外に進出したのは遠く大正十五年にさかのぼり、爾來年と共に進展の一路を辿り、滿洲國は云ふに及ばず、支那各地、印度、ビルマ、タイ國、蘇聯邦、アフリカ、濠洲、南米等を舞臺として、弊社が授じた輸出報國の果敢なる一石は大きい波紋を畫いて全世界に擴つて居りますが、これ等の状況を以下少しく概説御紹介する事に致します。

先づ地域的に近い滿洲地方への進出は流石に早くより著しいものがあり、滿洲産業開發には不可欠の存在となつて居ります。従來この地方に送り出された主なる製品を一瞥すると、發電所機器の如きは全滿洲に普く納入され各種工業の心臓部として産業開發の先驅をなして居りますが、就中最近の納入品として主なるものを年度別に挙げてみれば昭和十一年の15,000kW 蒸汽タービン發電機、昭和十二年納入の14,000kW 二臺、昭和十三年の18,000kW 二臺等は特記すべきものであります。又變電所用機器としては早くも昭和三年撫順炭坑へ水銀整流器を外國品に伍し堂々國産品の先驅として納入したのを初めとし、變壓器、油入遮斷器、アルミニウム避雷器、或は斯界の記録品として名聲を博した30,000kVA 同期調相機等多種類に涉つて居ります。電動機類に至つては小は100W モーターから大は數千馬力に及び、殊に滿洲國の成立以來は電動機の需要は急増し、目覺しい状況を呈して居ります。更に滿洲方面の進出に特筆すべきは運輸交通界へのそれで、滿洲國今日の發展は一に鐵道を基とする交通經濟發達の賜物であります。滿洲鐵道發達史上傑として光彩を放つものは弊社機關車の活躍であります。即ち主要會社へ多數の電気機關車、ディーゼル機關車を送り、就中昭和三年に納めた85噸電気機關車は同地に於ける大型電気機關

車の嚆矢として氣焔をあげ、更に滿洲國の成立以來は一層大量の受註を得、ミカド型、パシフィック型、ダブルエンダー型蒸氣機關車を初め、昭和十一年には本邦に於てその類を見ない大型急行貨物用マウンテン型機關車を納入、その他最新型高級を誇る流線型機關車を滿洲の曠野に走らせる等々弊社の面目躍如たるものがあります。又鐵道と共に産業開發には不可欠の要素たる通信部門に對して大いに振ひ、或は蒙疆特殊防共地區の通信連絡に萬全を期す役目を持つ1,400回線に對する機器を納入し、或は全容量5,000回線に及ぶ大規模の自動交換装置を受註する等目覺しいものがあります。この外滿洲の地下に藏された無限の寶庫鑛山資源開發のため300馬力捲揚機を初め、起重機、ポンプ、壓縮機その他鑛山用諸機械を多數輸出し、電線、電燈、微音機手、車輪、リンクチェーン等の進出と共に全面的に同國産業界のために貢献して居る次第であります。

以上は滿洲方面に於ける概況であります。この外中國及び諸外國向輸出としても甚だ見る可きもの多く、早くより國産品進出の先鞭をつけて居ります。昭和四年にはBタンク機關車12輛を南洋マレー半島のブンゲン鑛山に納め斯界を賑はしました。昭和五年蘇聯邦が第一次五年計劃を樹て、極東方面に要する電気機器を日本より購ふ事となり、同年弊社は電動機變壓器等を納めました。この對蘇聯邦輸出が多額の刺戟となり、弊社は輸出の陣容を整備すると共に、大連、新



タイ國納ミカド型過熱テンダー機關車
英海軍港務部唐山支那部所寄

京、奉天、天津、北京、上海、ボンベイ等各地の営業所出張所と緊密な連絡の下に、全世界に向つて輸出の積極化を圖つたのであります。かくして支那方面へ多くの製品を輸出すると共に昭和七年から八年にかけて南洋方面へ數千臺の電氣扇を輸出、印度、ビルマ、タイ國、ジャバ方面の進出も著しさを加へ、偶々北鐵渡物資拂契約が成立するに及び蘇聯邦より未曾有の大量注文を受け、昭和十一年同國へ避雷器、發電機、ロコモビル、電線等を輸出したのは正に劃期的と云ふ可きものであります。次いで昭和十二年にはタイ國及び北支方面へ天井走行起重機及び機關車等を輸出し、昭和十四年には蒙古より回轉壓縮機の注文を受けたのを初め、タイ國より7.5 瓩電動車用電氣設備の受注あり、南米チリーより7.5 馬力複胴捲揚機の受注を見るなど頗る活況を見せ、殊にタイ國よりの受注品は歐米各社との競争入札の結果、弊社が凱歌を奏したもので、本邦輸出振興上萬丈の氣を吐いたものであります。更に最近南米ブラジル國カンボス洲立發電所の電氣設備一式を受注し、全世界に向つて本邦電氣機器の優秀さを誇示すると共に、輸出獎勵の國策の第一線に躍り出したものであります。因にこの發電所用機器は4,400 馬力ペルトン水車2基、3,750 kVA 三相交流發電機2基、及び變電所設備一式と云ふ総合的なものであります。

尙弊社の輸出に於て見逃す事の出来ないのは△印鐵管繼手及びリンクチェーンの輸出であります。△印繼手はその製造本邦に於ける嚆矢にして創業以來間もなく從來の輸入品を驅逐すると共に早くも昭和二年には海外輸出の緒につき、着々發展の一路を辿つた結果、現在では普く世界市場にその足跡を印し、本邦鐵鋼品のため力強い凱歌をあげてゐる次第であります。

目下我國は未曾有の大事變に遭遇し、東亞新秩序建設の聖業に國を擧げて邁進して居ります。而してこれを完全に遂行するには莫大なる資金、資材を要しますが、それが調辨の道は生産力の擴充と輸出貿易の二途を置いて他にない事は申すまでもありません。今や輸出貿易の増進如何は、事變處理、ひいては我國の死活の問題ともなる重要性質を帯びて來、政府が國策の第一義として輸出の伸張に萬全の策を講じて居るのも由ある次第であります。弊社は以上に述べました様に早くより曾て我國の試み得なかつた電氣機器の海外輸出に先鞭をつけ、而も輝かしい成果を納めて來たものであります。かゝる重大時局に直面して、尙一層の練磨精進を續け國策に副ふと共に、全世界の隅々に日立製品、ひいては日本電氣機器製作技術の卓越さを喧傳す可く念願してゐる次第であります。

工場概要

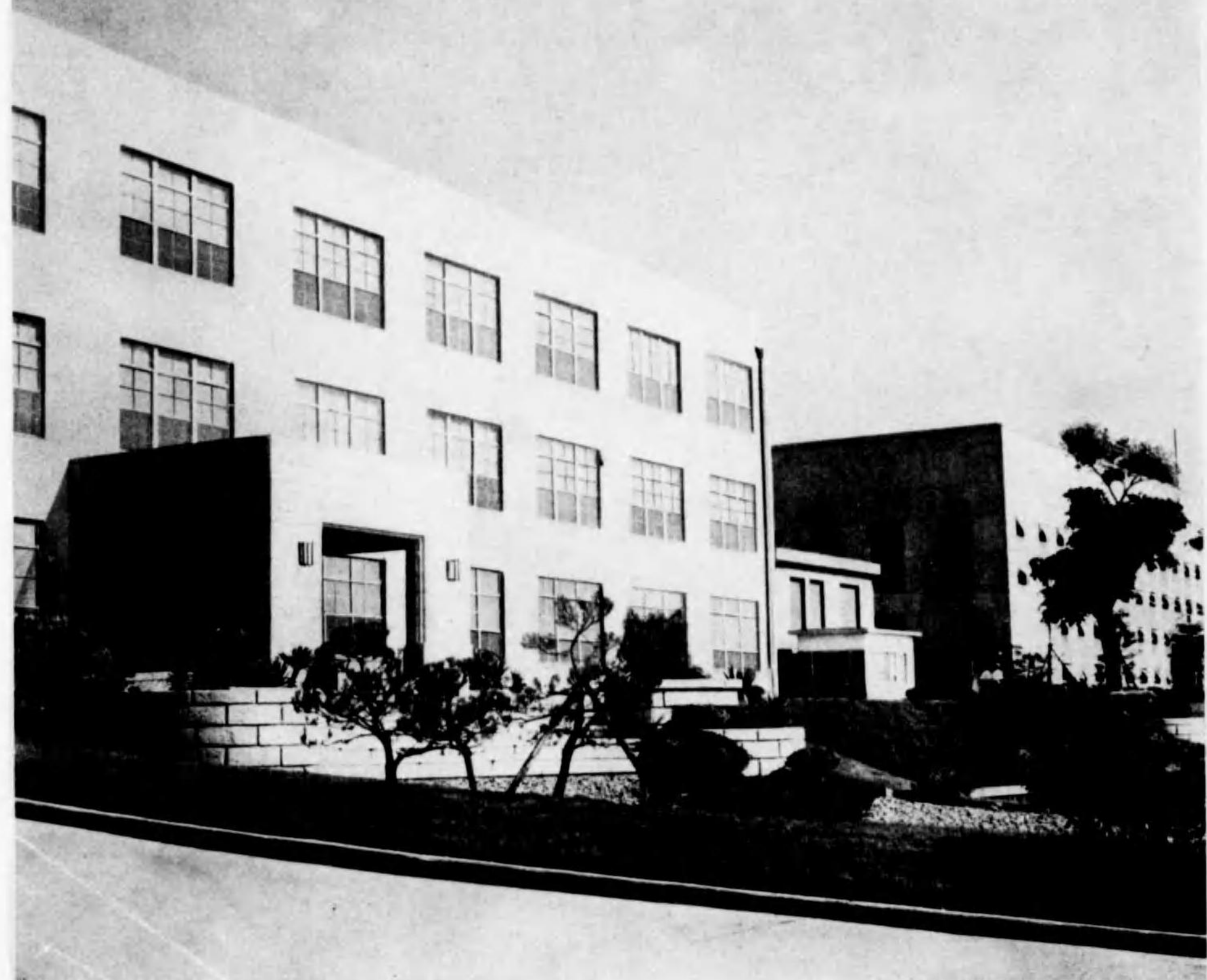
日	立	工	場
多	敷	工	場
龜	戸	工	場
龜	有	工	場
笠	戸	工	場
戸	畑	工	場
若	松	工	場
木	津	川	工
深	川	工	場
戸	塚	工	場
安	米	工	場
尾	崎	工	場
弊	社	工	場
			の現況

日立工場

日立市大字助川 電話 日立 24

製品概目

水車 発電機 水管汽罐 蒸汽タービン 調相機 回轉變流機
水銀整流器 變壓器 遮断器 避雷器 配電盤 電気計器 繼電器
電動機 電気機関車及び車輛用電気品 ポンプ 船用電気用品
電線及び電纜 絶縁材料 その他各種電気機器



概要

當工場は明治四十二年現滿洲重工業開發株式會社の前身たる久原鐵業の經營にかゝる日立鑛山の一附屬事業として創設せられたもので、弊社今日の發展の基礎をなした發祥の事業所であります。大正七年十月佃島製作所を合併した際始めて日立製作所日立工場の名を稱へたもので、爾來三十餘年弊社々業進展の母體となり、生産設備の充實、工場規模の増大は正に日進月歩の勢を以て進み、斯界に冠たる現在の大工場となつたものであります。

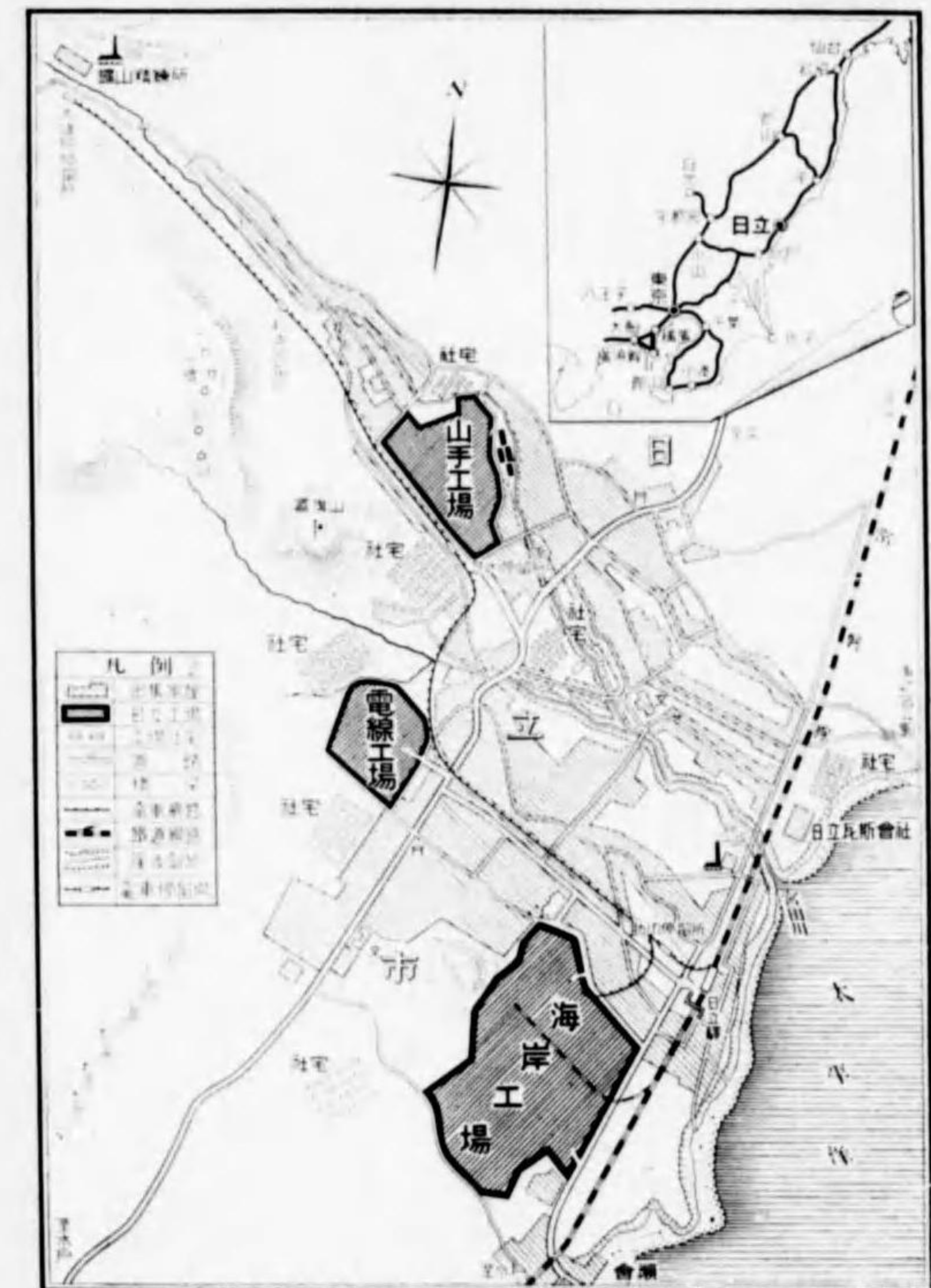
當工場は現在海岸、山手、電線の三大工場を抱擁し、數萬キロの發電機、蒸汽タービン、或は變壓器等容易に短日月にて製作出来る最新式の大設備を有し、その卓絶せる工場設備、施設は練磨された技能と相俟つて、我國重工業界の誇として定評を受けて居るものであります。

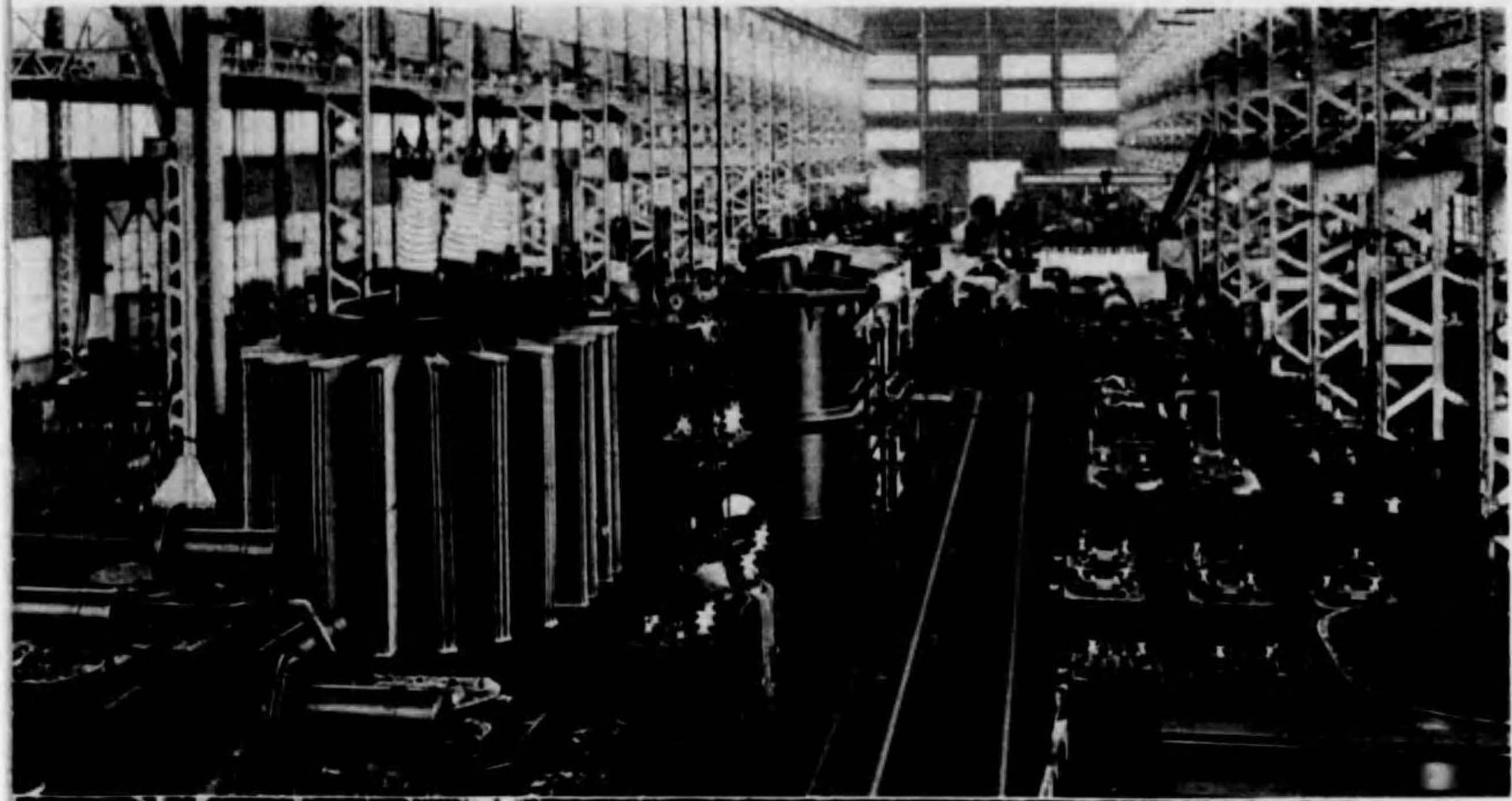
位置及び交通

帝都の北支關上野驛を發して常磐線に沿ひ150餘軒北上し、將に日立驛に到着せんとする時、左手に近代的外郭を有する一大工場群の巍然として太平洋の彼方を睥睨し居るを發見されるのであります。これこそ規模の廣大と設備の斬新とを以て知らるゝ弊社日立海岸工場であります。

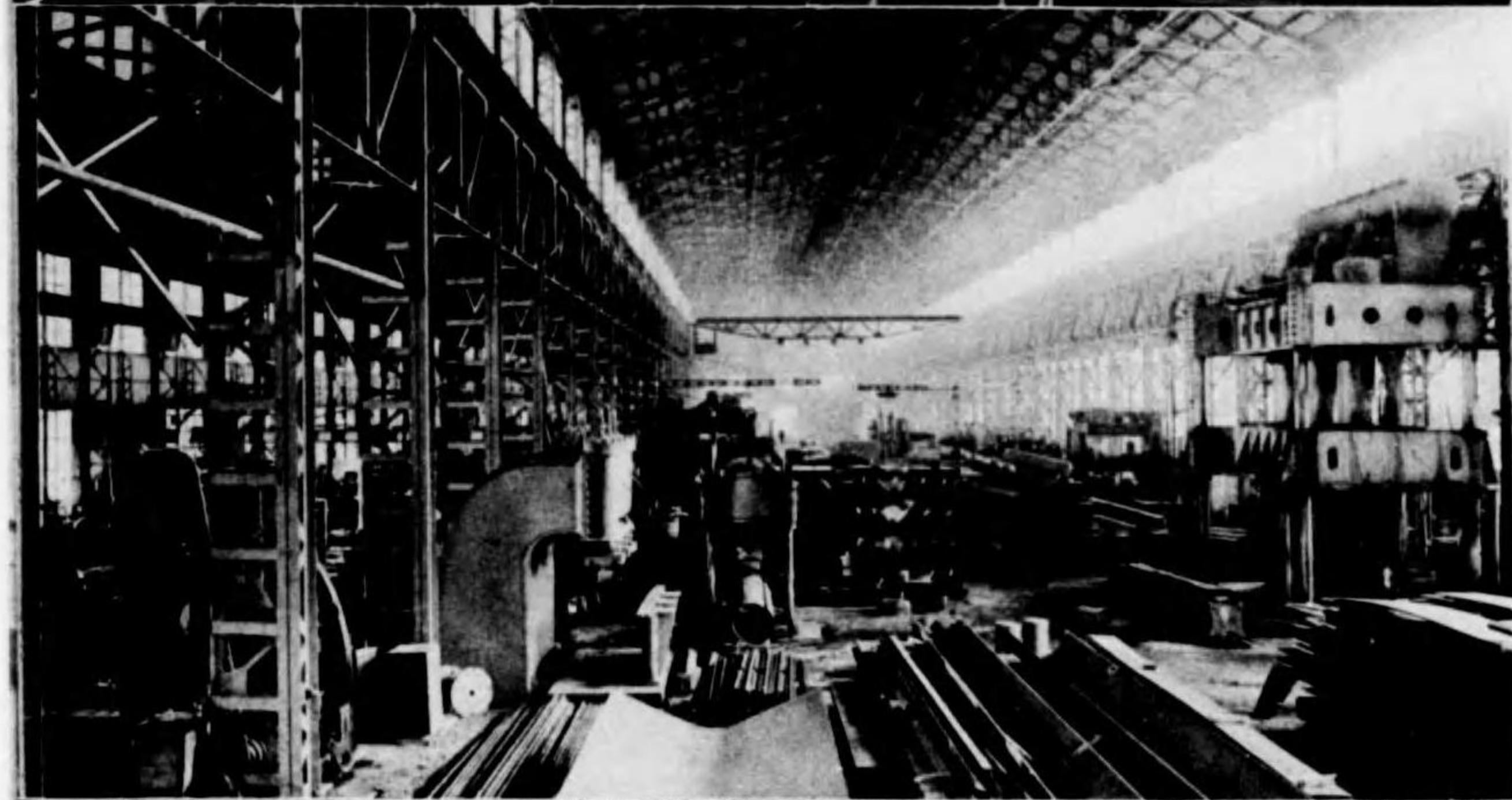
山手工場はこの西北約2軒の地點に在り電線工場は兩工場の略中央にあります。

日立驛は當工場一切の貨物を吞吐する咽喉部に當り、これに隣接して弊社の荷扱所が在り、數條の引込線を有し、省線發着の貨物を取扱つて居ります。此處より専用の電気軌道に依り、電線工場を経て十數分にして山手工場に達します。又海岸工場には日立驛より直接専用貨物線が引込んであります。

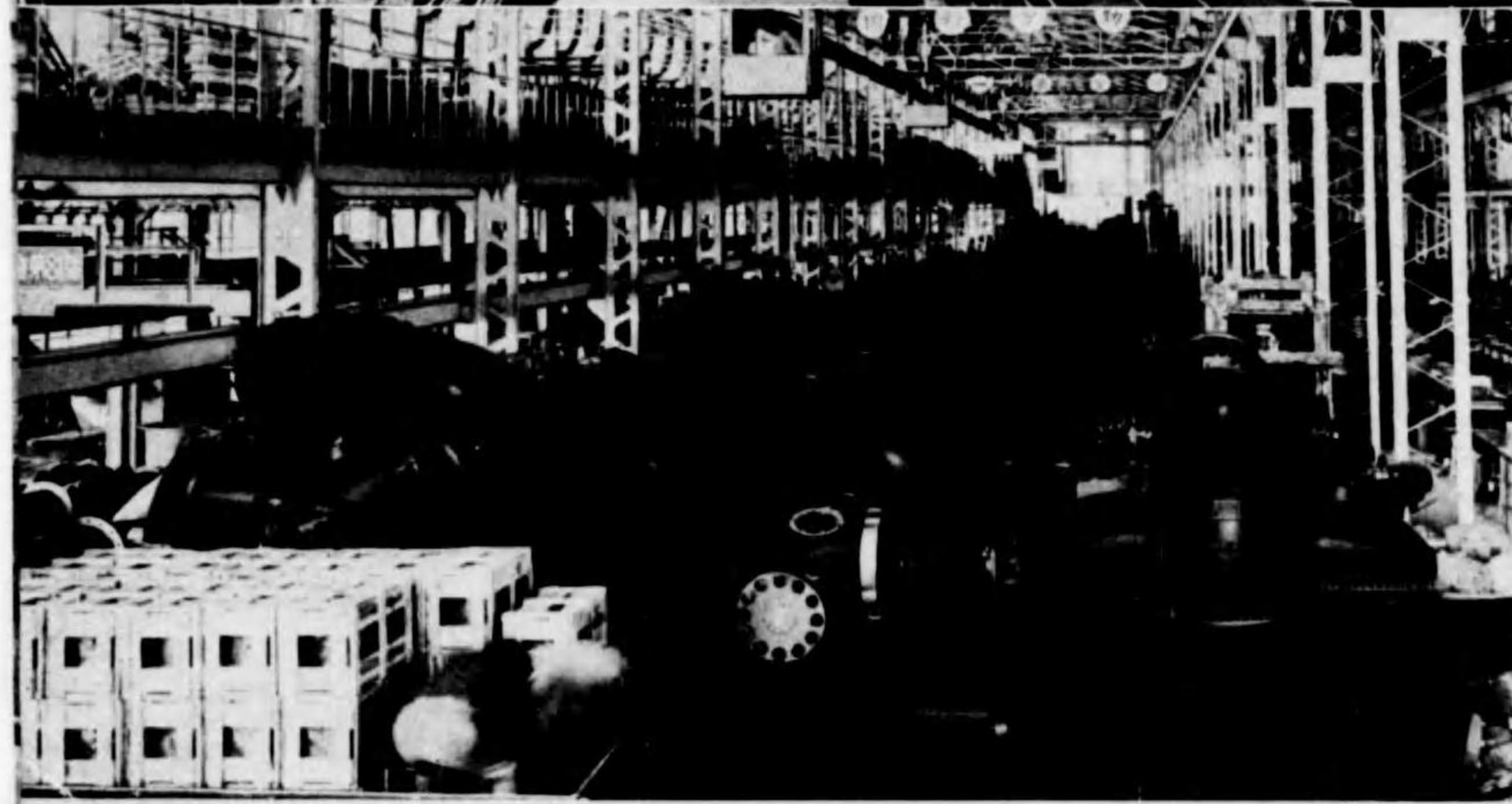




變壓器工場

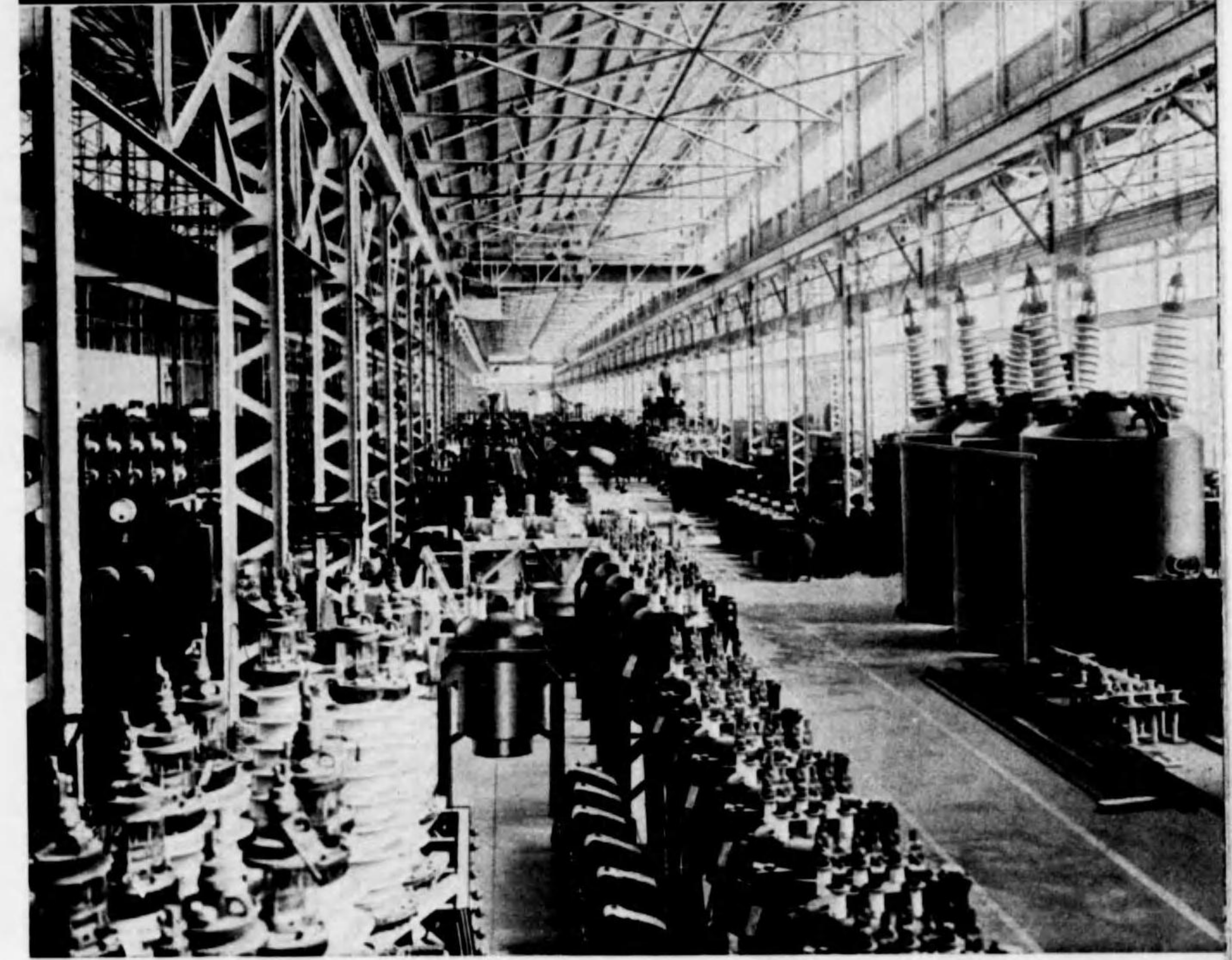


ボイラー工場

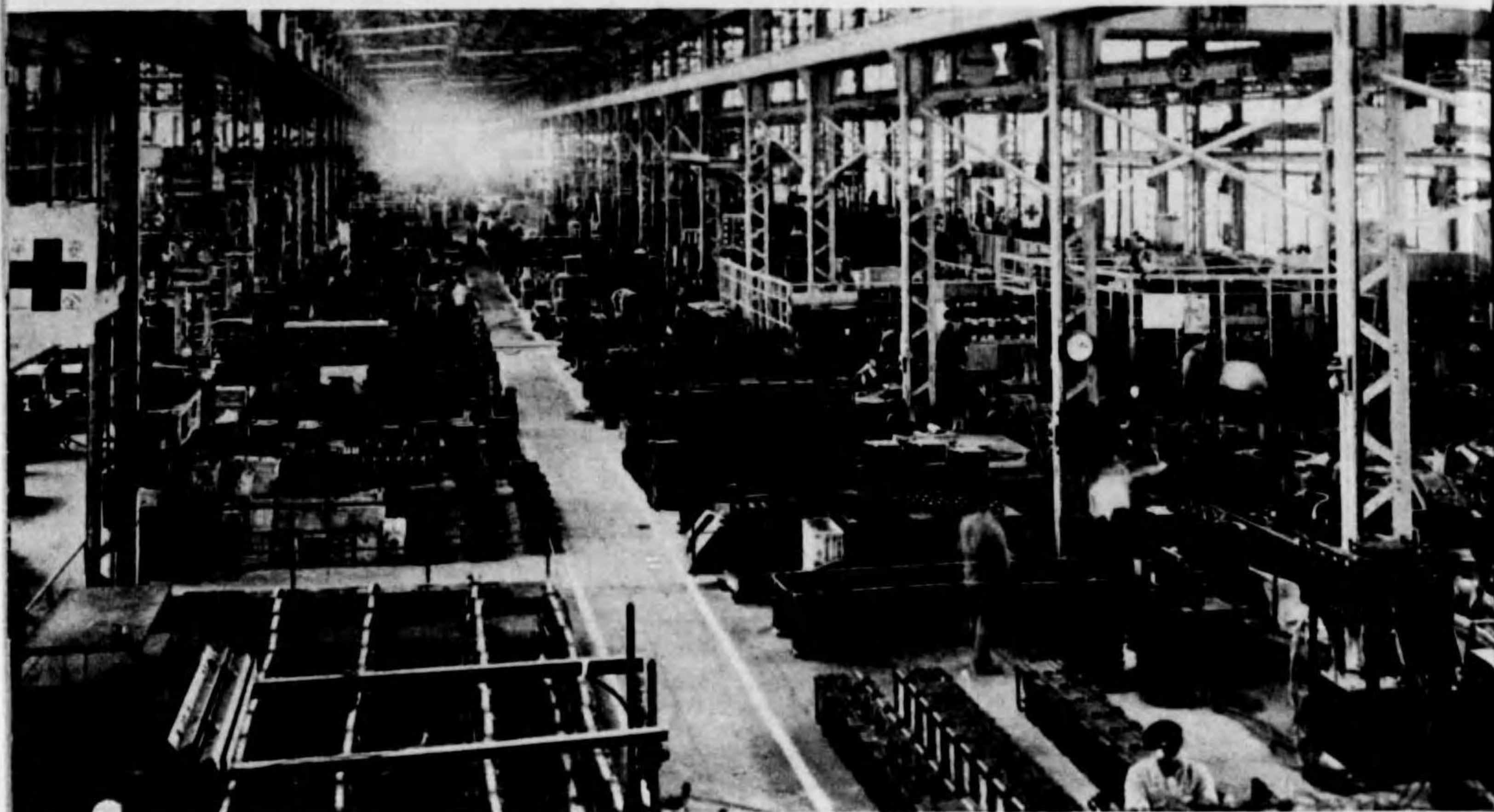


ポンプ工場

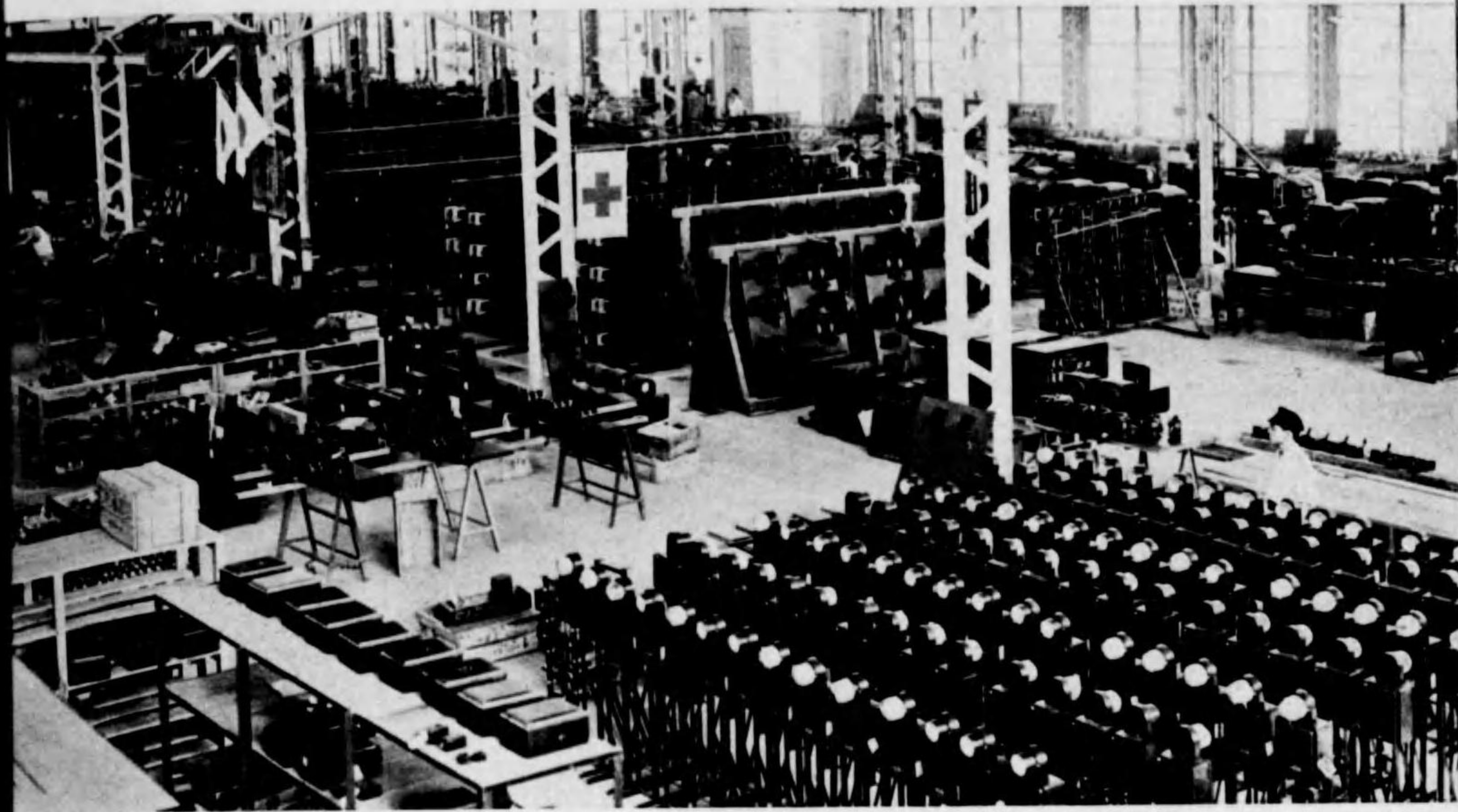
回轉機工場



配電盤工場



直流機組立工場



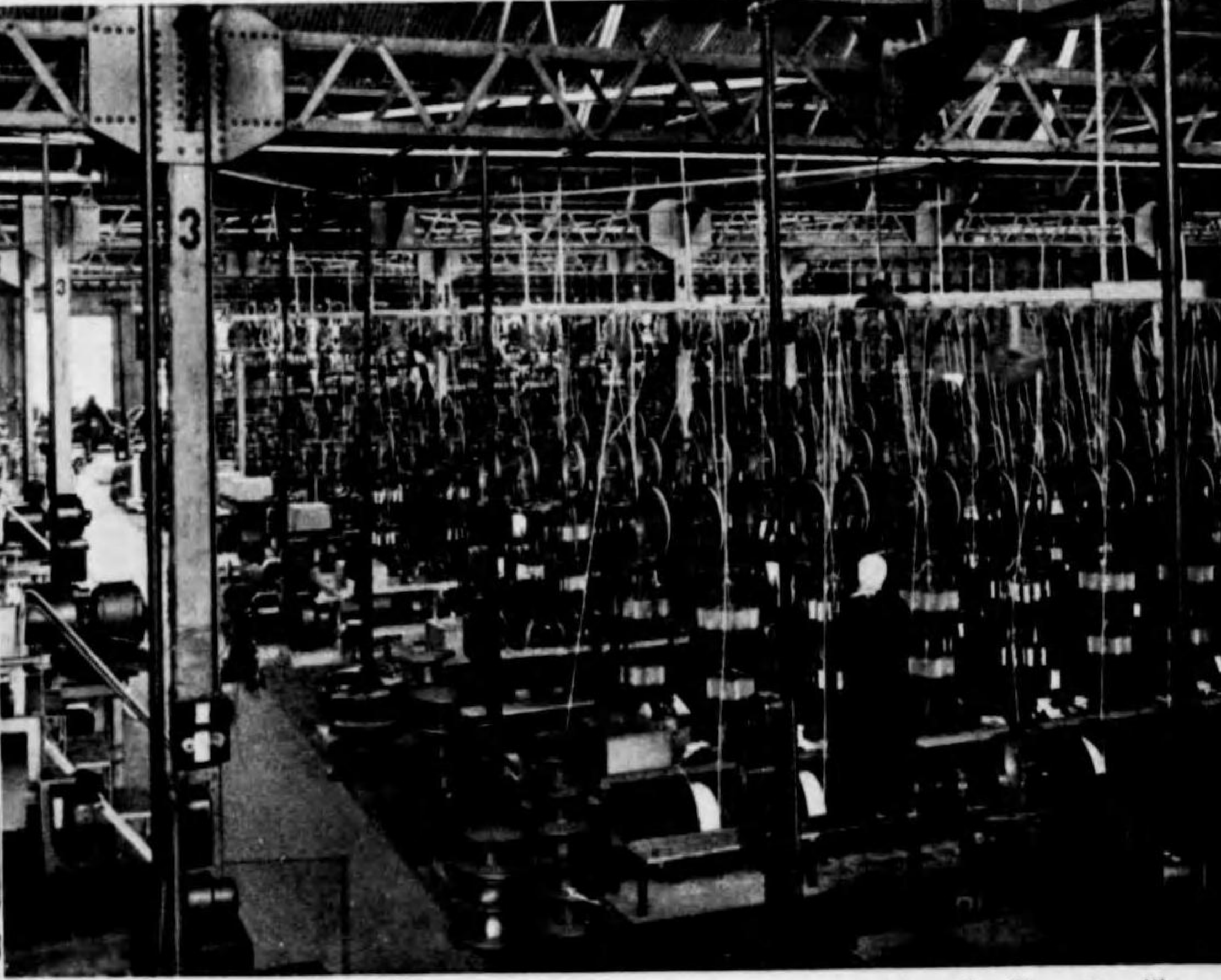
制御器工場



計器工場



計器工場



被覆線工場

多賀工場

茨城県多賀郡多賀町 電話 日立 227

製品概目

電動機 電気扇 電気冷蔵庫 電気溶接機 エレベーター
ホイスト 遠心清浄機 電装品 電気ポンプ 絶縁材料その他電気機器



概要

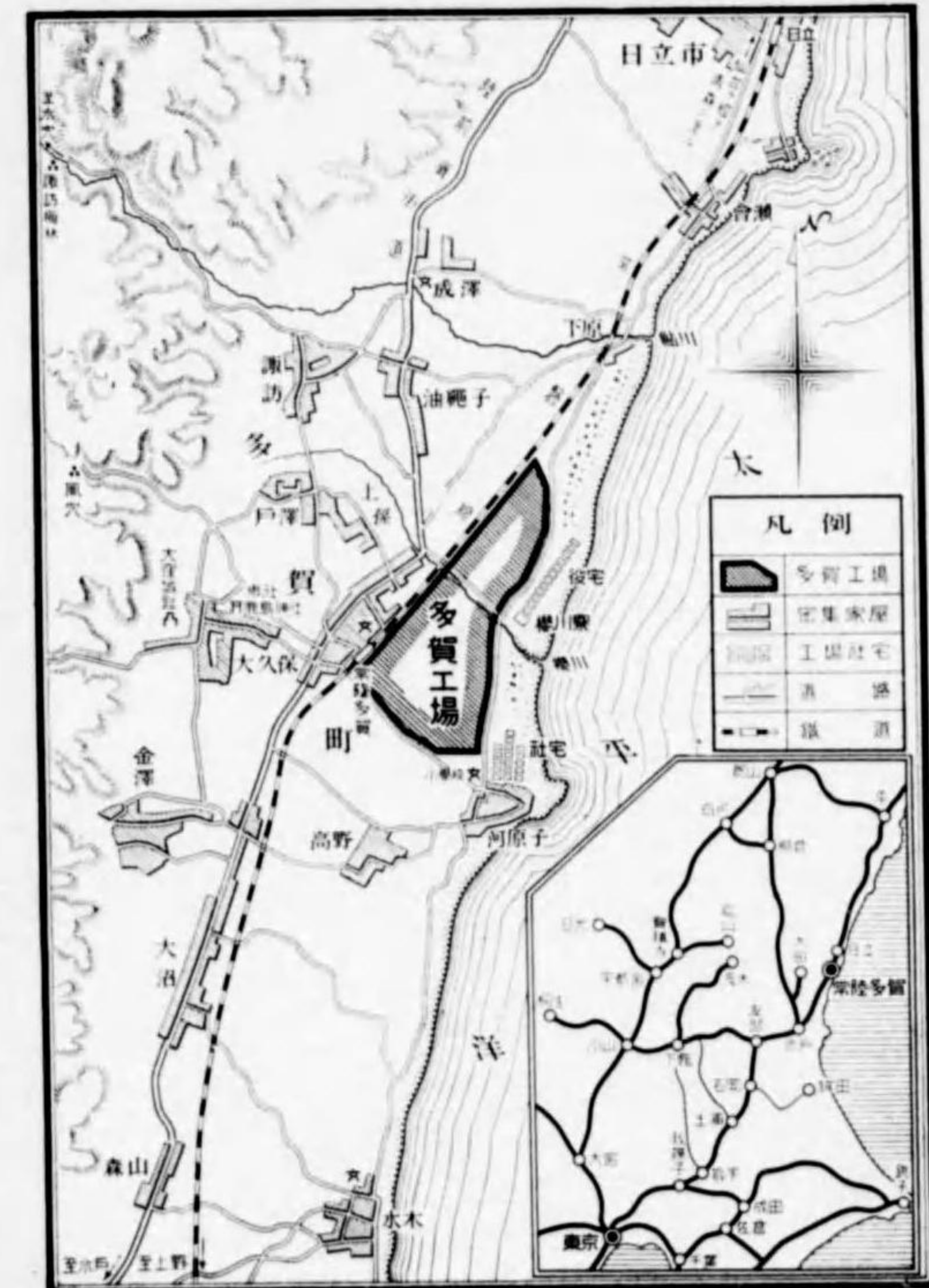
支那事變の遂行は生産力擴充を第一義として要望する結果、弊社はこの國策の線に副ふため、日立工場の隣接の地多賀町の廣大なる地域をとり當工場を新設したものであります。即ち昭和十四年四月物資統制の時局下雄々しく操業を開始したもので、近代設備を誇る文字通り最新式工場であります。従つて當工場を構成する鑄物工場、絶材工場、エレベーター工場、モールド工場、電装工場、溶接機工場、小物工場等は何れも獨得斬新なる機械設備を擁し、採光に照明に遺憾なきを期し、又多量生産を目標とする結果、各所にコンベヤーシステムを採用した生産機構に最も適合せる諸設備は各種精密工作機と相俟つて製作設備の完璧を誇つて居ります。

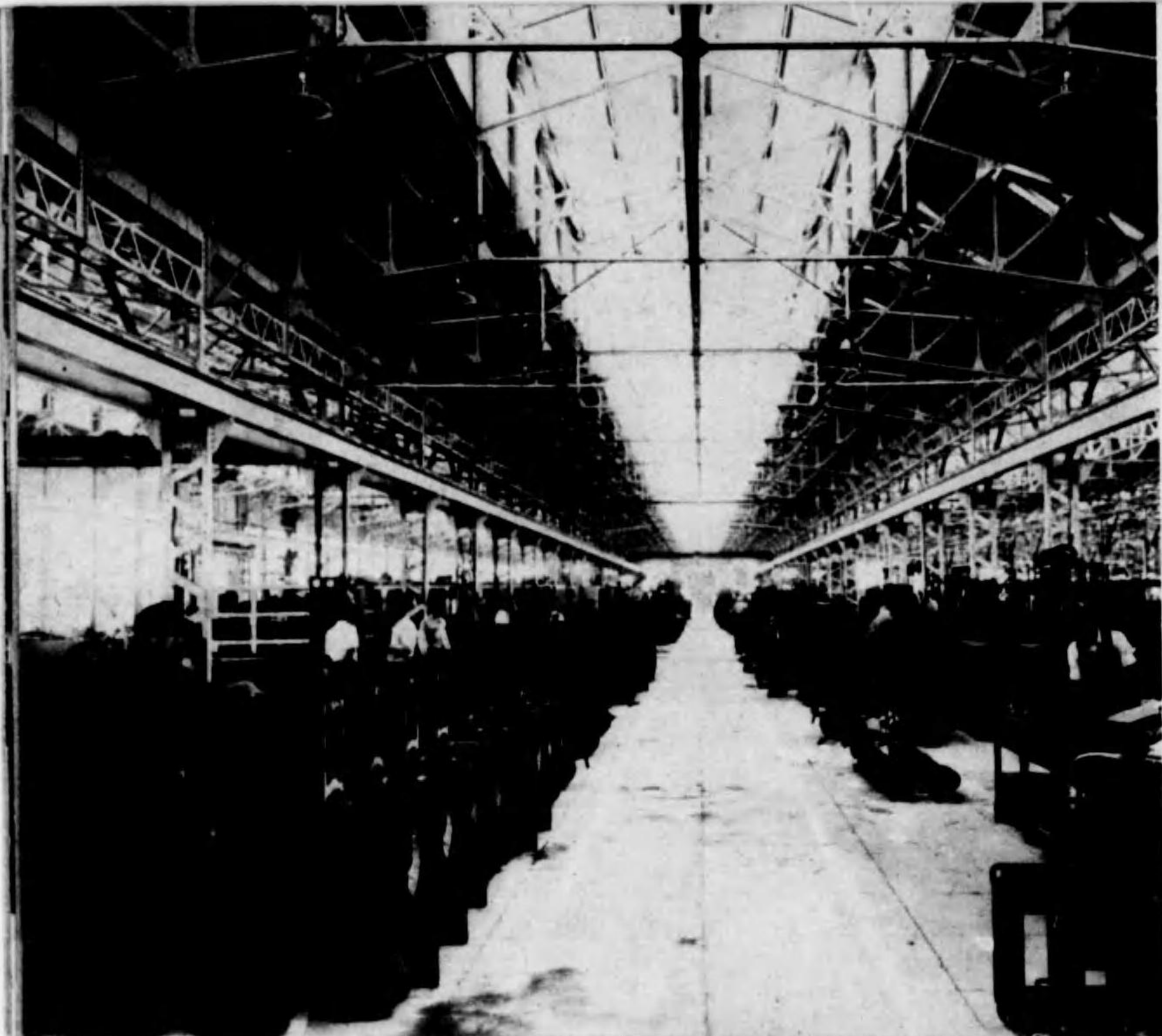
尙當工場敷地は約四十萬坪の遼大なるものであり、諸施設の完備増設は今後を約束されるもの多く、將來の限りない飛躍的發展が期待されて居る次第であります。

位置及び交通

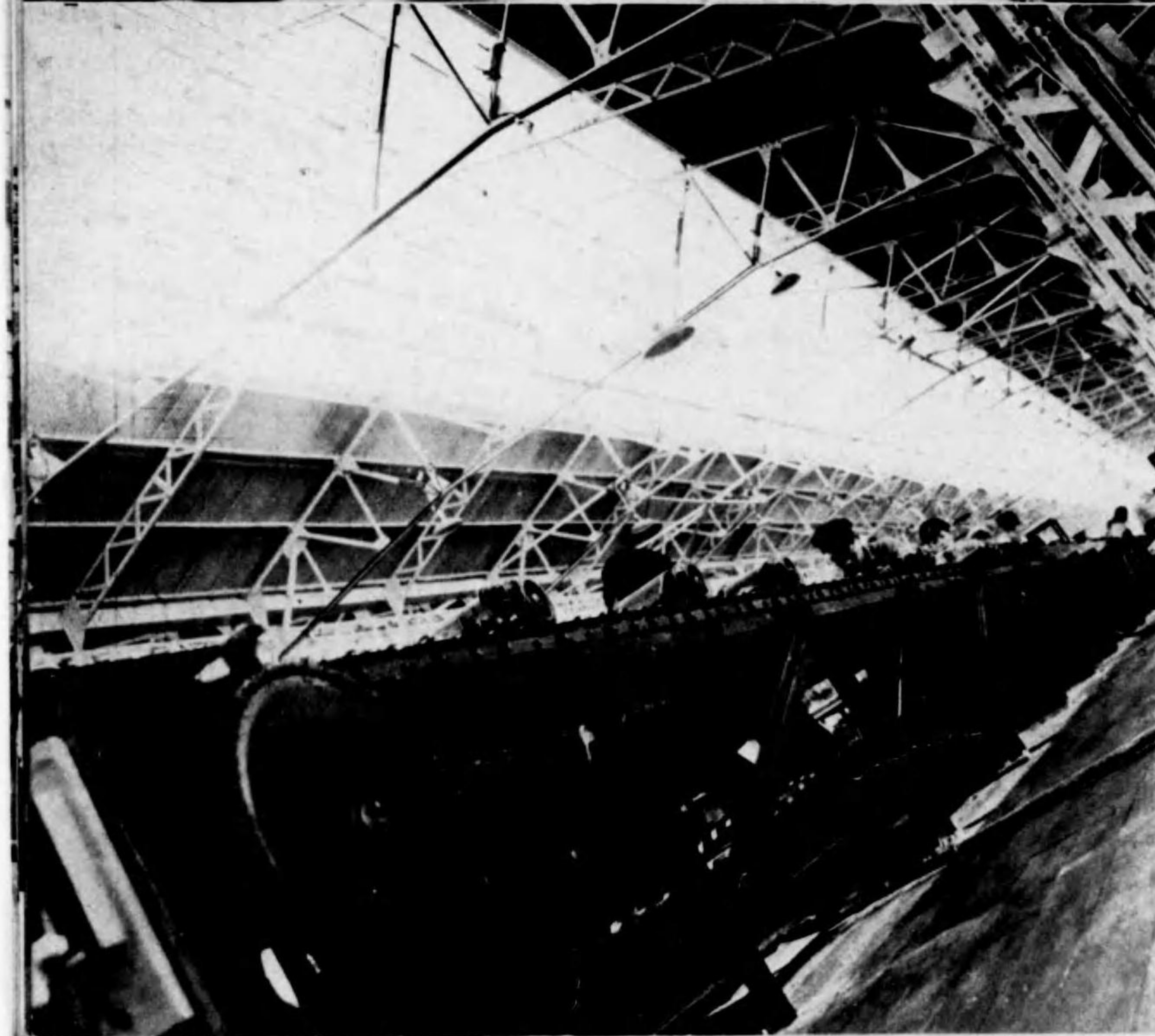
上野驛より常磐線にて北上すれば二時間餘にして茨城縣の中心都市であり且史都として有名な水戸市に達しますが、こゝより更に那珂の清流を渡り北上すること三十分にして當多賀工場の玄關口、常陸多賀驛に到着致します。

當地は弊社發祥の地日立市と隣接し、海岸線に聳立する白雲の日立工場亦阿武隈の支峰に巍然として聳ゆる日嶺の大煙突も指呼の間に視る事が出来ます。又東南は廣漠たる太平洋に臨み空氣清澄行樂地として又特に河原子海水浴場として古くから世人に知られた保健に好適の地であります。尙當地は昭和十四年四月當多賀工場の開設と同時に多賀町と改稱されたもので、近き將來は當工場中心の一大工業都市として飛躍的發展が約束されて居ります。

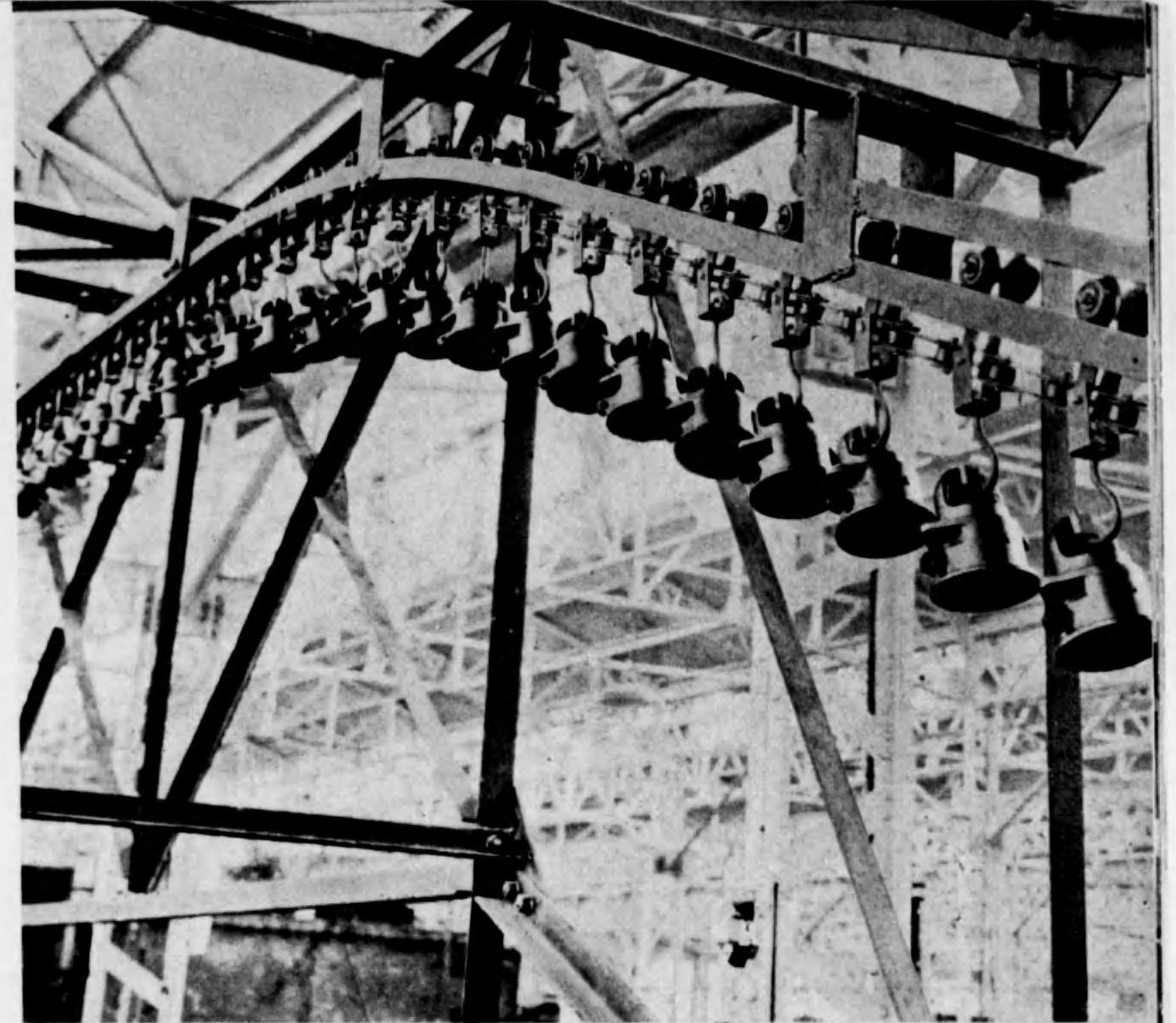




焊接機工場



電装工場



電装工場



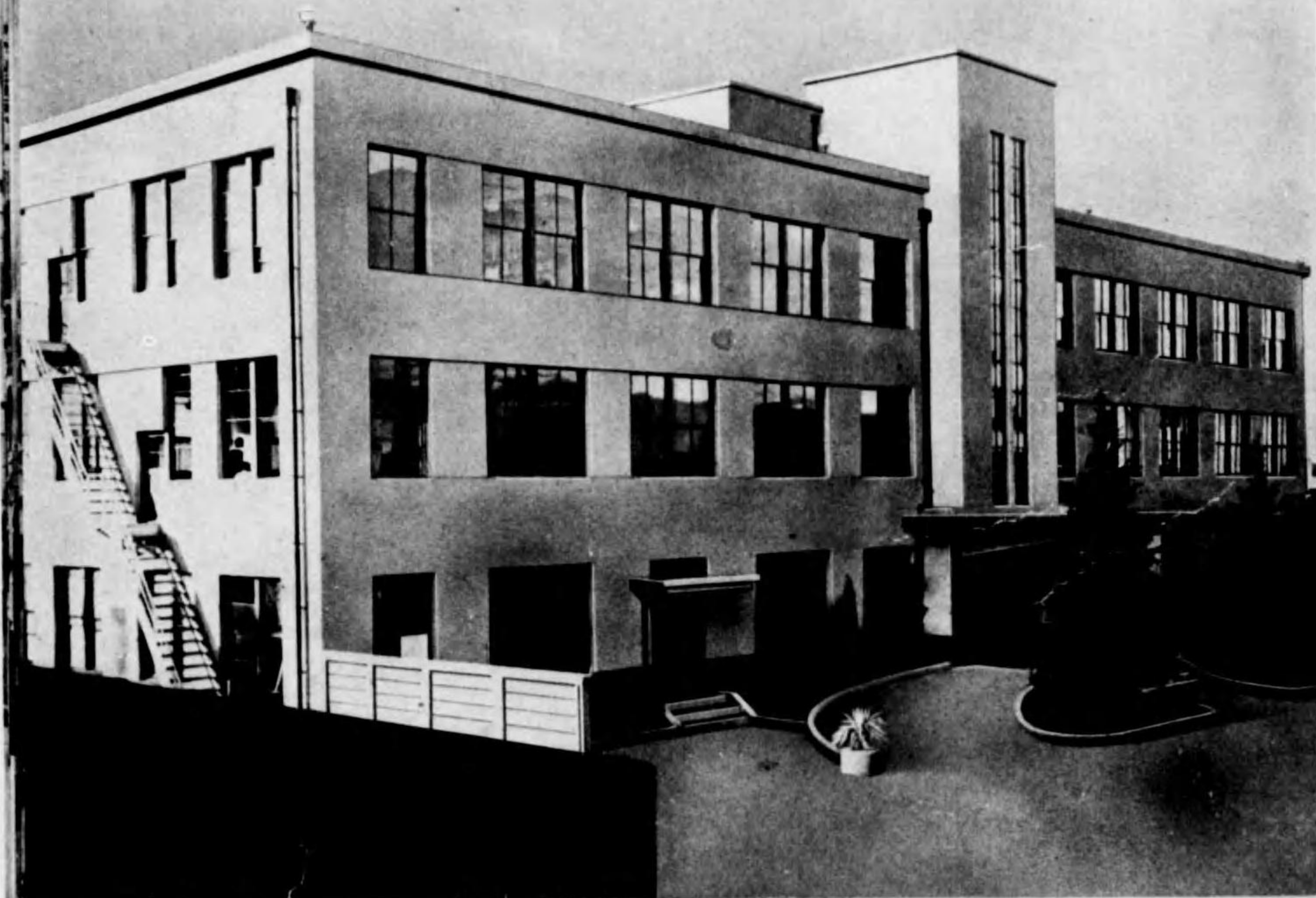
小物工場

龜戸工場

東京市城東區龜戸町 電話 墨田 5571

製品概目

壓縮機 冷凍機 送風機及び換氣扇 電動機 柱上變壓器
電氣收塵裝置その他諸機械



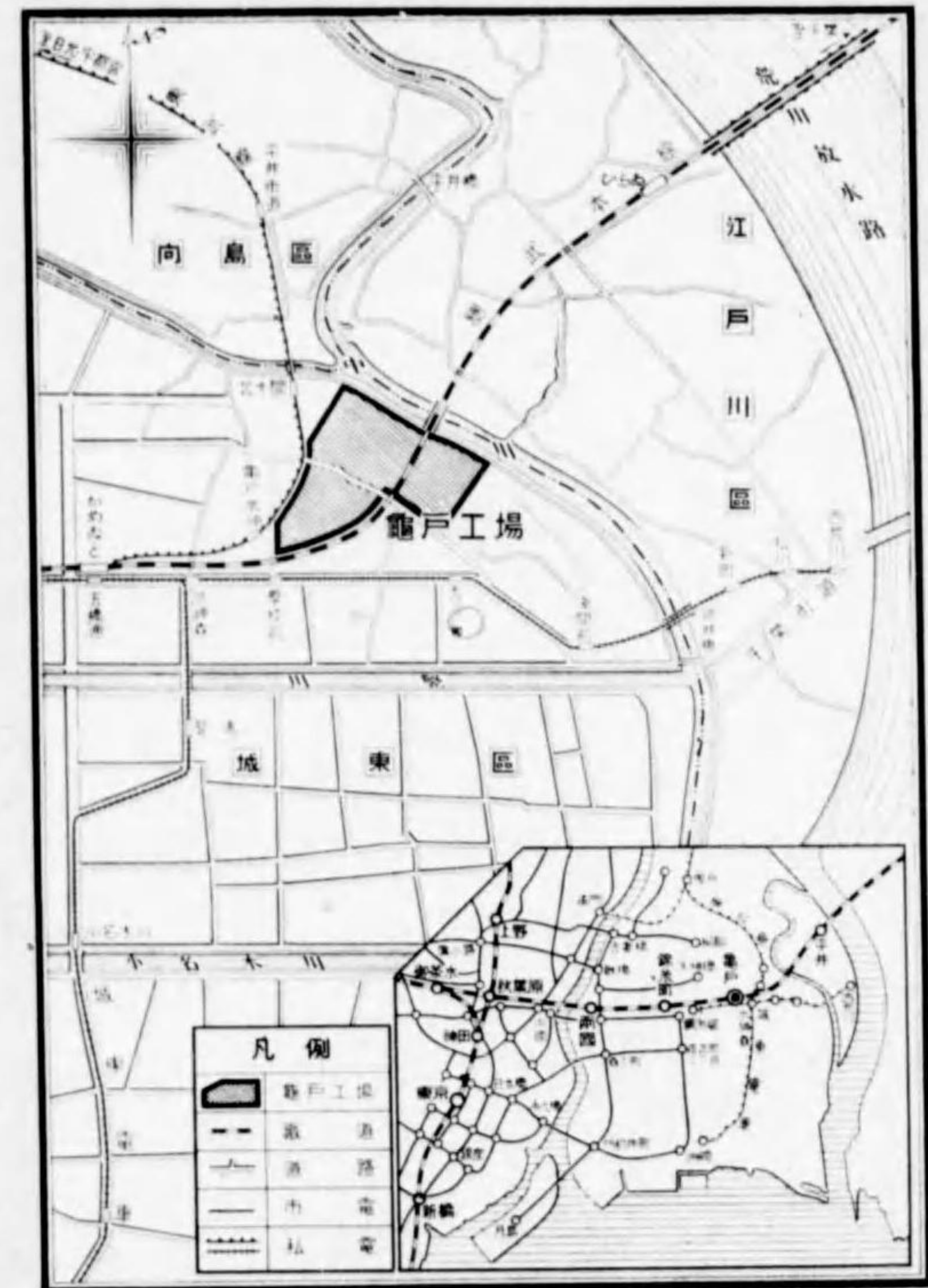
概要

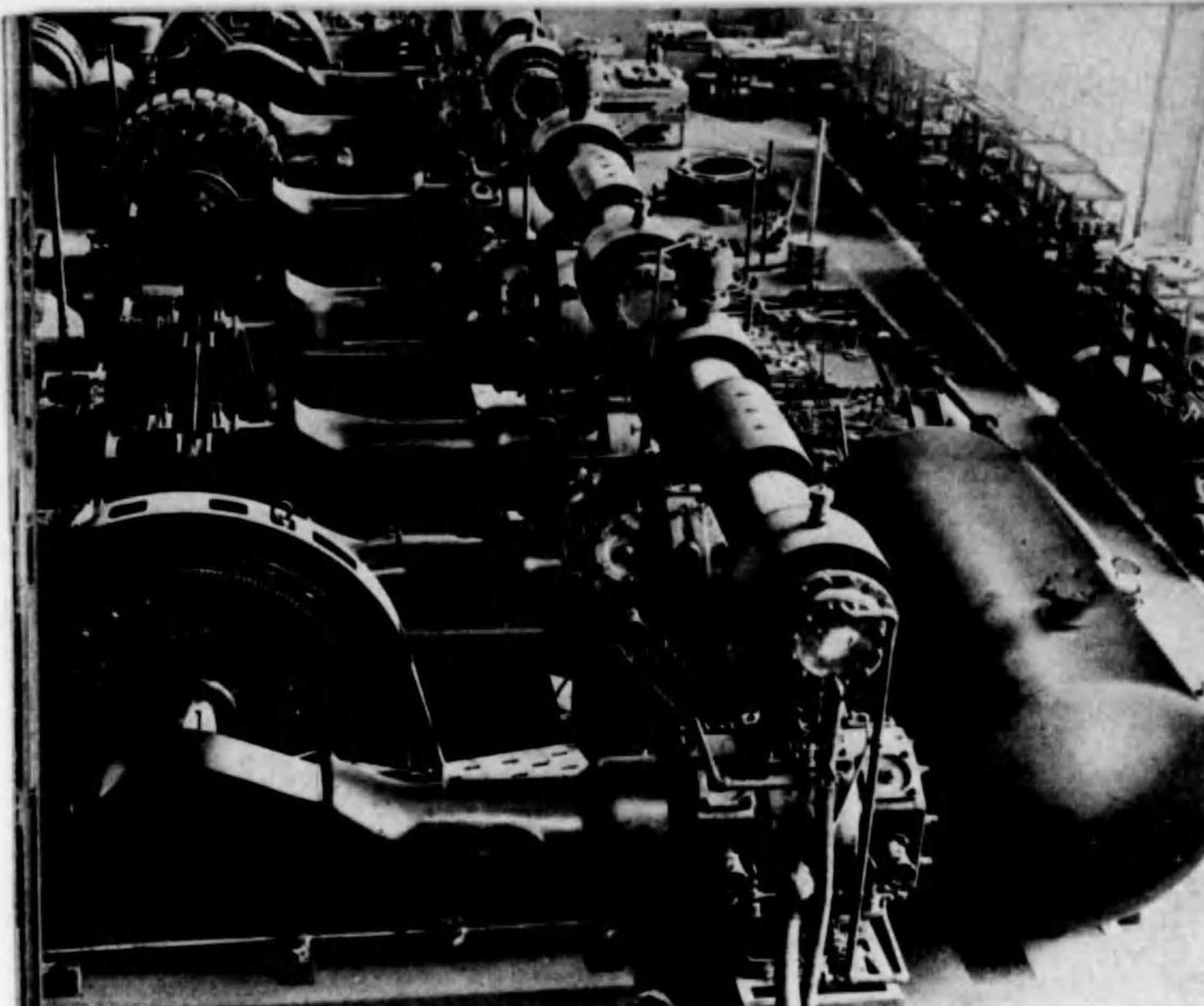
明治四十年久原鑛業所（現滿洲重工業開發株式會社）の附帶事業として創設せられ東京佃島機械製作所と稱したのが當工場の濫觴であります。大正元年佃島製作所と改め大正五年現龜戸の地に移轉、越えて大正七年十月日立製作所と合併し日立製作所龜戸工場と稱し漸次規模を擴大、製作範圍も水車、起重機、捲揚機、送風機、空氣壓縮機等に及び、更に大正九年二月株式會社日立製作所設立後は益々諸施設を充實し、品質第一主義を以て機械工業の發達に努めつゝ今日に至つたものであります。當工場はその歴史が示す通り、古くより日立工場と共に弊社發展の根幹として重要な役割を演じたもので、支那事變勃發と共に躍進狀況には一層の拍車をかけられ、その生産高、機械設備、従業員等の激増振りは實に目覺しいものがあります。最近龜戸工場の新設と共に一部製作を移し、生産の合理化を圖り、製作技術はより高度化へと進んで居ります。

位置及び交通

帝都の東、中川のほとりに聳え立つ當工場は遠く北に筑波を望み、西に富士の靈峯を仰いで清澄なる空気に包まれ、總武本線に依て旅行する人々は正に帝都を離れんとする時、近代的裝備を爲した工場群を發見して眼を瞭るのが當であります。

省線 總武本線龜戸驛より東方約十町
又同驛から東武線に乗換へて北十間停留所下車約三町
私電 (1) 城東電車學校前又はモスリ
ン裏停留所下車約四丁
(2) 淺草雷門より東武線北十間停留所下車約三町
市電 柳島停留所より約十八町又は龜戸天神橋終點から約十四町





大型壓縮機工場

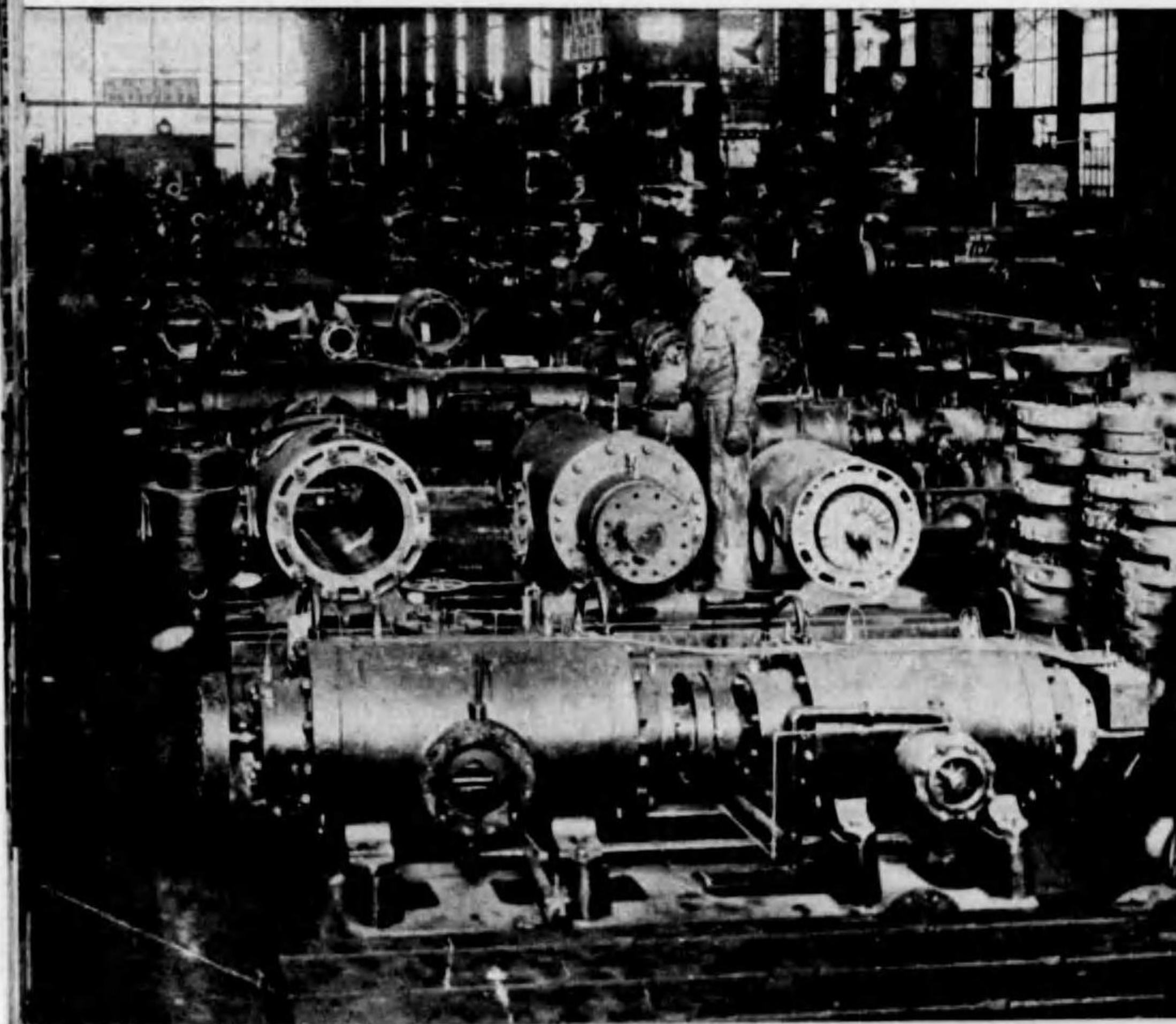


電機捲線工場

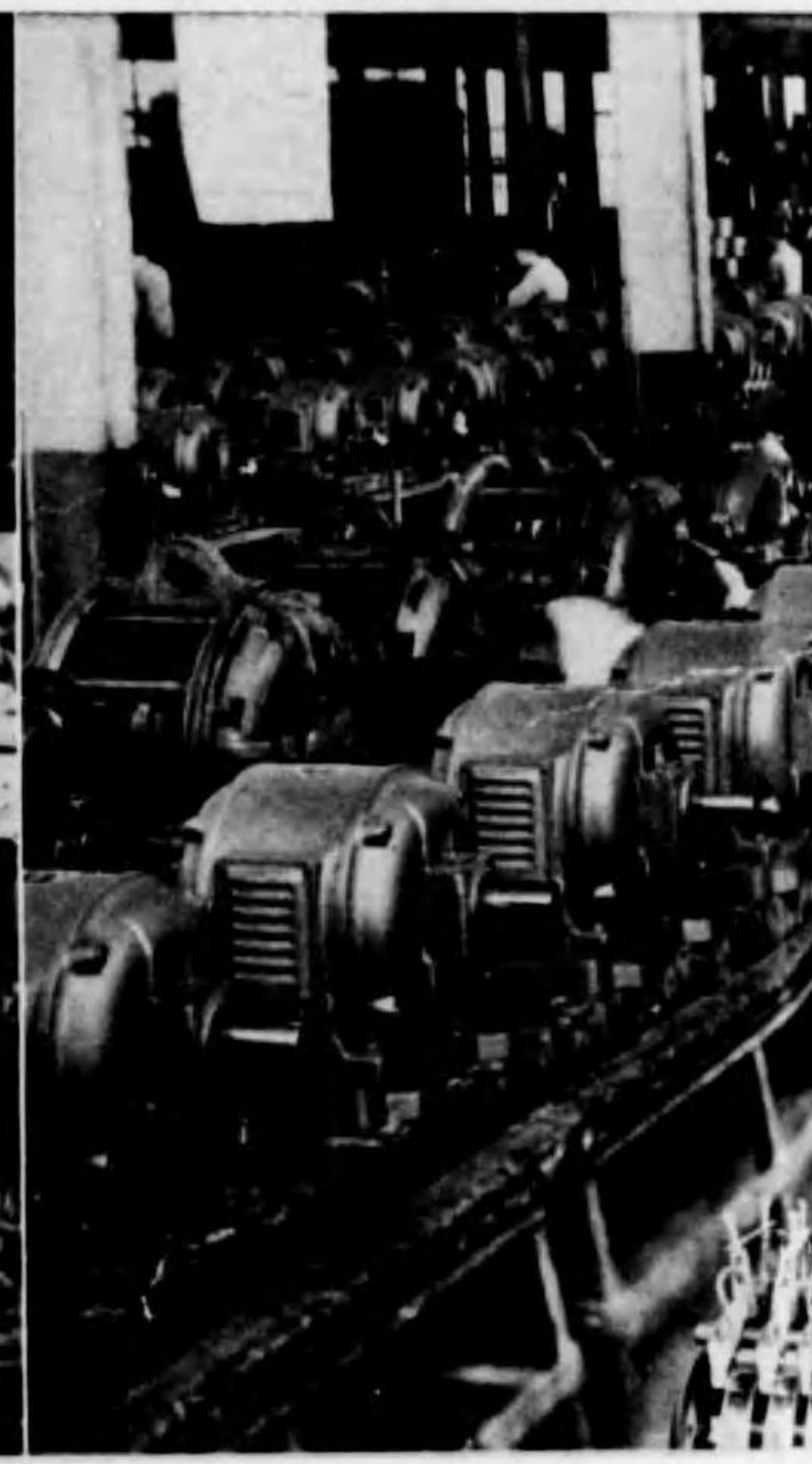


冷凍機工場

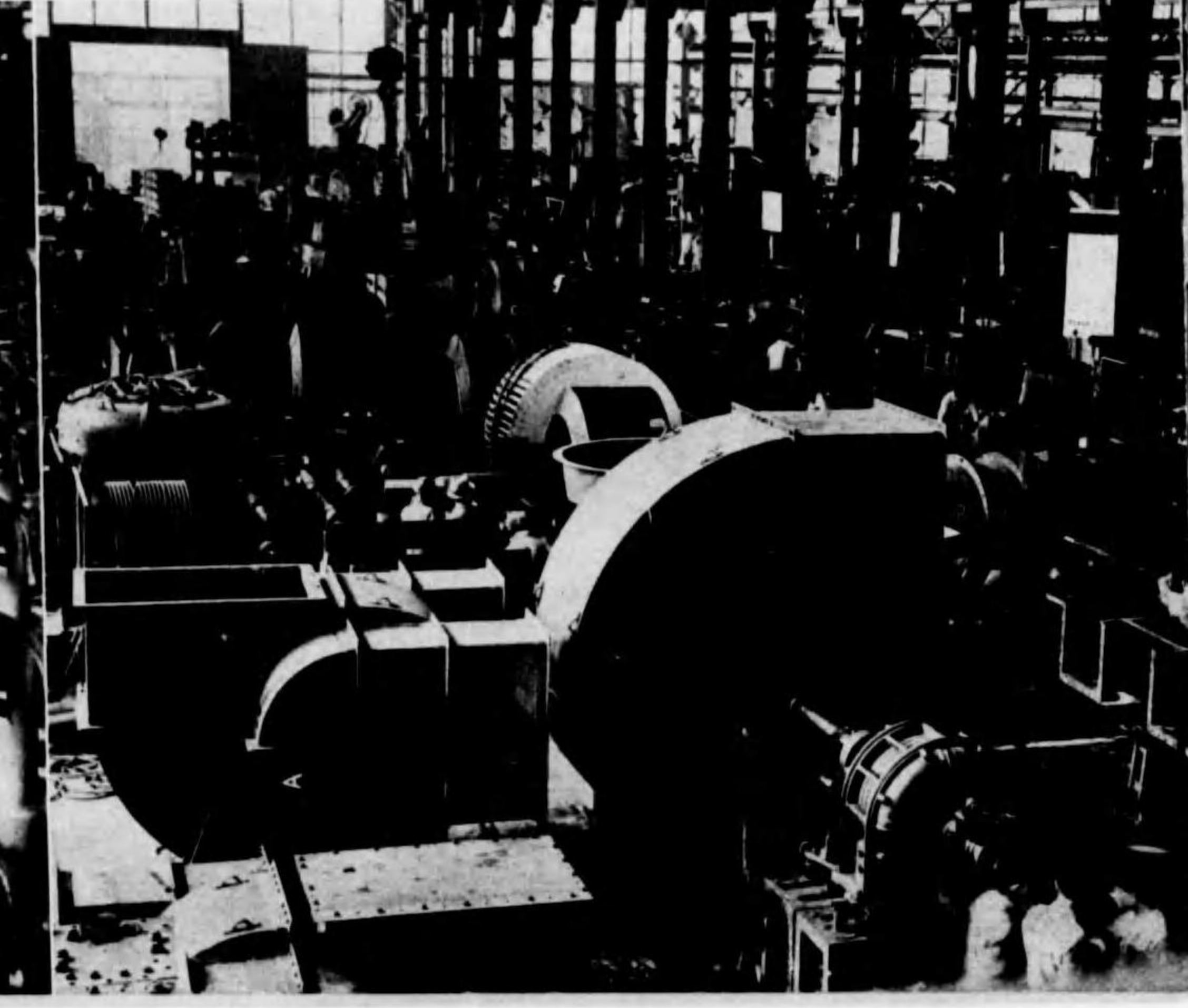
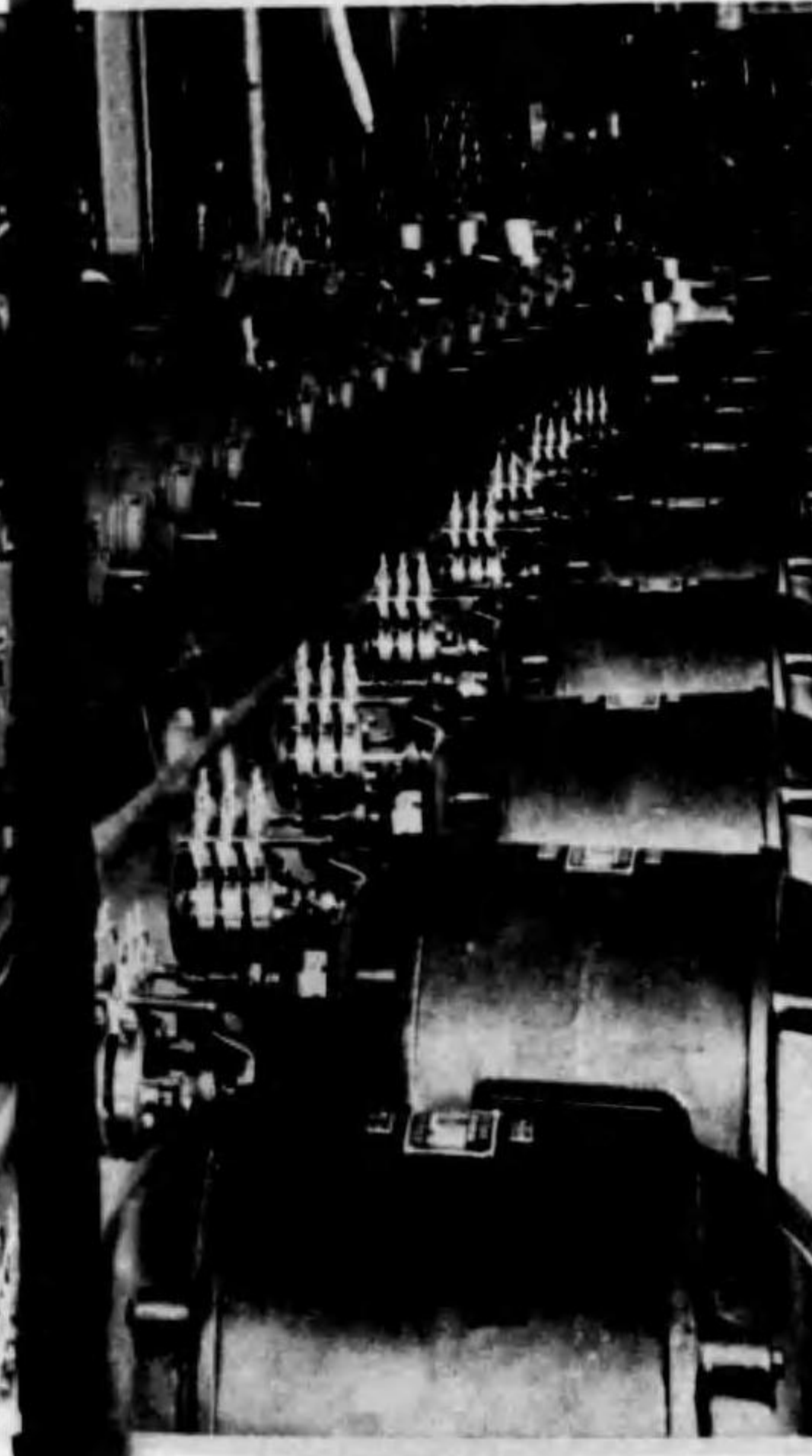
回轉壓縮機工場



電機工場塗料場



送風機工場

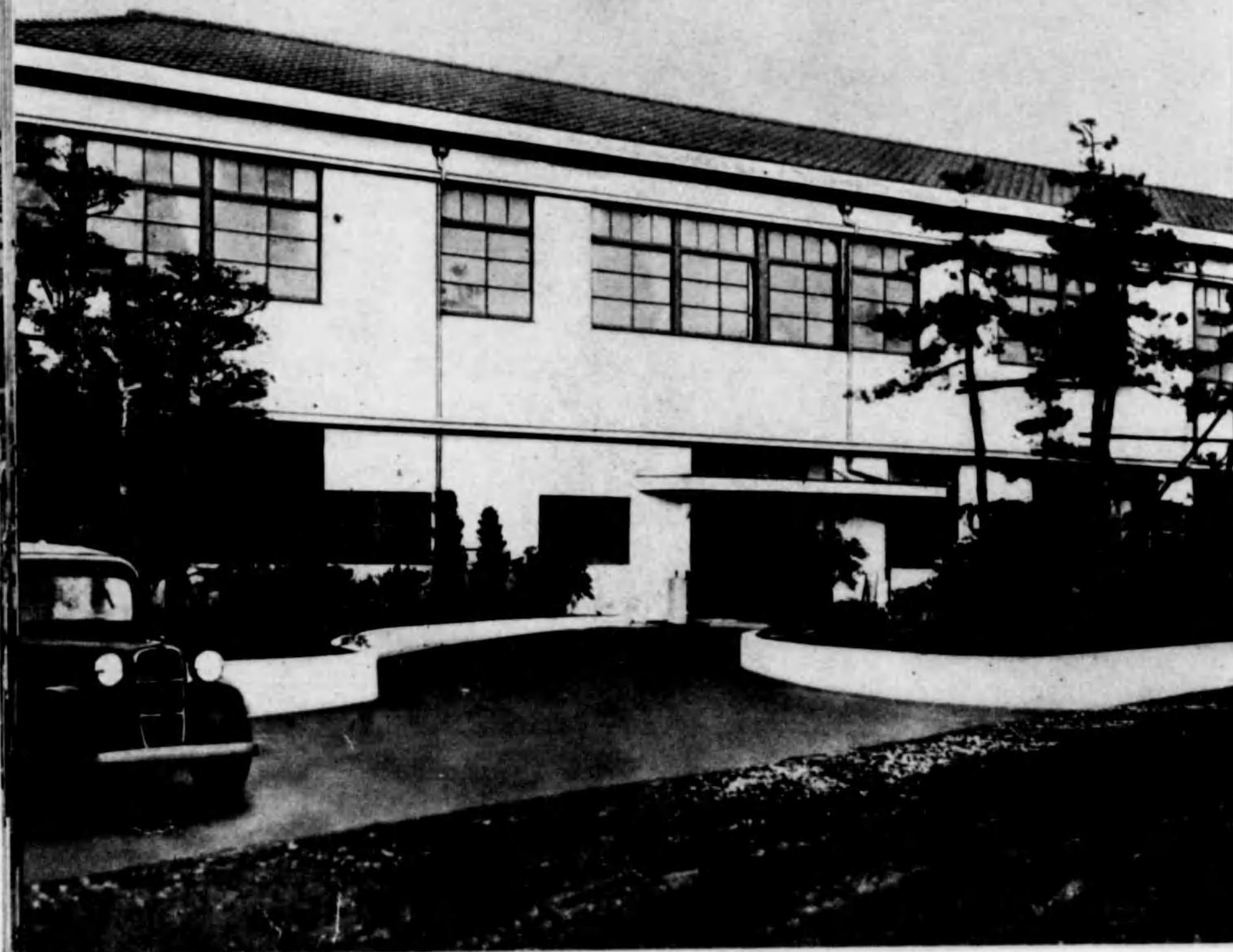


龜有工場

東京市足立区大谷田町 電話新宿65

製品概目

起重機 輸送機 捲揚機 デーゼル機関 デーゼル自動車
ポンプ 各種鑄物製品 鑛山用機械その他諸機械



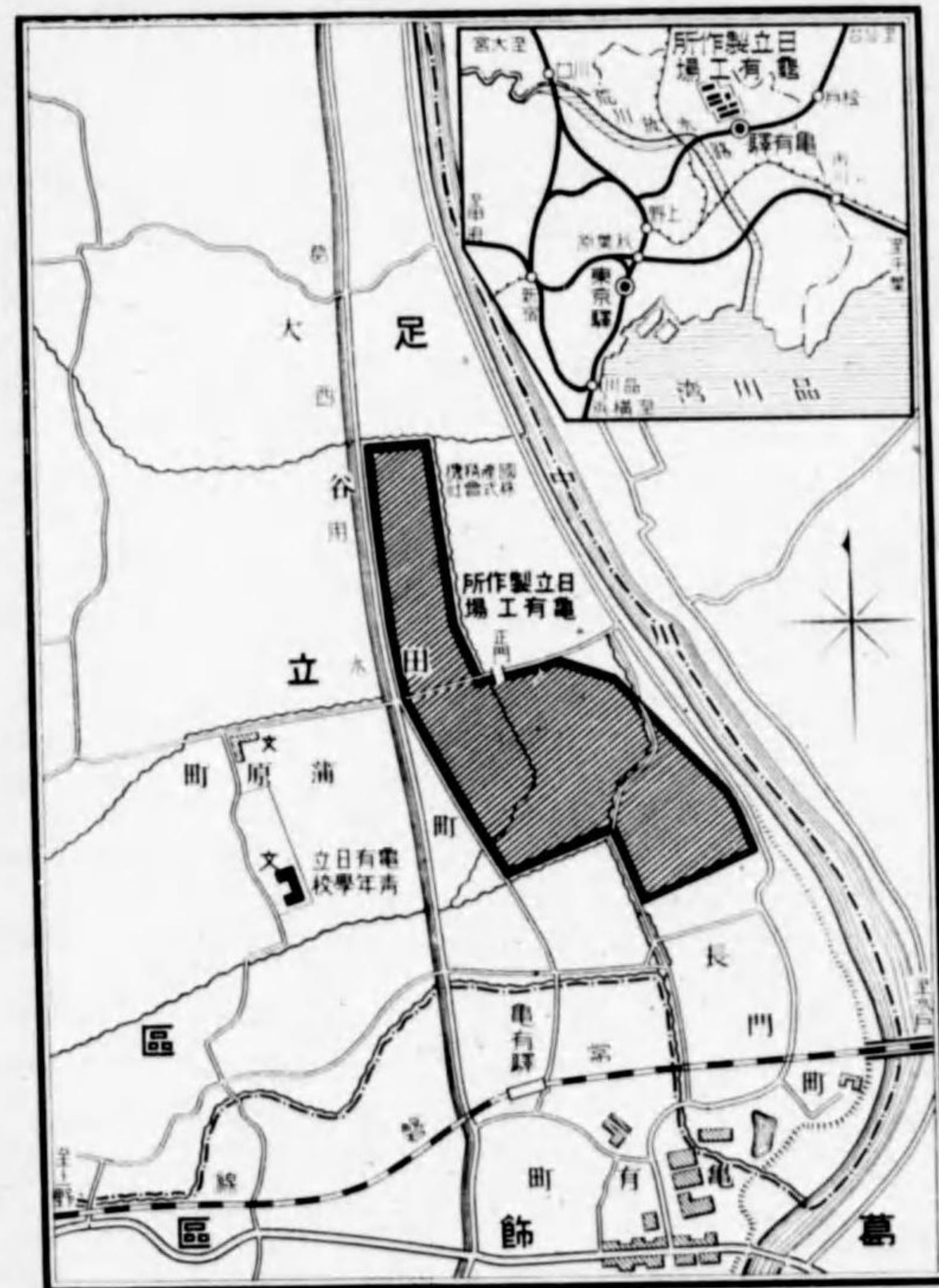
概要

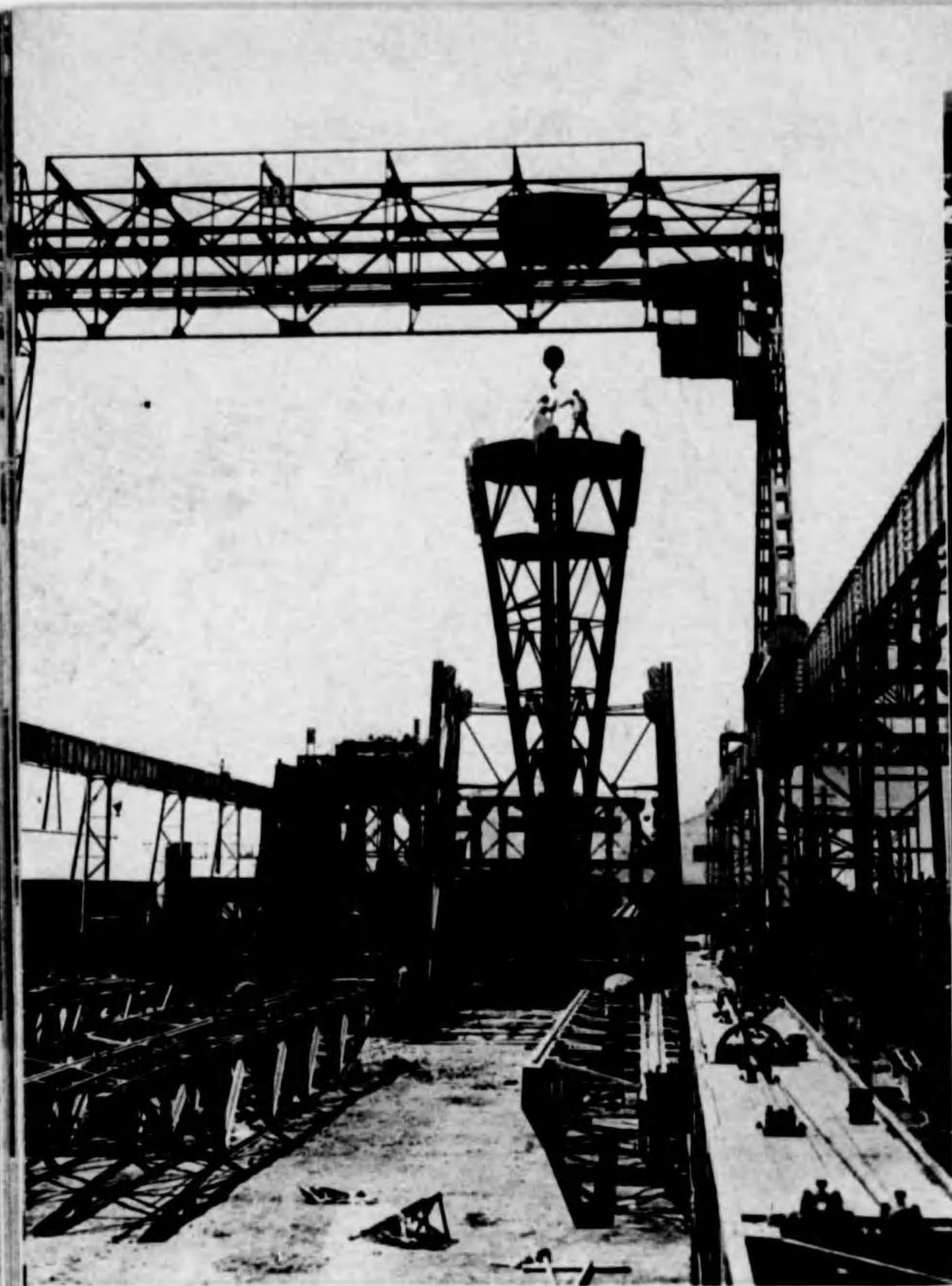
時局の進展に伴ひ弊社の受注は隆々發展擴張の一路を進む結果、龜戸工場もその生産規模に於ては到底需要を満す可くもなく、敷地の狹隘を告ぐるに至り、昭和十二年三月新に現在の地をトし同工場の一翼として建設せられたものが當龜有工場であります。即ち昭和十二年九月鑄物工場を完成したのに始まり、以後順次爾餘の設備を竣工、着々裝備を進め遂に同十三年九月龜戸工場より分離獨立し、日立製作所龜有工場と稱し現在に至つたものであります。當工場は數多き弊社工場中でもその建設は新しく、従つて生産設備の斬新さ、生産組織の合理化は他の範とするに足り、三十有餘年の長い間磨かれたる製作技術を以てする當工場製品は遠く海の彼方にまでその光彩を放つて居るものであります。

位置及び交通

當工場は東京驛の東北約15軒の地點に在り、東は中川に沿ひ、遠く北に筑波を望み西に富士の靈峰を仰ぐ關東平野に位して居る上に周圍が多く田園でありますので常に清爽なる空気に包まれ保健上好條件に恵まれて居るばかりでなく、作業能率も極めて優秀な處であります。又この様な場所ではありますが交通の便は極めて良く帝都の北玄關上野驛より常盤線電車にて僅かに16分で達します。

- 省線 常盤線龜有驛より北約十丁
- 京成バス 淺草雷門より乗車、龜有終點より北方約十丁
- 市バス 北千住より乗車、綾瀬川停留所より東方約十丁
- 自動車 丸ノ内より25分道程(千住新橋を過ぎて右折)





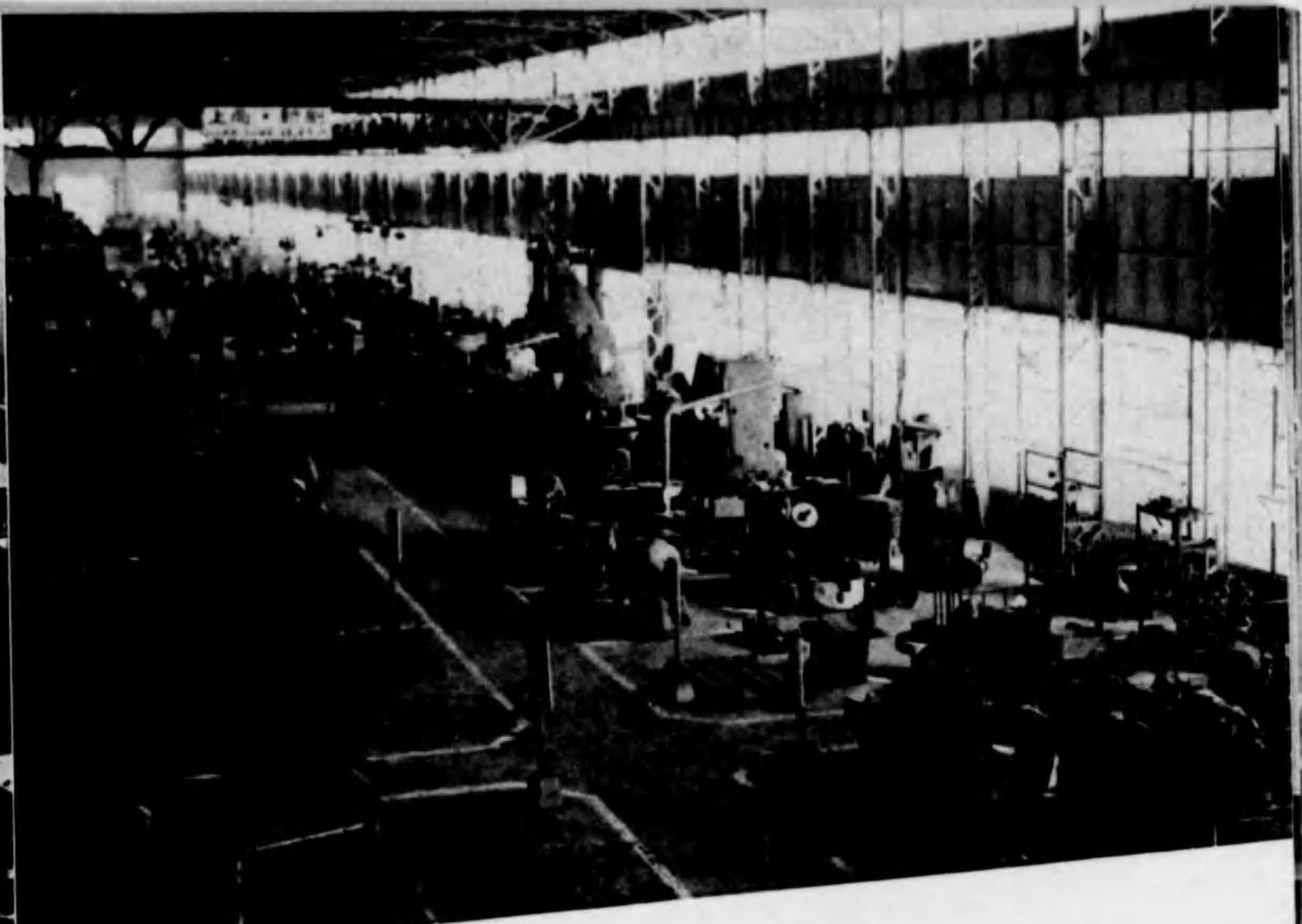
起重機組立場



中子製作工場

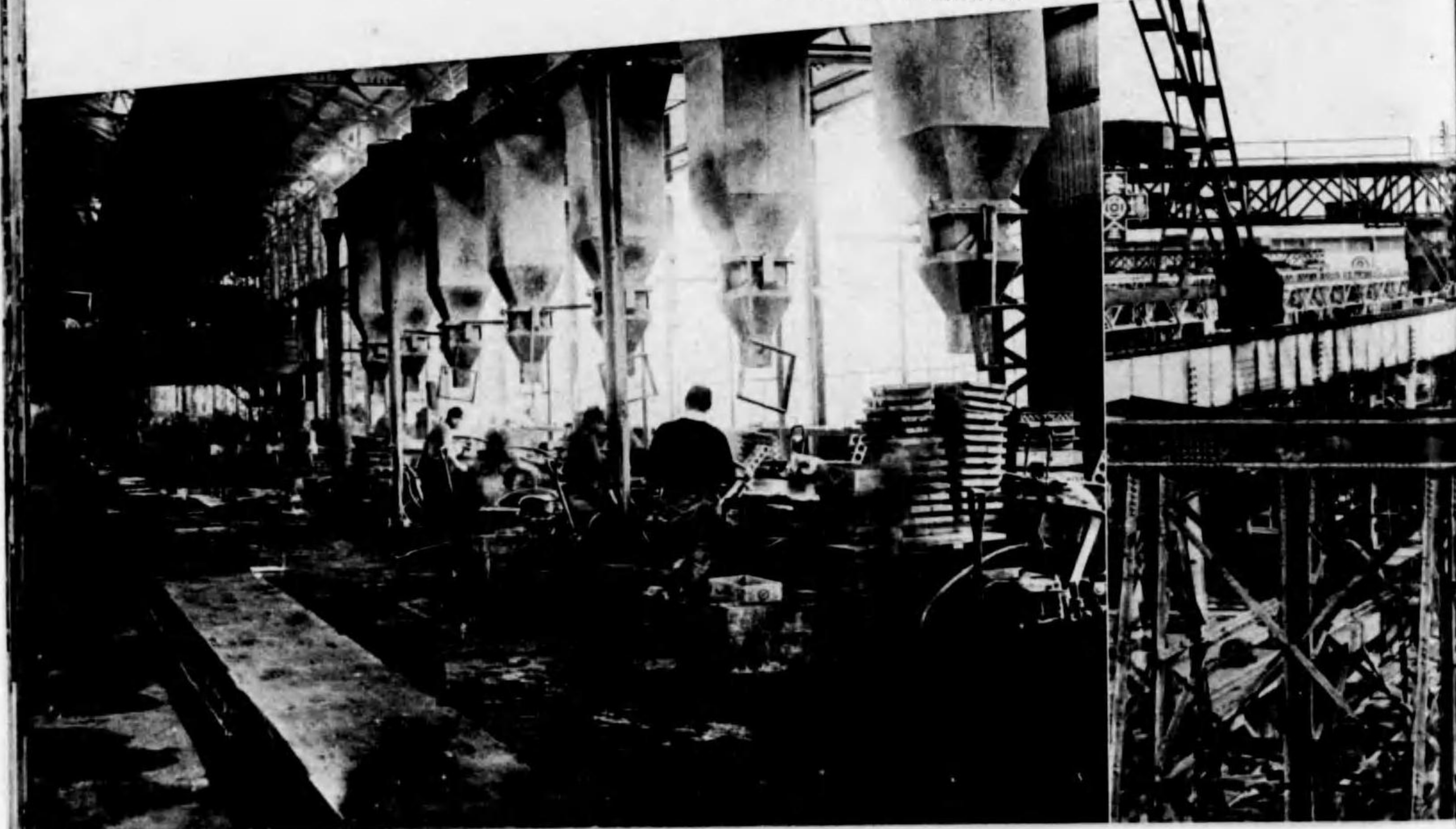


精機工場

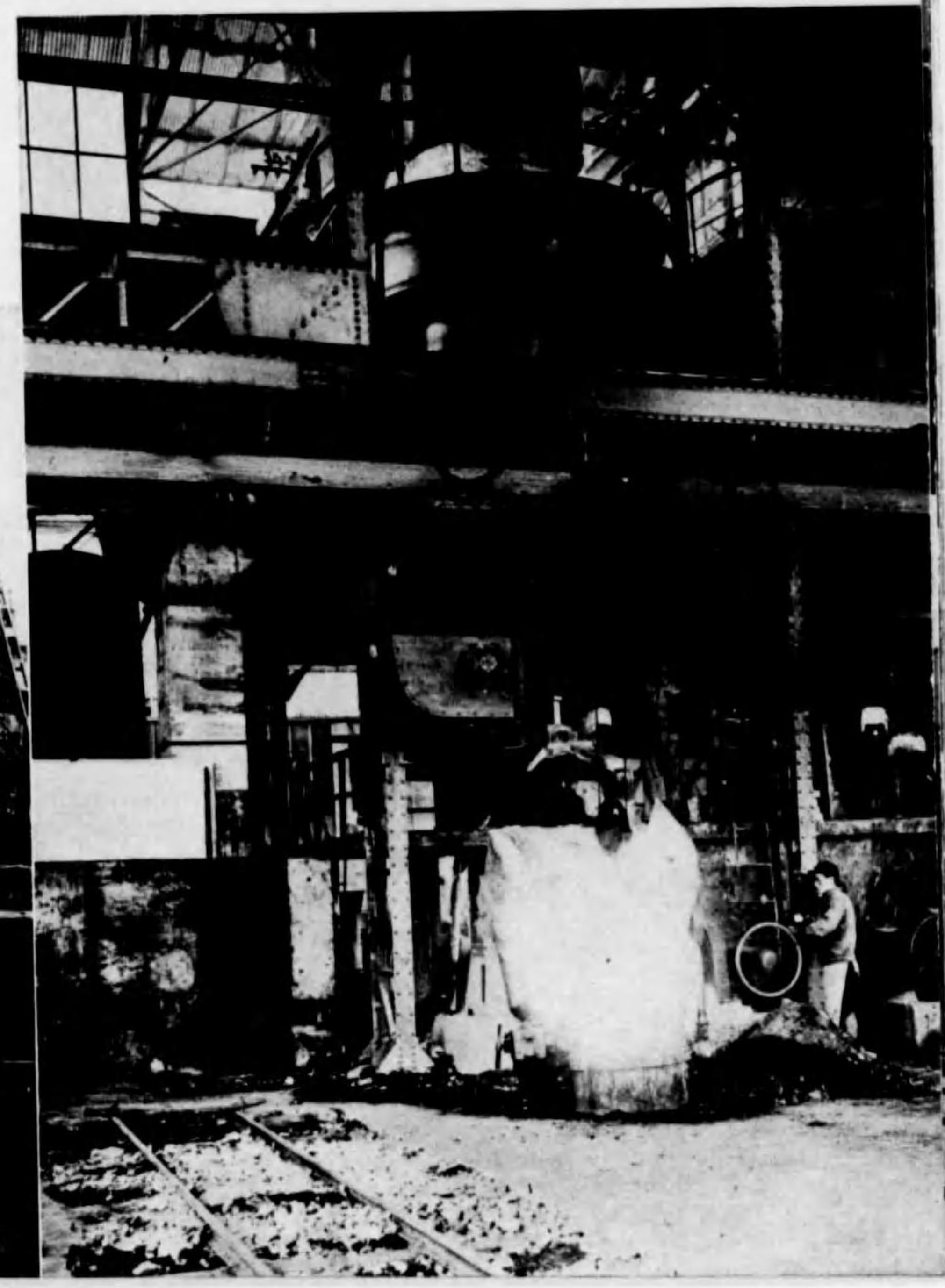
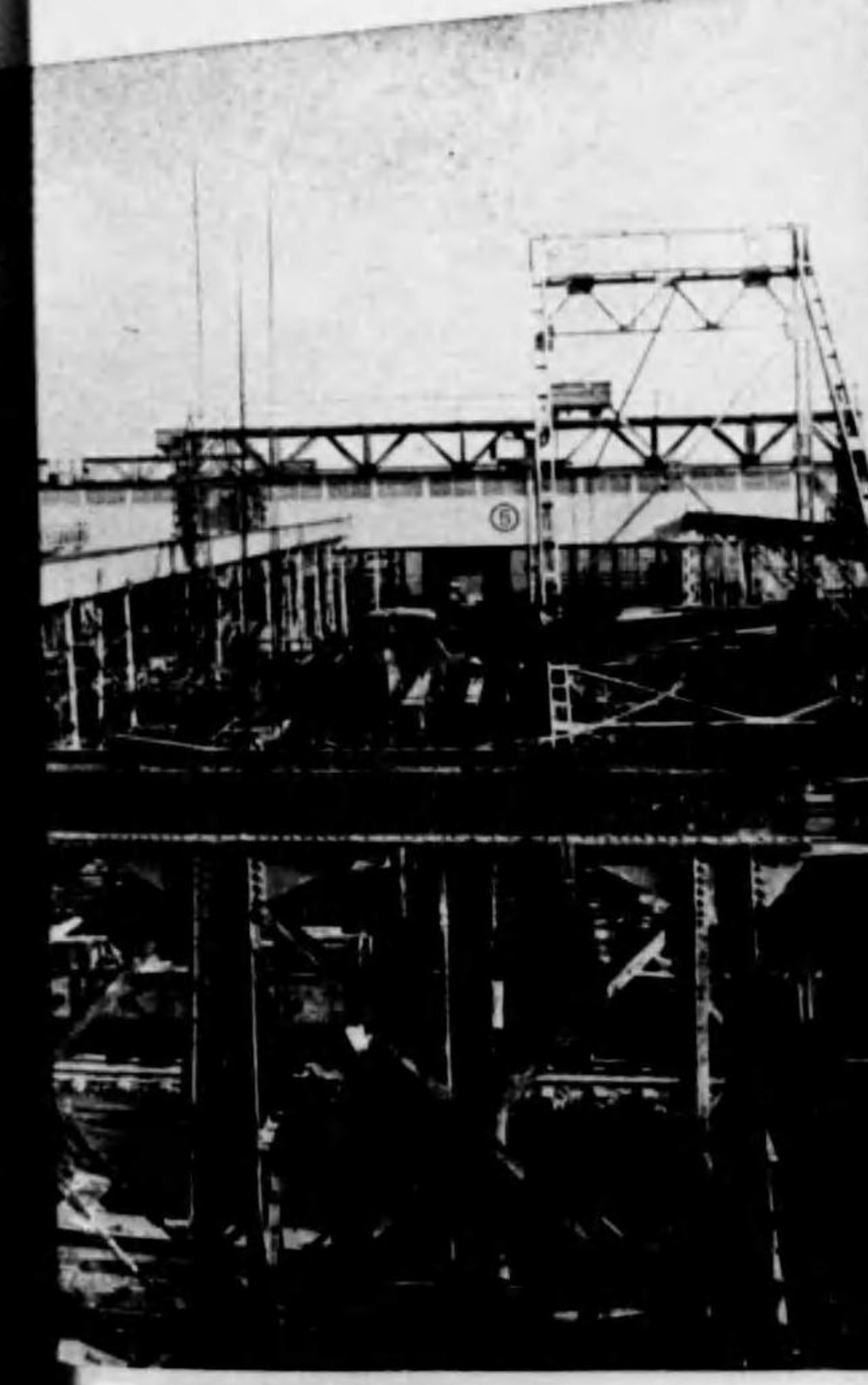


熔鉄爐

コンベヤーシステムによる鑄造作業



起重機試驗場



笠戸工場

下松市大字東豊井宮ノ州濱 電話下松41

製品概目

蒸汽機関車 内燃機関車 その他各種機関車 客車 貨車 電車用車等

HK汽罐 ロコモビル 道路輾壓機



（英海軍省刊）
（徳山支那の）

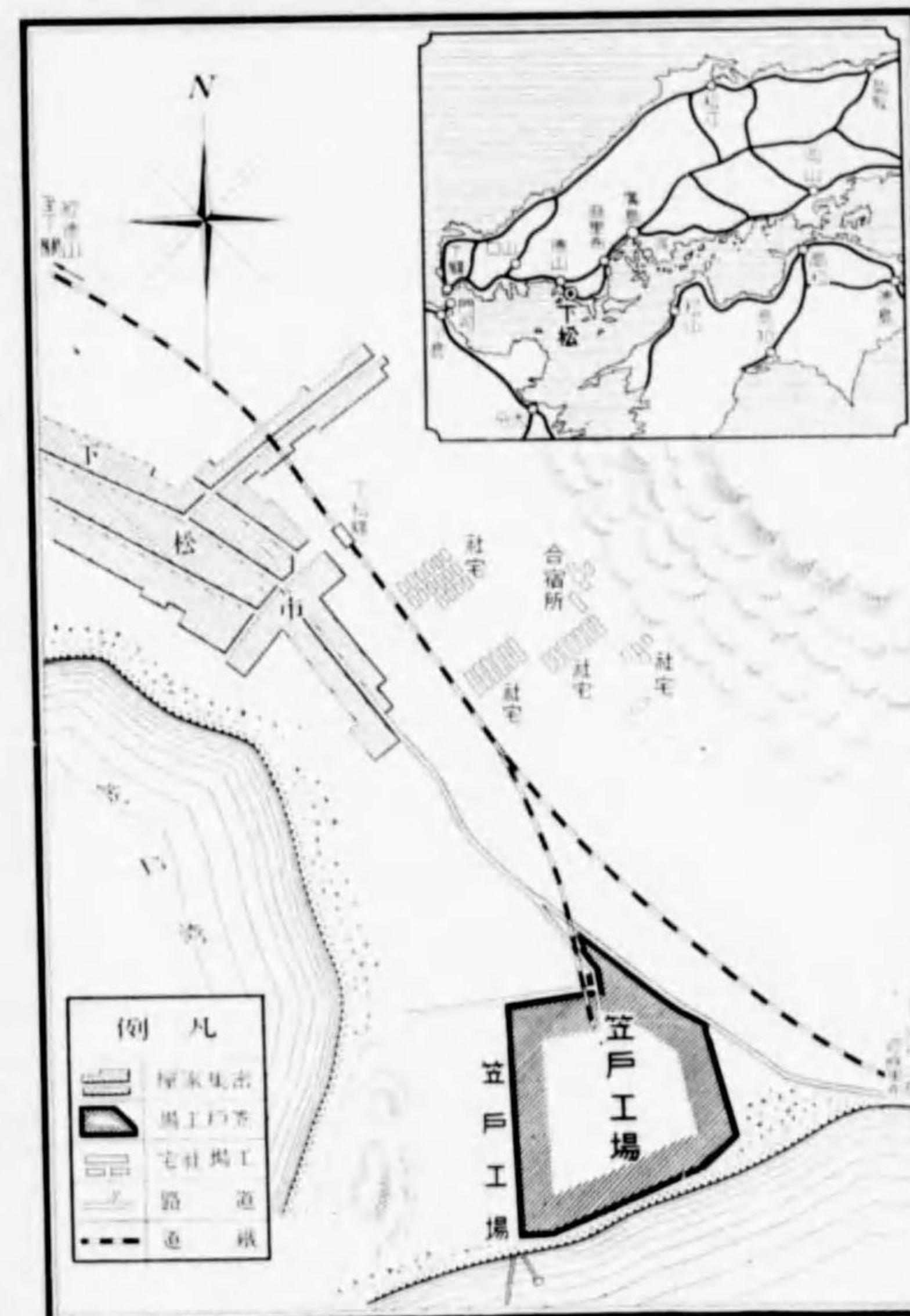
概要

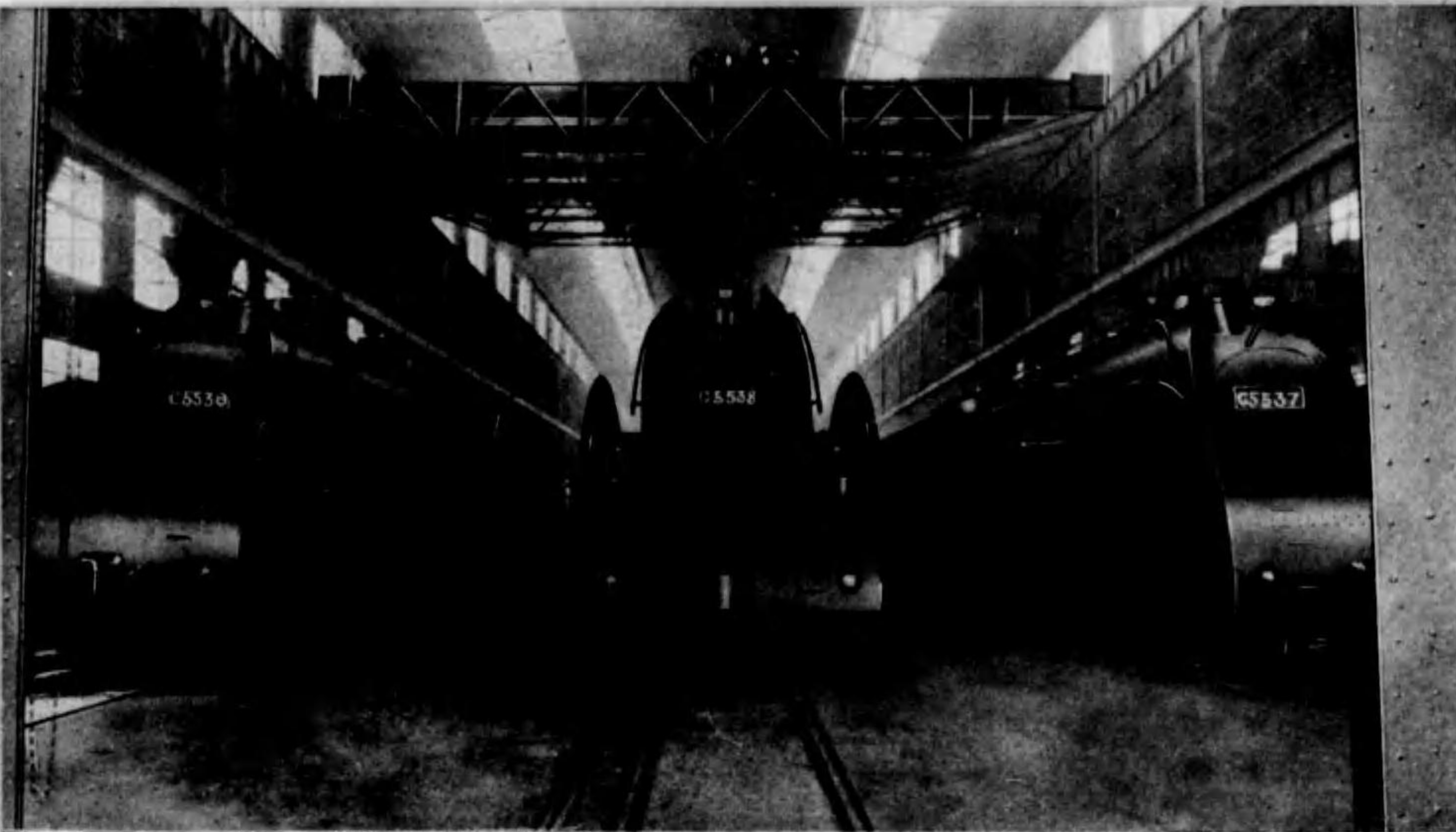
大正七年二月日本汽船株式会社笠戸造船所として操業し主として艦船用諸機械類の製作に従事し、後車輛製造に轉じ、同九年鐵道省の指定工場となり同十年二月弊社の經營に移り日立製作所笠戸工場と改名、同十三年四月本邦最初の大形電氣機關車を完成し本邦車輛界に一新紀元を劃しました。昭和五年ディーゼル機關車を、同八年大型ディーゼル電氣機關車を製作し、同十二年客貨車工場を新設して客車、貨車及び電車の大々的製造を開始致しましたが昭和十四年四月電氣機關車はその製作を日立工場に移管し當工場は蒸汽機關車及客貨車の専門工場となり、以來設備に一層の充實を加へて今日に至つて居ります。斯の如く當工場は豊富な經驗と完全な設備とを以て本邦車輛界に重きをなして居り、特に目下大陸開發の先驅として鐵道開發の急務なる時、當工場の運輸交通界に占める地位益々重く、一層の精進を續けるものであります。

位置及び交通

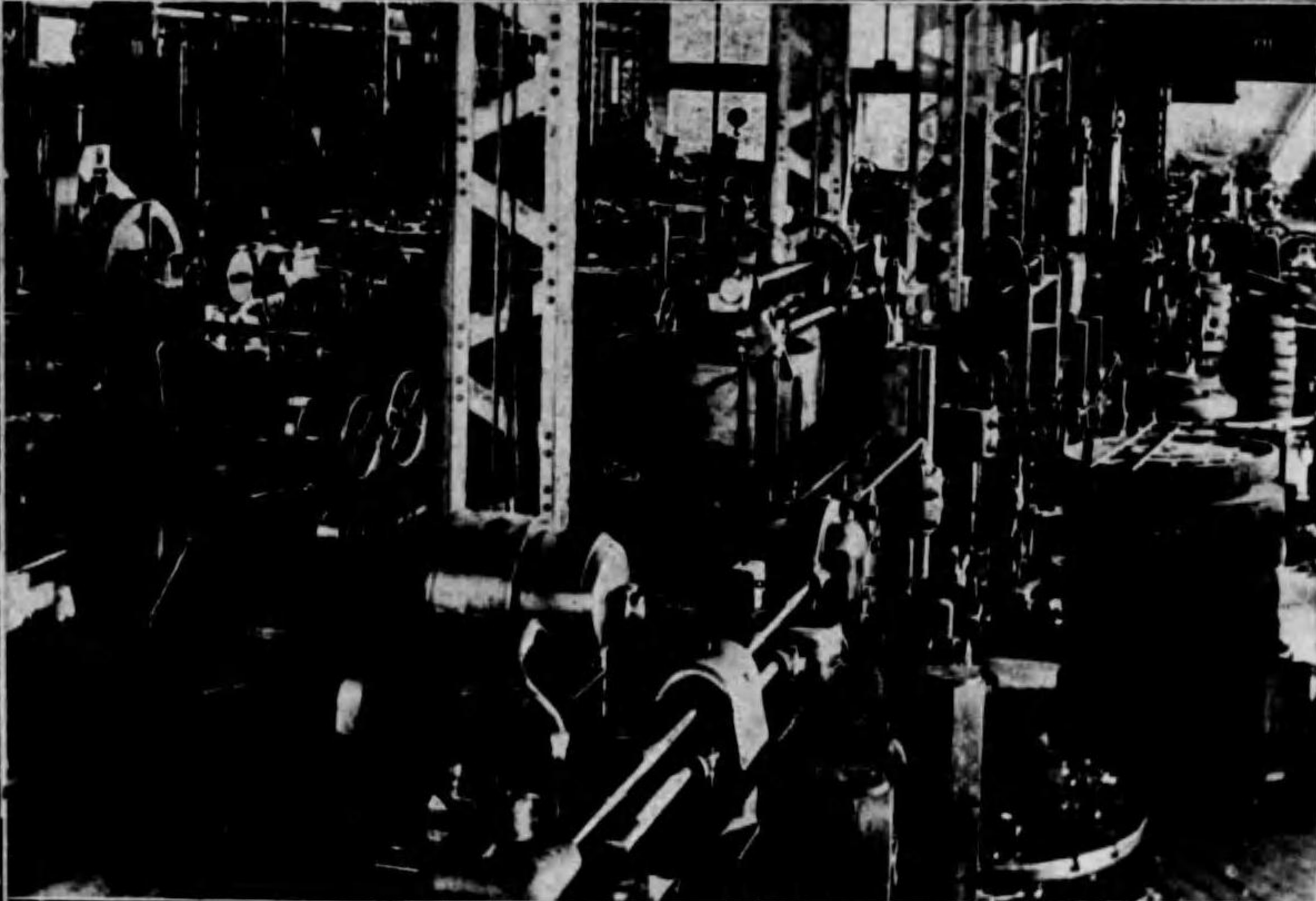
當工場は柳井線下松驛の東南約2軒、瀬戸内海に面した風光絶佳の地に在ります。柳井線と云ふのは山陽本線を廣島から約40分下つた麻里布驛から徳山驛まで更に海岸に近い所を通つて居る鐵道でありまして、車中は瀬戸内海の絶景に時の移るのを忘れる事が出来ます。汽車が下松驛に近づくと左手に近代的装備を爲した一大工場群が巍然と瀬戸内海を睥睨して居るのが發見され、旅行者はひとしく眼を瞭るのが常でありまして、これこそ弊社が誇る笠戸工場であります。

當工場は下松驛より専用の引込線があり材料及び製品の運搬の外に製品の試運轉をこゝで行つて居ります。又各殖民地、滿洲國、支那、馬來、タイ國を初め海外の輸出品は海岸の100噸積荷又を以て丸積荷出され海岸には數千噸級の貨物船を樂に繋留する事が出来ます。

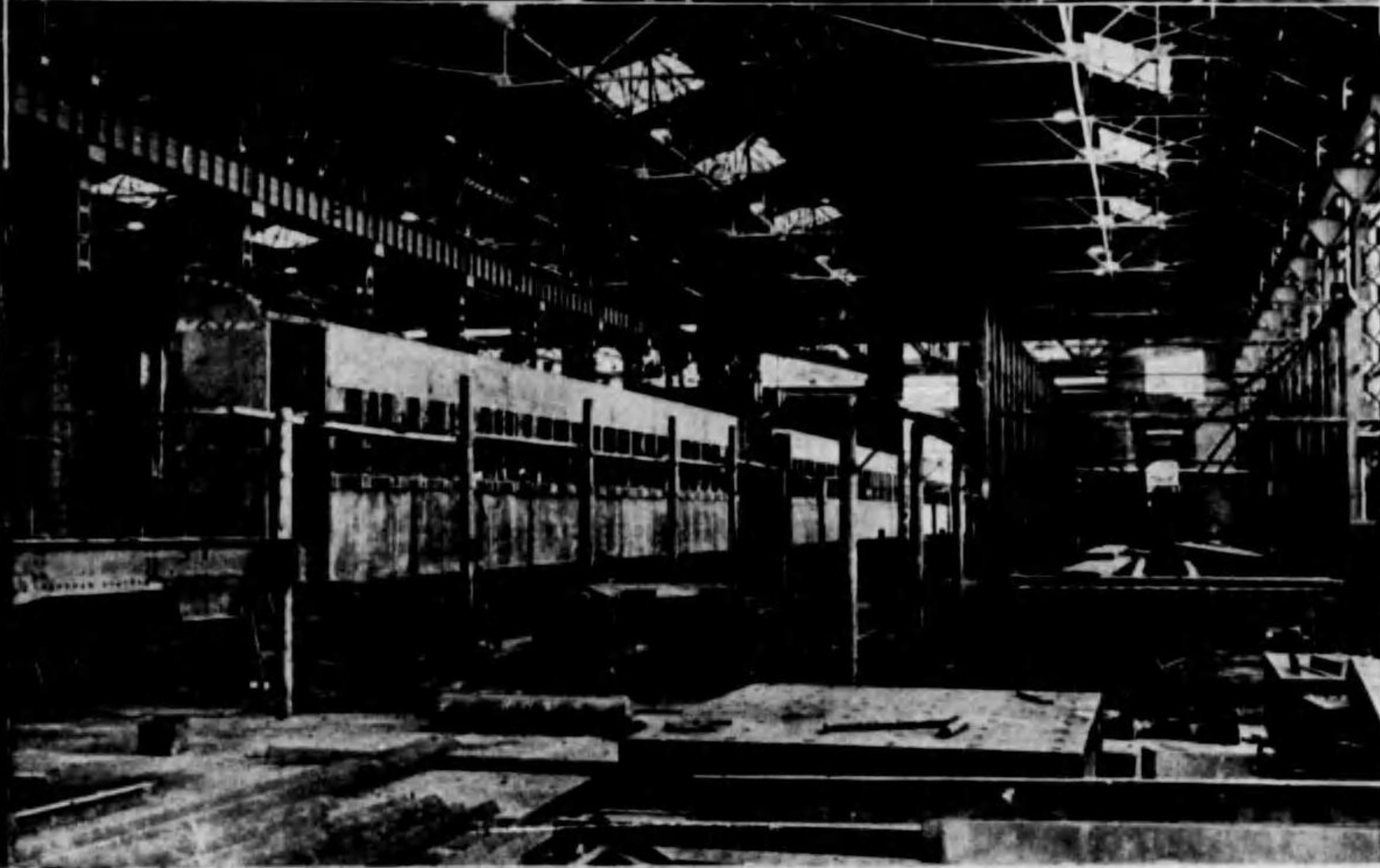




機関車組立工場
(英海軍港務部
徳山支那許可券)

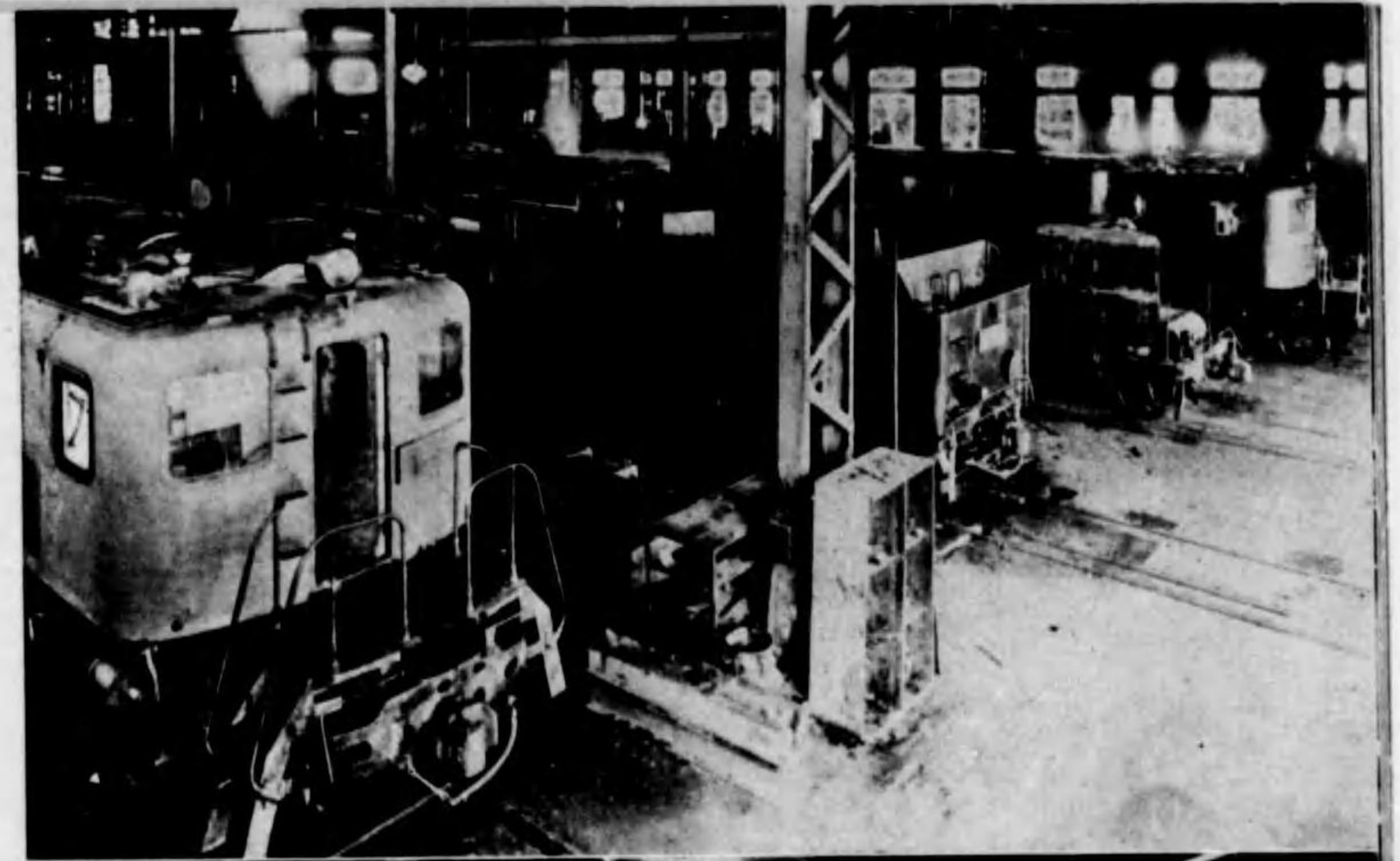


機械工場
(英海軍港務部
徳山支那許可券)

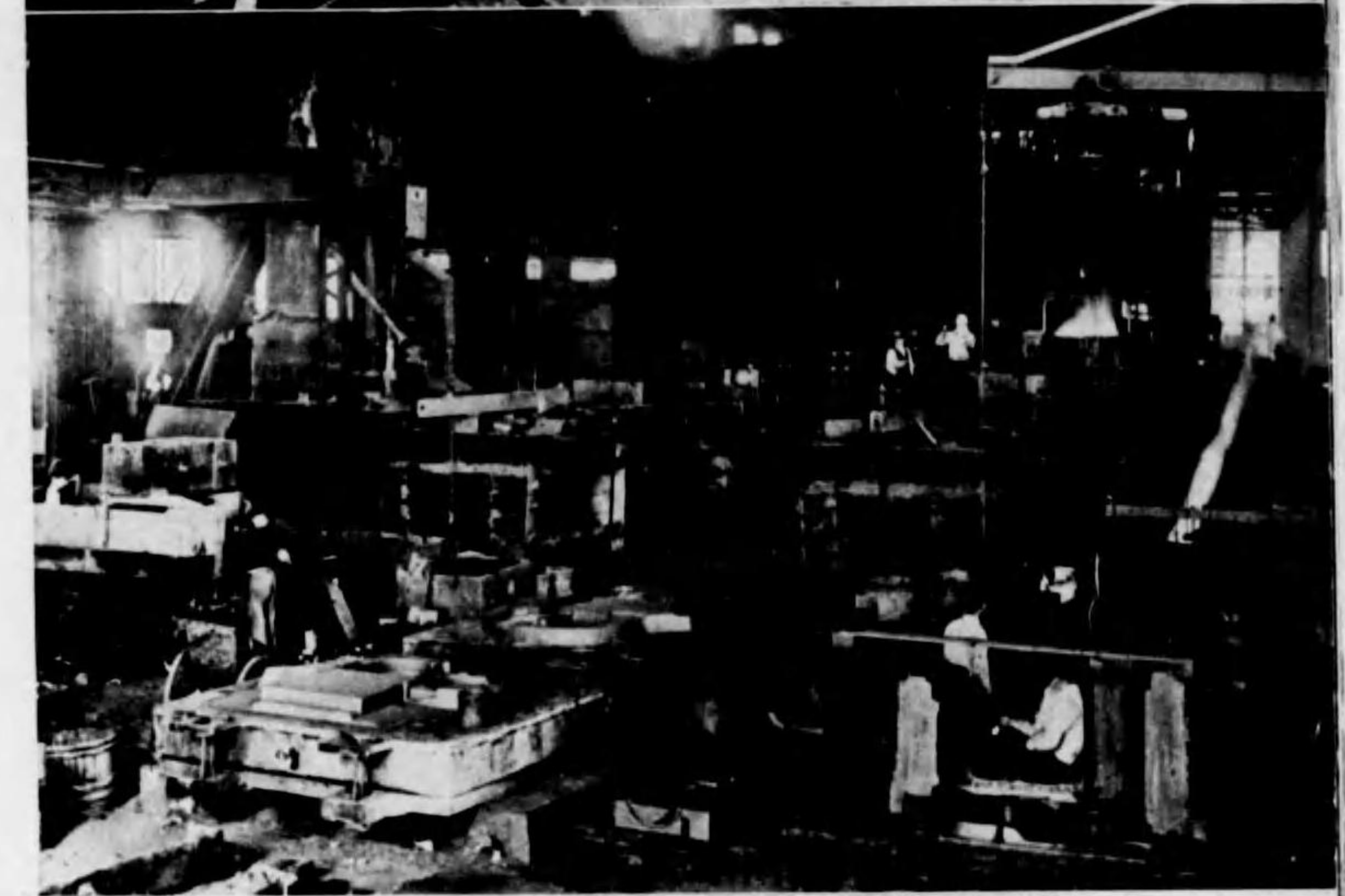


客車鋼體工場
(英海軍港務部
徳山支那許可券)

機関車組立工場
(英海軍港務部
徳山支那許可券)



鑄工場
(英海軍港務部
徳山支那許可券)



完成客車の勢揃
(英海軍港務部
徳山支那許可券)



戸畑工場

戸畑市南港町三丁目 電話 戸畑 100(5)

黒心可鍛鑄鐵品 印刷マシンチェーン並びに輸送用品 送電線並びに
電機架橋用品 鐵道電機車輛用品 鑄鋼製普通車輪 ボール入車輪
及び臺車 その他黒心可鍛鑄鐵品 鑄鋼品 鋳物 打物



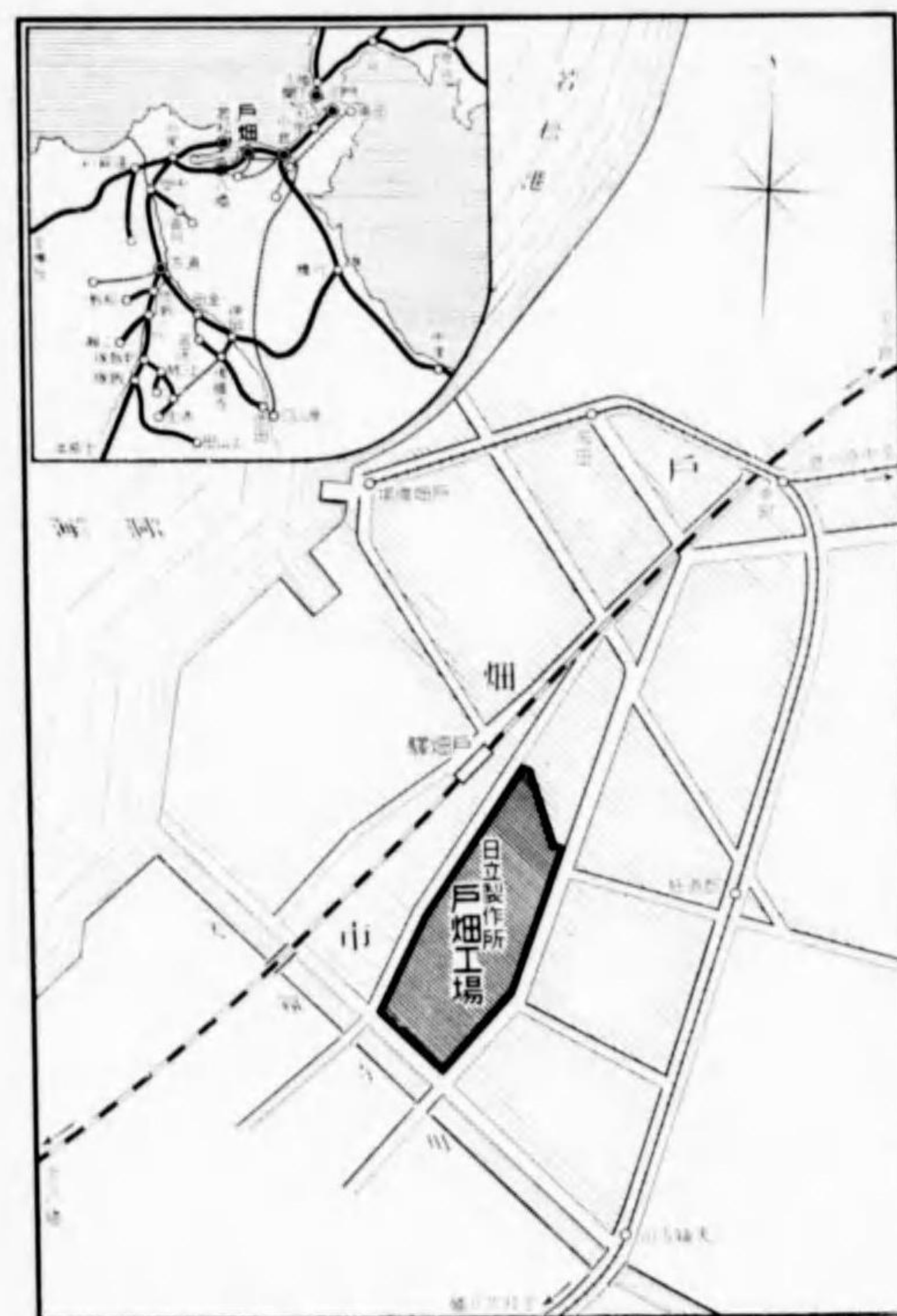
概要

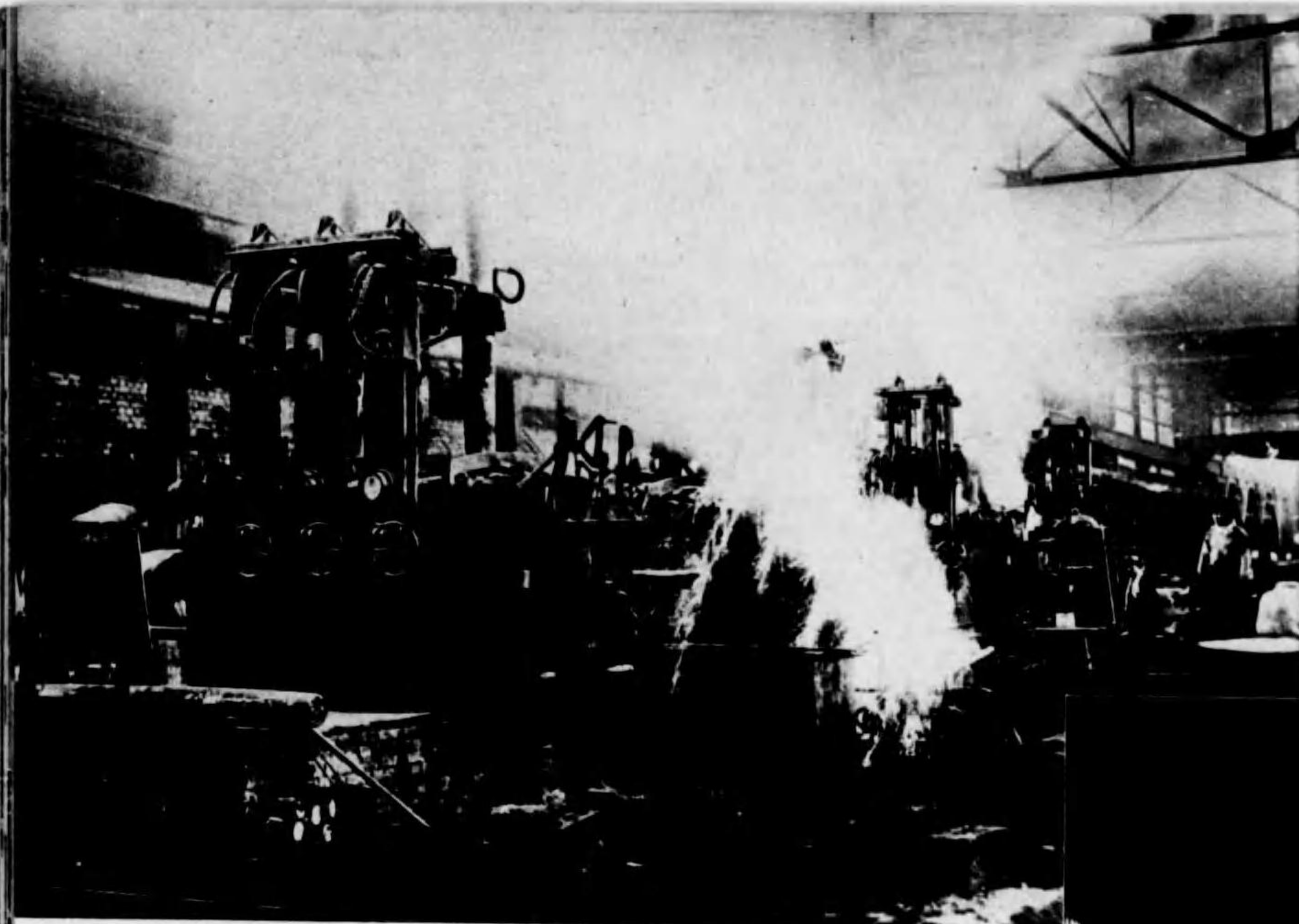
昭和十二年五月弊社に合併となつた國産工業株式会社（元戸畑鑄物株式会社）の發祥の工場として、明治四十三年建設せられ専ら黒心可鍛鑄鐵品の製造を営み來つたものでありまして、我國可鍛鑄鐵業の總本山を以て普く知られたるものであります。創設者は具管に鑄造技術の向上に専念し優良品の製出に努めました結果、創業後數年にして海軍省、陸軍省の指定工場となり大正三年歐洲大戦勃發を契機として逐年業績の向上を見るに至りました。大正十年には歐米諸國に於ても當時未だその實例を見なかつた、可鍛鑄鐵品の電氣爐應用による製造法を確立し、更に翌十一年該製造法を鑄鋼品の製造にも應用してこれを確立する等、技術上幾多の効果を収め、歐米諸國に技術的先鞭をつけ、我國鑄造工業界に劃期的貢獻を致しました。昭和十二年五月國産工業株式會社の合併以降日立製作所戸畑工場として益々事業發達の爲め精進しつゝあります。

位置及び交通

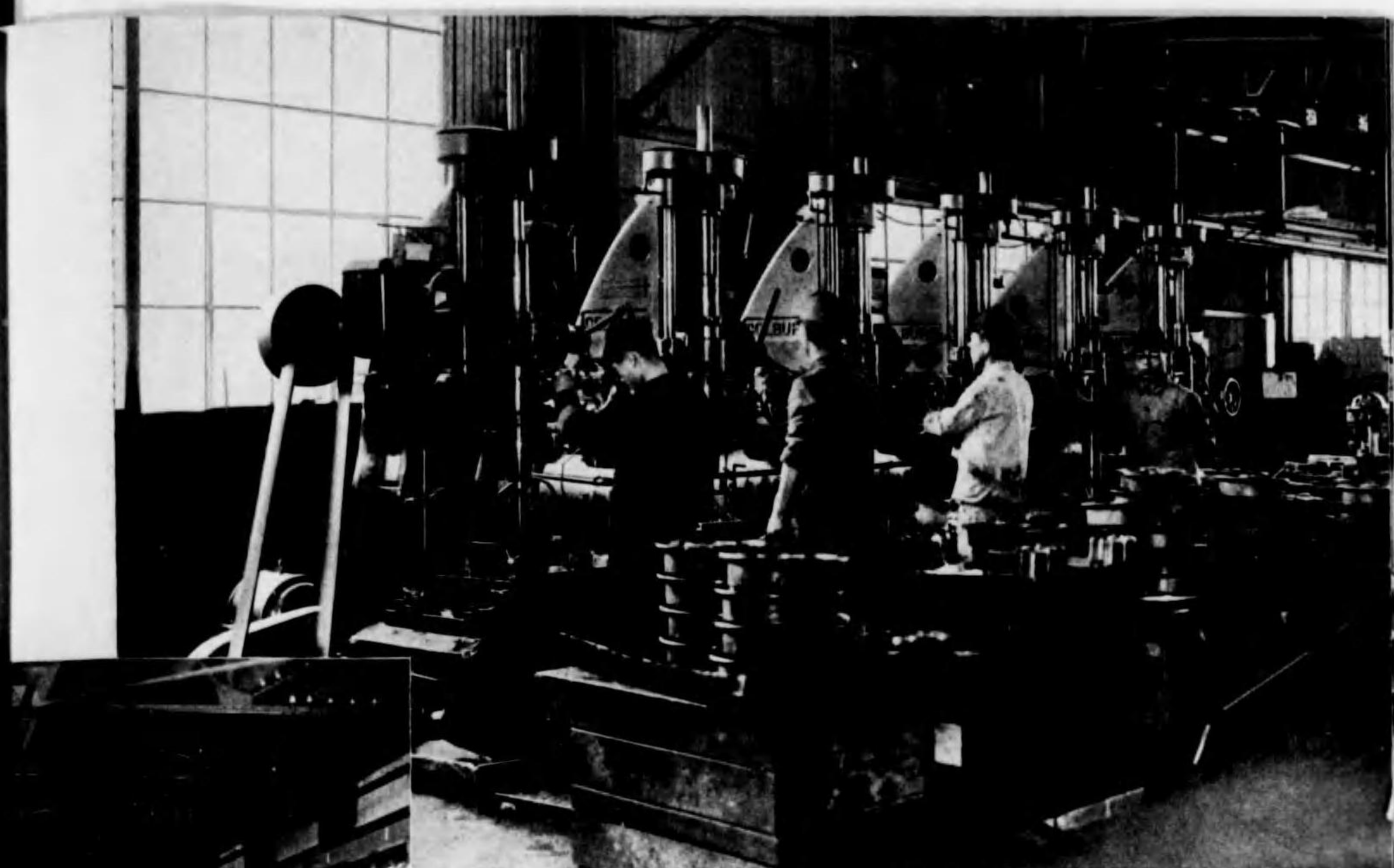
當工場は門司より西方約12軒の戸畑市に在り下關要塞司令部管下の要塞地帯に屬して居ります。鹿兒島本線によれば門司より僅かに25分で當工場の玄関口である戸畑驛に達する事が出来、驛に近づけば左手に一大工場群の聳えるのを發見することが出来ます。現在進行して居る關門隧道の完成の曉は交通は更に便利になることでありませう。

省線 鹿兒島本線戸畑驛下車東行（迂回）約五丁、西行（迂回）約四丁
電車 九軌戸畑終點より約七丁
八幡終點—八幡中央區間
電車又はバスにて
戸畑天箱寺川停留所下車西北へ約一丁





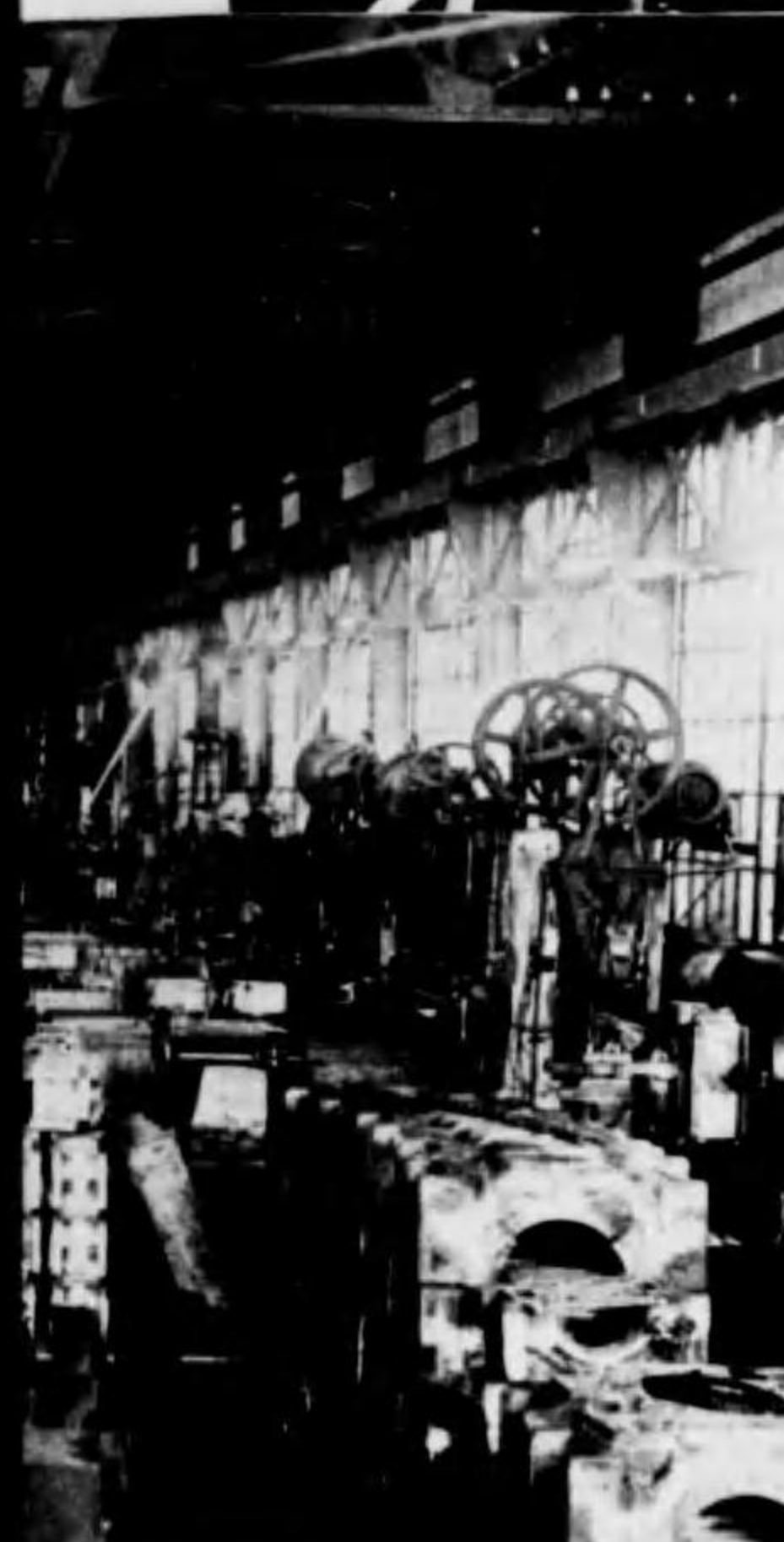
電 氣 爐 (下關要港司令部許可)



機 械 工 場 (下關要港司令部許可)



仕 上 工 場 (下關要港司令部許可)



鑄 造 工 場 (下關要港司令部許可)



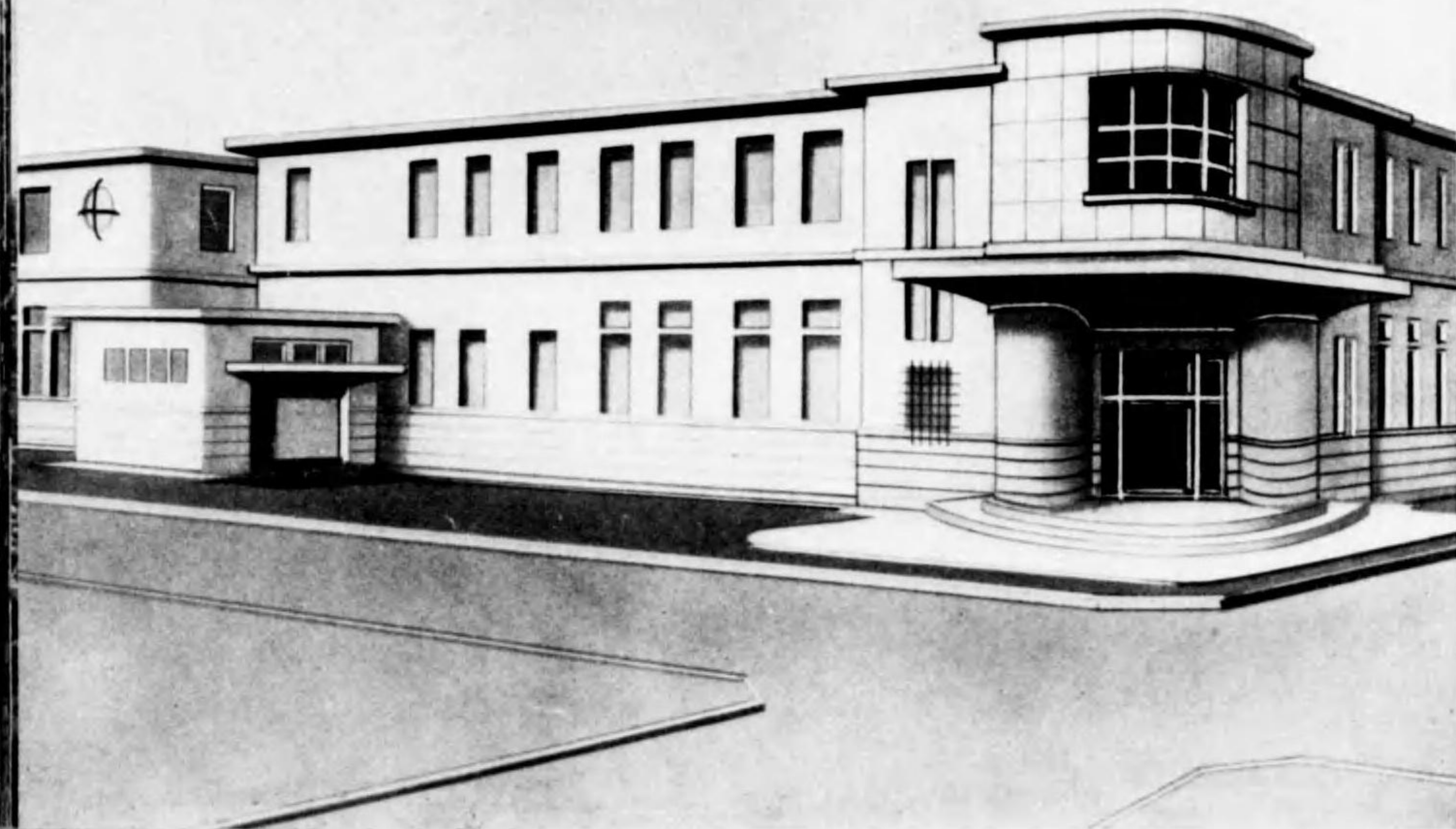
機 工 場
(下關要港司令部許可)



若松工場

福岡県若松市産業通商電話 若松 1650(4)

製鋼用ロール、伸銅用ロール、製紙用ロール、製紙機械、クラツシヤー、
製紙用ドライヤー、焙焼爐及び特殊大型鑄物並に製鐵用化學工業用諸機械の製造にも多年の経験
を積んで活躍して居るものであります。



概要

歐洲大戰の當時製鐵、伸銅、製紙に必要なロール類は殆んど輸入品に俟たざるを得ざる状態でありましたが、これが國産化を企圖して大正六年七月若松市に創立されました帝國鑄物株式會社が當工場の前身であります。大正十年戸畑鑄物株式會社の經營に移り製造設備の改善、技術の向上に専念努力した結果、遂に輸入防遏の素志を達成し得たるのみならず海外市場に於て歐米一流品と競争し得る域に進み名實共に東洋隨一のロール専門工場としてその聲價を認められるに至りました。昭和十二年五月國産工業株式會社の合併により日立製作所若松工場と名稱を變更し従来の技能を發揮し斯界への寄與を續けて居ります。製品も現在ではロール類製造の外ロール機、製紙用ドライヤー、焙焼爐及び特殊大型鑄物並に製鐵用化學工業用諸機械の製造にも多年の経験を積んで活躍して居るものであります。

位置及び交通

當工場は門司の西北方約40軒の若松市に在り、下關要塞司令部管下の要塞地帯に屬して居りまして、北九州重工業地帯の動脈とも云はれる洞海湾に臨み海運の便に恵まれ尙敷地に於ても將來の増設に充分な餘裕を残して居ります。戸畑市からは連絡の渡船が4分毎に出て居ります。汽車で訪れるには門司から鹿兒島本線で折尾まで行き筑豊線に乗換へ若松驛で下車致します。所要時間は約一時間半で、驛から約十八町であります。

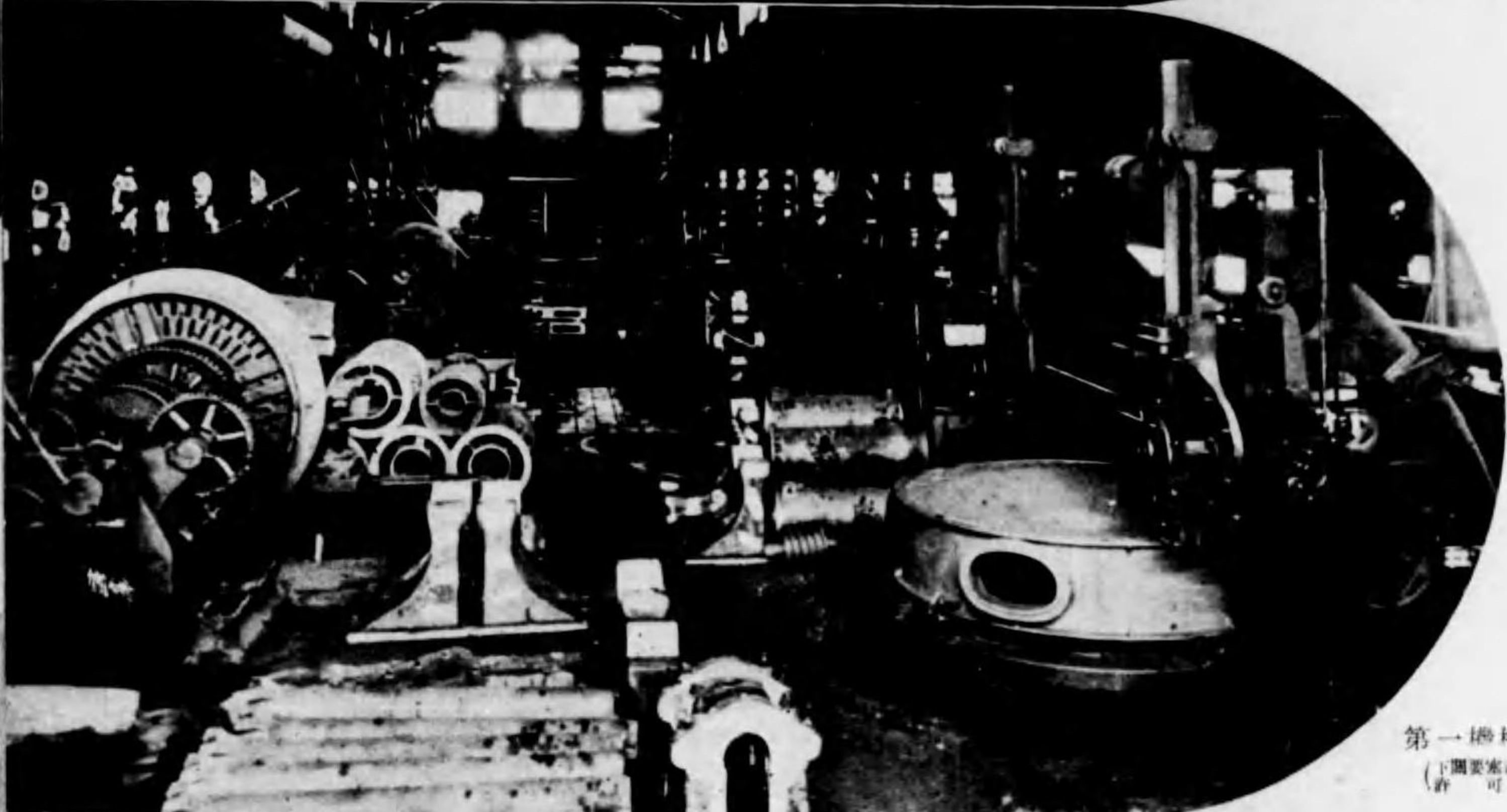
尙若松驛と當工場との間には市營の貨物電車が通つて居り陸上並に海上の交通に萬全を期して居ります。



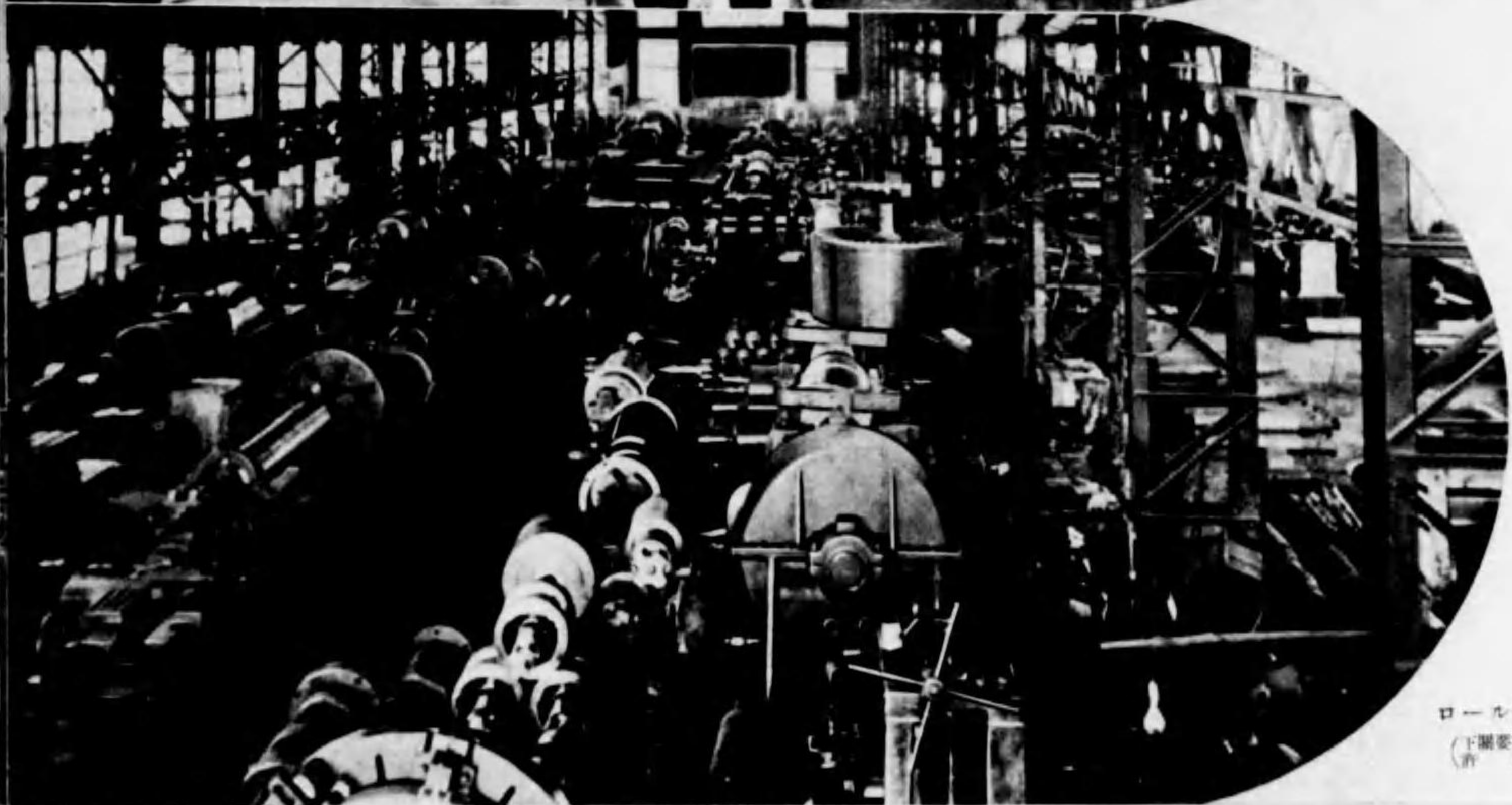
下關要塞司令部許可



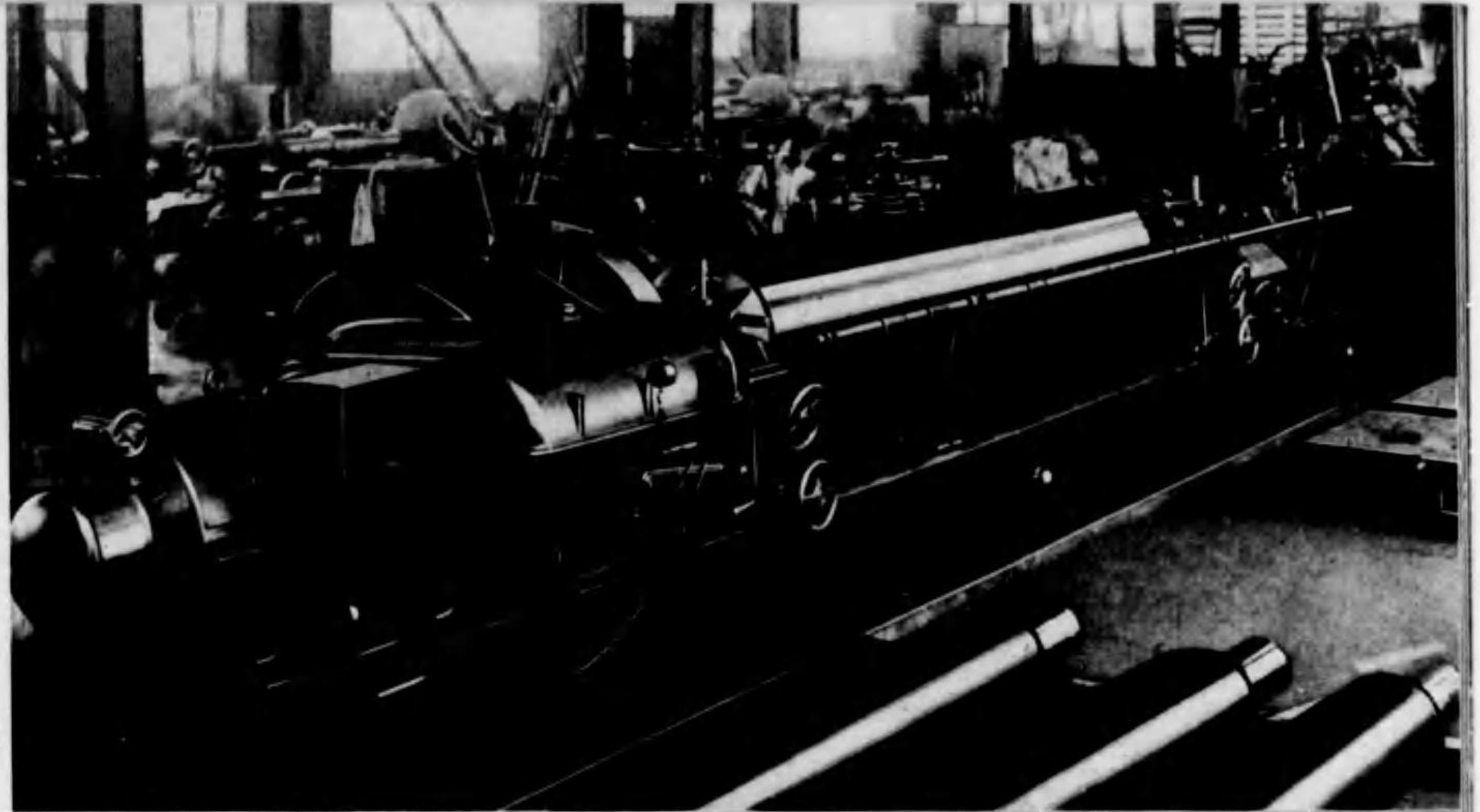
ロール鋳湯注
入作業状況
(上關要案司合部)
(許可商)



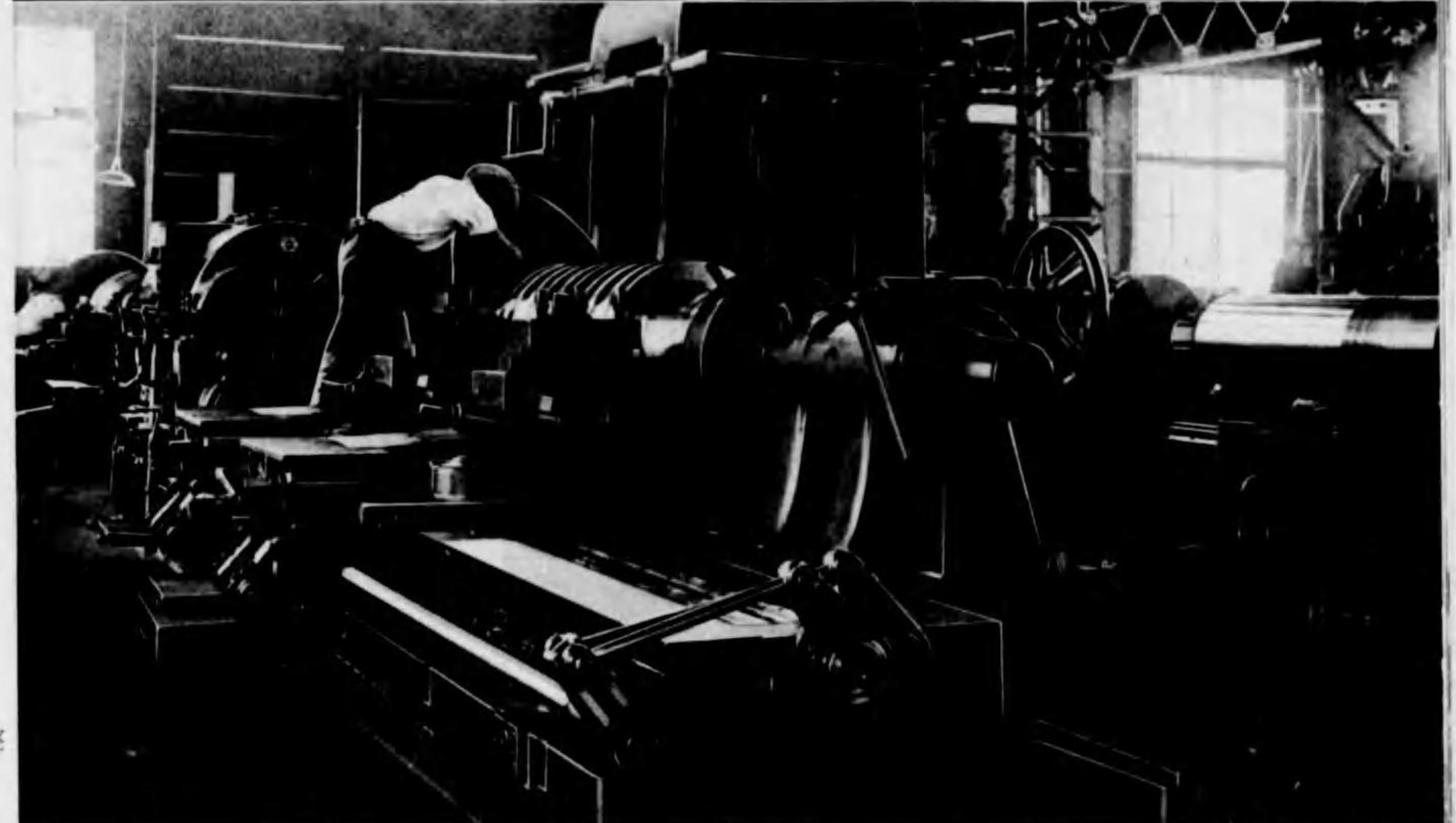
第一機械工場
(上關要案司合部)
(許可商)



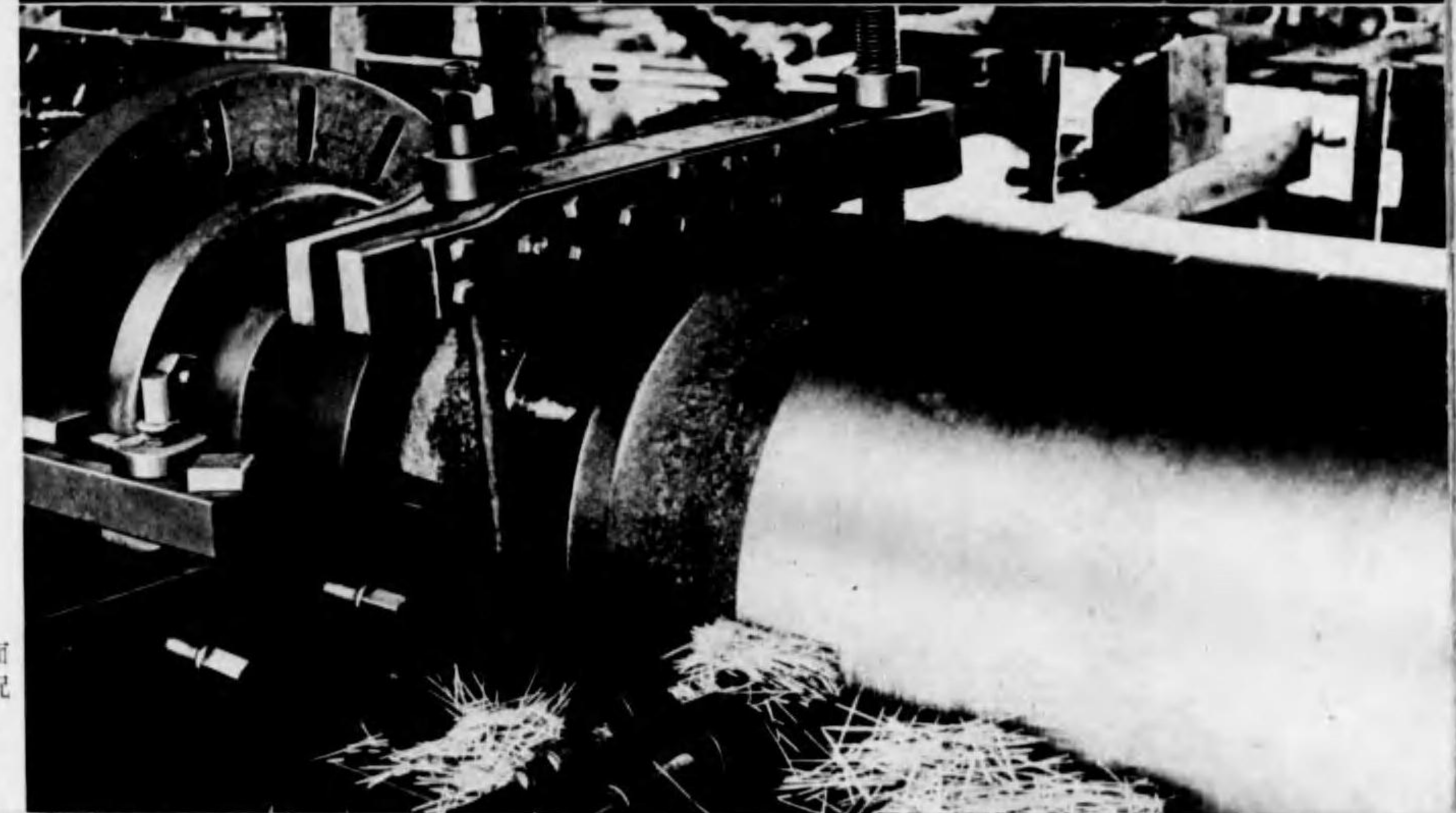
ロール仕上工場
(上關要案司合部)
(許可商)



大型ロール
研磨機
(上關要案司合部)
(許可商)



大型ロール旋盤
(上關要案司合部)
(許可商)



チルドロール面
旋削作業状況
(上關要案司合部)
(許可商)

木津川工場

大阪市大正區福町 電話 櫻川 1535
桑名分工場 桑名市大福 電話 桑名 835

製品概目

黒心可鍛鑄鐵製凸印鐵管継手類 (普通品及び亜鉛鍍金品)
ハンドル類 グラースカツブ



概要

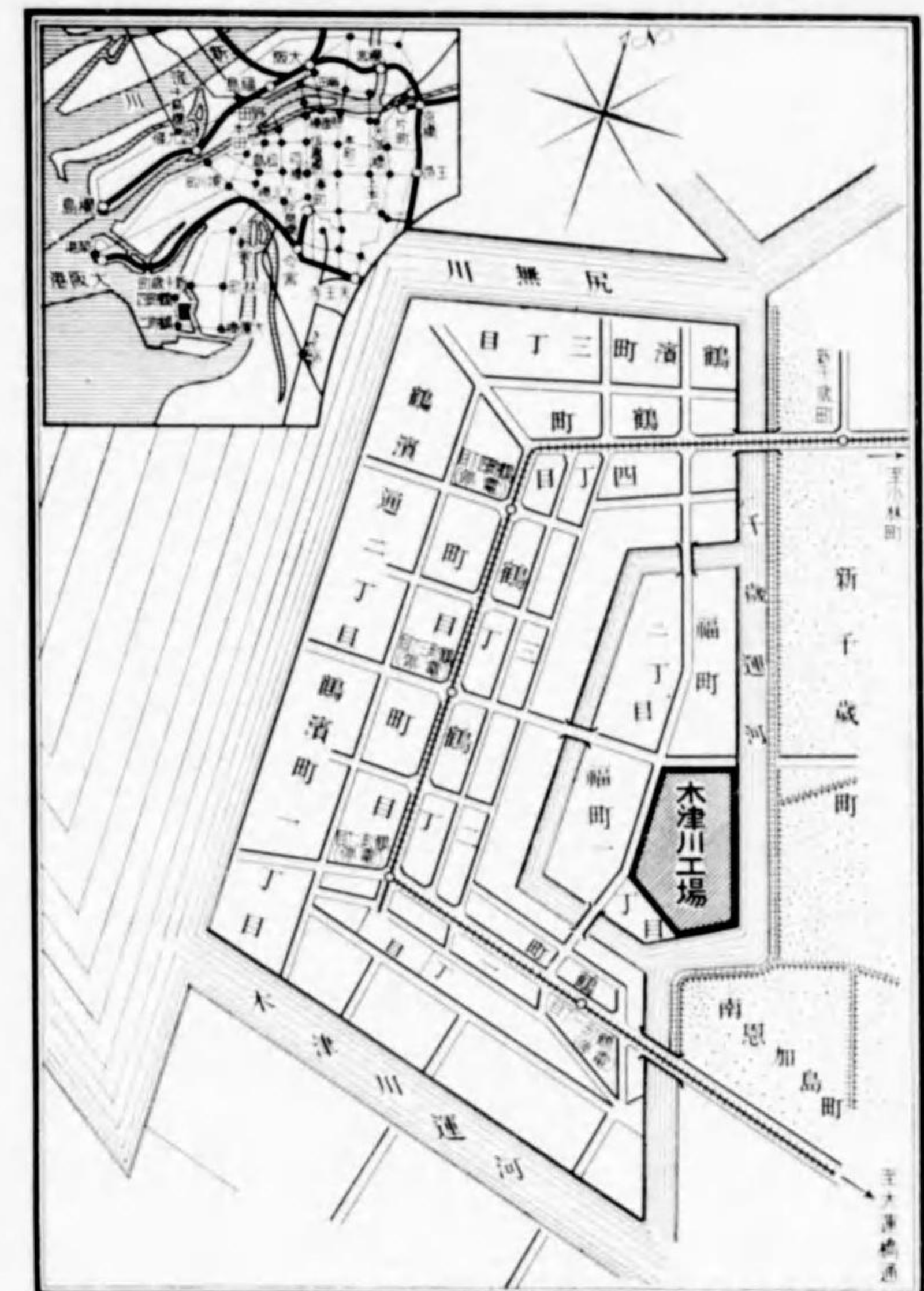
戸畑鑄物株式会社は明治四十五年二月本邦最初の國産品としての鐵管継手の製作に成功しましたが、當時は歐米品跋扈の時代に拘らず同社の國産継手は漸次需要増加し、大正十一年同社の製産能力では需要に應じ切れぬ事になつたので、終に同年十二月継手専門工場として株式会社木津川製作所を創設し、同所に戸畑鑄物より凸印商標、營業、特殊機械及び技術員を移し最新式の設備を以て専門的に鐵管継手を製造したのが當工場の起りであります。爾來継手の需要が年と共に増加するにつれ製造設備を擴張し輸入防遏に努め、大正十五年戸畑鑄物株式会社に合併後歸し、更に第一次、第二次擴張を完成した結果生産力の大きさと設備の斬新さは東洋は勿論歐米にもその比稀な専門工場となつたのであります。

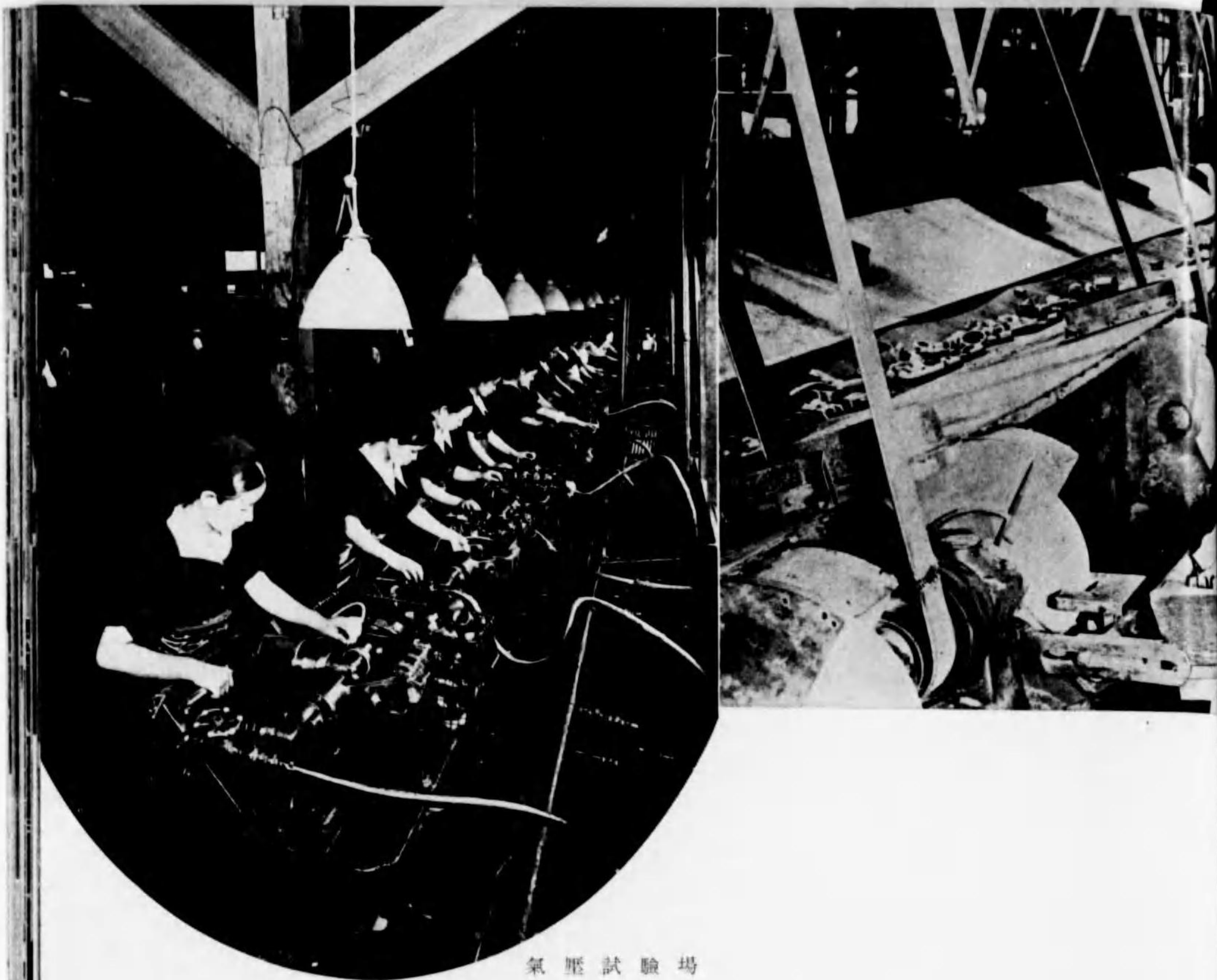
昭和十年十月戸畑鑄物は國産工業株式会社に改稱されるや當工場は同社継手製造所と改め更に十二年五月國産工業は弊社に合併、同時に日立製作所木津川工場と改稱益々事業發達のため奮闘して居る次第であります。

位置及び交通

當工場は大阪驛西南方約10軒の大正區内に在ります。大正區は大阪市に於ける主なる重工業地帯でありまして附近には數多の大小工場が聳立し、最近までは吐出量甚大が遠く神戸、和歌山から望むことが出来る位でありましたが、各工場が電氣收塵装置を用ひる様になつて近代的な大工場の集團となつて参りました。當工場の周圍は縦横に運河が通つて居りますので原料の搬入、製品の出荷には極めて便利であります。又陸上の交通も市電に依れば鶴町一丁目或は鶴町三丁目下車で約四丁位であります。

當工場はこの外に三重縣桑名市に桑名分工場を有して居り、關西線、桑名線、桑名港共に2軒、名古屋へは約28軒の距離に在ります。





氣 壓 試 験 場

燒 鈍 爐

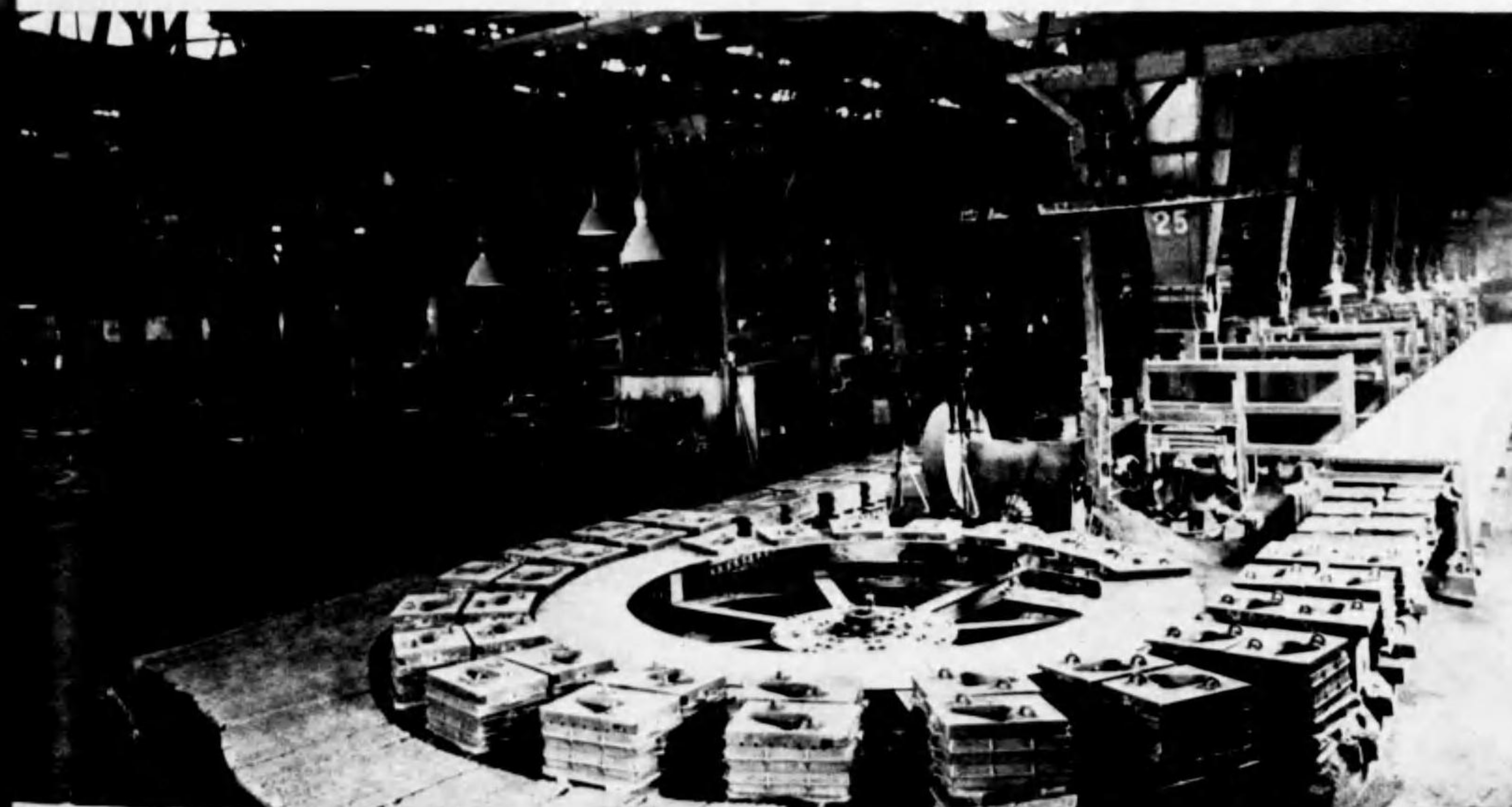


研 磨 工 場 の 一 部



電 氣 爐

コ ン ベ ヤ ー シ ス テ ム に よ る 鑄 造 工 場



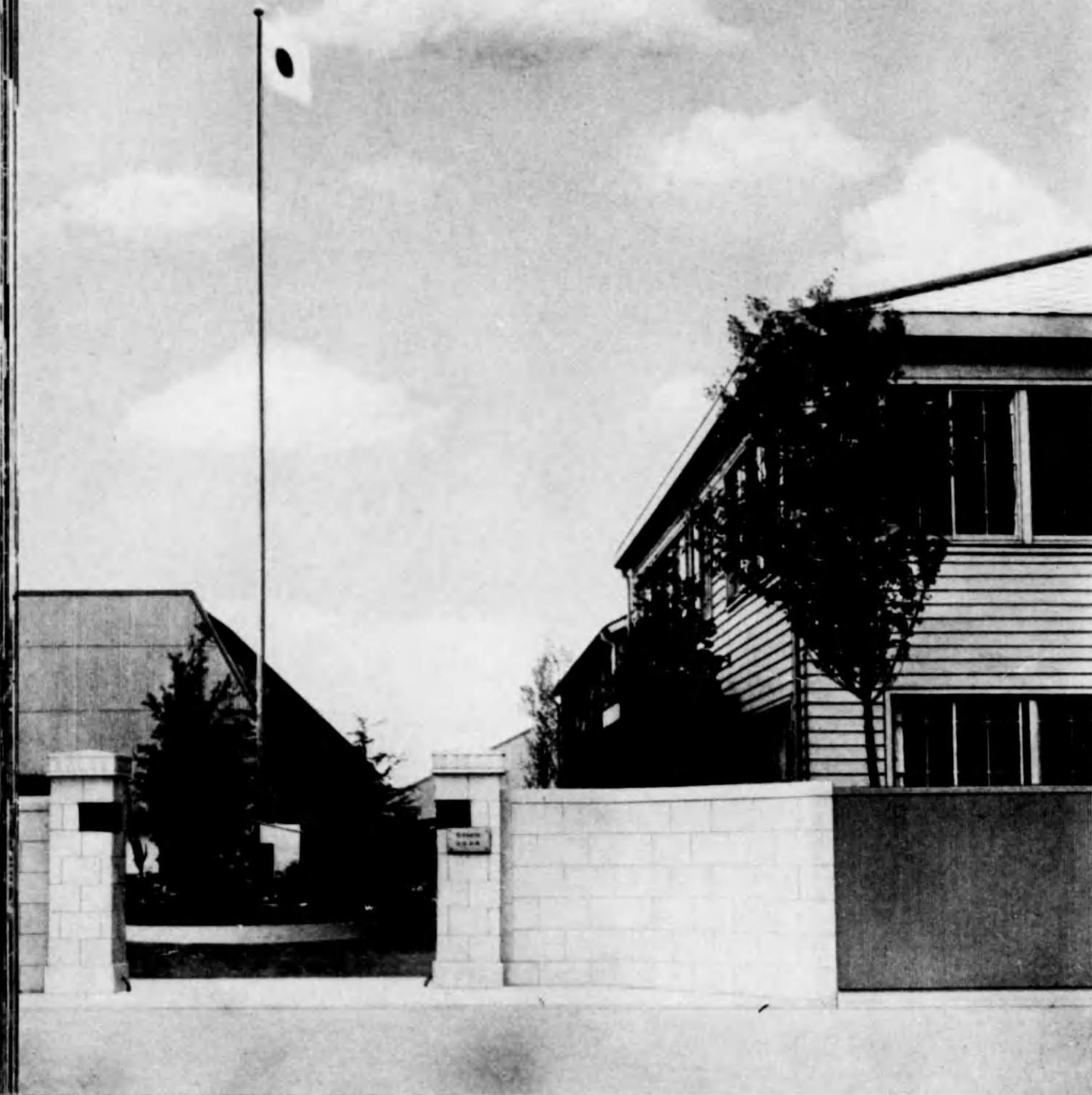
深川工場

東京市深川区越中島町 電話 深川 2137

製品概目

自動車用黒心可鍛鑄鐵部分品 鐵道電機車輛用品

その他黒心可鍛鑄鐵品 鑄鋼品 鋄鑄物一般



概要

昭和四年十一月戸畑鑄物株式会社の一工場として建設せられ同社東京工場と稱したのが當工場の始まりであります。創業以來鑄鋼品及び可鍛鑄鐵品を製造し、専ら複雑且精密なる小型鑄物品の製造を目的としてこれが多量生産を目指し、就中自動車用鑄物部分品に就ては將來性を豫想して試作研究に最も意を用ひたのであります。

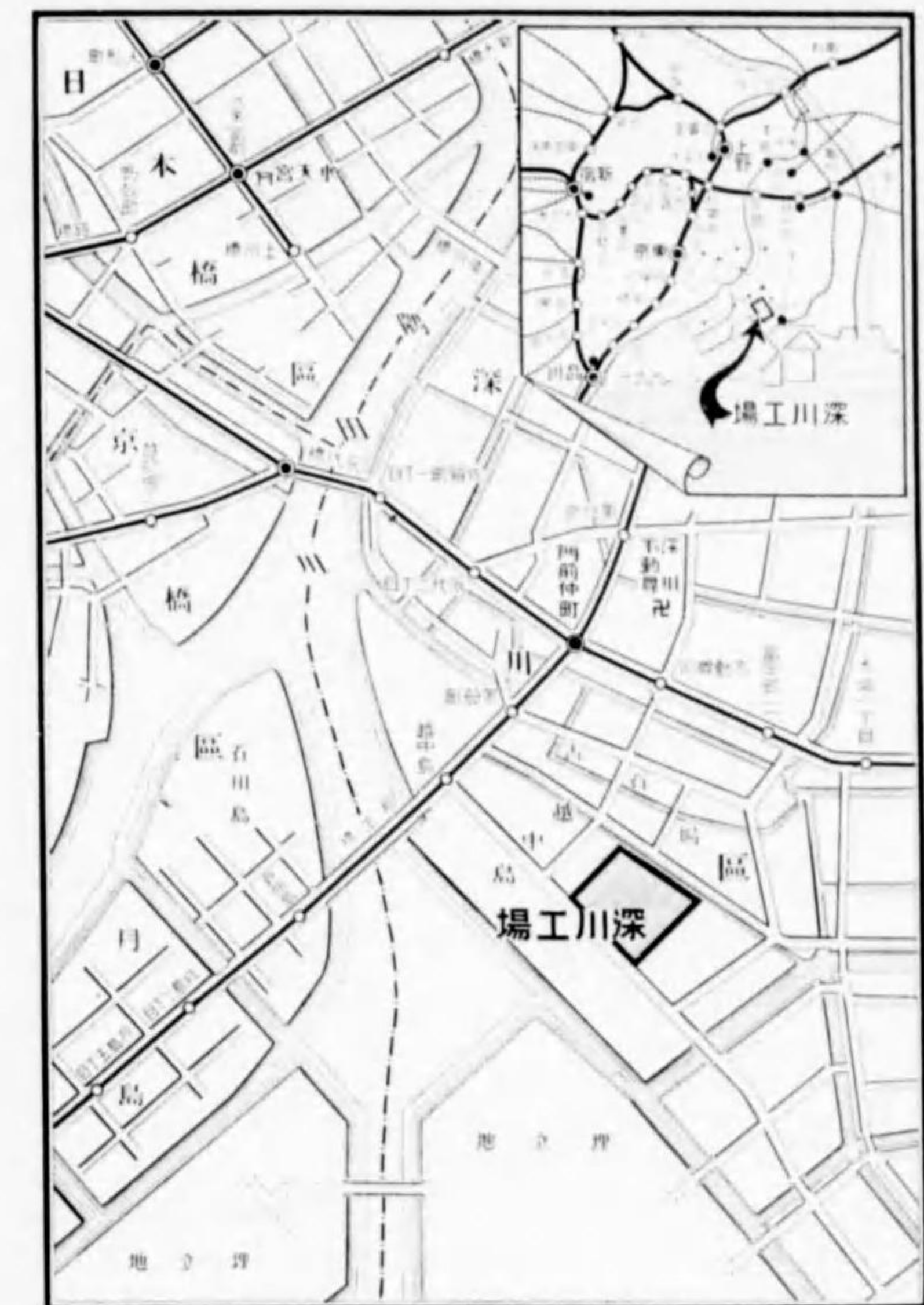
昭和十年十月戸畑鑄物は國産工業株式会社と社名變更により同社東京製作所と改め、更に同十二年五月國産工業が弊社に合併されると同時に日立製作所深川工場と改稱すること、なつたものであります。

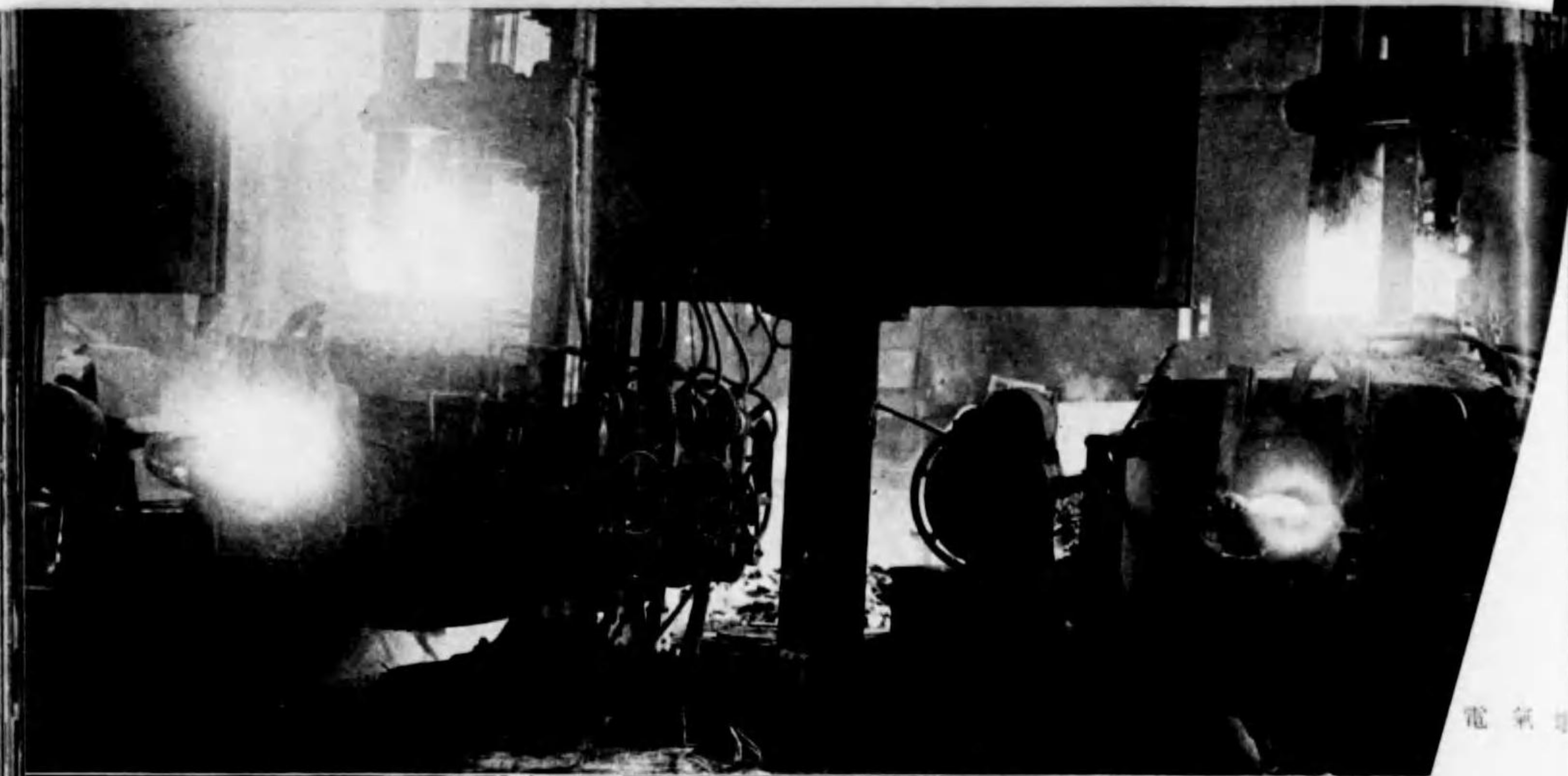
現下自動車製造工業は極めて國策上重大にして且新興工業として躍進盛況を見る折、自動車用可鍛鑄鐵部分品の使命愈々重く、昭和十三年六月には商工省より優良自動車部分品として認定される榮譽を擔ひ、名實共に斯業將來の發展に寄與貢獻して居る次第であります。

位置及び交通

當工場は東京驛南方約10軒の深川工業地帯の中心に在りまして附近には化學、造船、造機等各種大工場が聳立して居ります。水運の便として工場南部に隅田川が流れて居りますので材料の搬入、製品の出荷に大いに利用せられて居ります。陸上の交通にしましても市内にある關係から市電、バス等いづれも極めて便利であります。尙工場群に圍まれては居りますが晴天の時には遠く富士の靈峰を望むことが出來ます。

バス 東京驛より市バス、青バスにて
不動尊前停留所下車南へ約五丁
市電 不動前停留所下車約五丁、越中
島停留所下車約三丁





電氣場

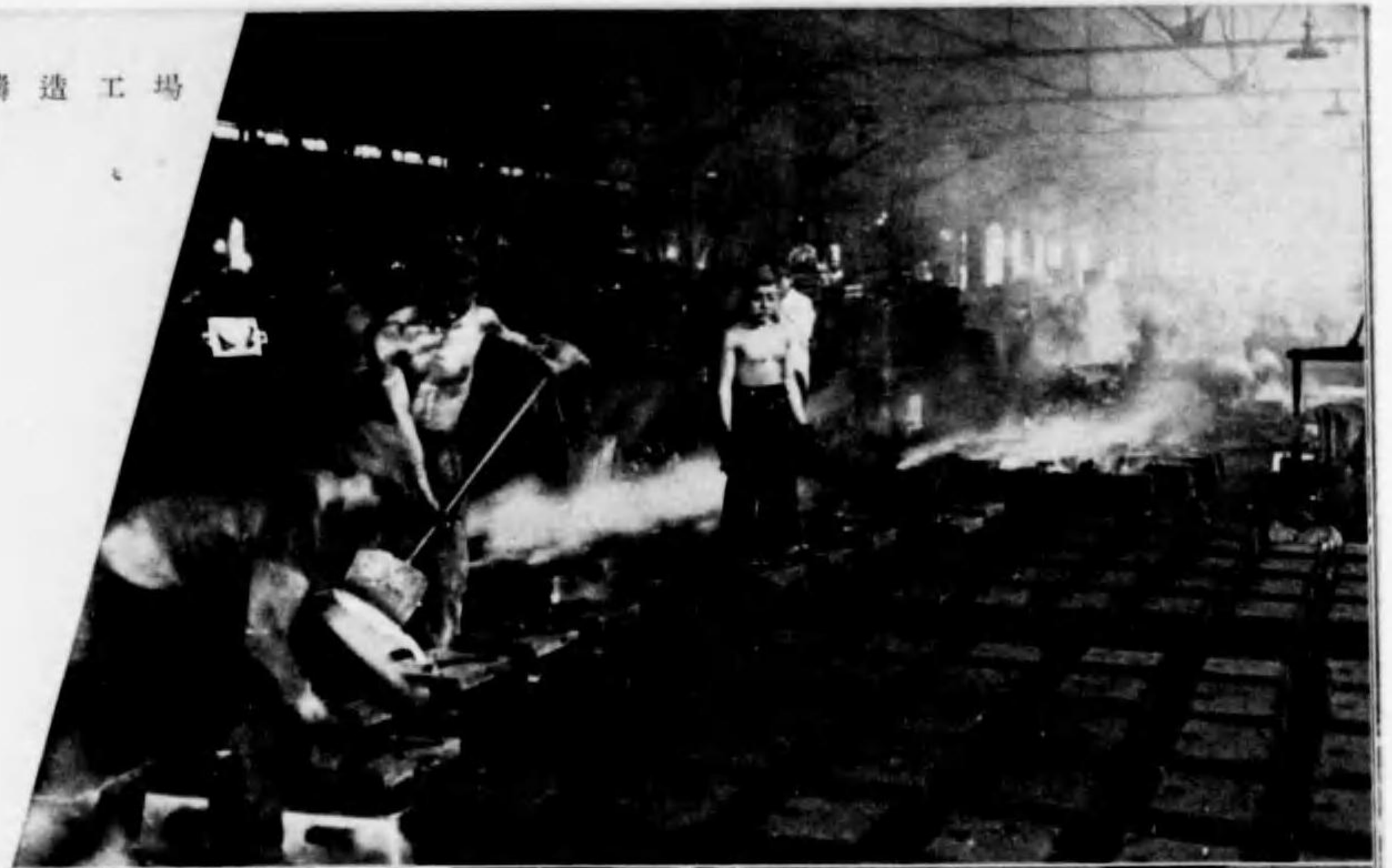


中子工場



撈鈍爐

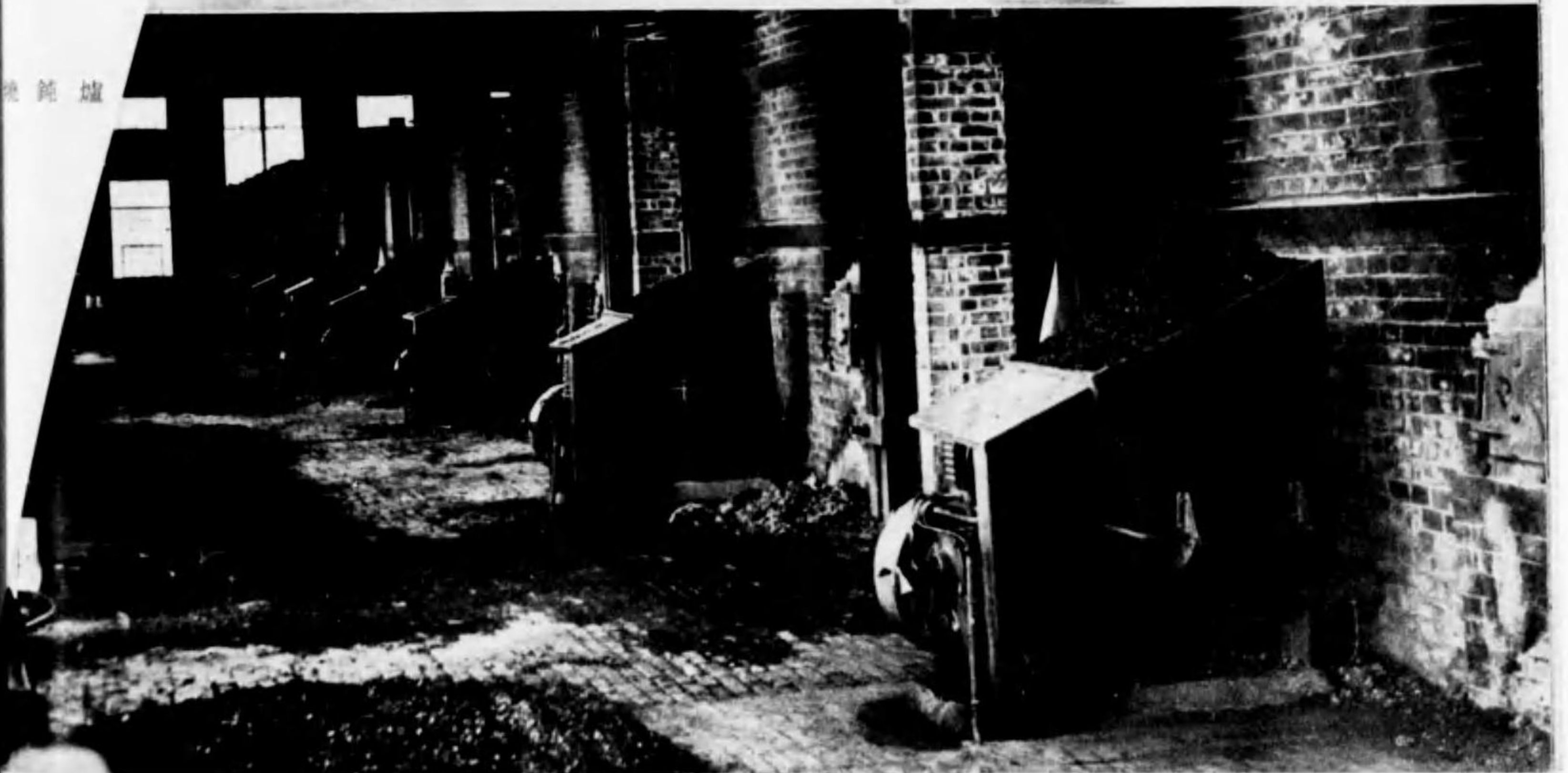
鑄造工場



検査工場



煉鈍爐



戸塚工場

横濱市戸塚區戸塚町 電話 戸塚 62

製品概目

電話機 交換機 同附属品 私設電話工事設計及び保守請負
各種電動工具類 氣化器 發動機用マグネトー 鑿岩機



概要

當工場の濫觴は大正七年電話機その他通信機器の純國産を目的として東京市澁谷區に創立された東亜電機株式會社がそれであります。創立當時我國に於ける電話機の國産化の達成は仲々困難な事が多く頗る辛酸を嘗めましたが製作技術の研究練習に精進した結果、電話機、交換機及び同附属品一式總て逓信省の指定品となり、更に昭和七年當工場が特に心血を注ぎ研究完成せる自動交換機も同じく同省の指定品に加へらるゝに至りました。

昭和十一年三月神奈川県戸塚町に竣工の現工場に移轉し、同十二年五月弊社へ合併以來現工場名に改つたものであります。

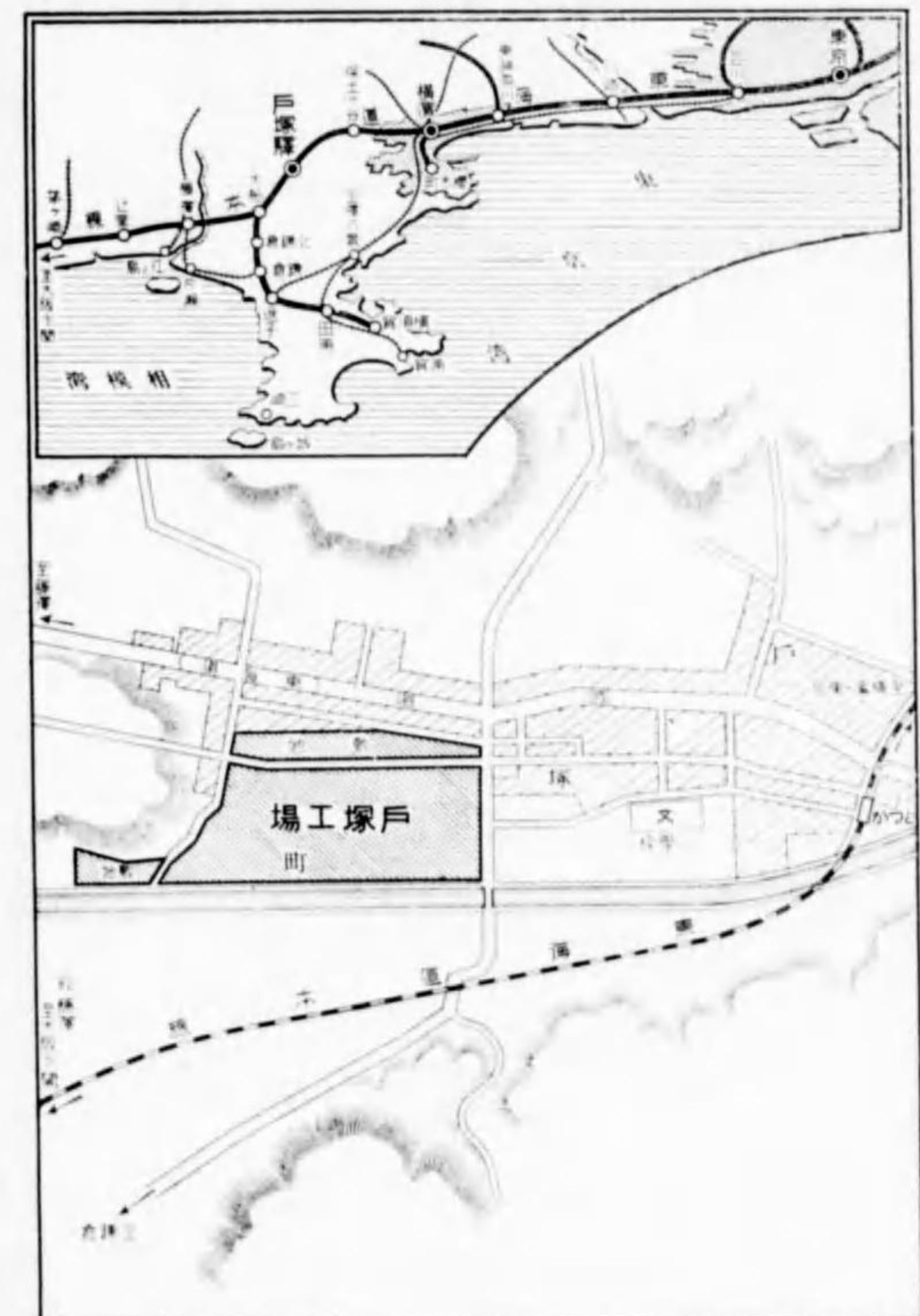
當工場製品はこの外電動工具、發動機、マグネトー、自動車用及び航空機用氣化器を製作して居ります。電動工具は當工場の製作が我國の嚆矢であり、優良國産品として現在では陸軍省、海軍省、鐵道省より指定さるゝ光榮を擔ひ、電製品は商工省より工業研究奨励金下附を受け、氣化器は定評ある佛國ソレックス社と提携して好成績を舉げて居る等、何れも斯界の重鎮として大方の賞讃を博して居ります。

位置及び交通

當地は舊東海道の宿場であつた所で國道筋には藤澤に通ずる舊東海道松並木が保存せられて居ります。この並木通を歩く度に昔の情緒がしのばれて一入興味深く感ずるのであります。又當地は西方遙かに富士の靈峯を望んで清爽なる雰圍氣に圍まれて、浩然の氣を養ふことが出来ます。

又櫻の名所として有名なる柏尾川の櫻並木は當工場の南側より始つて蜿々約一里大船驛に連つて居り開花の候には櫻花爛漫陶然の氣を味ふことが出来ます。

當工場を訪れるには東京方面よりは東京驛又は横濱驛にて横須賀線に乗換へて戸塚驛で下車すれば良く、關西方面よりは大船驛で同じく横須賀線に乗換へて戸塚驛で下車致します。工場は驛の西方約800米徒歩約10分であります。

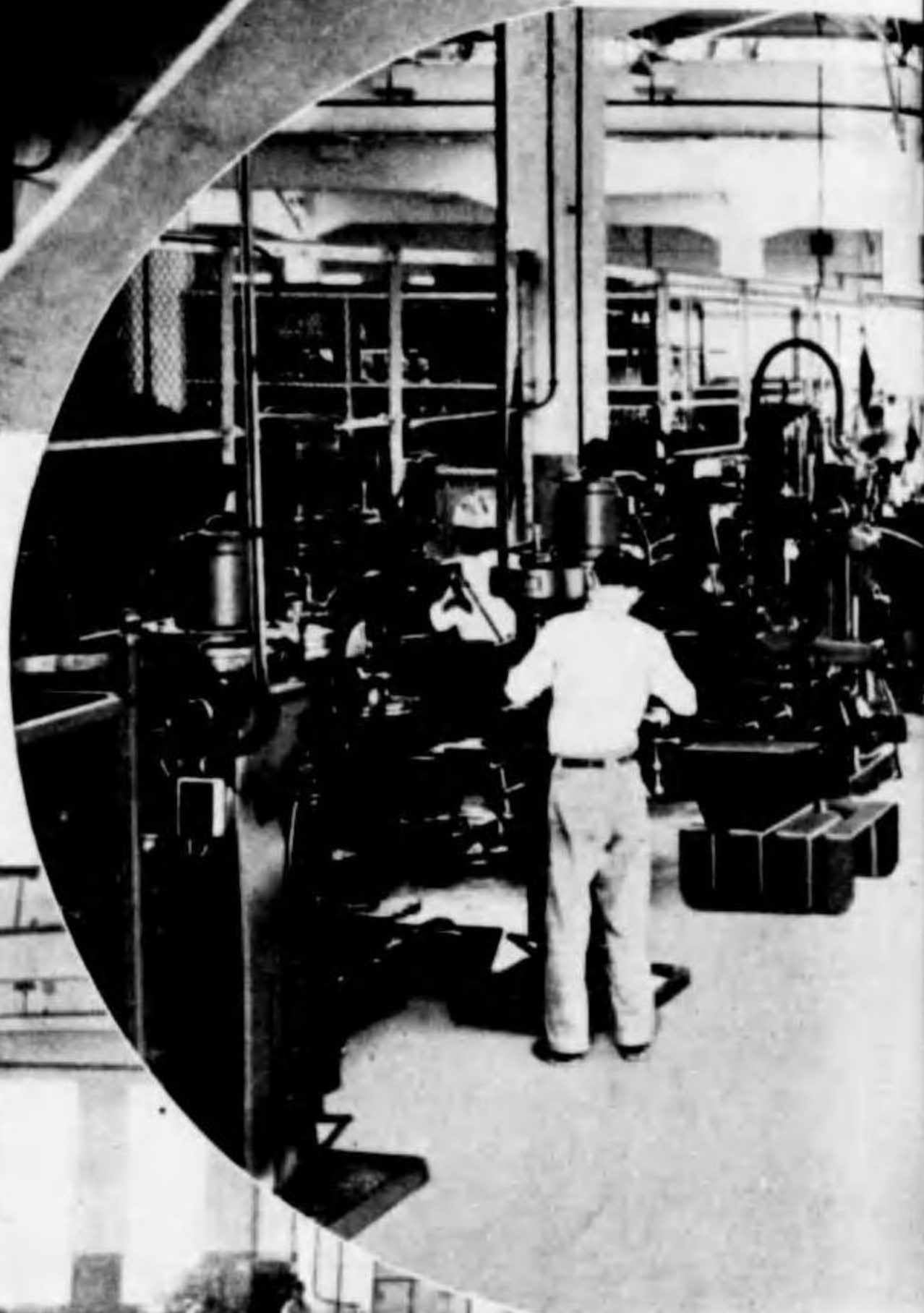




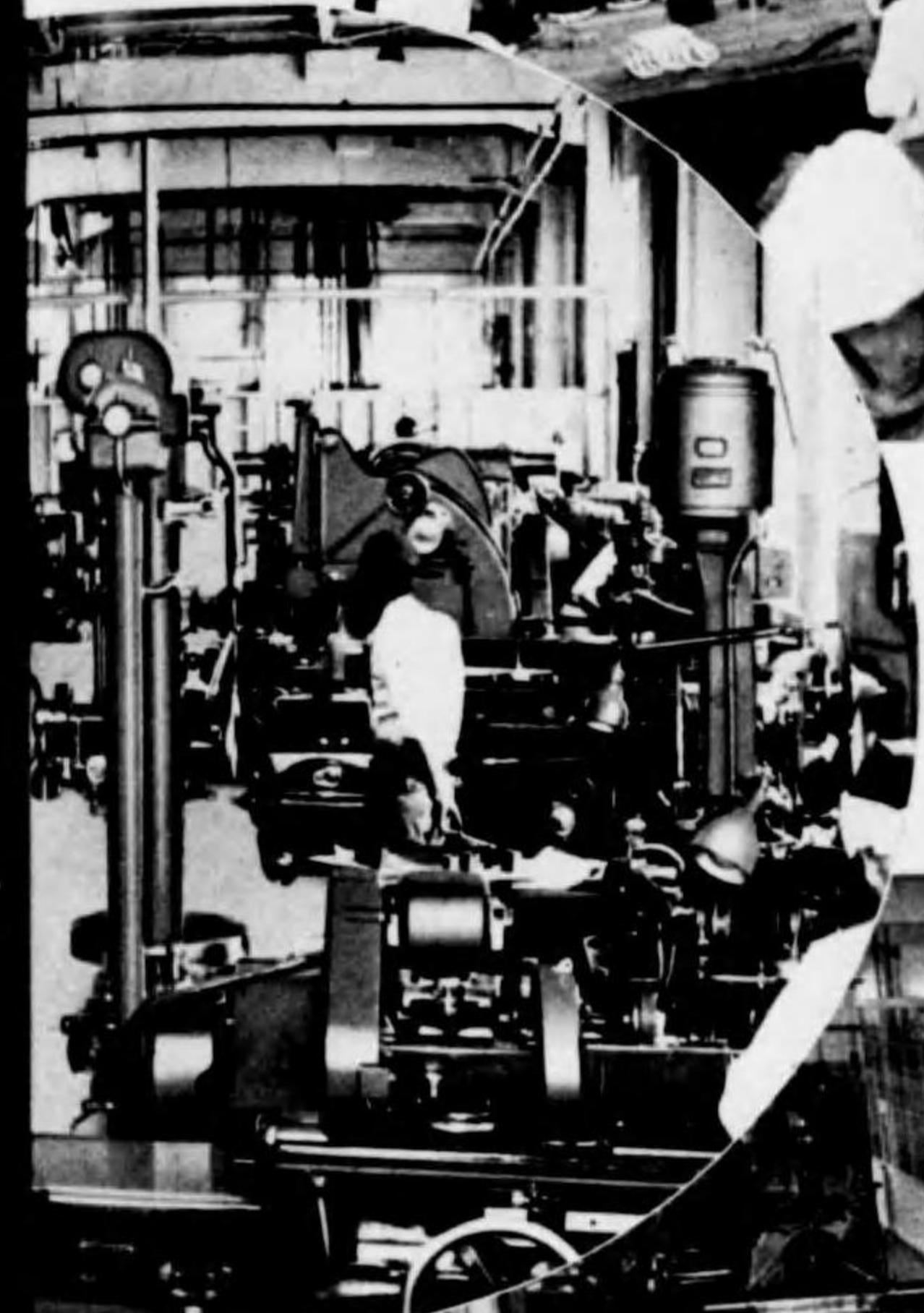
電話調整工場



電機組立工場



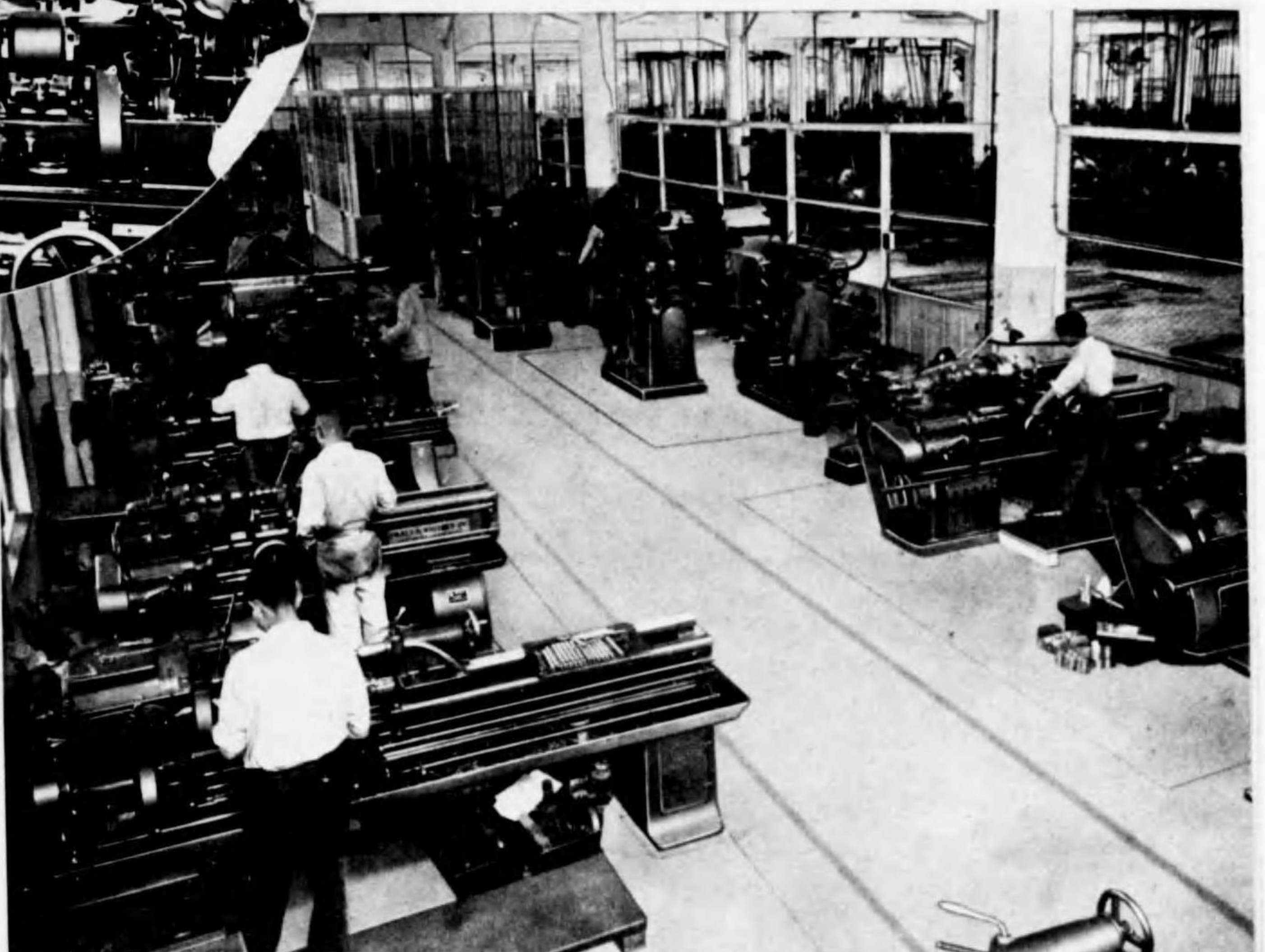
電話交換臺工場



電動工具製作工場



械工場



安来工場

島根縣能義郡安来町 電話 安来 35

宇部分工場 山口縣宇部市沖之山 電話 宇部 374

木次分工場 島根縣大原郡木次町 電話 木次 104

鳥上分工場 島根縣仁多郡鳥上村 電話 横田 10

製品概目

高速度鋼 炭素鋼 不銹鋼 双物鋼 工具鋼 構成鋼



概要

出雲及び伯耆地方の製鐵事業は本邦最古のものでありますが、明治の代に入り海外よりの輸入漸く盛んになるに至りたる時出雲の製鐵業者が雲伯鐵鋼合資會社を設立（明治三十二年）して和鋼生産の改良を企て極力洋鋼の浸蝕に對處致したのが當工場の前身であります。その後明治四十二年に至り安来製鋼合資會社と改稱鍊鐵製鐵の外新たに工具用鋼の製造を開始し、傍ら稀金屬の精鍊電氣製鋼に着手し、大正十四年戸畑鑄物株式會社の經營に移るや益々諸設備に改善を加へ、純炭素鋼、和鐵鋼並に山陰木炭銑を主要原料とする特殊鋼の製造により諸双物鋼、工具鋼、高速度鋼を始め造兵造機用諸鋼材、飛行機用鋼材、自動車用鋼材その他高級構成鋼材を製出し、陸軍省、海軍省及び鐵道省より指定工場たるの光榮を擔ふに至りました。昭和九年五月戸畑鑄物株式會社と合併、その後昭和十二年五月國產工業株式會社の工場として弊社に合併せられ現名稱に改稱し引續き斯業の發展に精出して居ります。

尙當工場は宇部、木次及び鳥上の三分工場及び財團法人日本刀鍛鍊會委託靖國鑄工場を經營致して居ります。

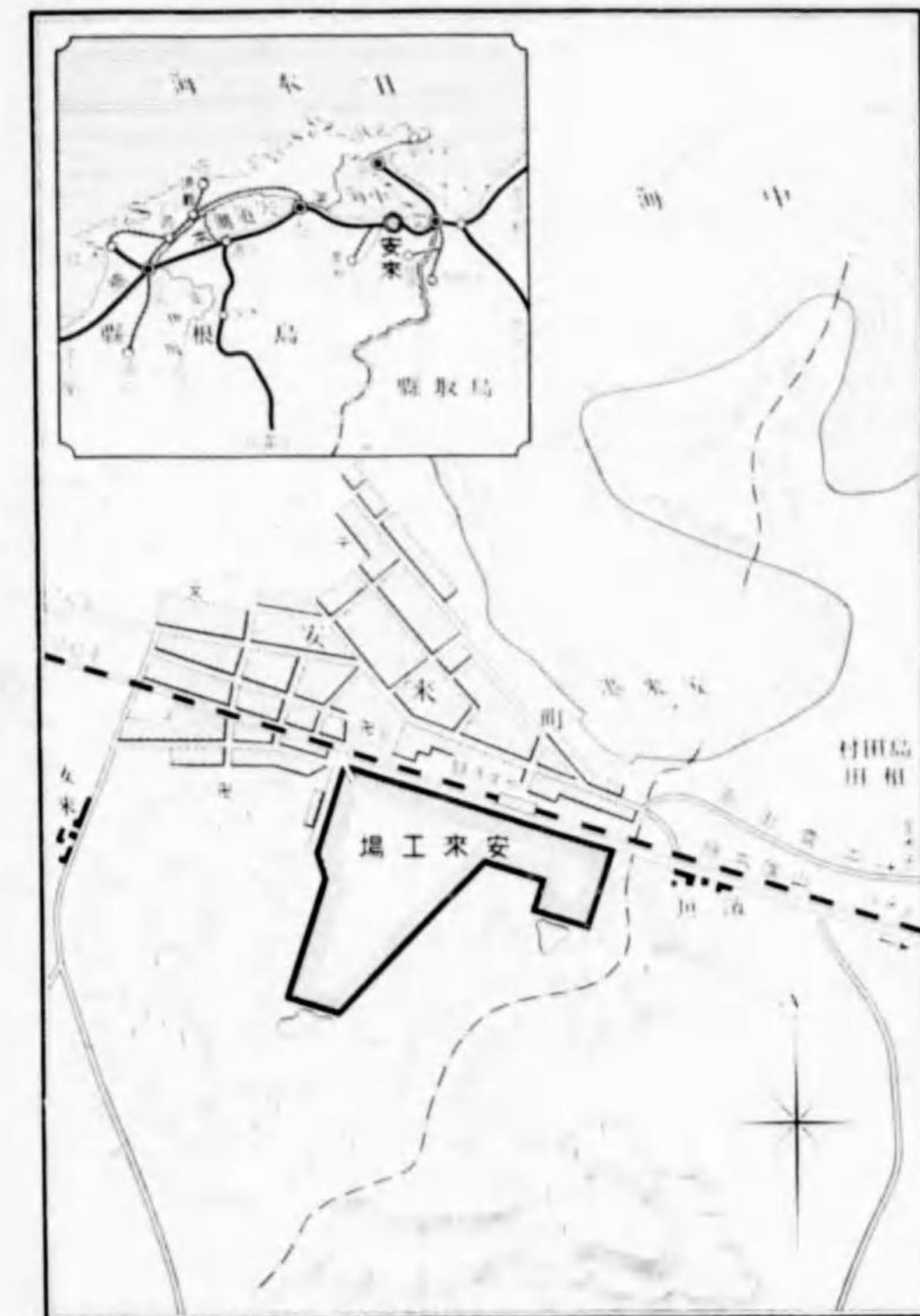
位置及び交通

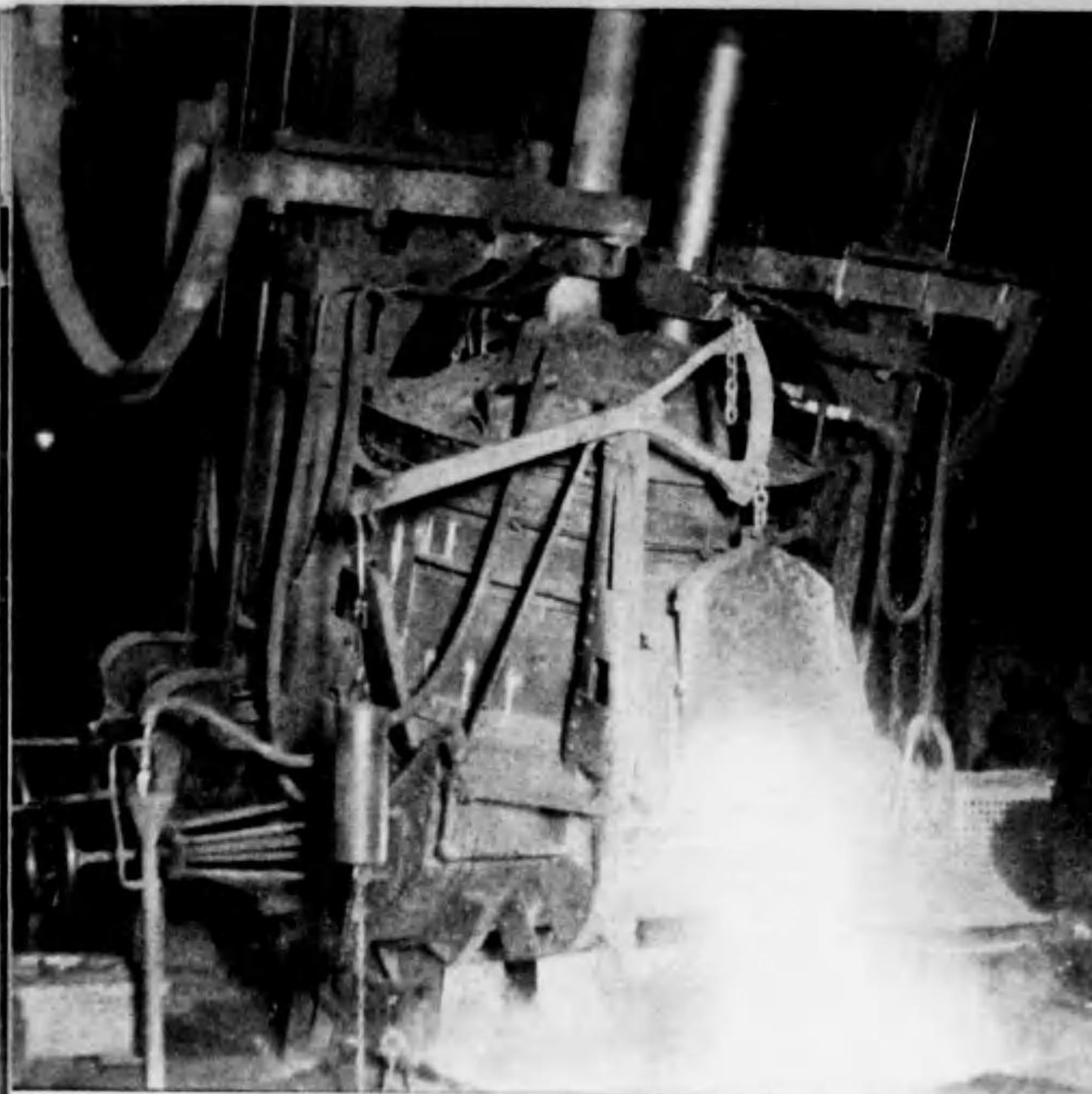
當工場は山陰線安来驛に南隣し汽車で京都から8時間、大阪から7時間半、松江市へは30分の距離に在ります。當地は神代の昔素盞鳴尊が「この地に來りて吾御心安来成り」と宣はれた地でありまして、前方には「十神山」が神秘的な山容を紺碧の波上に映して居り、附近一帶は史蹟と傳説に富んだ山陰屈指の風光明媚な地であります。

宇部分工場 山口縣宇部市沖の山に在ります。

木次分工場 山陰線穴道驛より分岐して居る簸上鐵道の終點木次で下車致します。

鳥上分工場 安来を去る南方十五里船通山の麓に在り、昔素盞鳴尊が寶劍を獲られた簸の川上はこの鳥上の地であります。

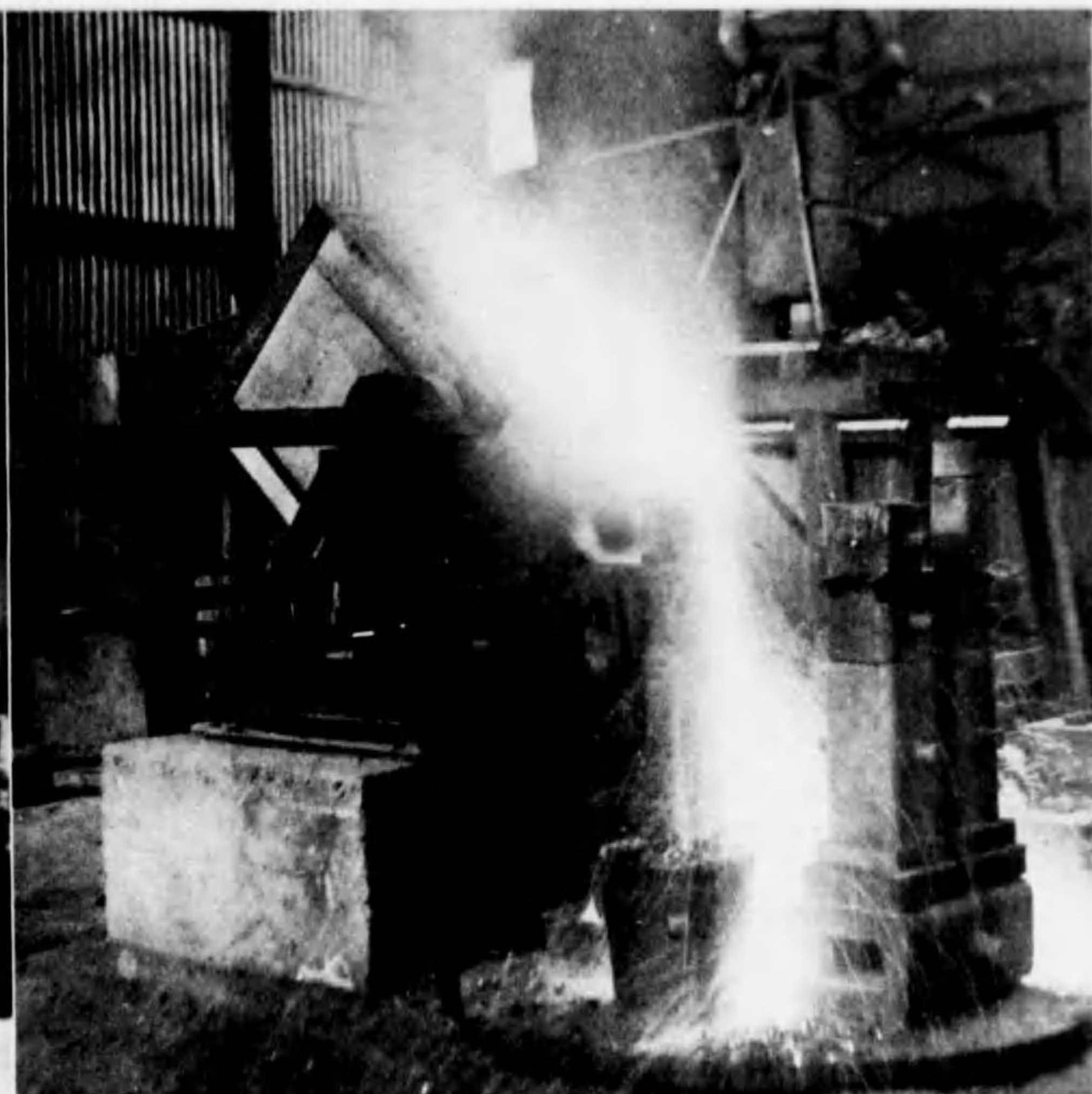




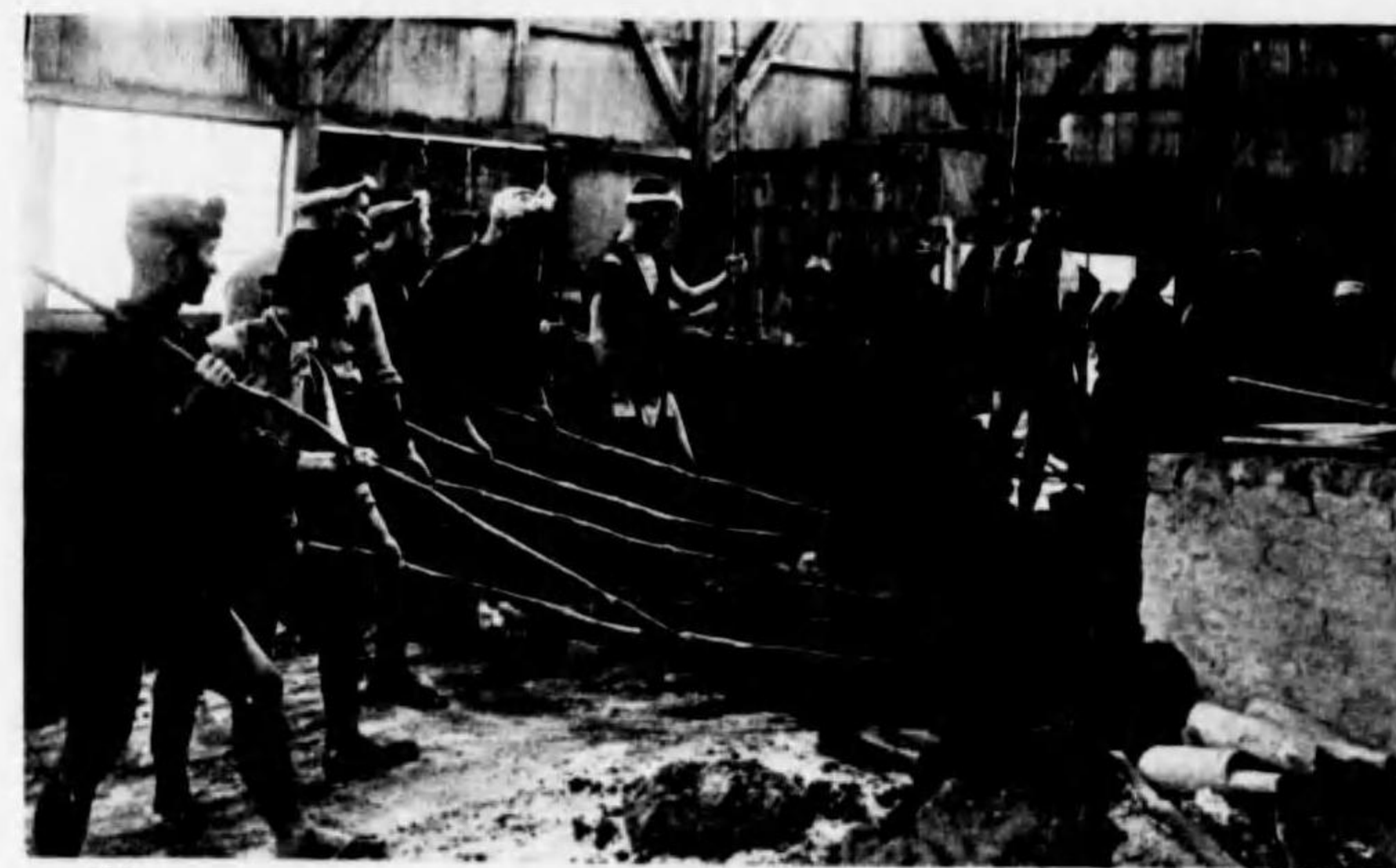
電 氣 爐



還 元 爐



高 周 波 電 氣 爐



(1) 鑪 灰 床 を 作 る 状 景

寫眞(1)(2)は鑪煉製鋼法の一部狀況を示すものであります。鑪は神代の昔より年々秋から春にかけて吹かれて居る方法で吹製された玉鋼は日本刀精練の上になくならないものであります。



2) 鋼 作 場

鑪で吹製されたものは鋼と稱する塊と鉄とであります。この塊は先づ大鑪場で高所から重垂を落下して打砕き色々品位のものに選別し、次に小鑪場にて小割をなし再び選別し更に鋼作場にて手鋸により拳大の形良き塊とします。これを玉鋼と呼んで居ります。寫眞はその狀況を示すものであります。



角 爐

尼崎工場

尼崎市西高州町 電話 尼崎 650

神崎分工場 尼崎市潮江字東大寺 18ノ4 電話 尼崎 1177

製品概目

各種起重機及び輸送機械 製鋼用水壓機 ポンプ その他諸機械



概要

當工場の起源は大正三年十一月大阪市安治川の河畔に合資会社安治川鐵工所の名の下に、新進氣鋭の技術者を揃へ、全員技術者のみを以て創立されたもので、昭和六年六月組織を變更して株式会社安治川鐵工所と改め、越えて同九年五月戸畑鑄物株式会社と合併、同十年十月同社は社名を國産工業株式会社と變更、當工場は同社の一工場として工場名を同社安治川鐵工所と改稱し、同十一年三月生産力擴充のため尼崎市に新設された現工場に移轉、同十二年五月國産工業は弊社との合併により當工場は現名稱に改められ今日に至つたものであります。

當工場は創立以來二十數年間起重機、輸送機、特にトランスポーターの製作研究に盡瘁し、石炭輸送装置に新しい分野を開拓し、爾來技術の練磨向上に努めた結果、陸軍省、海軍省、鐵道省を始め大藏省その他諸官廳より指定工場として認定せられ製品弊價は逐年昂揚されて居ります。

位置及び交通

當工場は我國商工業の中心地である大阪市に隣接し、尼崎港に面する一劃を占めて居り、運河もあり水運の便に恵まれて居ります。鐵道も東海道本線神崎驛から尼崎驛まで分岐して引込線の様になつて居り極めて都合良く、電車も阪神電鐵が出屋敷で分岐し南に折れて當工場の西側を通つて居りますので交通の便は良く原料の搬入、製品の出荷は容易であります。

東京 大阪方面よりは

大阪驛で下車、阪神電鐵梅田驛より乗車して出屋敷又は高州で下車致します。

下關 神戸方面よりは

三宮驛で下車、阪神電鐵神戸驛より乗車して出屋敷又は高州で下車致します。





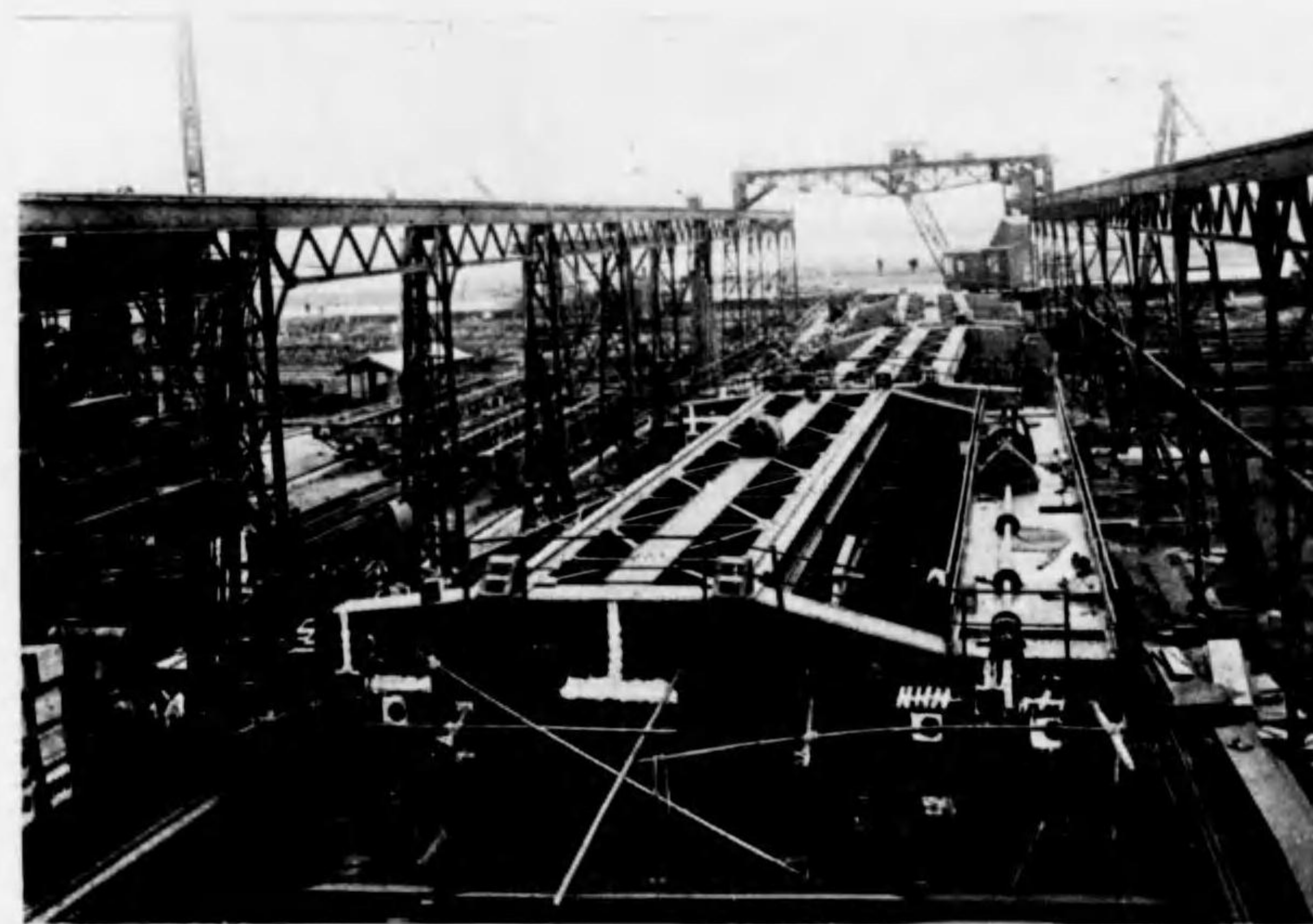
組立工場



鐵骨工場



機械工場



屋外組立工場



試運轉設備

弊 社 工 場 の 現 況

弊社工場は以上の如く日立工場を初め十二工場の多きに達する上更に目下建設中のものに、朝鮮の仁川工場、茨城縣の水戸工場があり、地域的にも全国に跨り、總て全機能を發揮して時局下生産面に活躍して居る次第であります。

惟ふに目下我國は東亞新秩序建設の大使命達成に向つて國を舉げて邁進して居りますが、これがため生産力の擴充は急務中の急務として要望されて居ります。斯る情勢下に弊社全工場は或は新工場の建設に、或は設備の擴張に、或は生産機構の合理化に、一路國策線に沿つて優秀製品の迅速、多量生産を目指して専心努力を續けて居ります。又時局の進展につれ、資材不足の悩み漸く顯著となるや、弊社は其の卓越せる研究設備を總動員して製品の改良に、新製品の研究に、代用品の有効なる活用を心掛け、時局下資材難克服のため挽みなき精進を續け、工業報國の使命達成に粉骨碎身して居ります。即ち銅材節約のためアルミニウムの採用に成功し、或は率先戦時規格品を採用してこれが優秀化と普及を計る等、資材難緩和に對する眞摯の努力は目覺しいものがあります。然し戦時下に拘らず國産技術の高揚に對しては絶えず研究を怠らず、これ等は歐米先進國を凌ぐ新製品、記録品の製作となつて現れ、科學日本の名を彌が上に高からしめて居ることは邦家のため誠に意を強くする處であります。

更に弊社工場が綜合製作一貫作業を特長として居りますことは既に衆知のことであり、顧客の便宜に資する所大であります。これがため製品のあらゆる部分の全責任を一手で引受ける關係上製作工程には細心の注意と工夫を凝らして居ります。即ち完備した教育施設その他の福利施設の中で養成された優秀工員は「打込め魂仕事の上に」なる標語の下に如何なる製品をも魂あるものとしての製作を目指して居り、斯界に誇る試験設備と相俟つて責任ある優秀製品を作製し遠く海外にまで其の眞價を發揚して居る次第であります。

試験研究設備

附 工業所有權

概 要
研 究 部 門
試 験 設 備 の 一 部
工 業 所 有 權

概 要

弊社は創業以来電氣機器の國産化を目指して獨立獨歩自ら新生面を開拓し來つた關係上、製品その他の研究に就ては殊の外重きを置き各工場各様の人材と設備を以て精進して來たものでありますが、大正七年二月に日立工場に研究係を設けて、始めて獨立の形態を整へたものであります。當初は製品の改良並に製作上の當面の問題解決に忙殺されましたがよくその使命を達し、弊社今日の大をなした主製品の研究に新分野を開拓して偉大なる効果を収めました。その後昭和九年三月これを廢し日立研究所となり、人員並に設備の充實を一層強化し、學理の基礎的綜合的研究を強化すると共に學理と實際との調和應用に多大の努力を拂ひ、今やこの種研究所の範として弊社發見發明の原動力として活躍して居ります。

又大正十二年七月戸畑鑄物株式會社の研究課として誕生した現在の冶金研究所に於ては専ら冶金に關する研究に没頭し斯界のためには大きな貢獻をなして居るものであります。

更に製品は嚴密な試験に合格した後始めて出荷する事を鐵則として居りますので各工場共試験設備の充實には並々ならぬ努力を拂ひ、就中日立工場の試験設備は非常に大規模なもので斯界に跨る各種設備を持ち、我國電氣機器製品の信頼度を高めるに充分なものであります。

日立研究所

日立市大字助川1,405番地 電話日立 24

冶金研究所

島根縣能義郡安來町 電話安來 35

研究部門

日立研究所

電氣

高電壓現象、避雷器、遮斷器、水銀整流器、その他電子、工學關係、繼電器、計器、電壓調整器、電氣刷子、磁氣材料その他一般電氣關係

機械

材料強弱に關する研究、流體力學、水火力原動機、高壓ボイラー、燃焼、その他機械關係

冶金

鐵、非鐵、輕合金その他一般冶金關係

物理

音響、振動、真空工學、X線、熱、スペクトログラフ、高速度寫眞、その他の物理關係

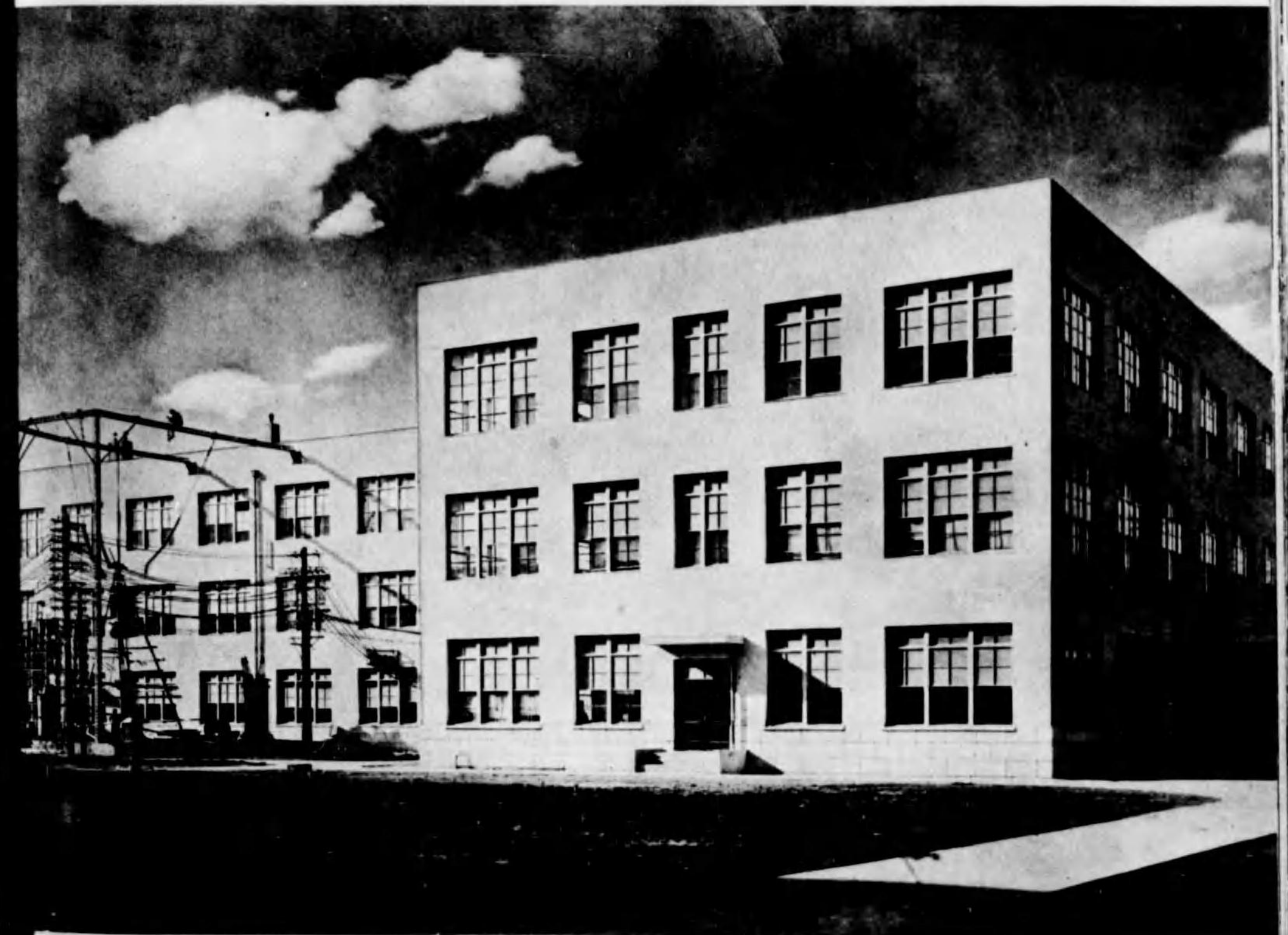
化學

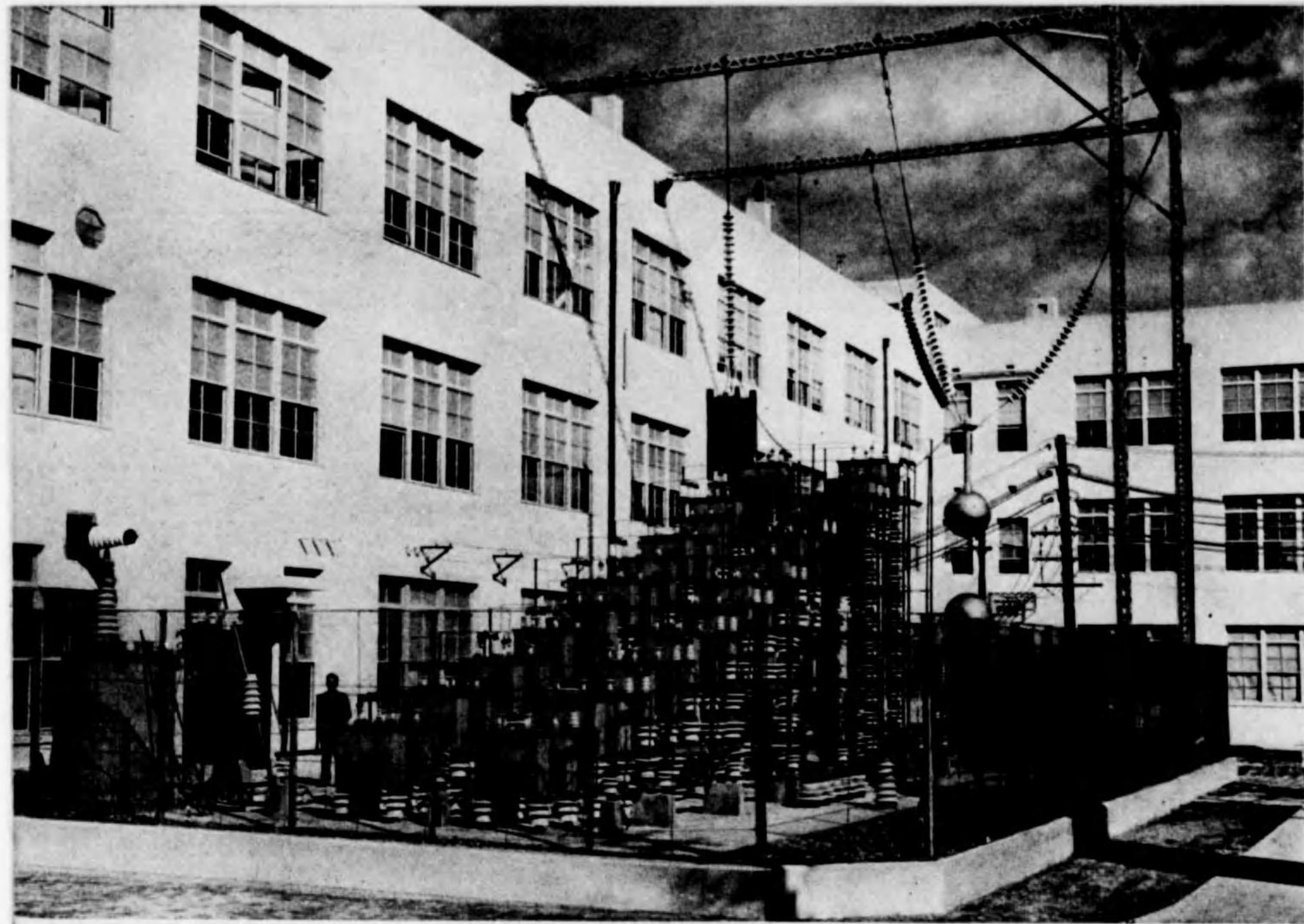
電氣絶緣ワニス、絶緣油、人造樹脂、人造護膜、腐蝕化學分析、無機電機材料、その他一般化學關係

冶金研究所

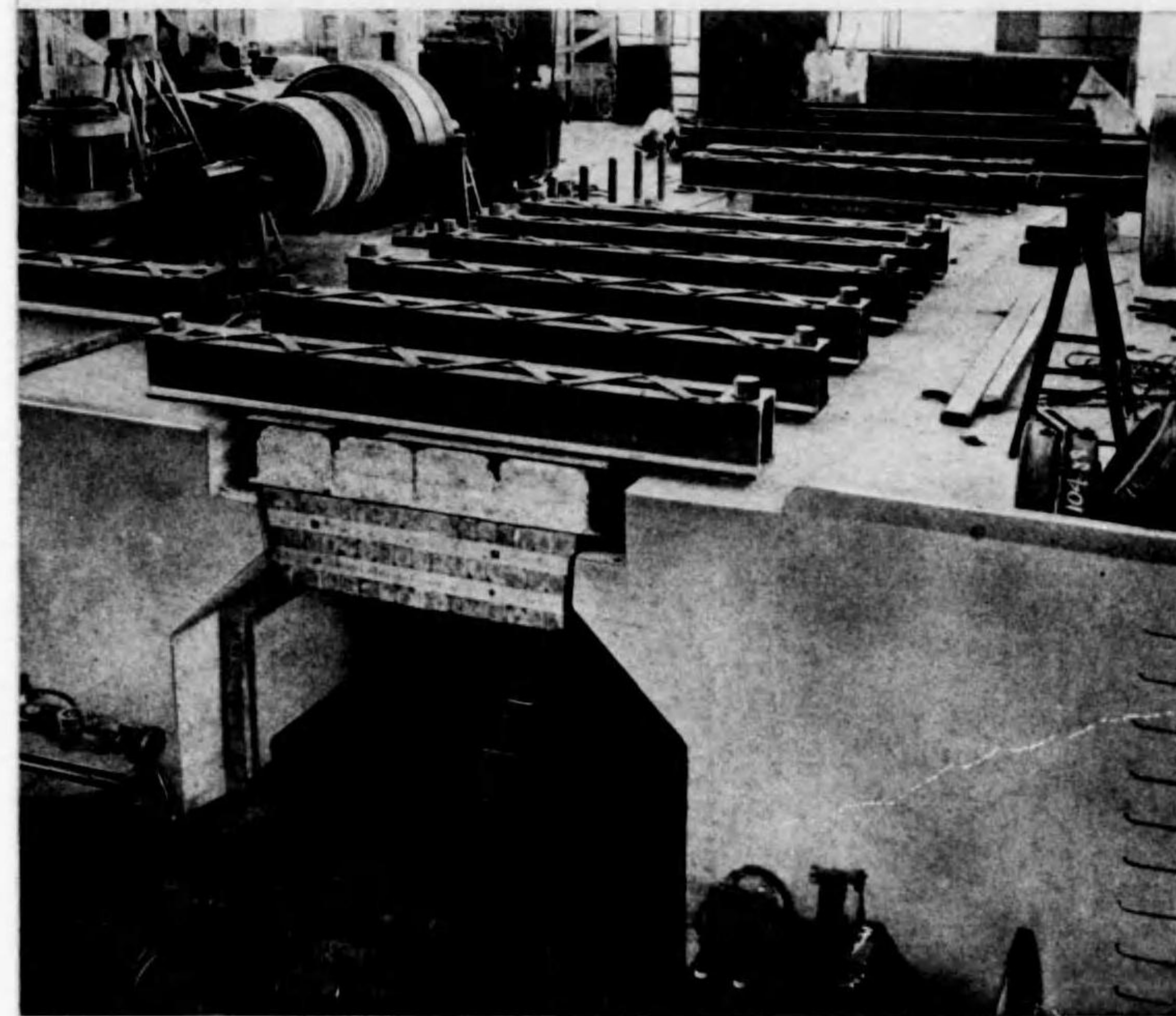
冶金研究所に於ては主として安來鋼の特性並に各種特殊鋼の研究に専念從事し、技術の學理的研究をなすと共に學理と實地との調和を圖ることに努力して居ります。

日立研究所

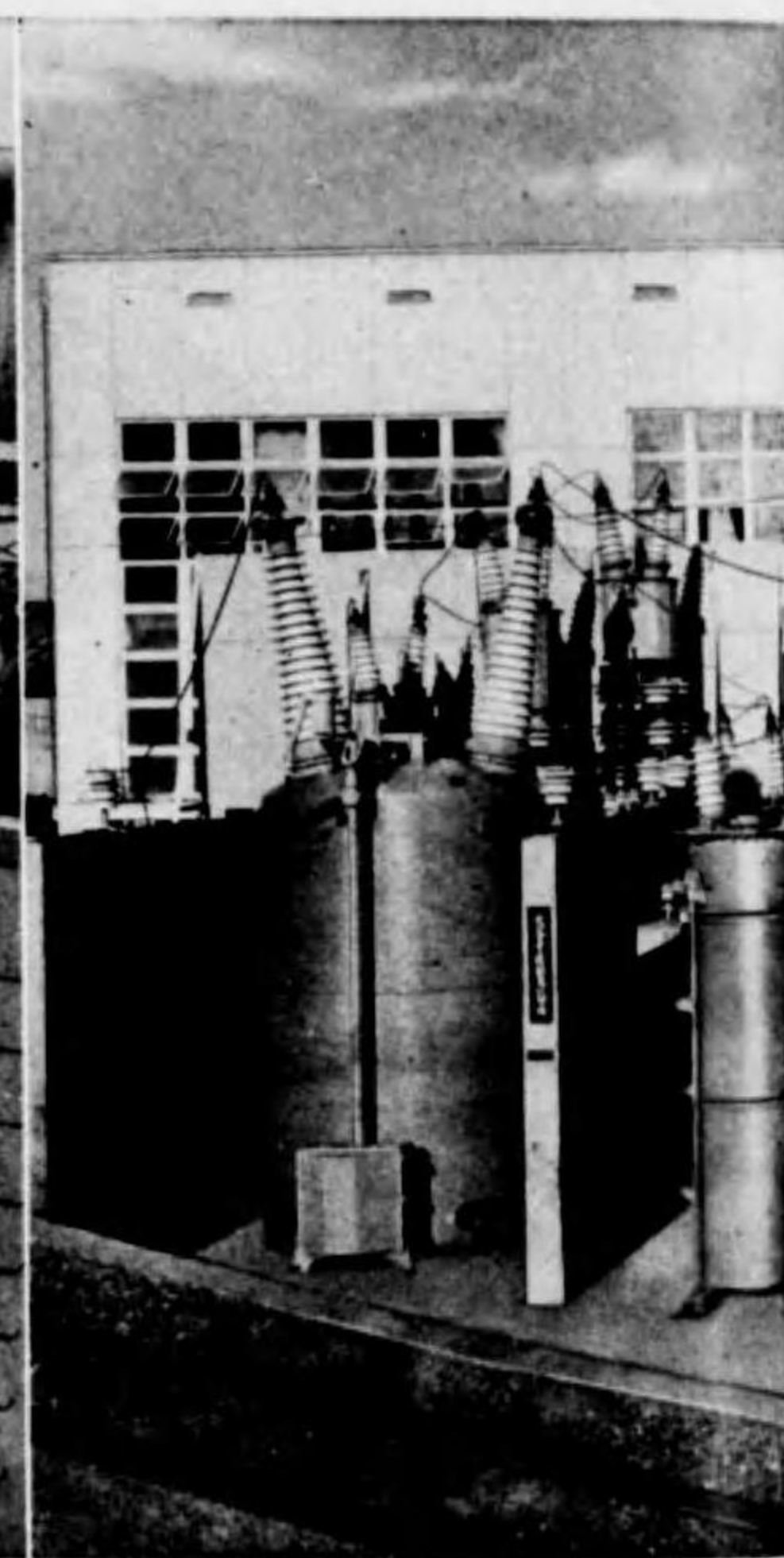




2,000,000 V 人工雷發生裝置

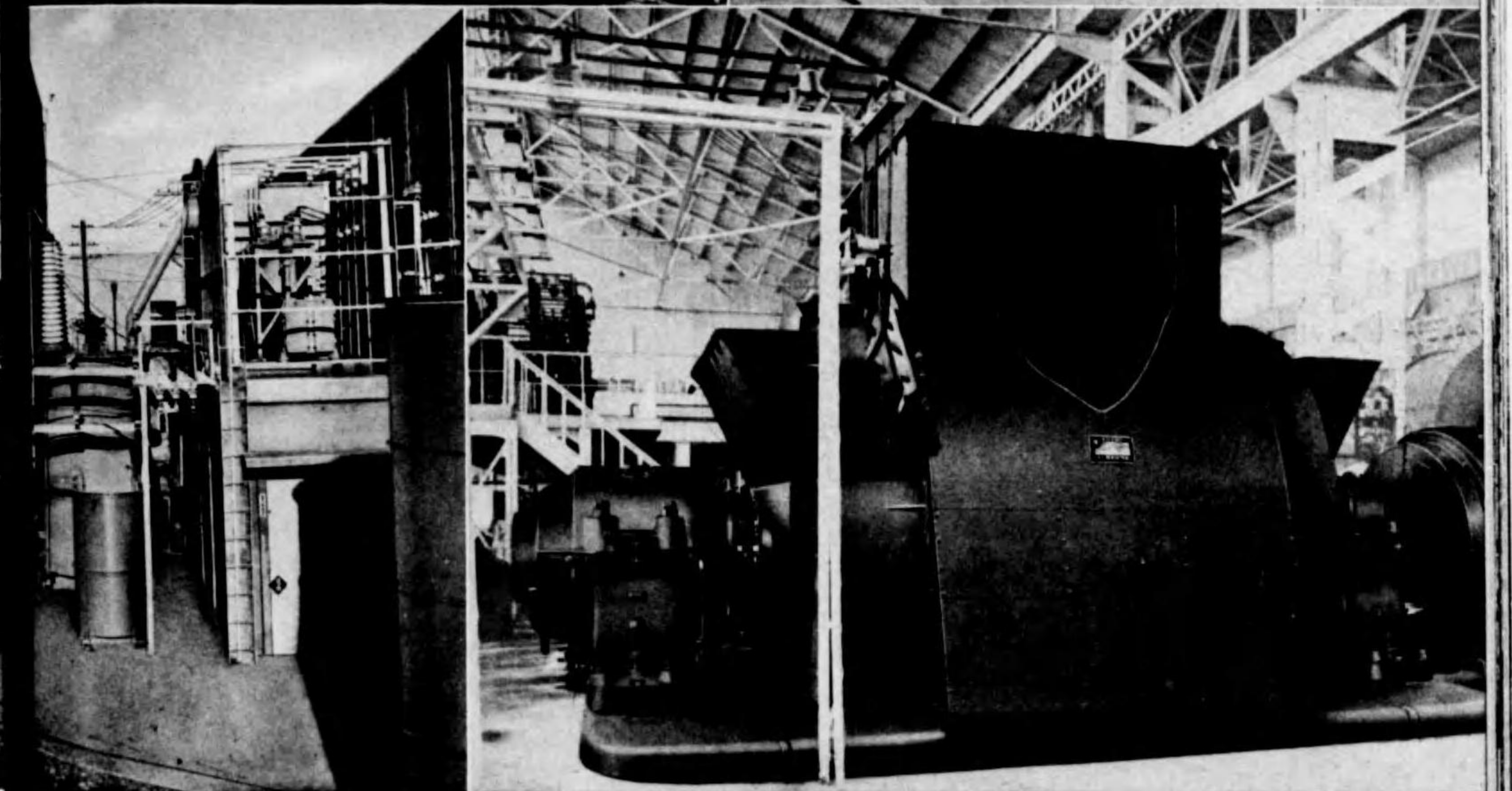


過速度試驗ピット



水車實驗室

1,000,000 V 特高壓試驗裝置



大容量短絡實驗所

50,000 kVA 交流發電機

工業所有權

國産技術の世界制覇を目指す弊社の
眞摯な研究努力は着々結實して以下の
如き工業所有權の累増となつて現れて
居ります。これ等は總て弊社製品の卓
越を證する基底となると共にその信頼
度を彌が上にも高めるものと信じます

- 特許權數……………720件
- 實用新案權數……………2,946件
- 登録商標權數……………30件

(昭和十四年十二月現在)

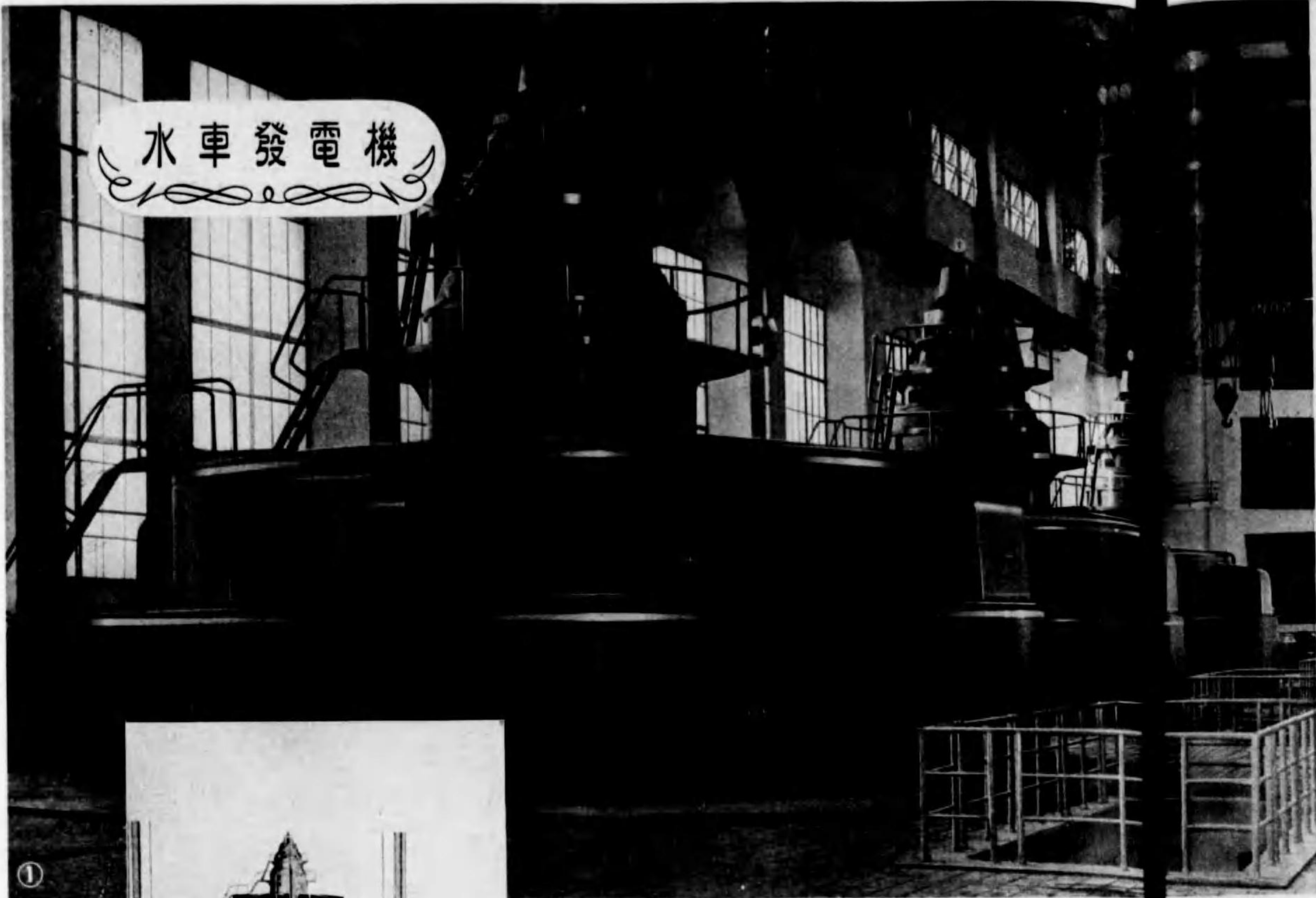


主 存 る 特 許

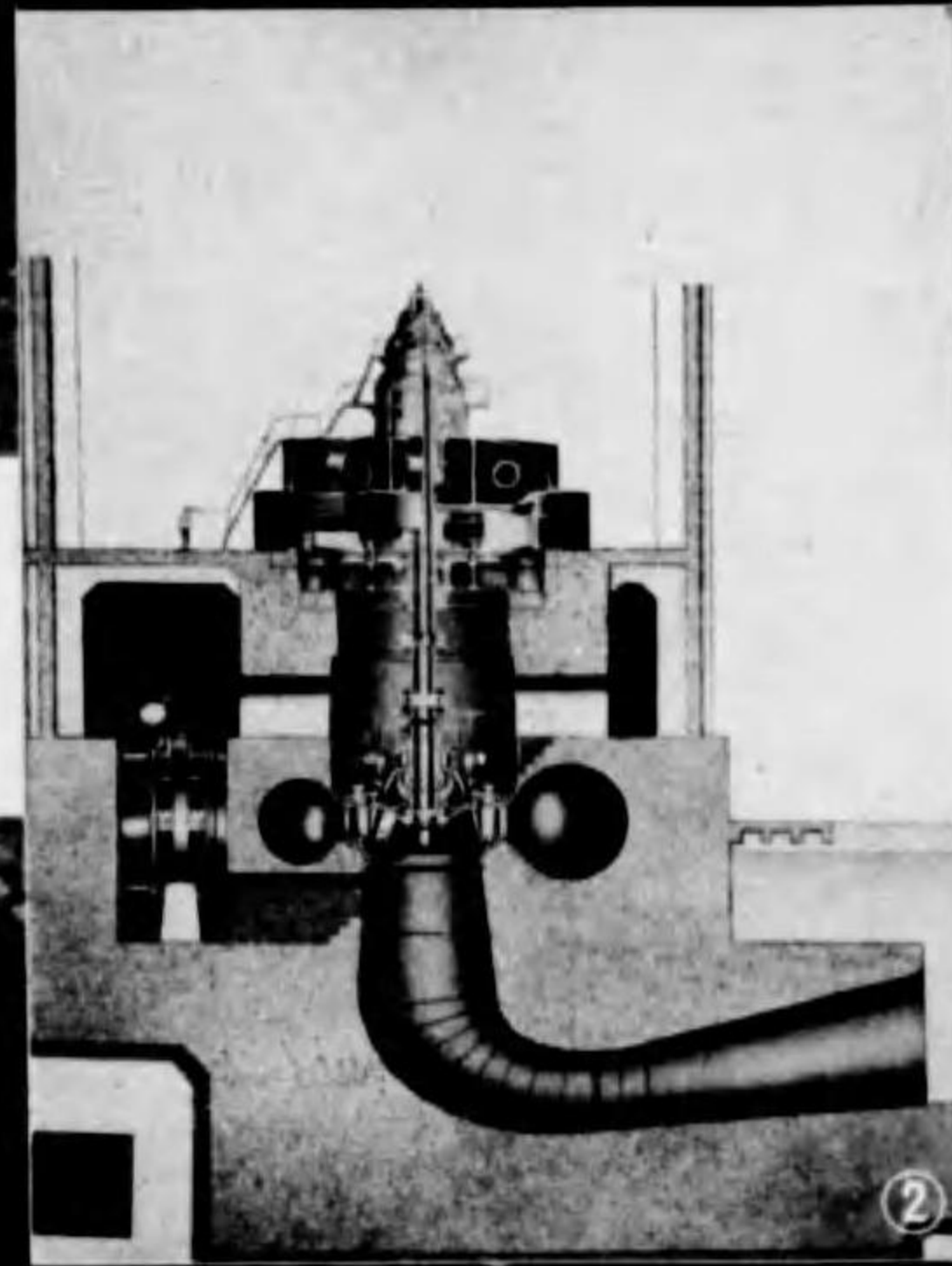
登録番號	名 稱	發 明 者
70514	電氣信號裝置	鈴木寅吉
71347	バルブ自動閉閉裝置	關三郎
73063	捲揚機制御裝置	工藤直治
73198	鑄造法	池上龍夫
73550	誘導型時繼電器	鈴木寅吉
75698	電氣機自動制御裝置	倉科丈夫
76108	焼付ワニス及エナメル製造方法	横田兼利
76874	誘導電圧調整器ノ並列運轉方式	谷崎義一
82879	閉閉器操作機構	松井策夫
83177	鑄型製作用抜棒ノ砂受板出入裝置	網谷俊平
84530	陶磁器類ト亜鉛被鐵材トノ接着法	杉田四郎
85536	グラブバケット支持綱索緩ミ防止裝置	荒井勉
88492	单相誘導電動機ノ反撥起動裝置	飯尾達次郎
88880	手働閉閉器ヲ附シタル水力發電所用油壓弁	關三郎
88881	水車導入弁自動閉閉裝置	關三郎
89677	水車緩停止裝置	關三郎
89678	起重機ガードー俯仰安全裝置	上田銈助
91905	手働操作式電路遮斷器ニ於ケル鎖錠裝置	安島信太郎
92236	自動同期化繼電裝置	滑川眞吉
93086	全密閉型電動機	橋本國治
93090	可逆制御裝置	藤國治
93640	起重機ノ走行用電動機ノ自動制御裝置	藥師神恒
93759	走行用電動機自動制御裝置ノ改良	横山二良
94618	高速度回路遮斷器	荒井直勉
94891	抽出型配電箱	荒井直勉
96236	双投電磁閉閉器	土本景三
97104	差働繼電器	高橋協三
97772	非磁性鑄鐵	吉野芳衛
98362	電氣抵抗體ノ製造方法	和島藤助

100954	酸化銅整流銀製造法	遠丸小野義夫
101736	モータードリルスネッチハンドル機構	戸部利吉
103583	多數ノ摺動翼ヲ有スル二段迴轉縮縮機ノ運轉裝置	越智重雄
103659	耐熱鑄鐵	渡邊軍治
106636	渦動傳荷傾推力平衡裝置	寺田進
107668	石炭採鐵機	高橋部一
109185	レバー裝置	大西昇
110449	電動操作式閉閉器ノ引外裝置	丹下普行
111232	半球型放電間隙	安藤芳郎
112510	フェノール縮合物ノ製造方法	中岡芳郎
114986	矽酸鉛ヲ接着劑トスル電氣絶緣物製造方法	木曾菊之助
115342	半圓メタル製作法	杉田平助
115492	複式制御器ノ同期方式	岸高英雄
117229	移動體ノ停止制御電氣裝置	油谷源太郎
117522	斷路器	和島善千
117683	鑄造用鐵合金	茨木蘇之吉
117867	自動溫度調節裝置	内藤逸策
118209	コールドカタター墜落防止裝置	山本英四郎
118305	洗極制弧型油入遮斷器	青木野矢
120280	内燃機關ノ作働方式	牧安島信太郎
120329	油入遮斷器	福田公雄
120362	炭素ブラシ判別法	丹下普行
120367	交流發電裝置	高橋廣治
121878	戸閉安全裝置	栗林藤吉
121921	捲揚機ノ操作裝置	平田憲一
126595	懸垂可動輪型電氣計器ノ指針	石橋重雄
126969	運搬裝置	北川正榮
127884	溫度燃焼状態其他ノ自動調整裝置	北辻大西昇
129833	汽罐自動燃焼制御裝置	田村誠一
131187	燃氣電力ニ依ル電流測定裝置	田村英四郎
131189	アルミニウム避雷器積流防止裝置	辻田正一
132688	交叉線輪型計測裝置	三浦倫義

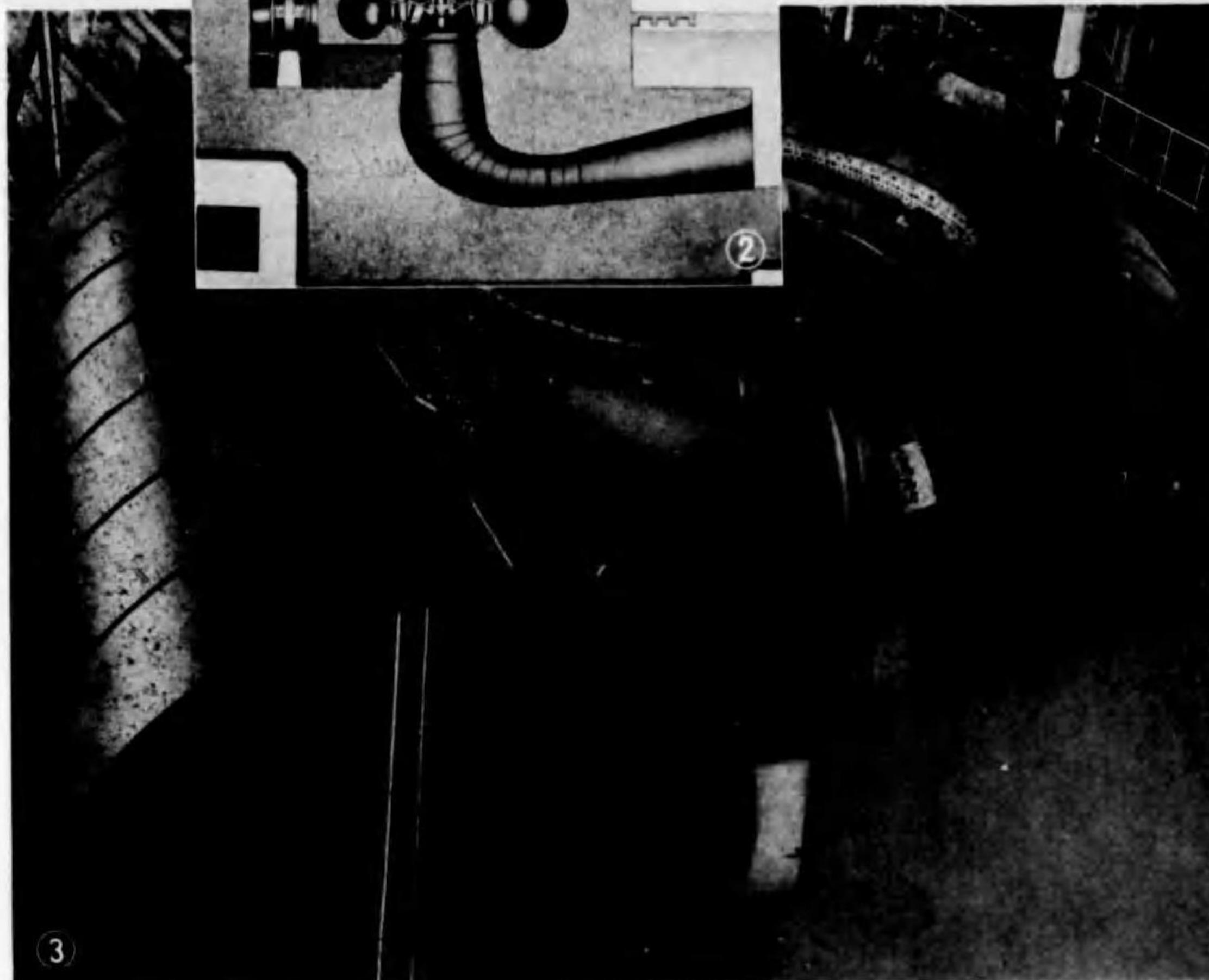
水車発電機



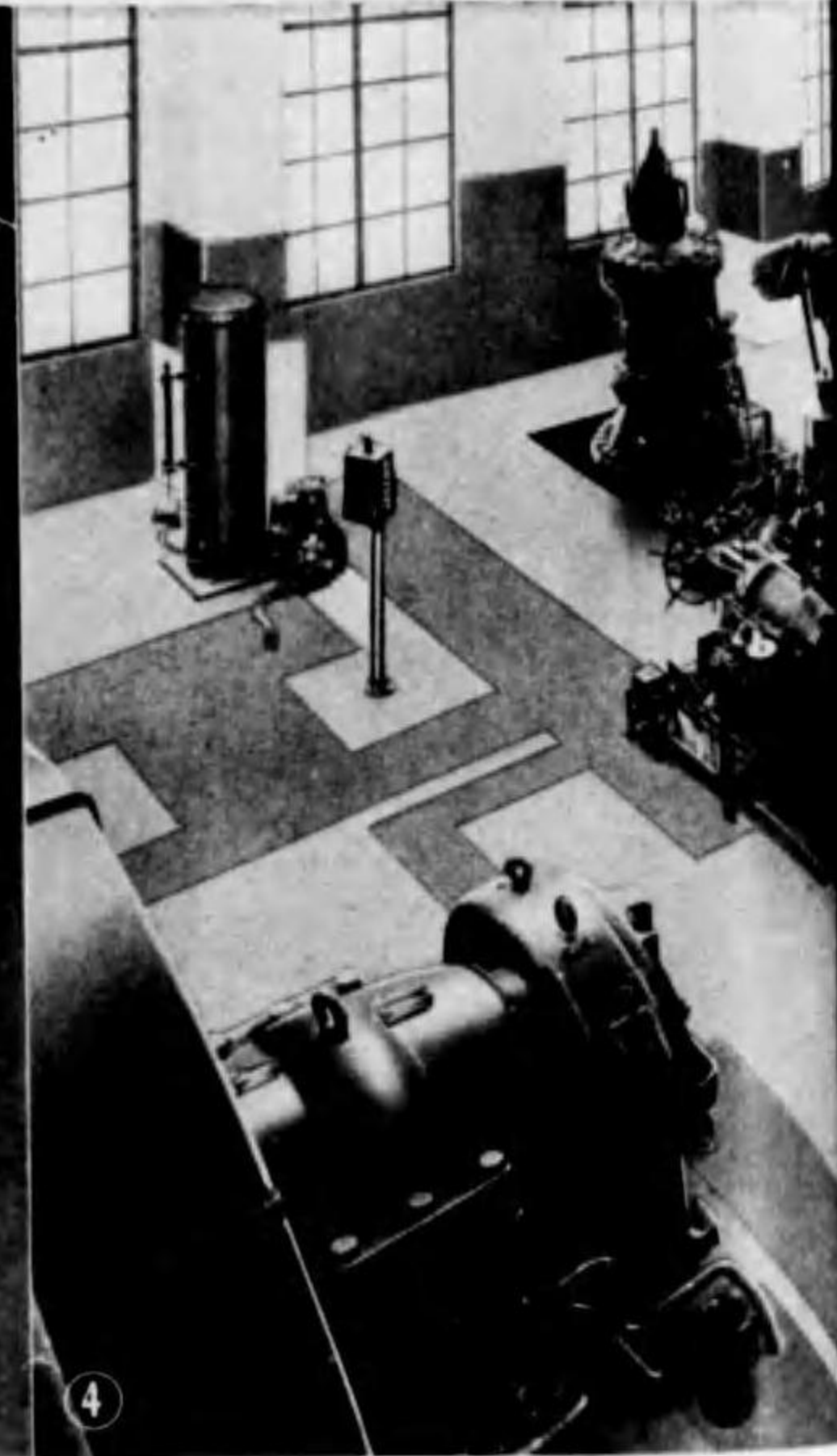
①



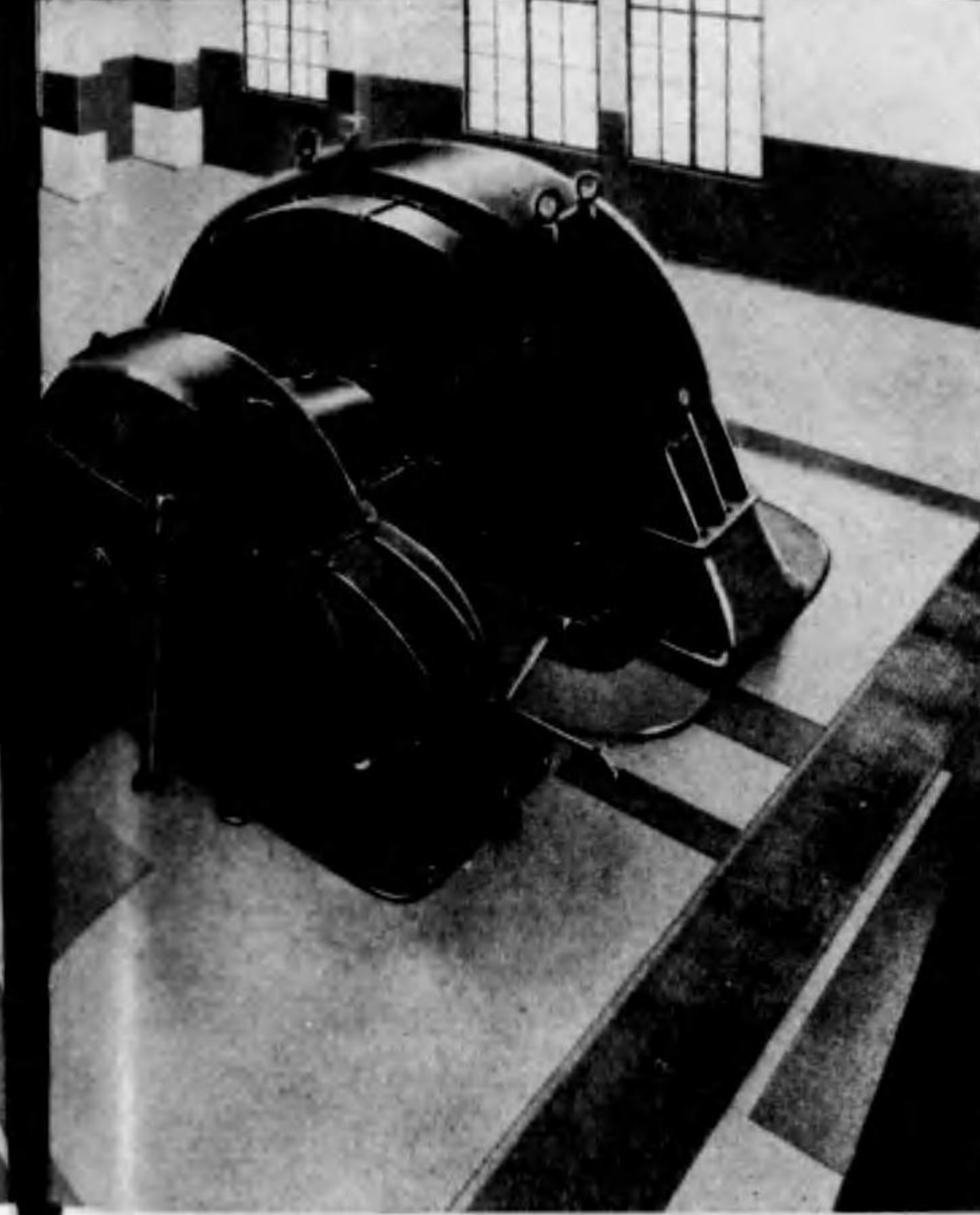
②



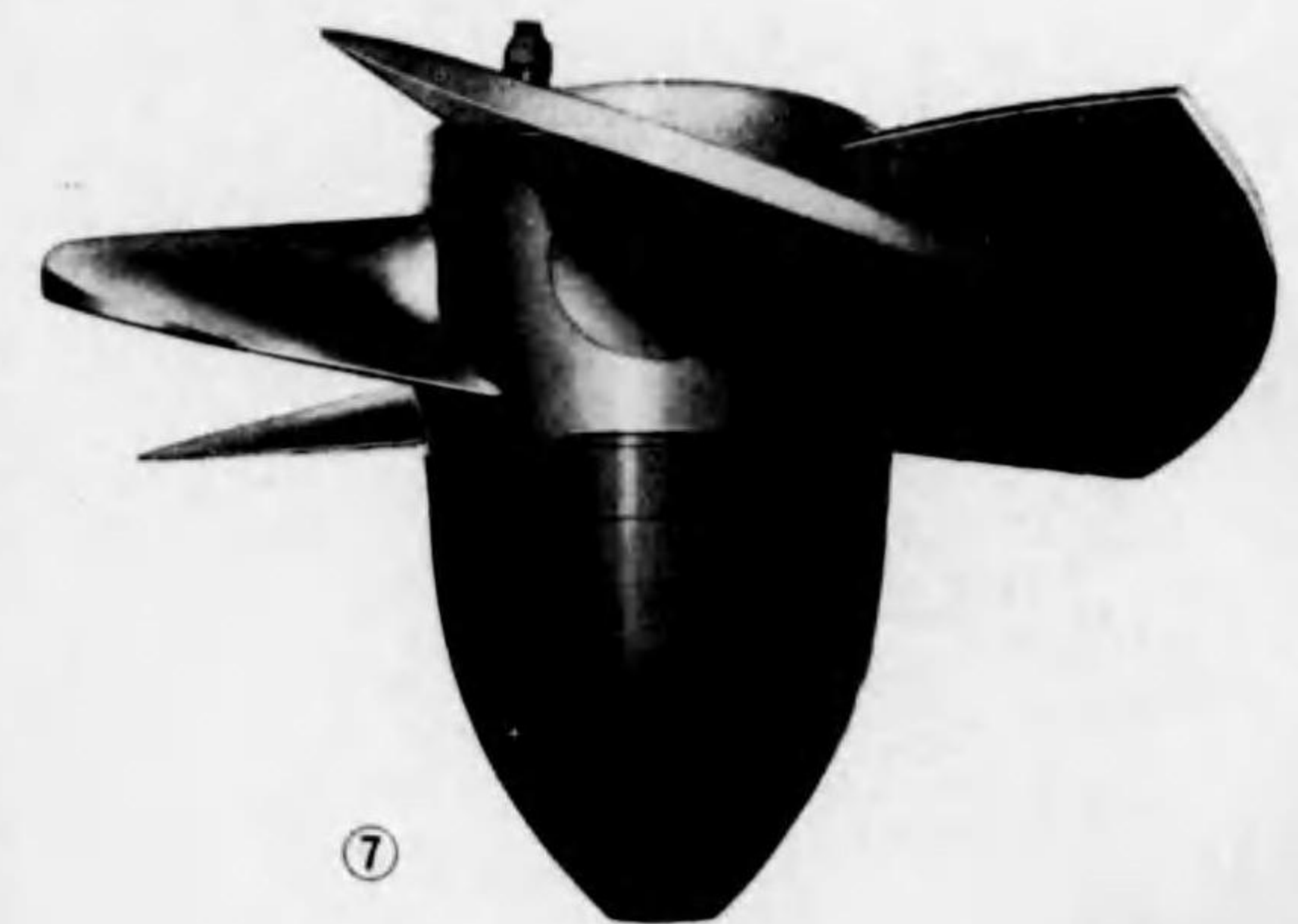
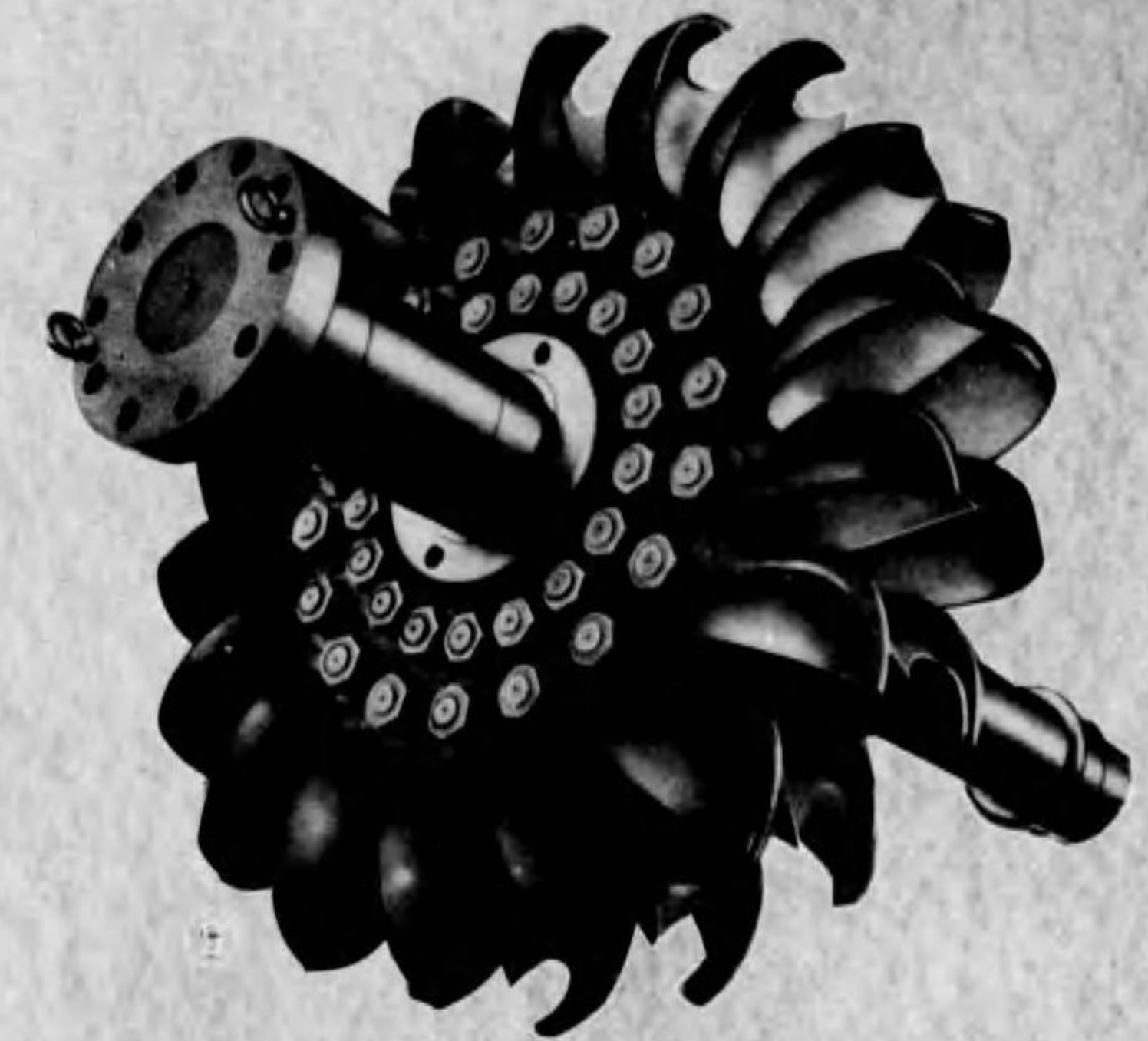
③



④

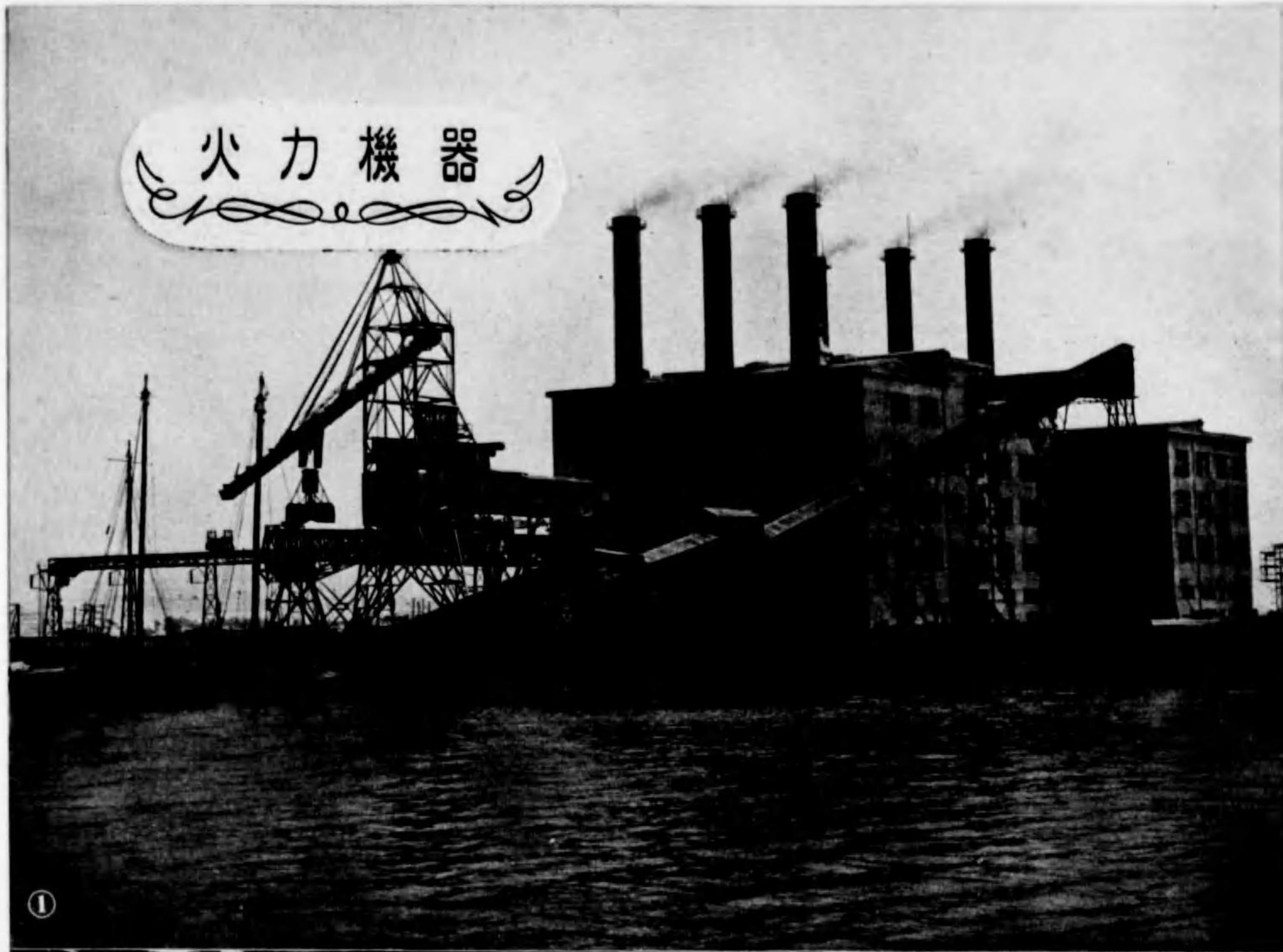


- ① 60,000 HP フランス水車
直結 31,000 kVA 堅軸交流
発電機
- ② フランス水車断面圖
- ③ フランス水車渦巻
ケーシング
- ④ 18,650 HP ベルトン水車直結
13,750 kVA 横軸交流発電機
- ⑤ ベルトン水車ランナー
- ⑥ フランス水車ランナー
- ⑦ 可動翼プロペラー水車
ランナー

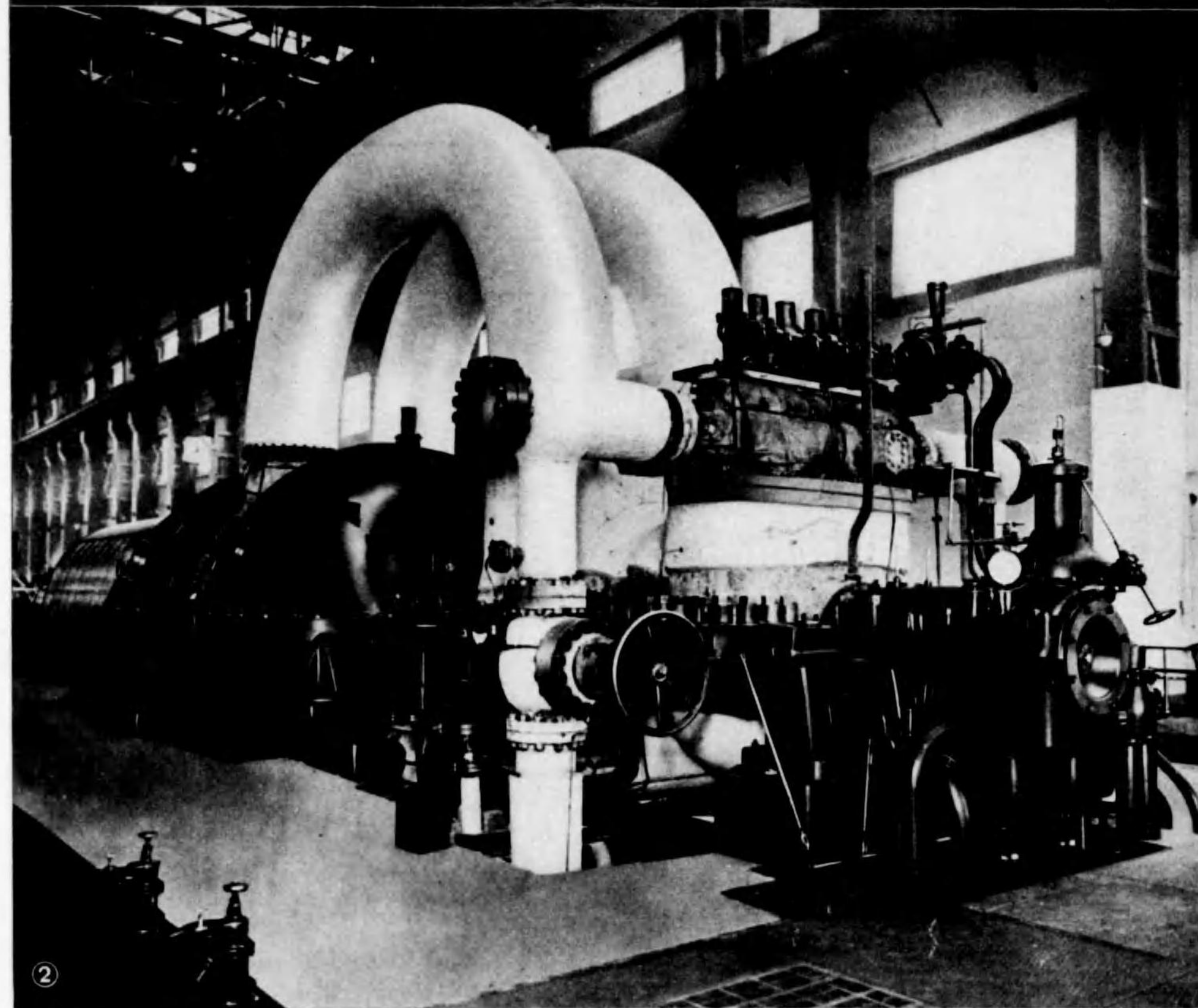


⑦

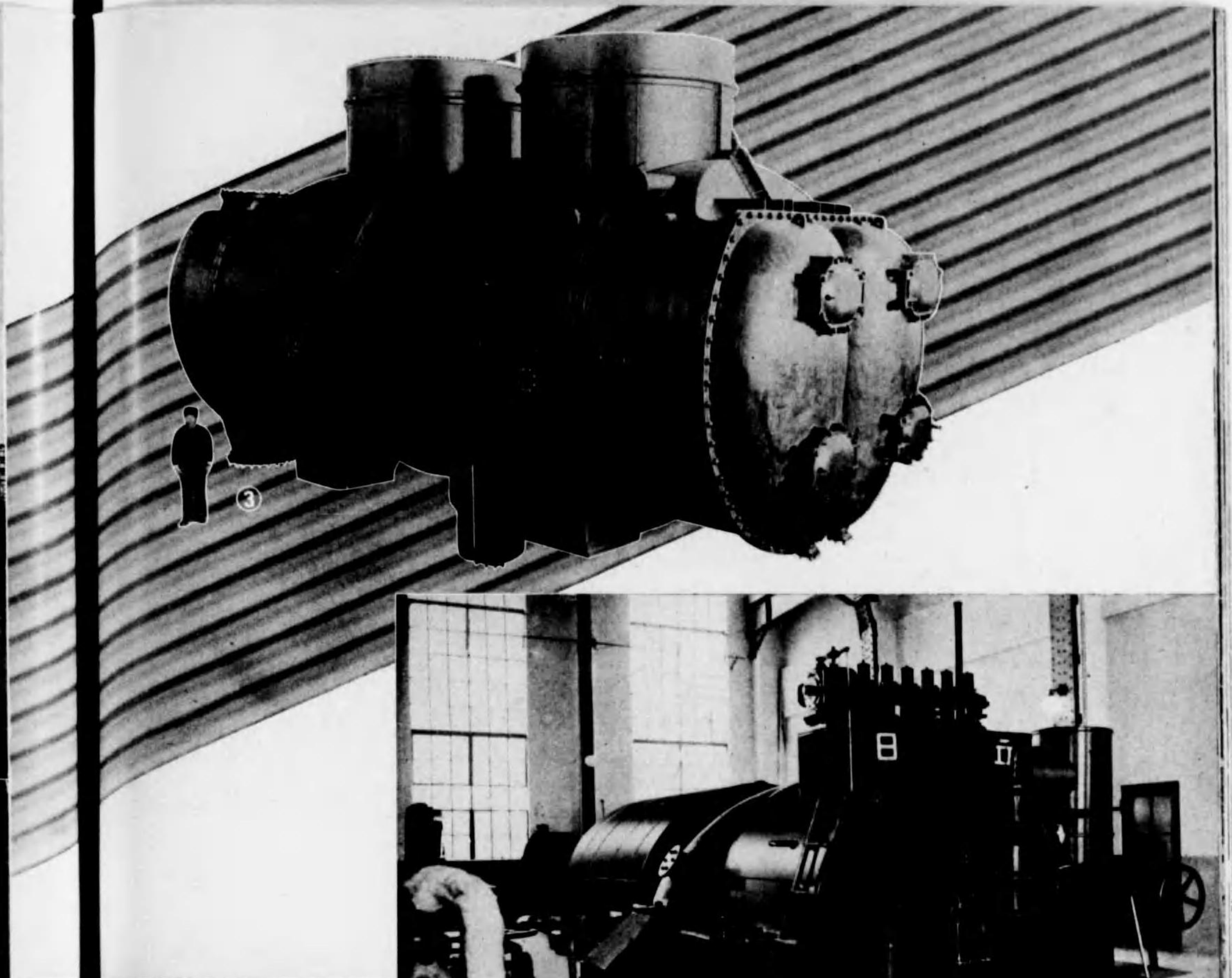
火力機器



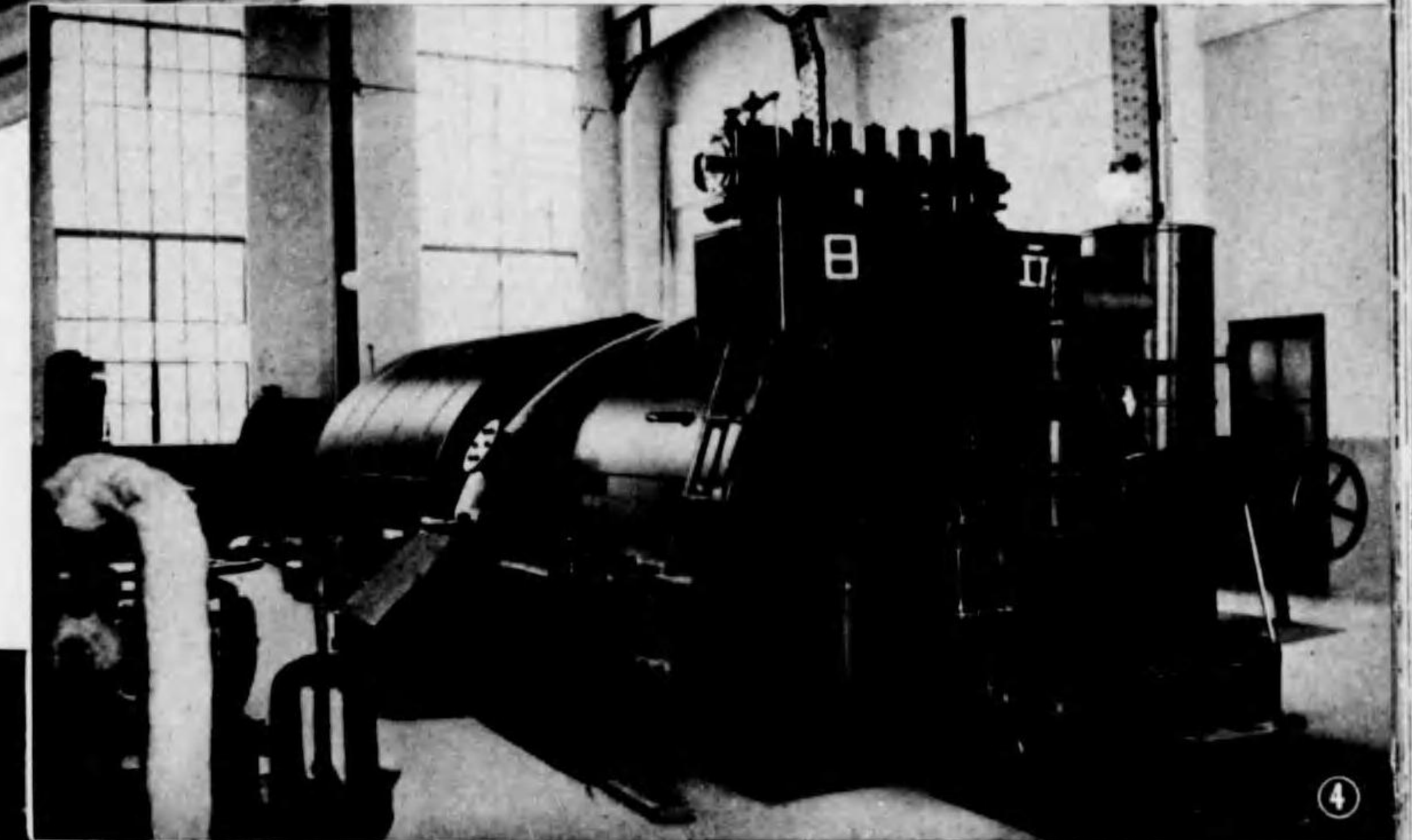
①



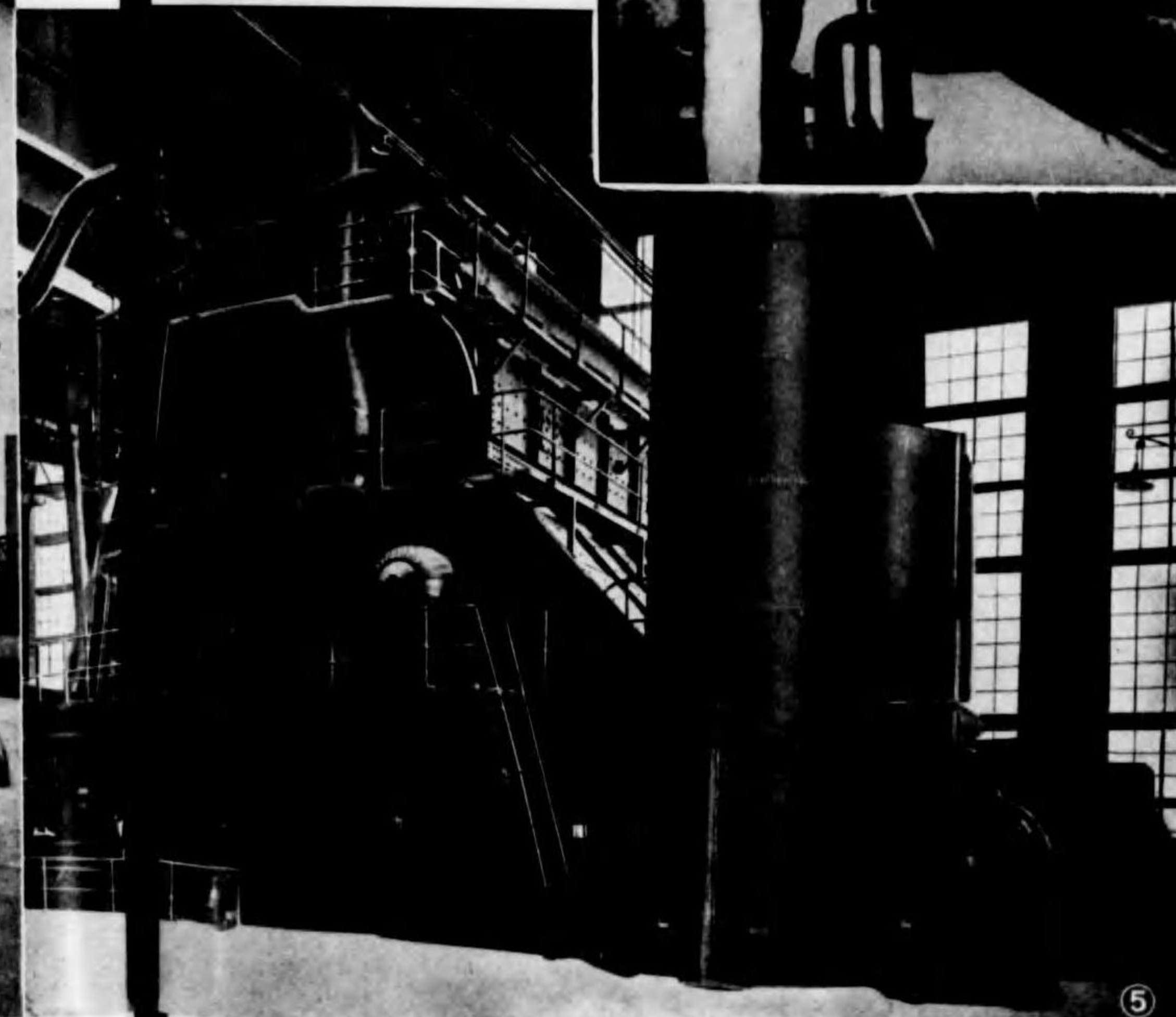
②



③



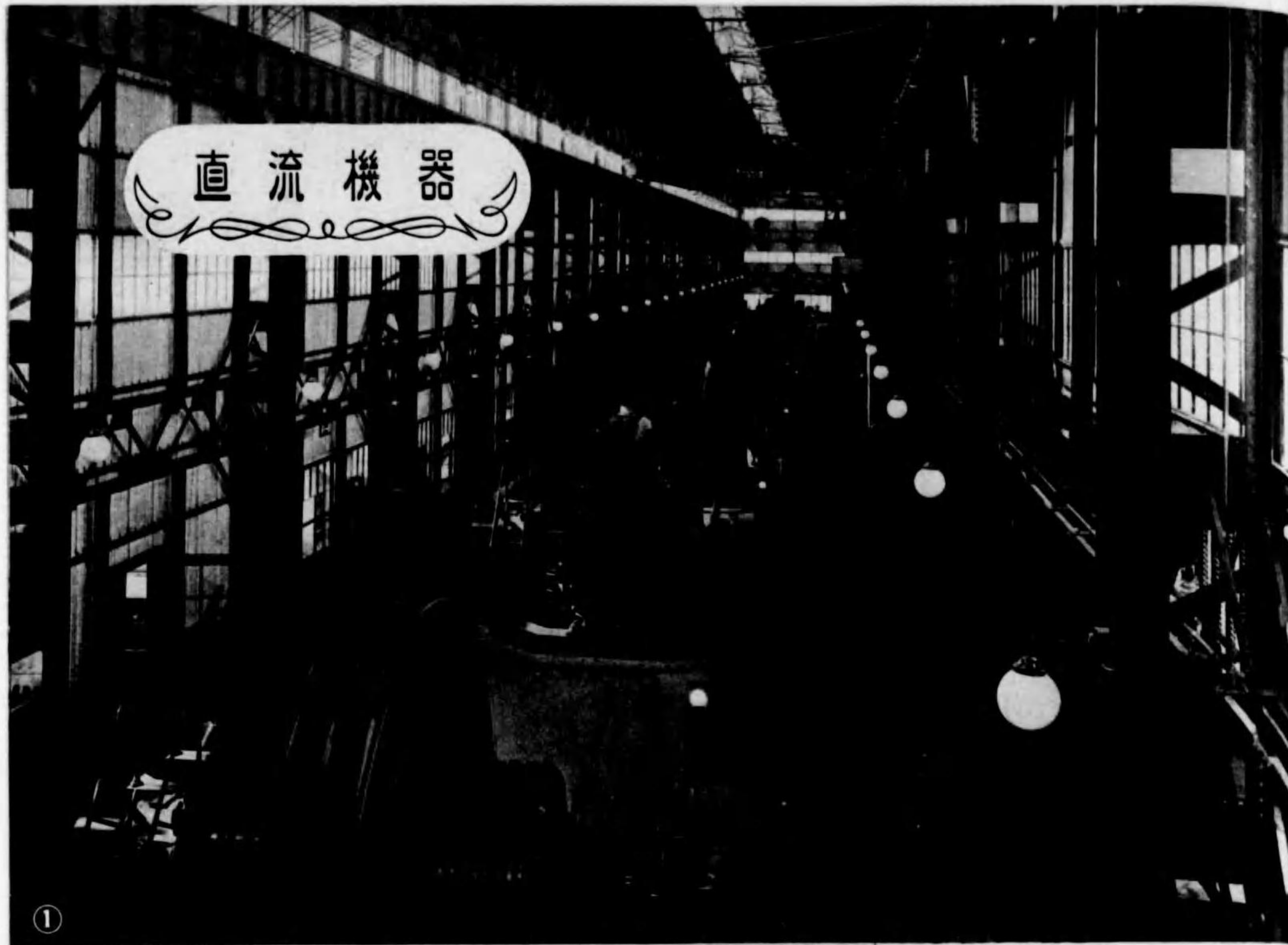
④



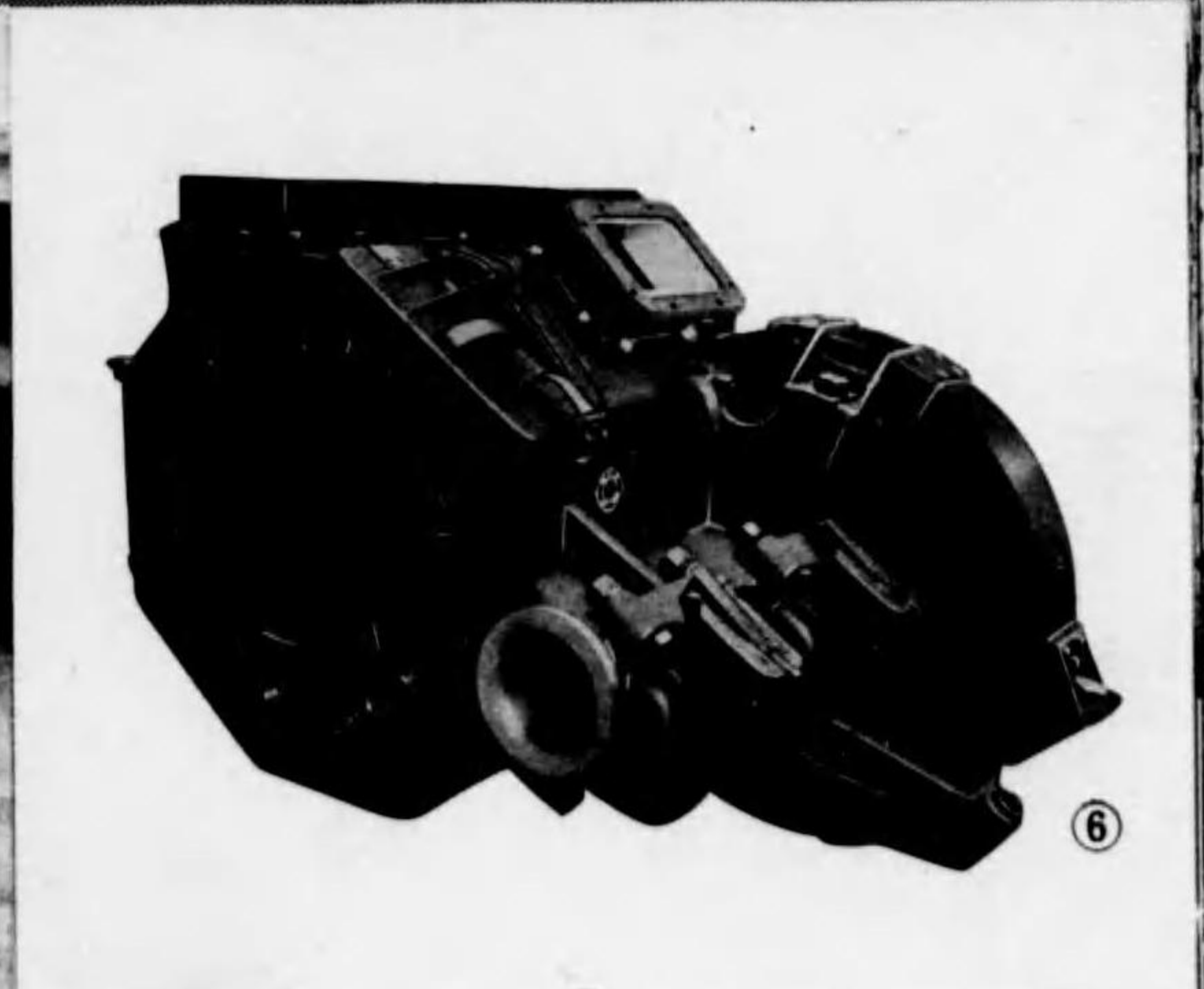
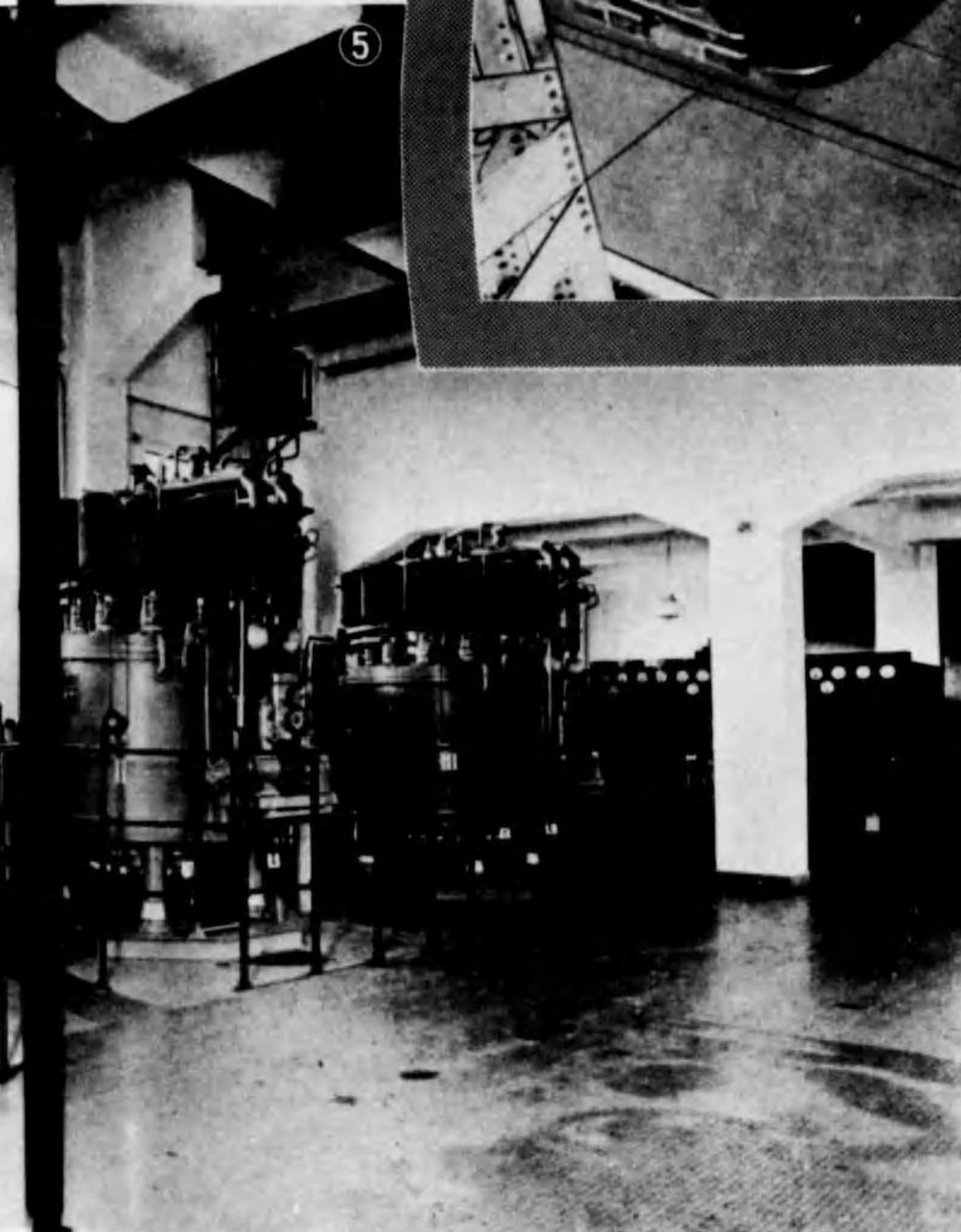
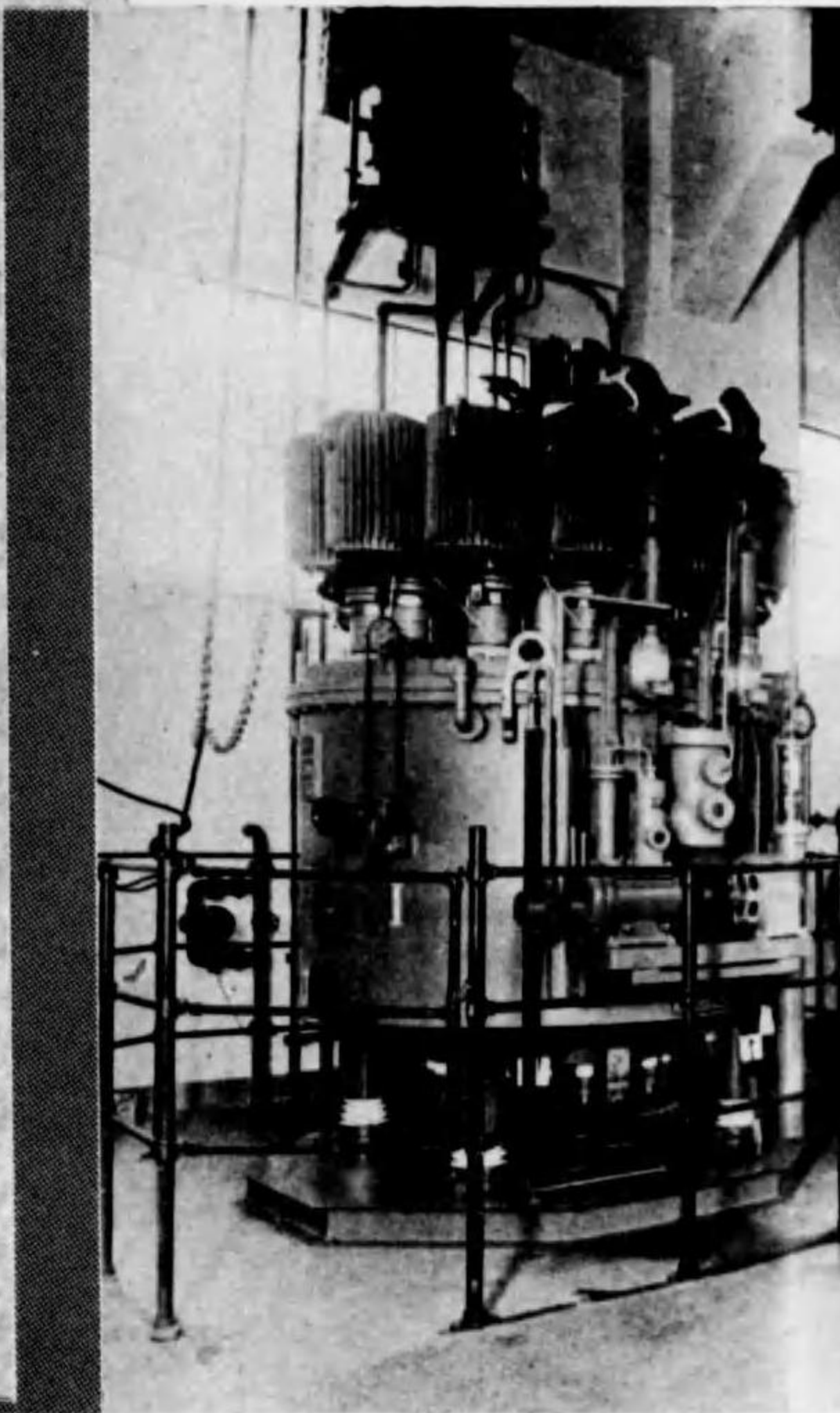
⑤

- ① 火力発電所全景
- ② 53,000 kW タービン発電機
- ③ タービン用復水器
- ④ タービン発電機
- ⑤ 蒸発量 60,000 kg/hr 水管汽鍋

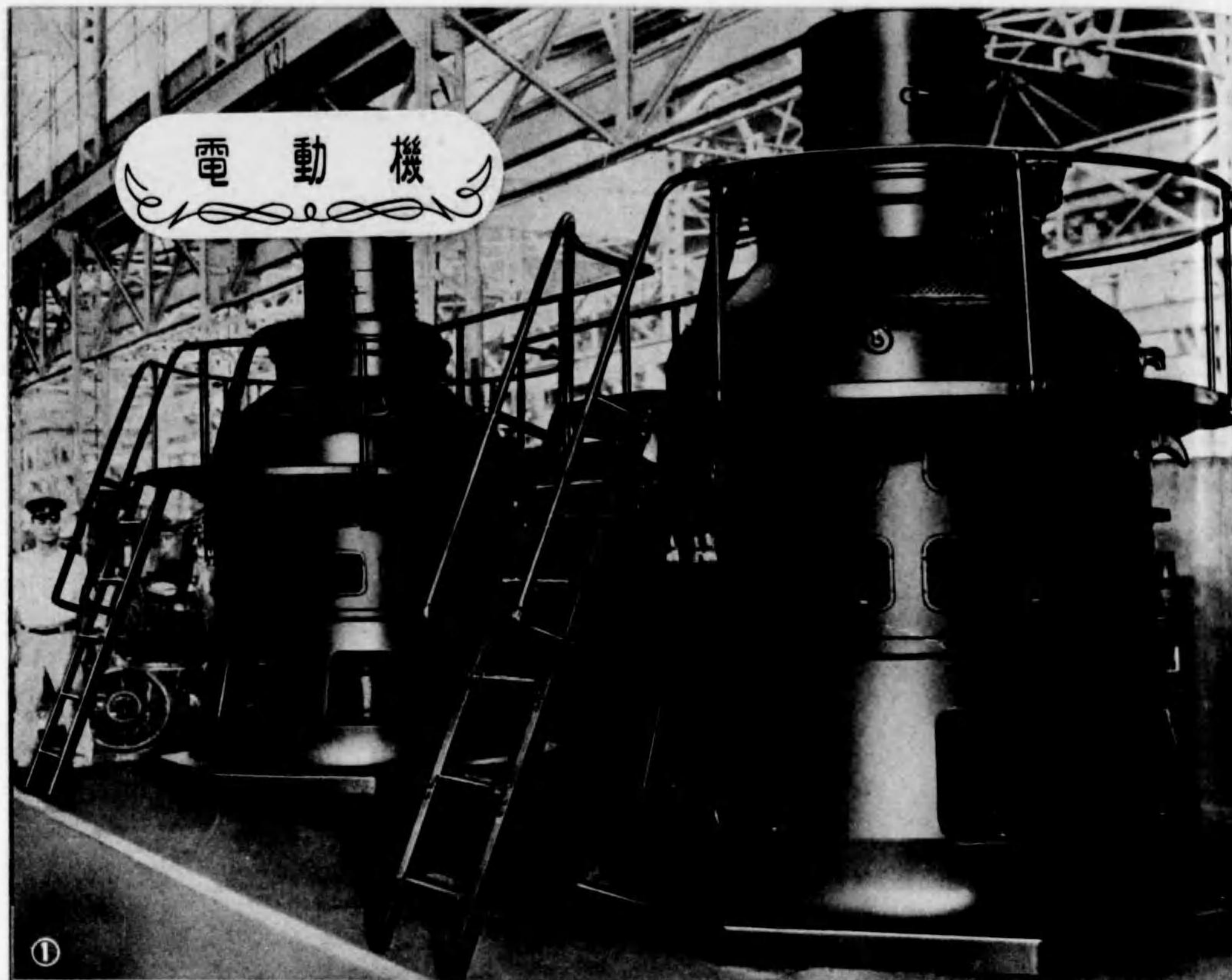
直流機器



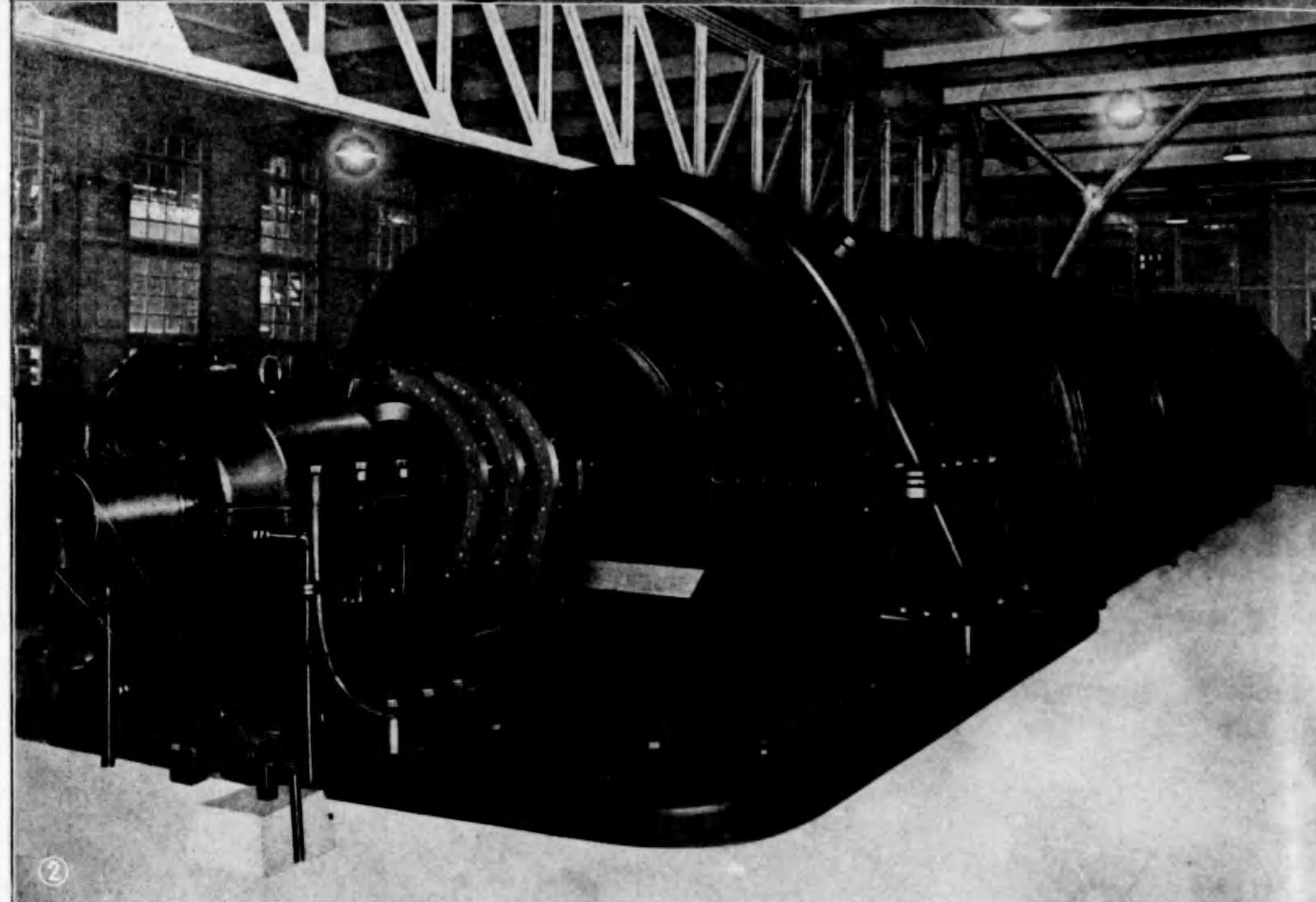
- ① 6,000 kW 回轉變流機
- ② グラインバー
- ③ 23,600 HP 直流電動機
- ④ 電動發電機
- ⑤ 水銀整流器
- ⑥ 電機用電動機



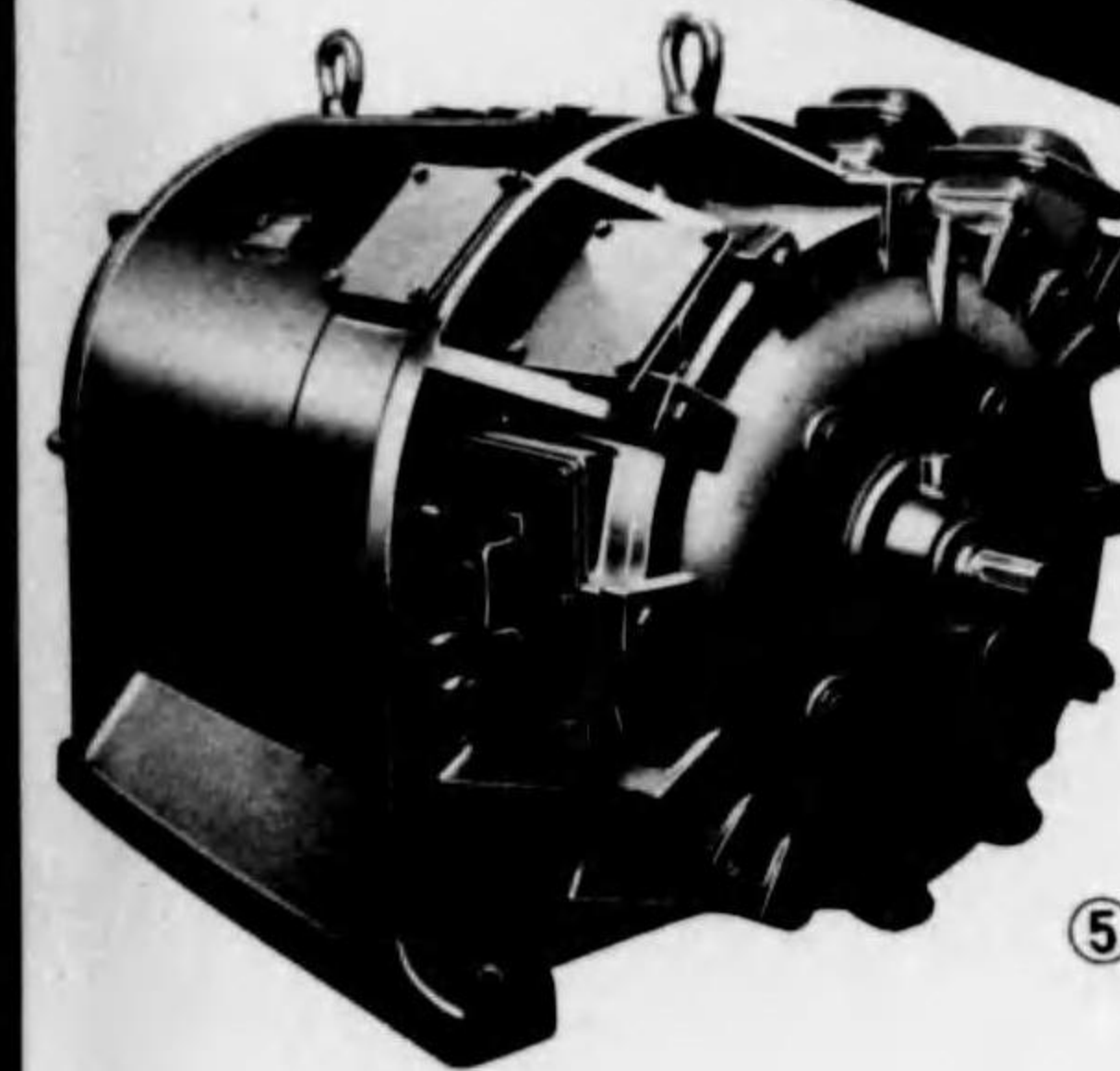
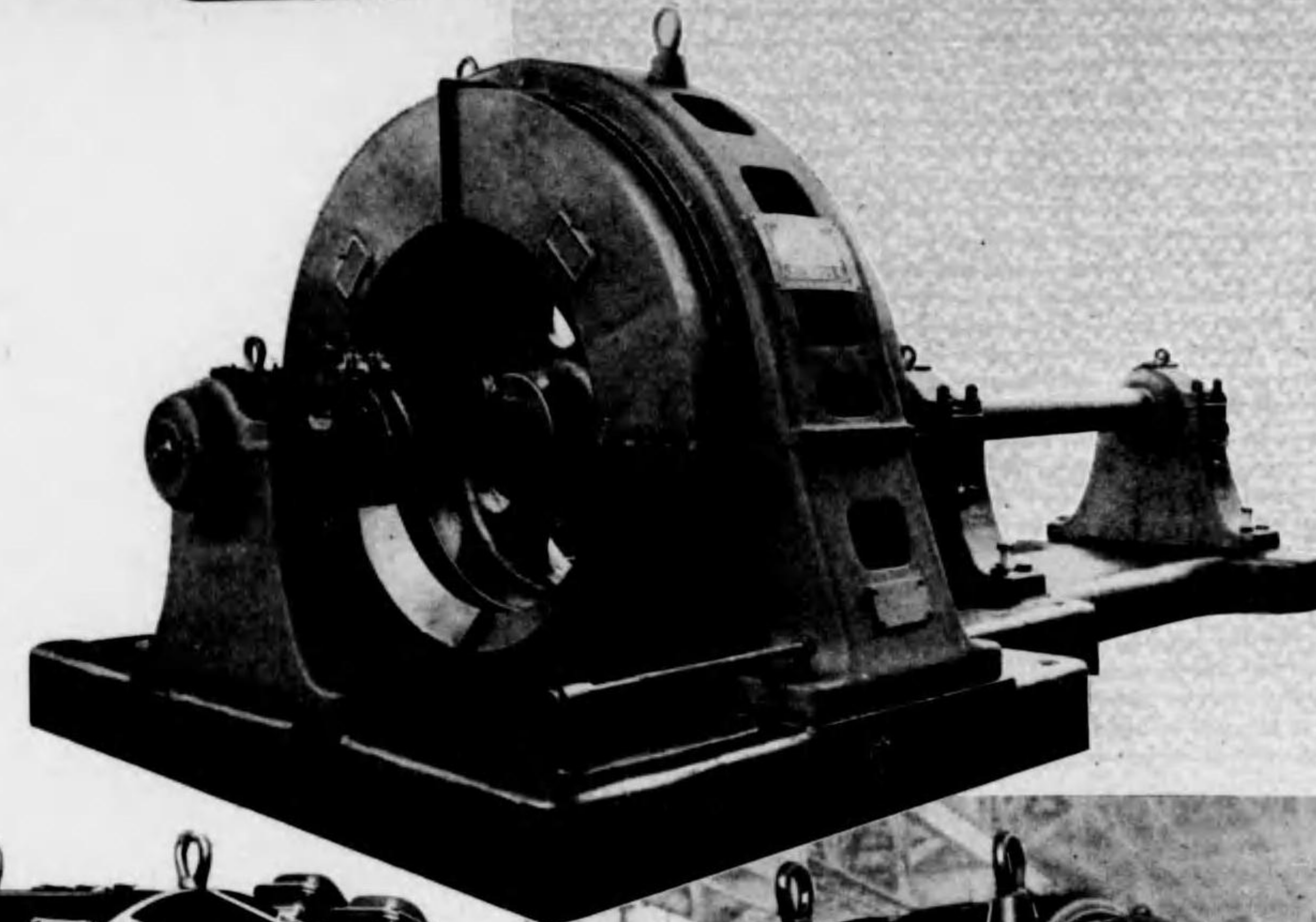
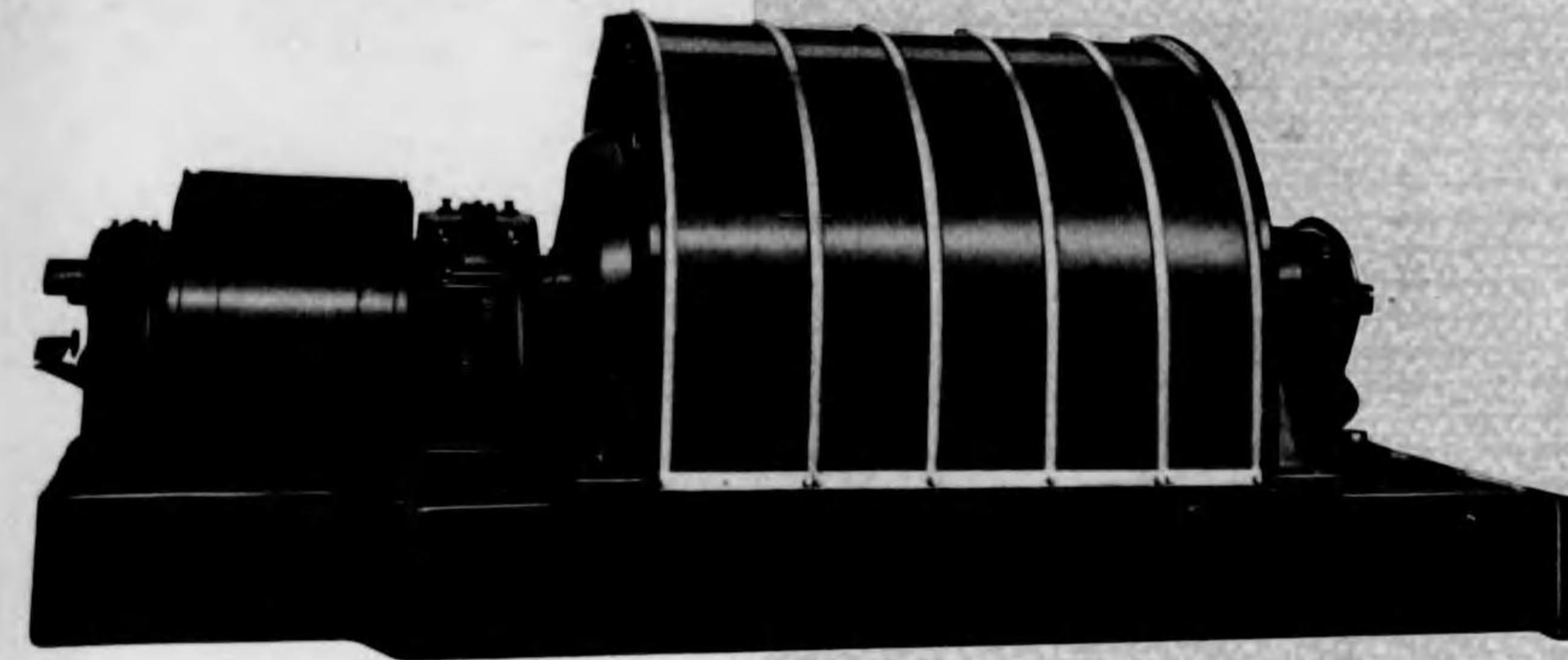
電動機



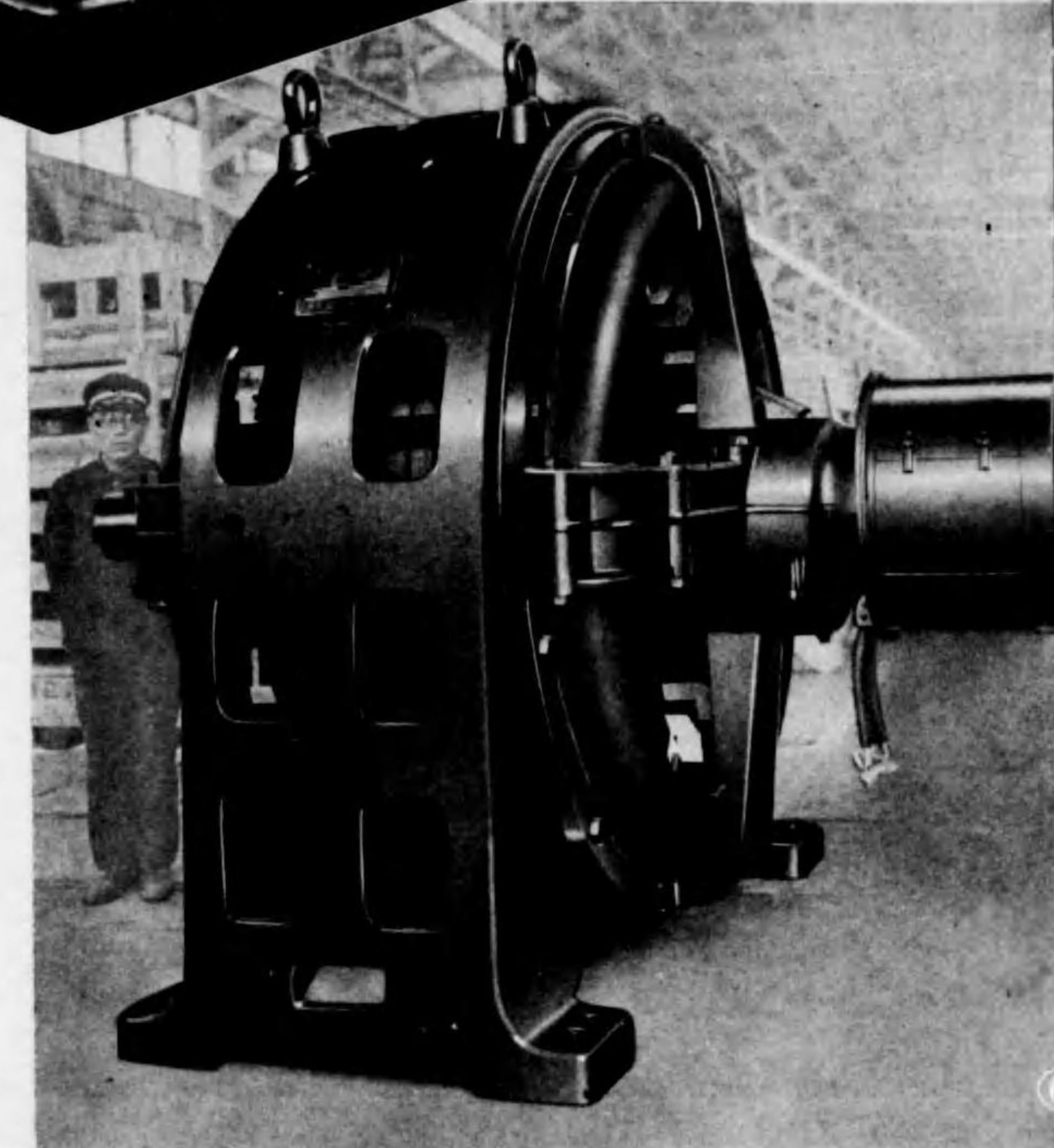
①



②



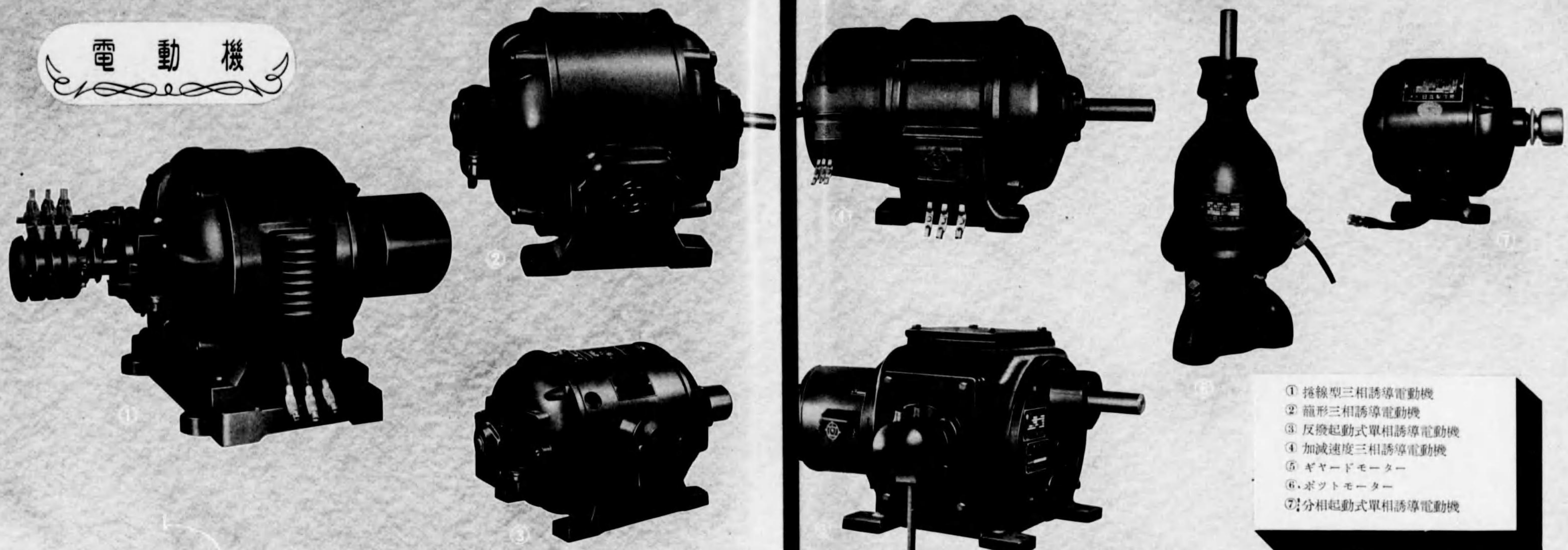
⑤



⑥

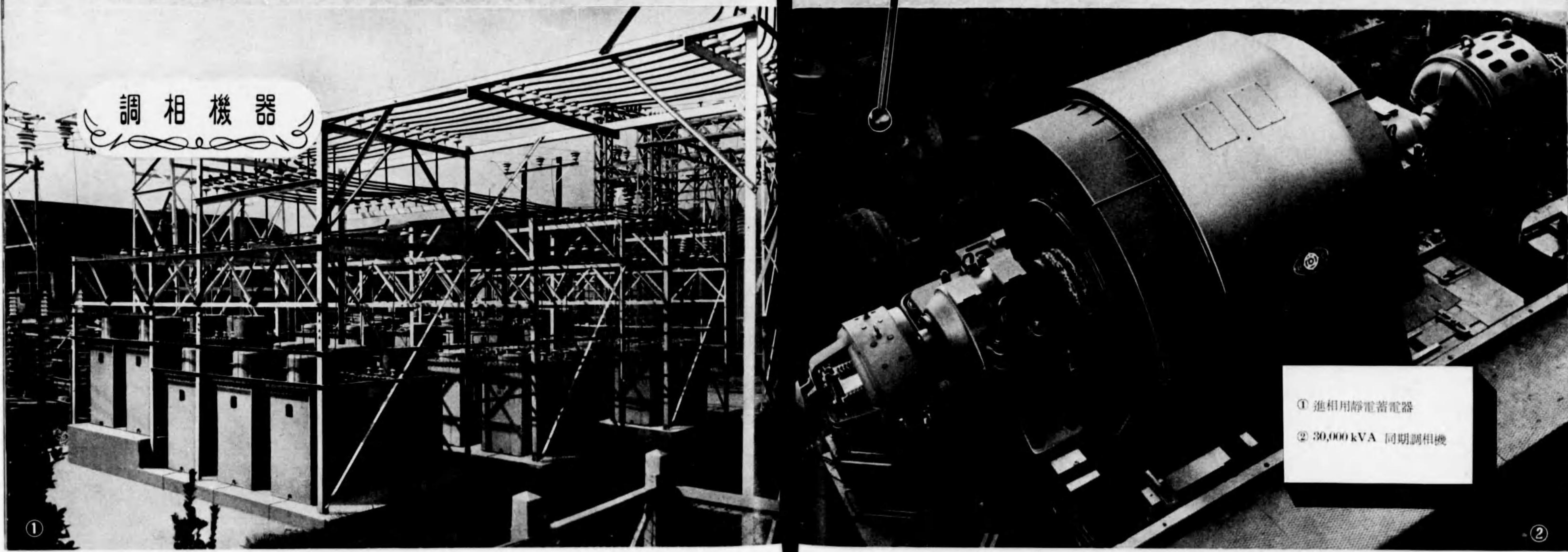
- ① 600 HP 堅軸電動機
- ② 7,000 HP イルグナー變流機用
三相誘導電動機
- ③ 4,500 HP 3,600 r.p.m. 三相誘導電動機
- ④ 750 HP 同期電動機
- ⑤ 耐爆型三相誘導電動機
- ⑥ 1,000 HP 三相誘導電動機

電動機



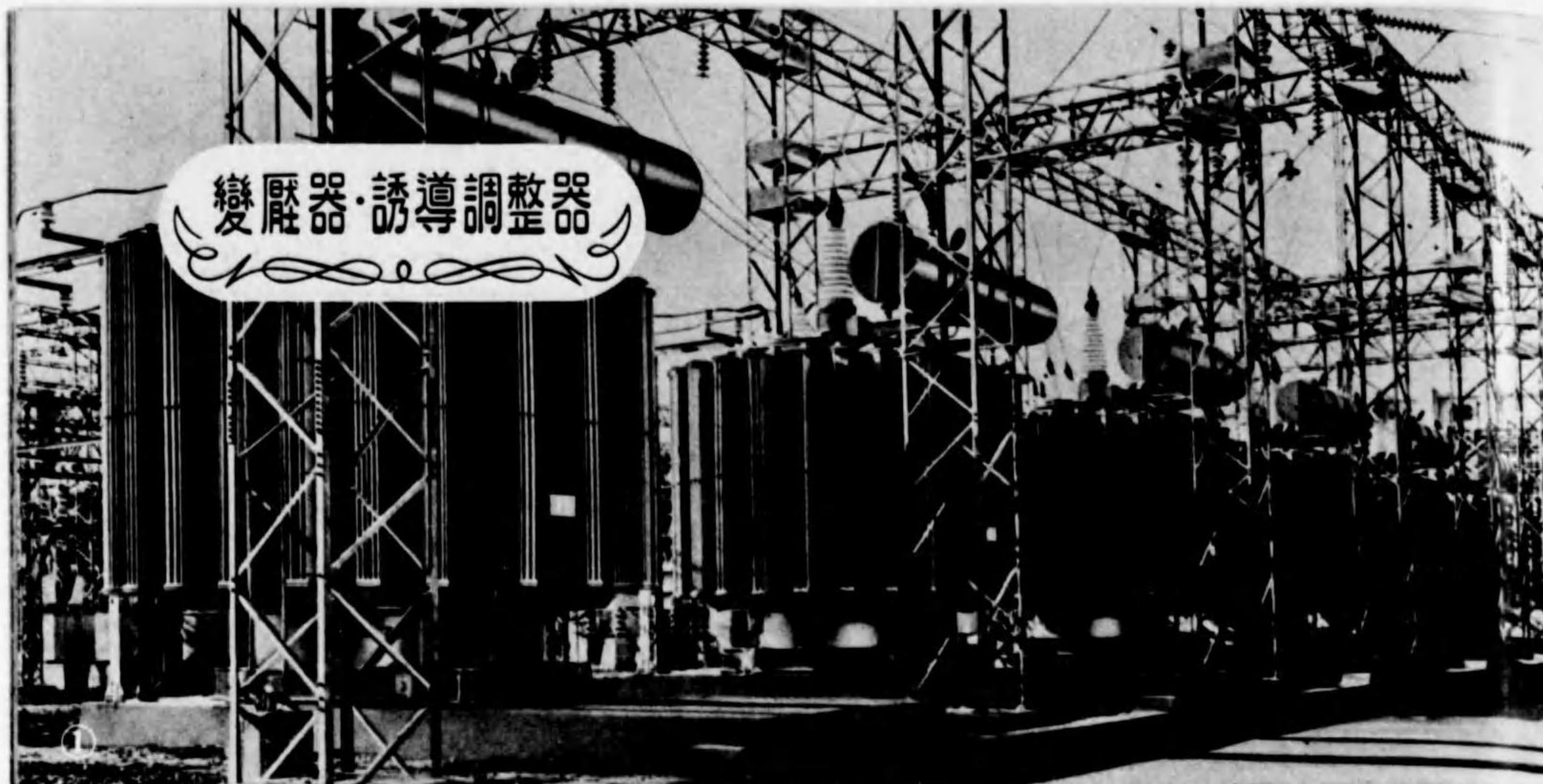
- ① 捲線型三相誘導電動機
- ② 籠形三相誘導電動機
- ③ 反接起動式单相誘導電動機
- ④ 加減速度三相誘導電動機
- ⑤ ギヤードモーター
- ⑥ ボットモーター
- ⑦ 分相起動式单相誘導電動機

調相機器

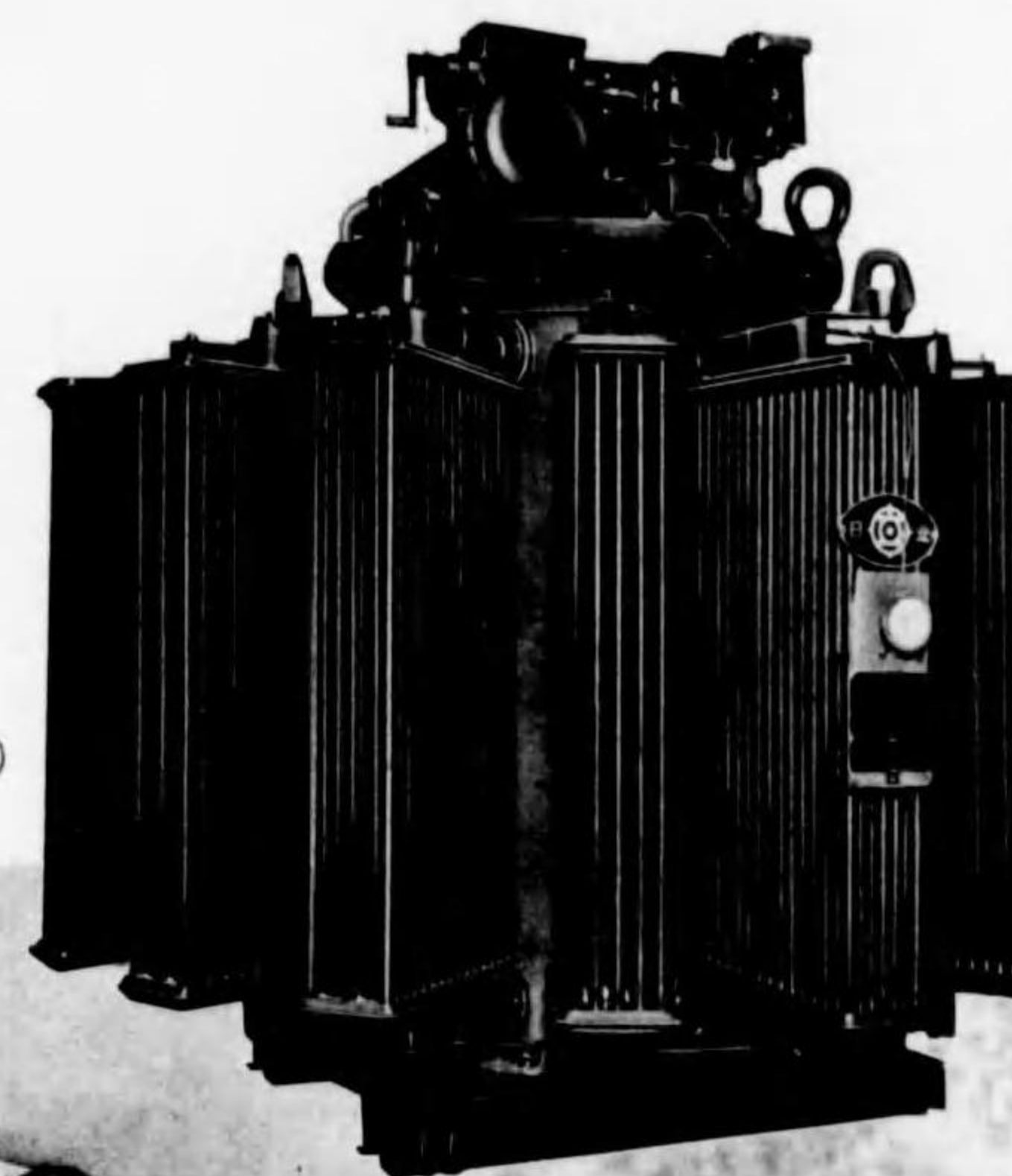


- ① 進相用静電蓄電器
- ② 30,000 kVA 同期調相機

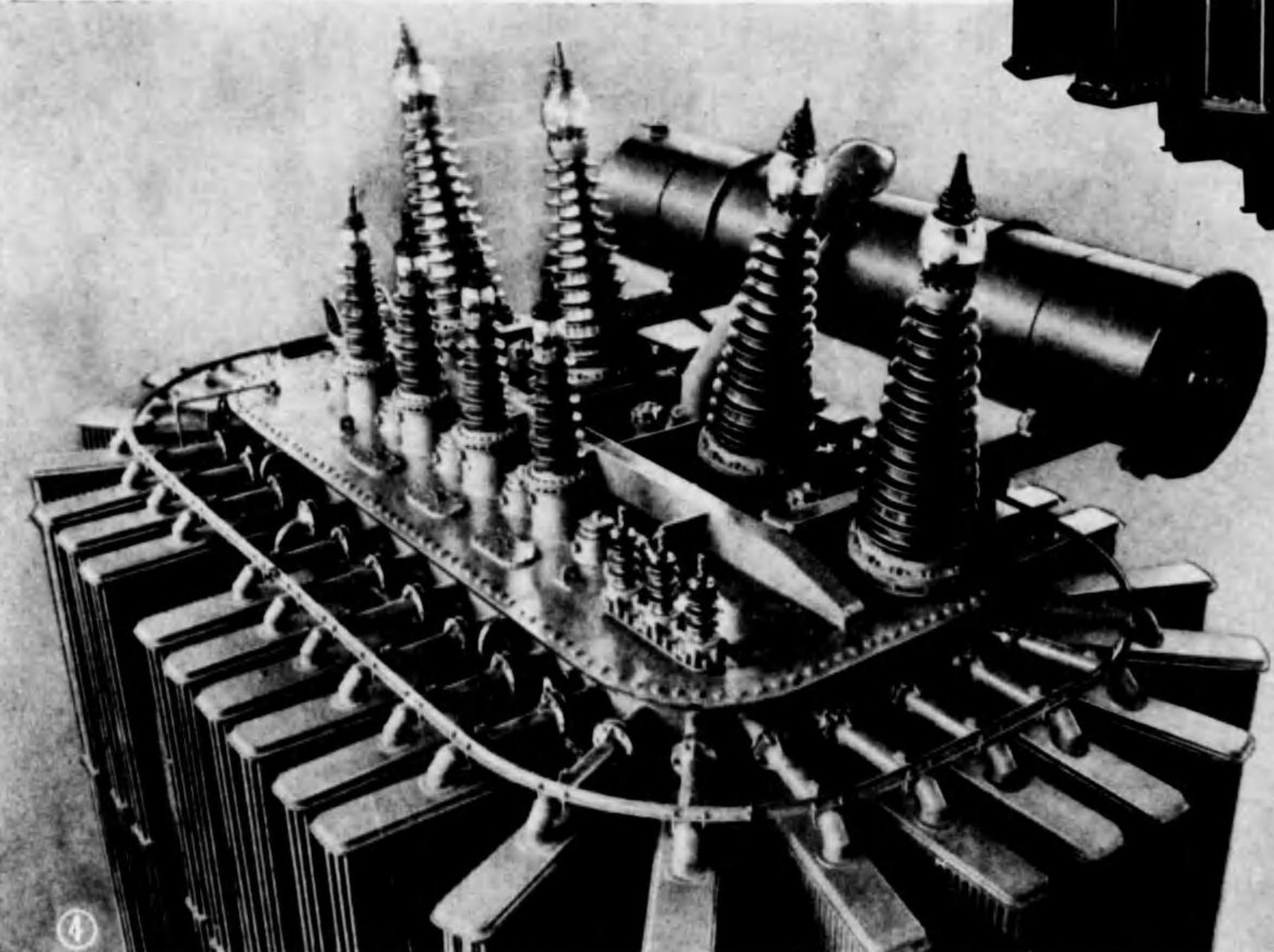
變壓器·誘導調整器



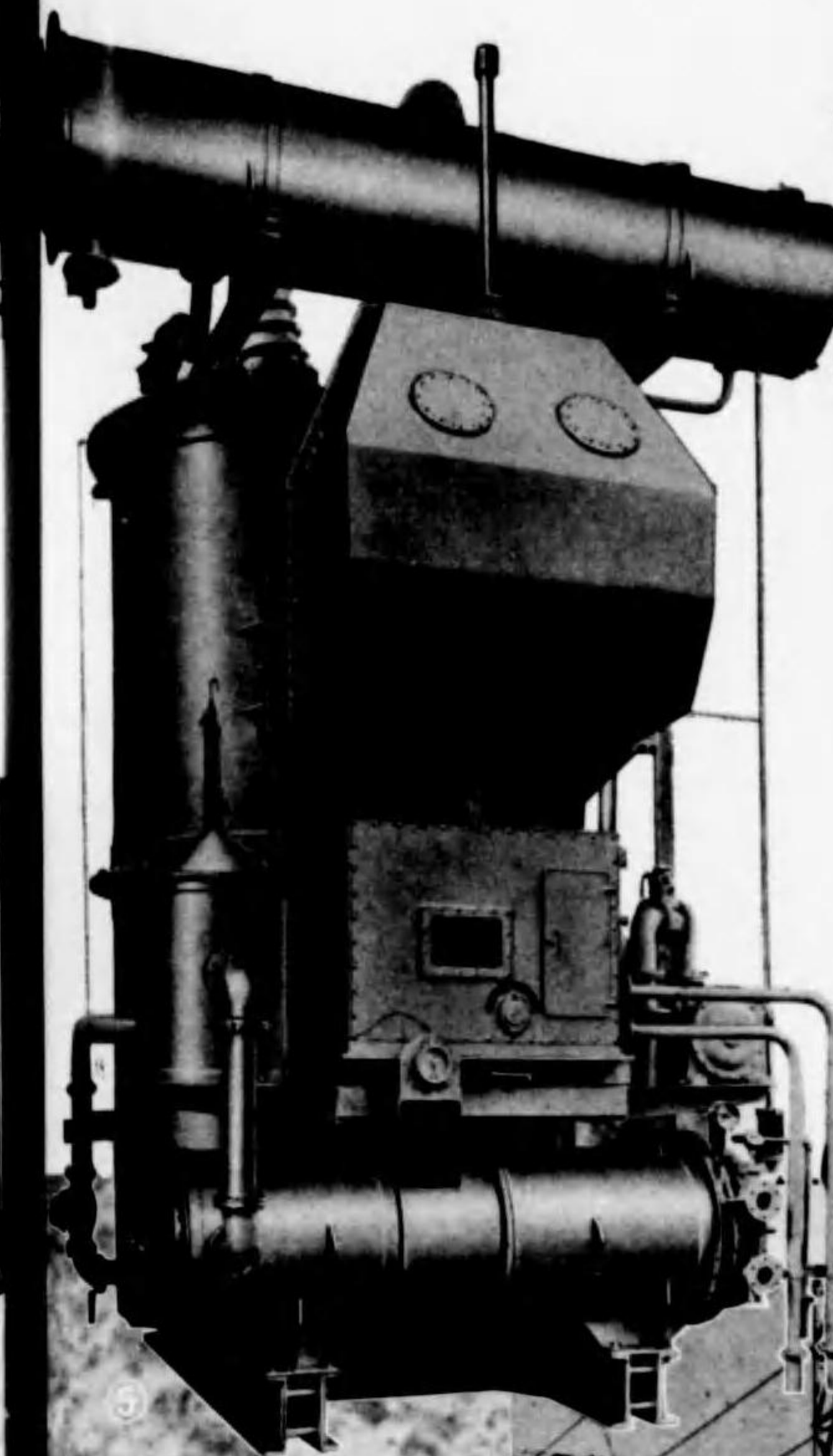
②



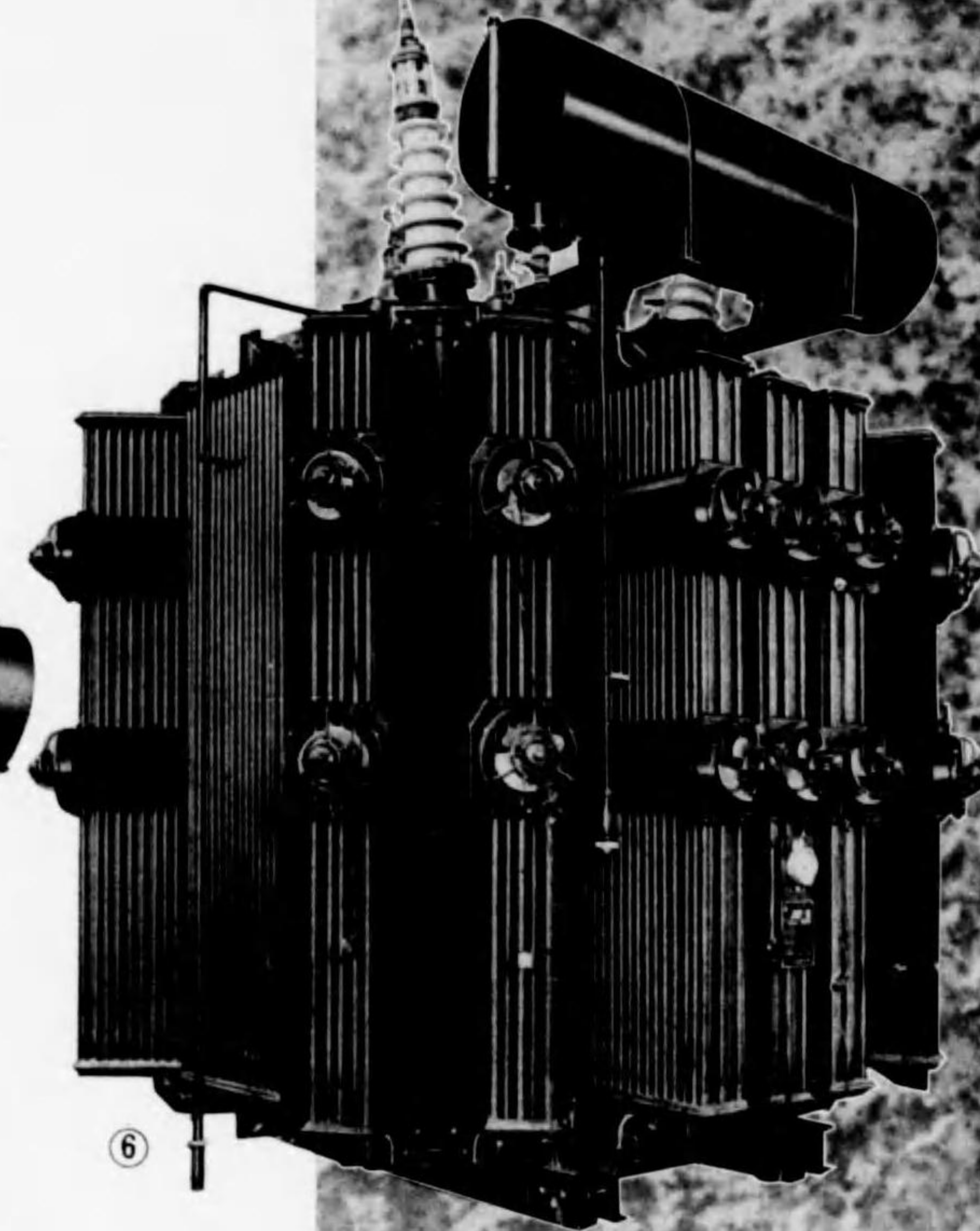
③



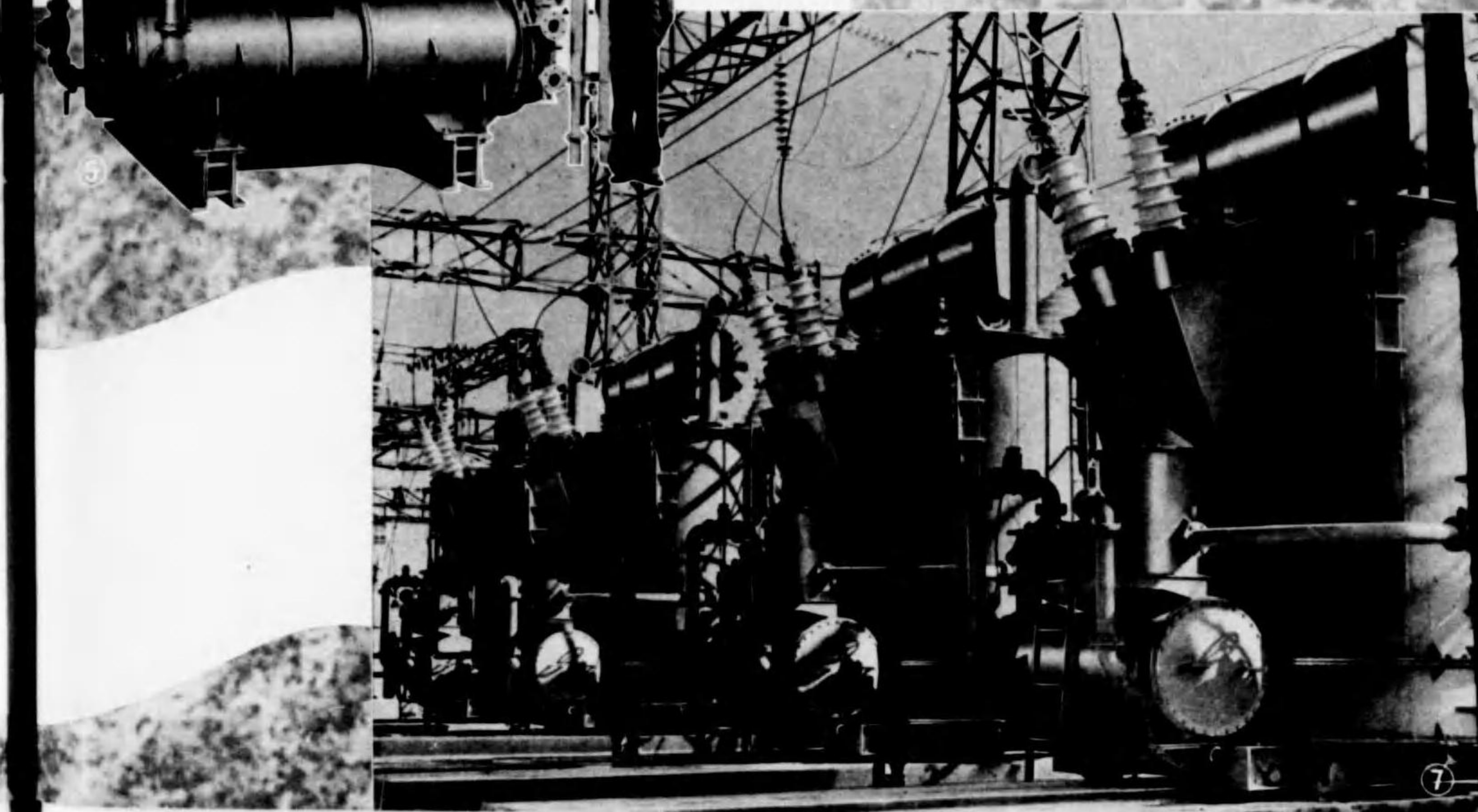
④



⑤



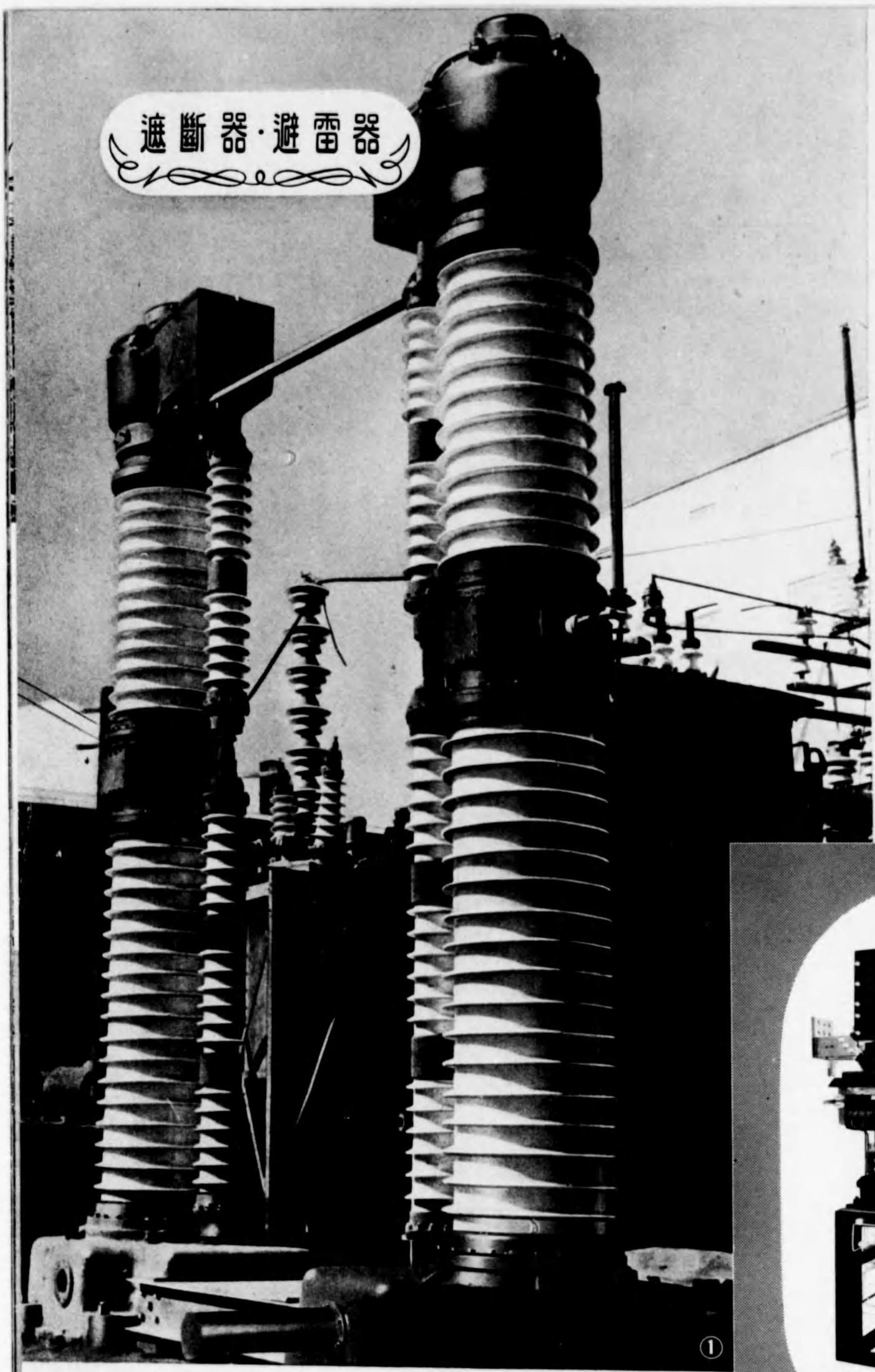
⑥



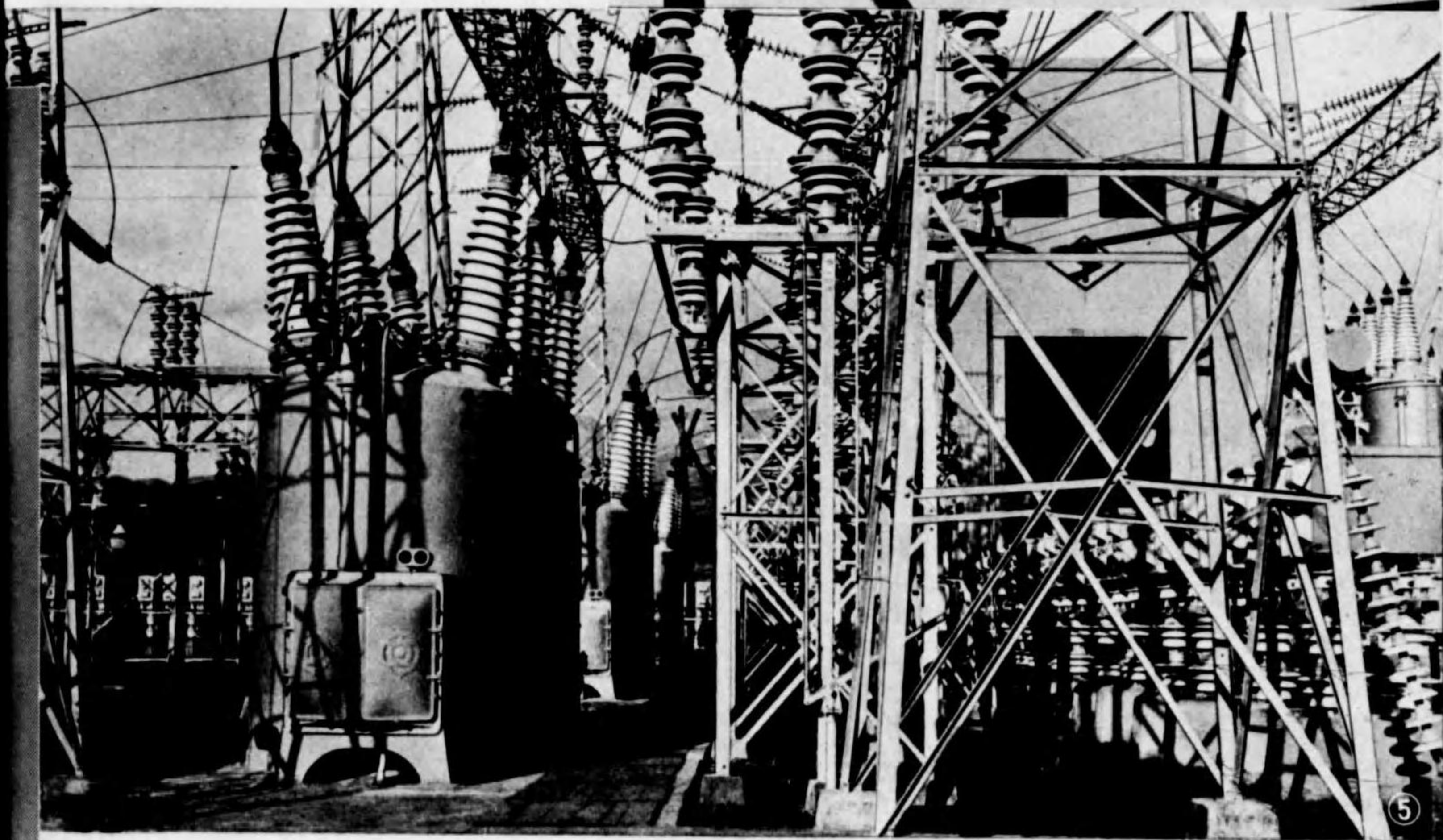
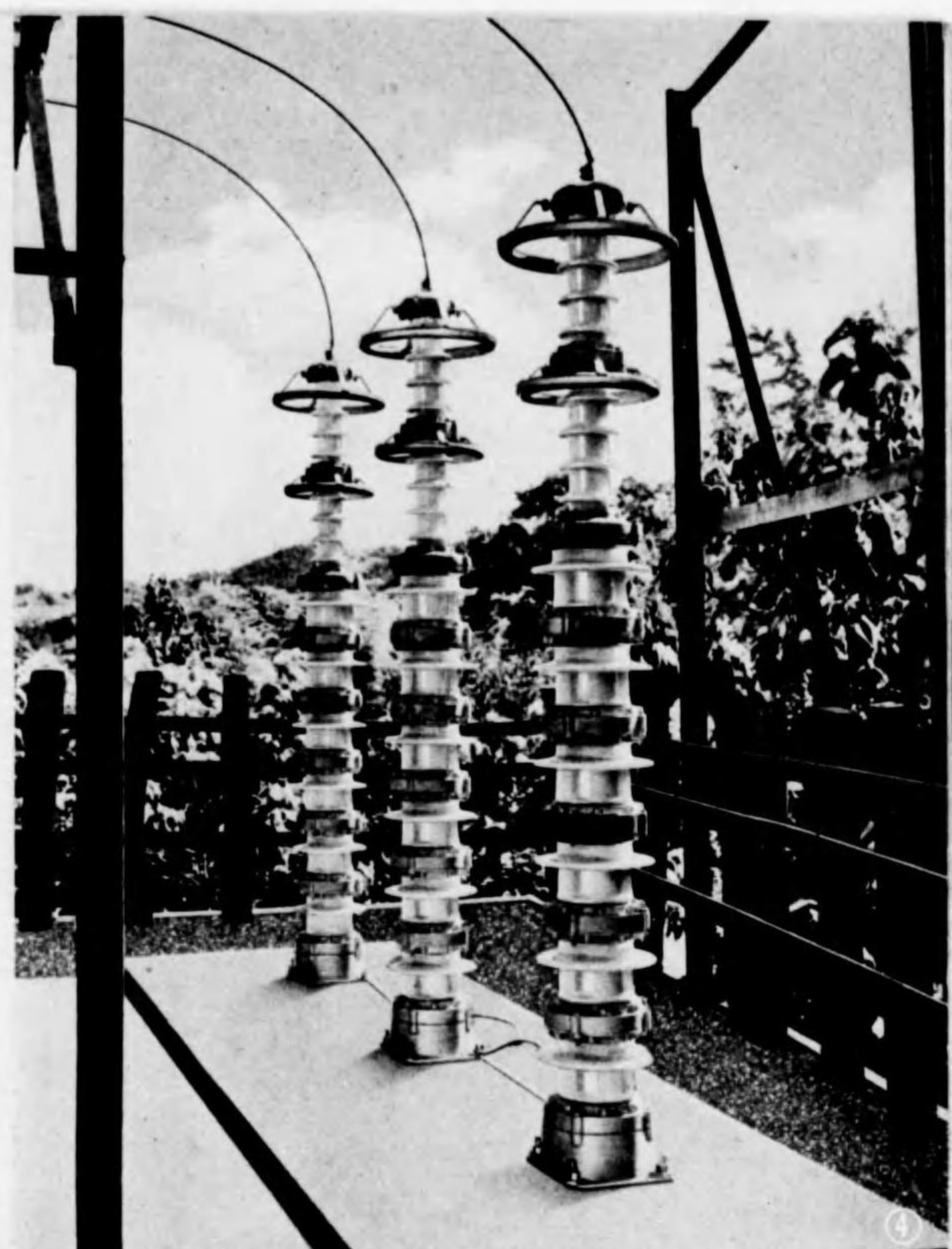
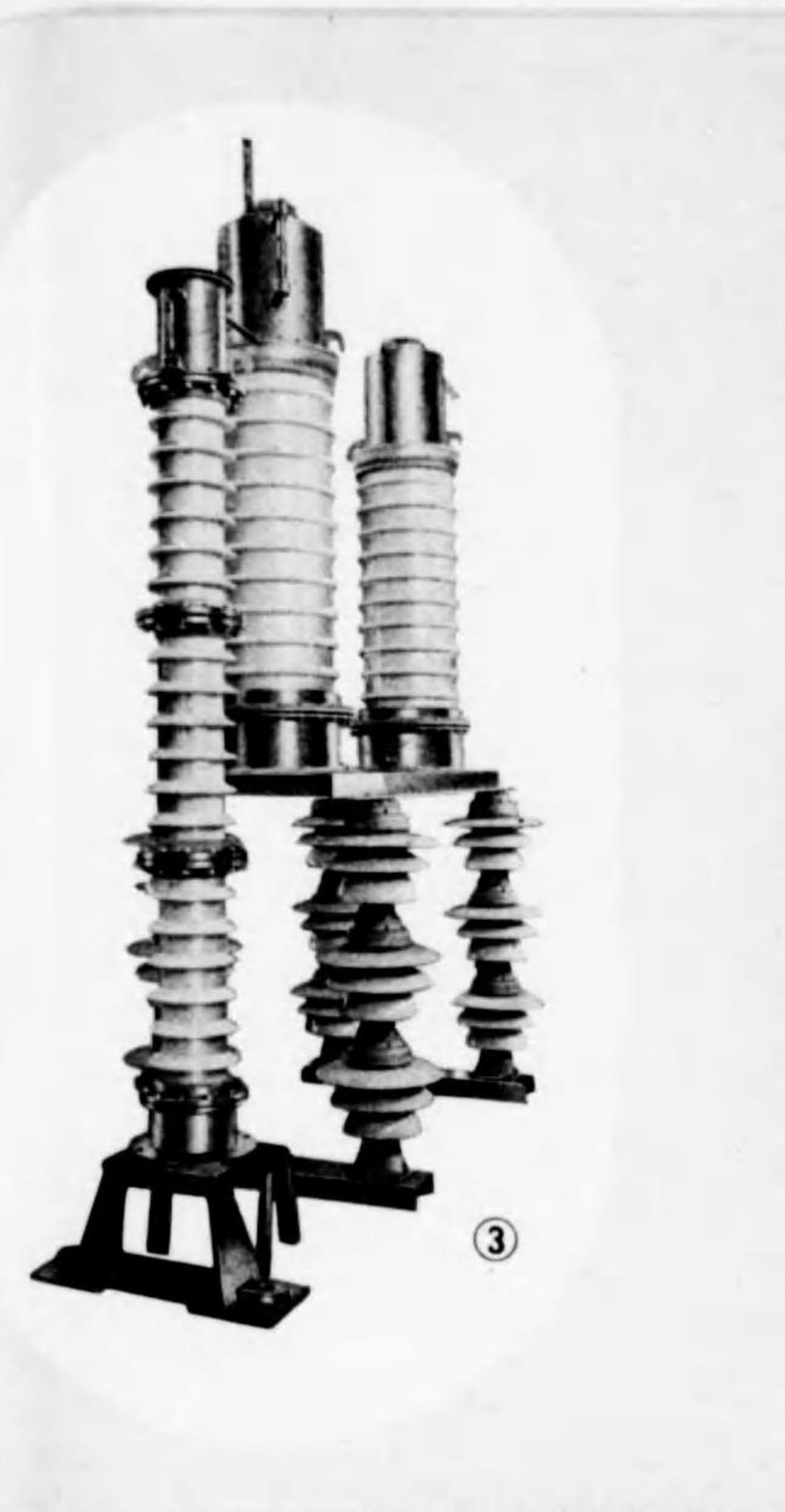
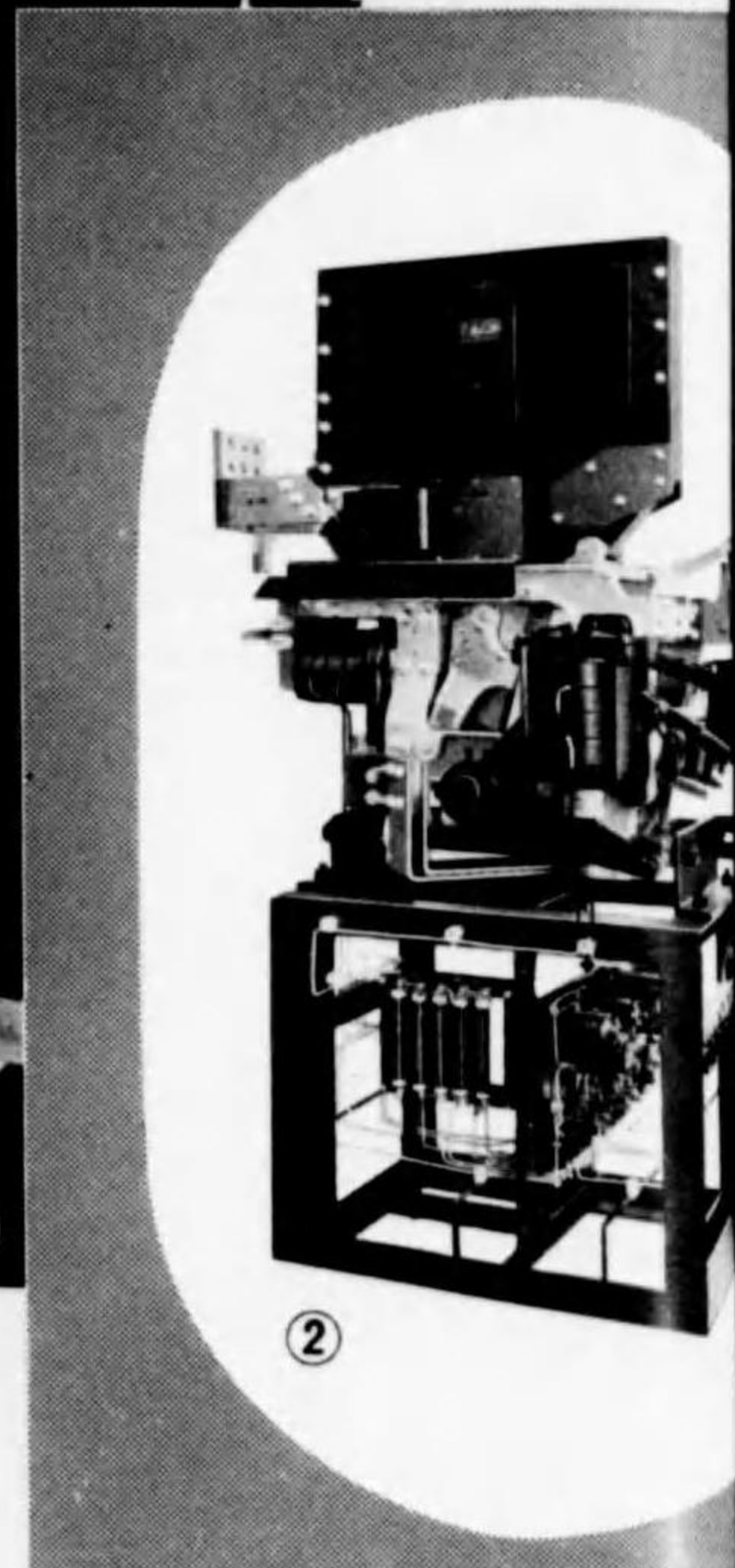
⑦

- ① 單相自冷式變壓器
- ② 柱上變壓器
- ③ 誘導調整器
- ④ 30,000 kVA 三相變壓器
- ⑤ 單相送油式負荷電壓調整器
- ⑥ 單相送風自冷式變壓器
- ⑦ 單相送油水冷式變壓器

遮断器・避雷器



- ① 265 kV 碍子
制弧遮断器
- ② 高速度遮断器
- ③ 碍子型アル
ニウム避雷器
- ④ ドライバル
避雷器
- ⑤ 油入遮断器



①

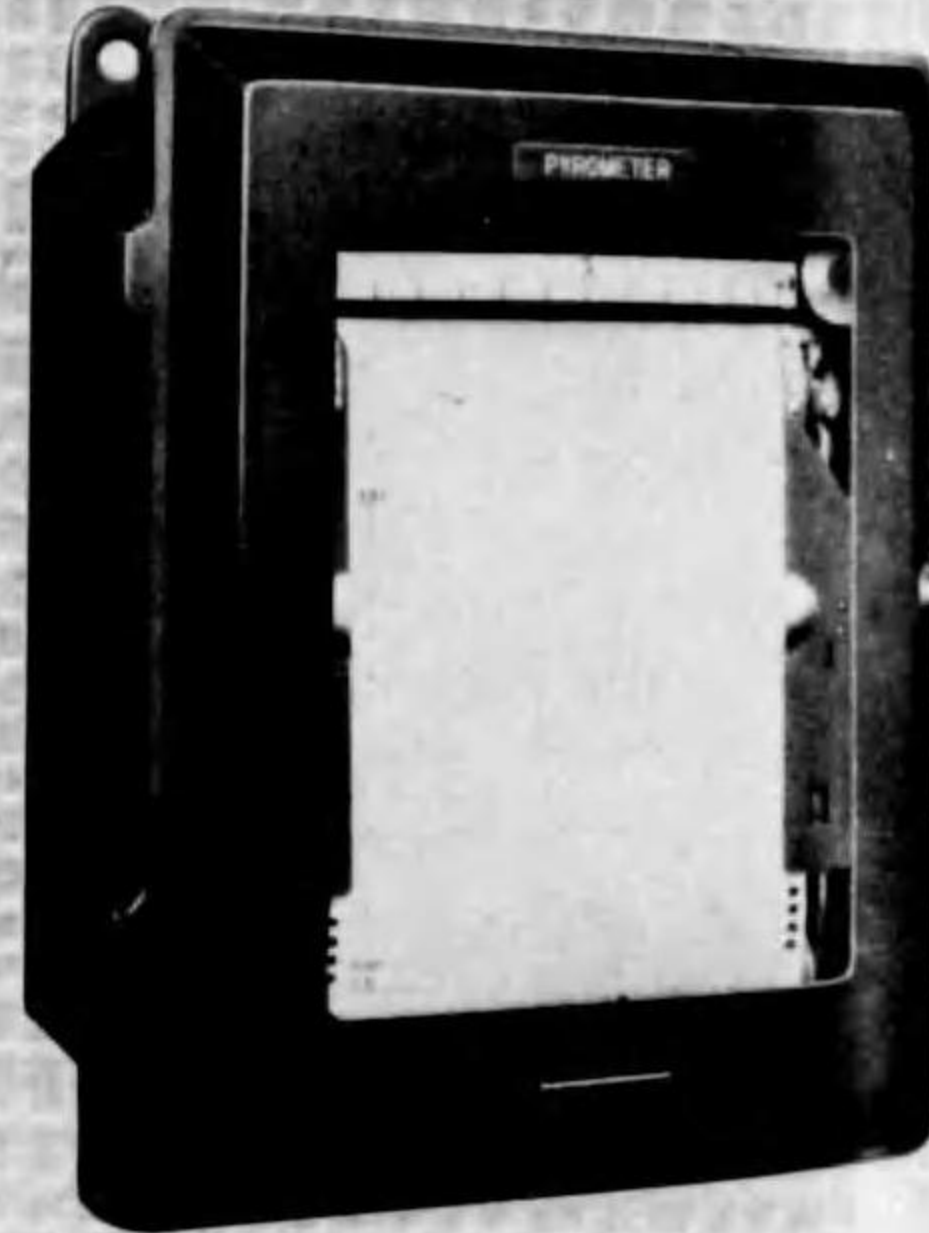
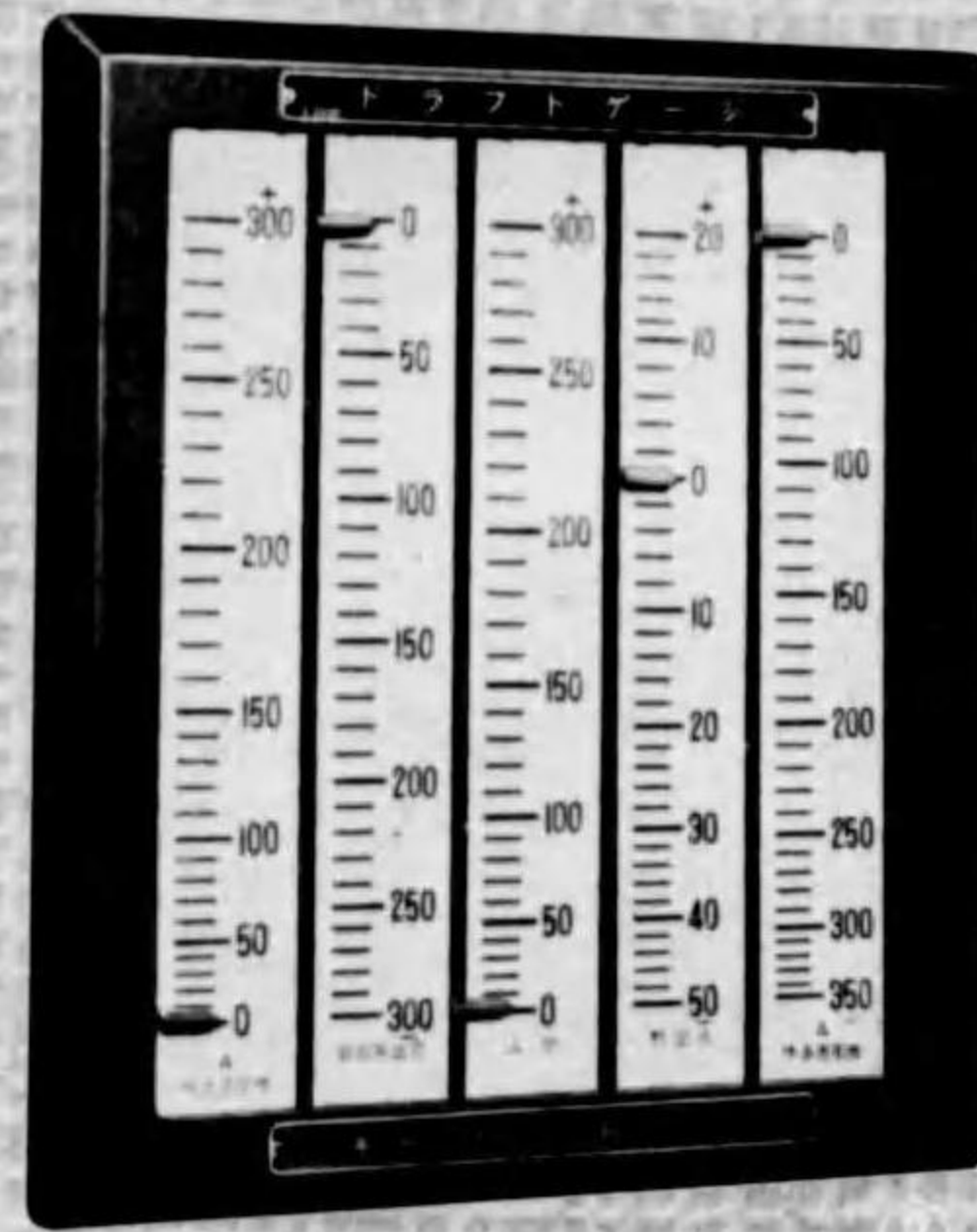
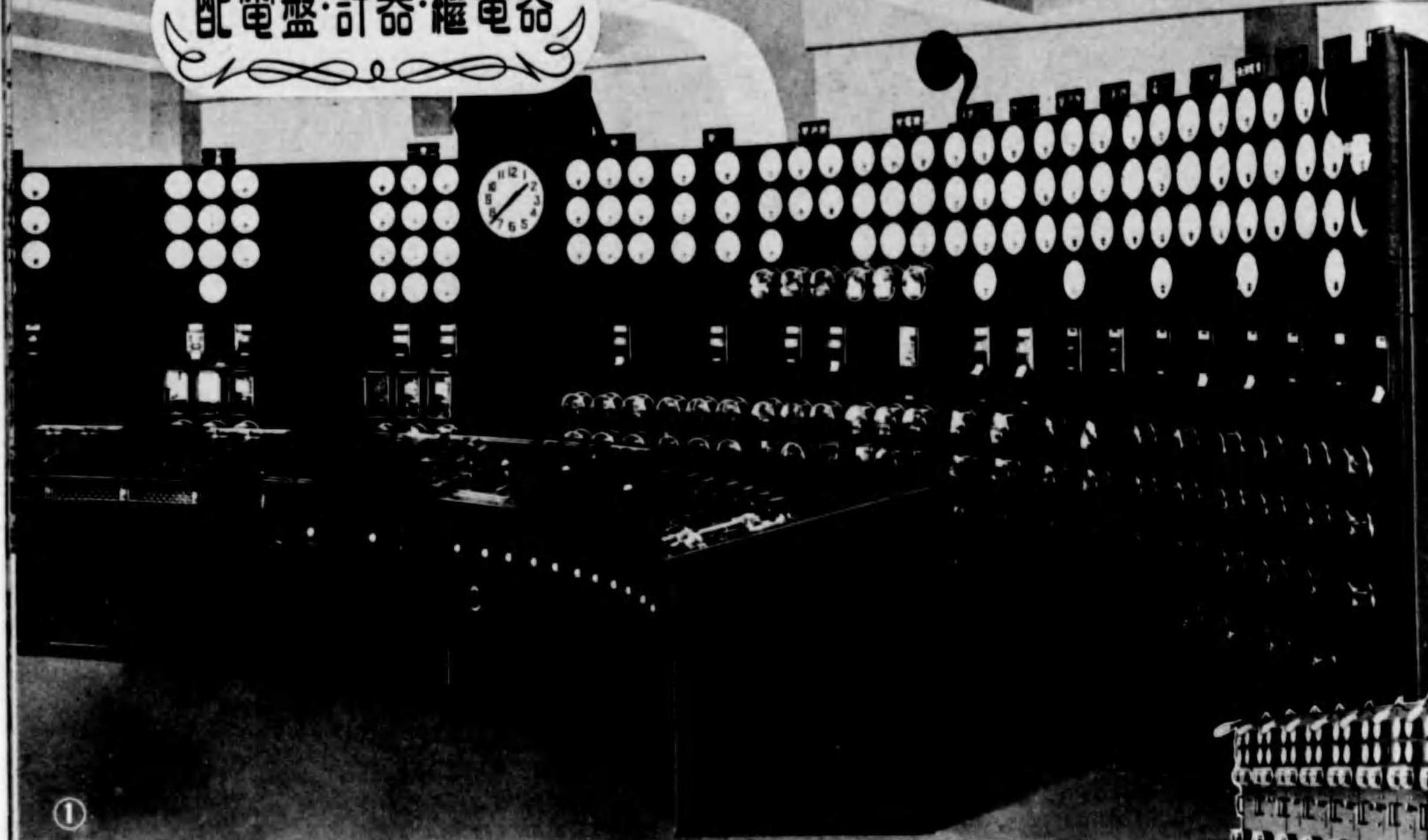
②

③

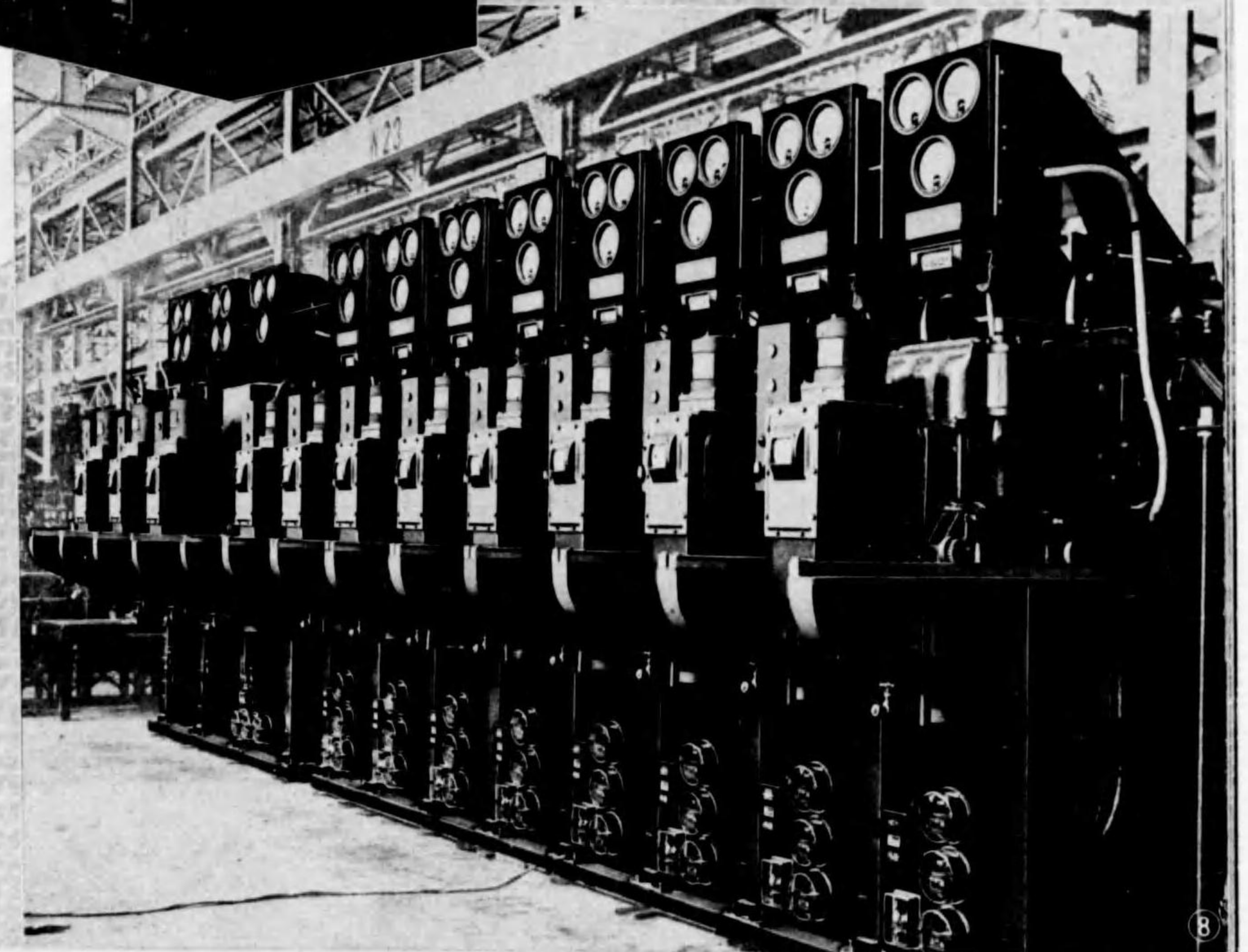
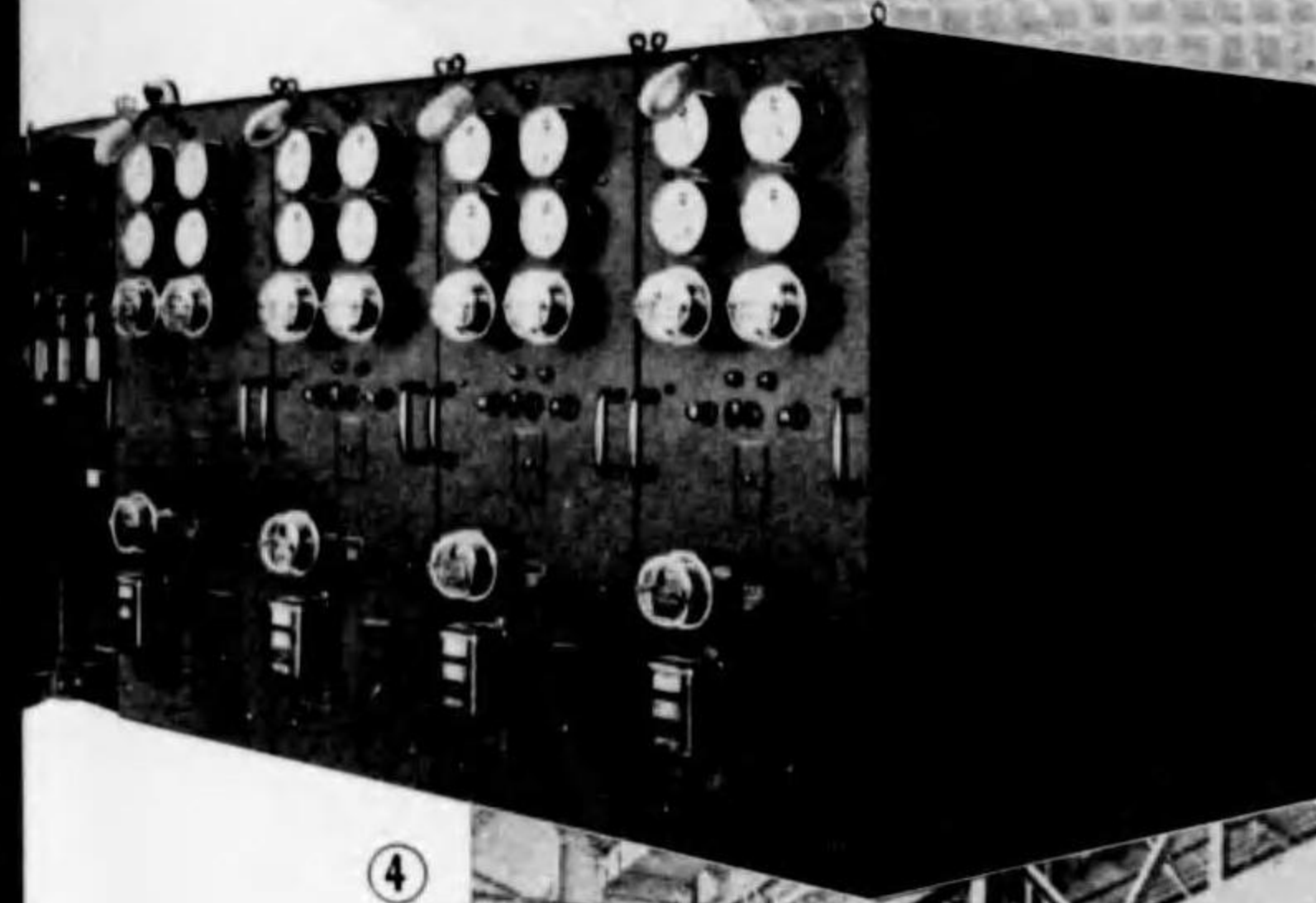
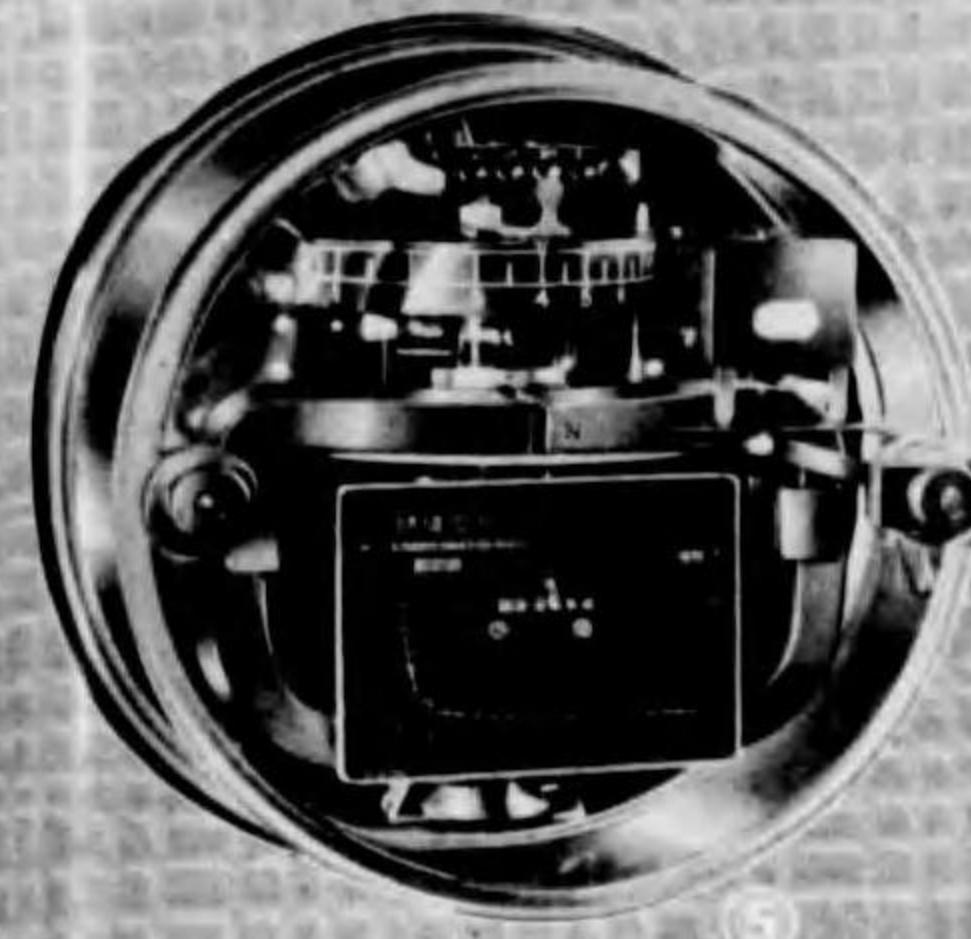
④

⑤

配電盤・計器・继电器



- ① ベンチボード
- ② ドラフトゲージ
- ③ 記録パイロメーター
- ④ トラック型配電盤
- ⑤ 誘導型限時過電流继电器
- ⑥ 携帯用交流電圧計
- ⑦ 特別精密級交直兩用電力計
- ⑧ 充塲型装甲配電盤



電話機・交換機



①



②



③

- ① 對自動式共電式私設交換機
- ② 8號共電式電話機
- ③ 3號自動式桌上電話機
- ④ 自動交換機用セレクターボード

- ⑤ 磁石式電話機
- ⑥ インターフォン
- ⑦ 放聲装置
- ⑧ 自動交換局の一部



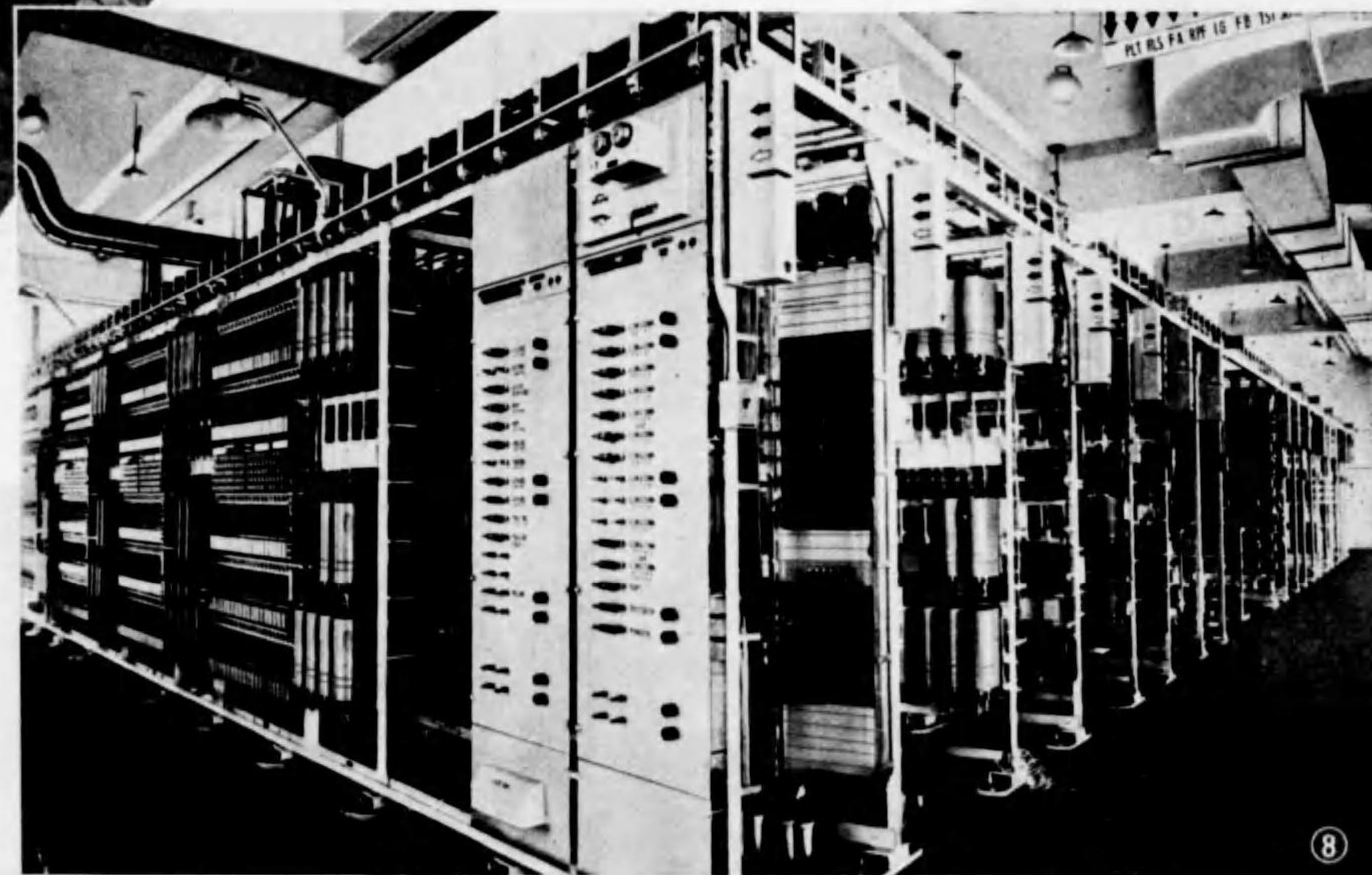
⑤



⑥



⑦

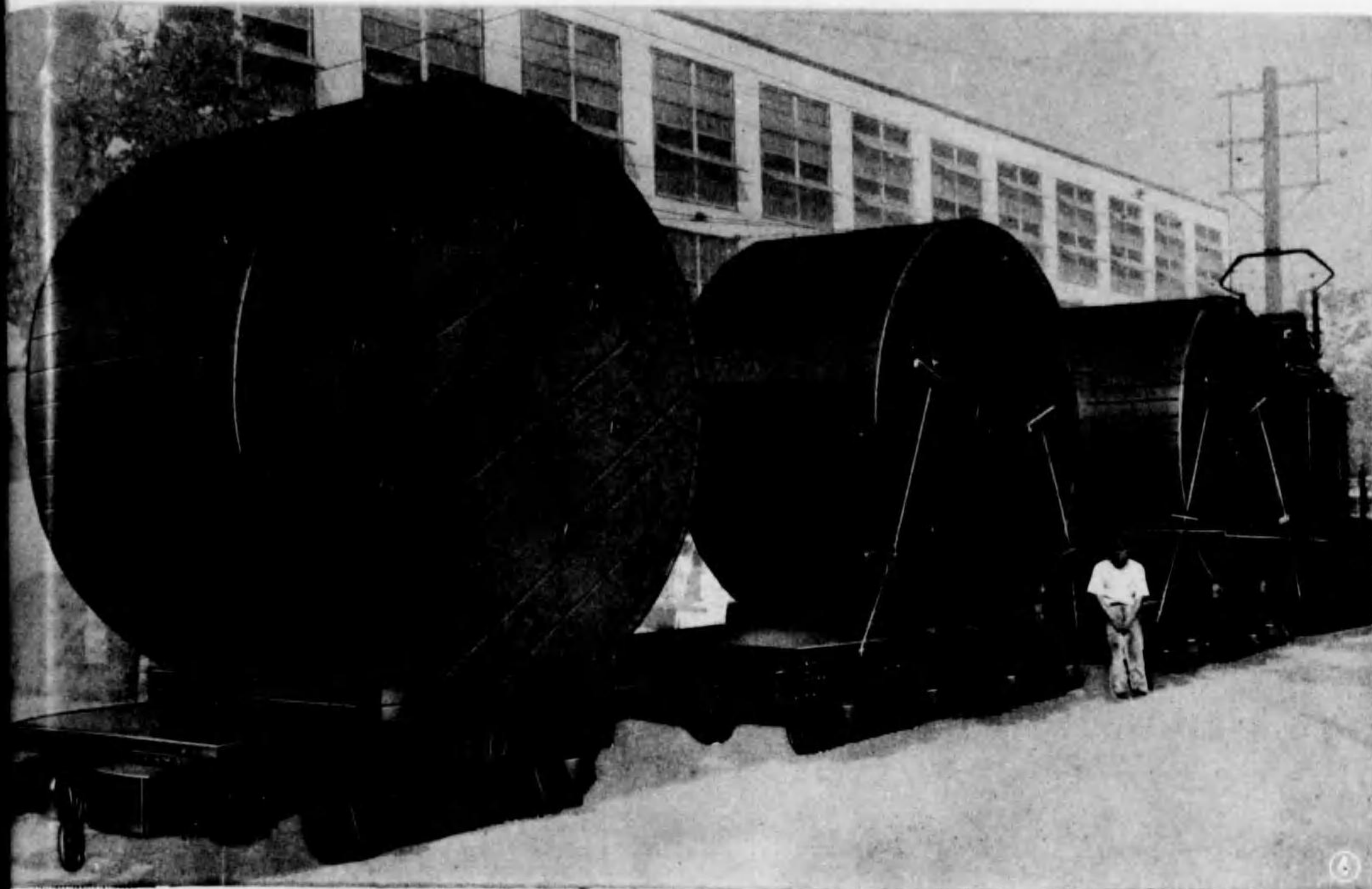


⑧

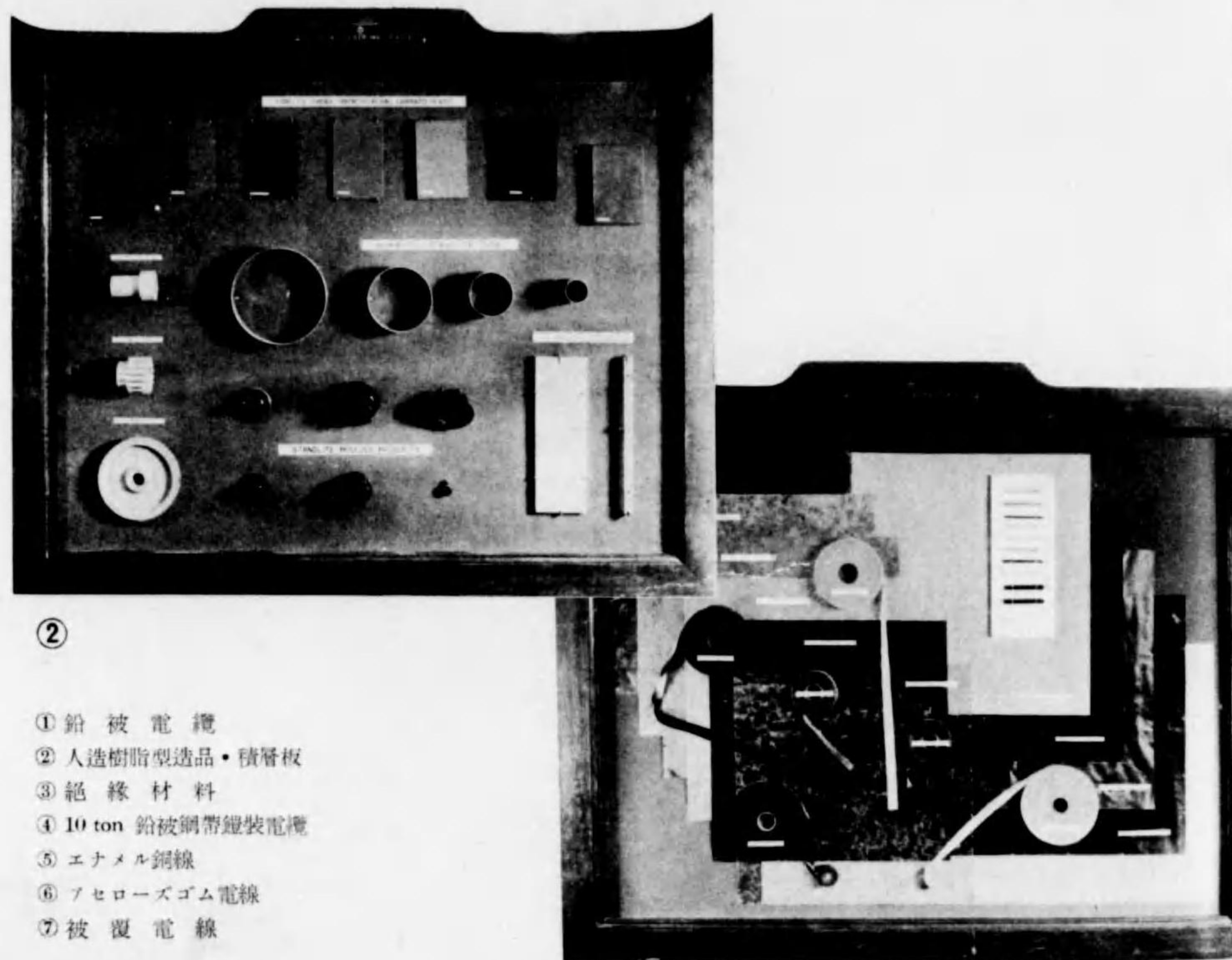
電線・絶縁材料



①



④



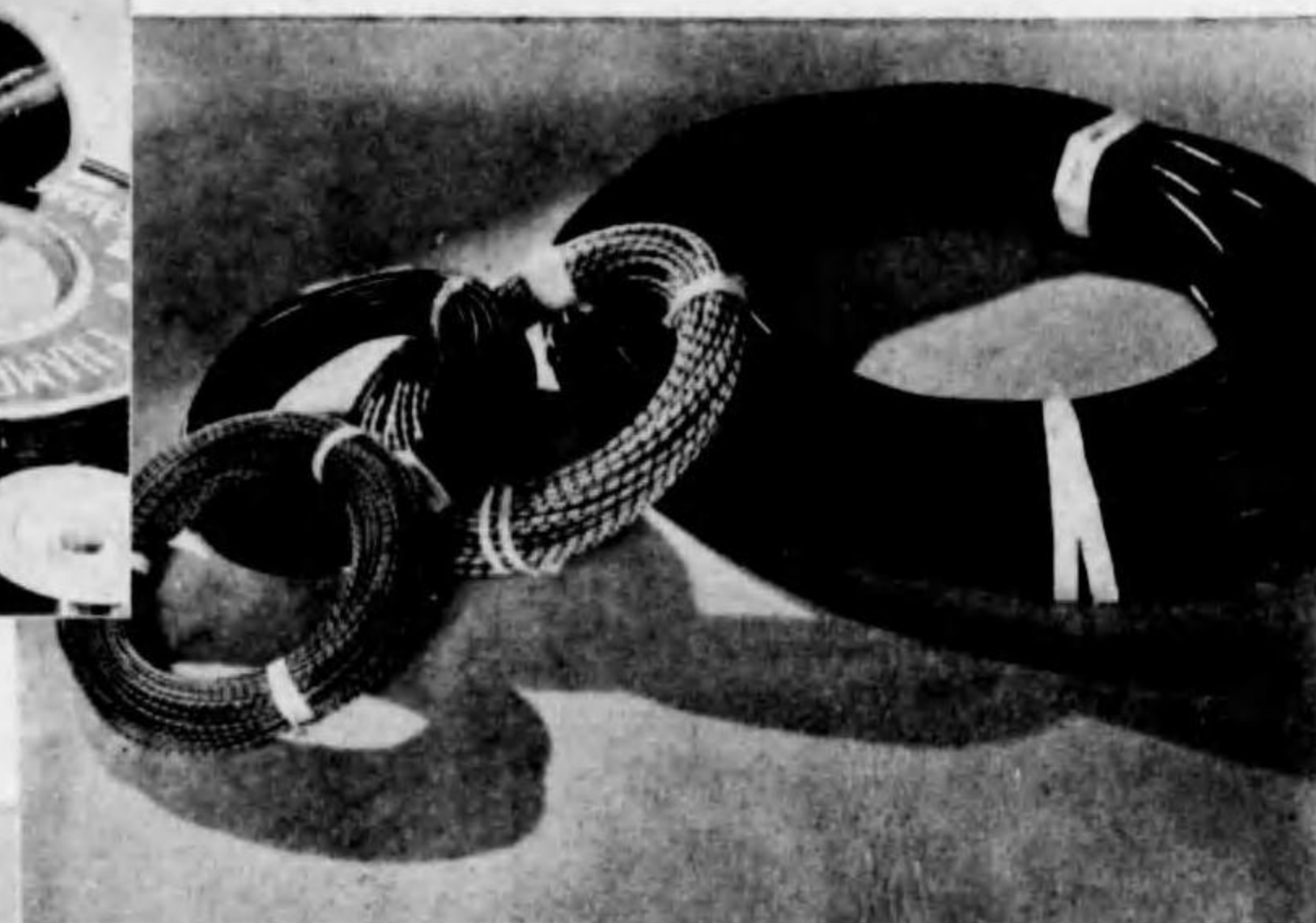
②

- ① 鉛被電纜
- ② 人造樹脂型造品・積層板
- ③ 絶縁材料
- ④ 10 ton 鉛被鋼帶鍍装電纜
- ⑤ エナメル銅線
- ⑥ フセロズゴム電線
- ⑦ 被覆電線

③



⑤



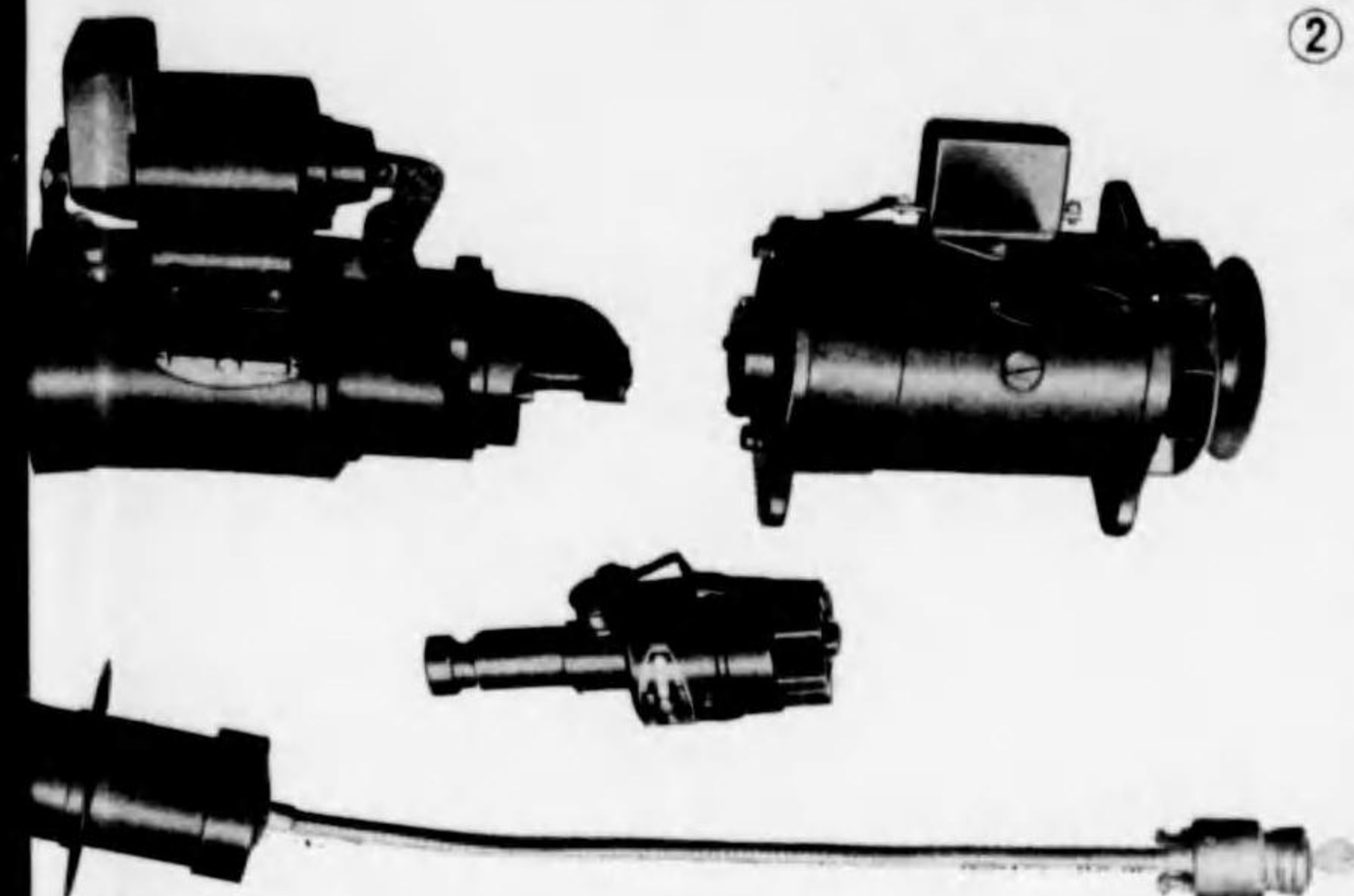
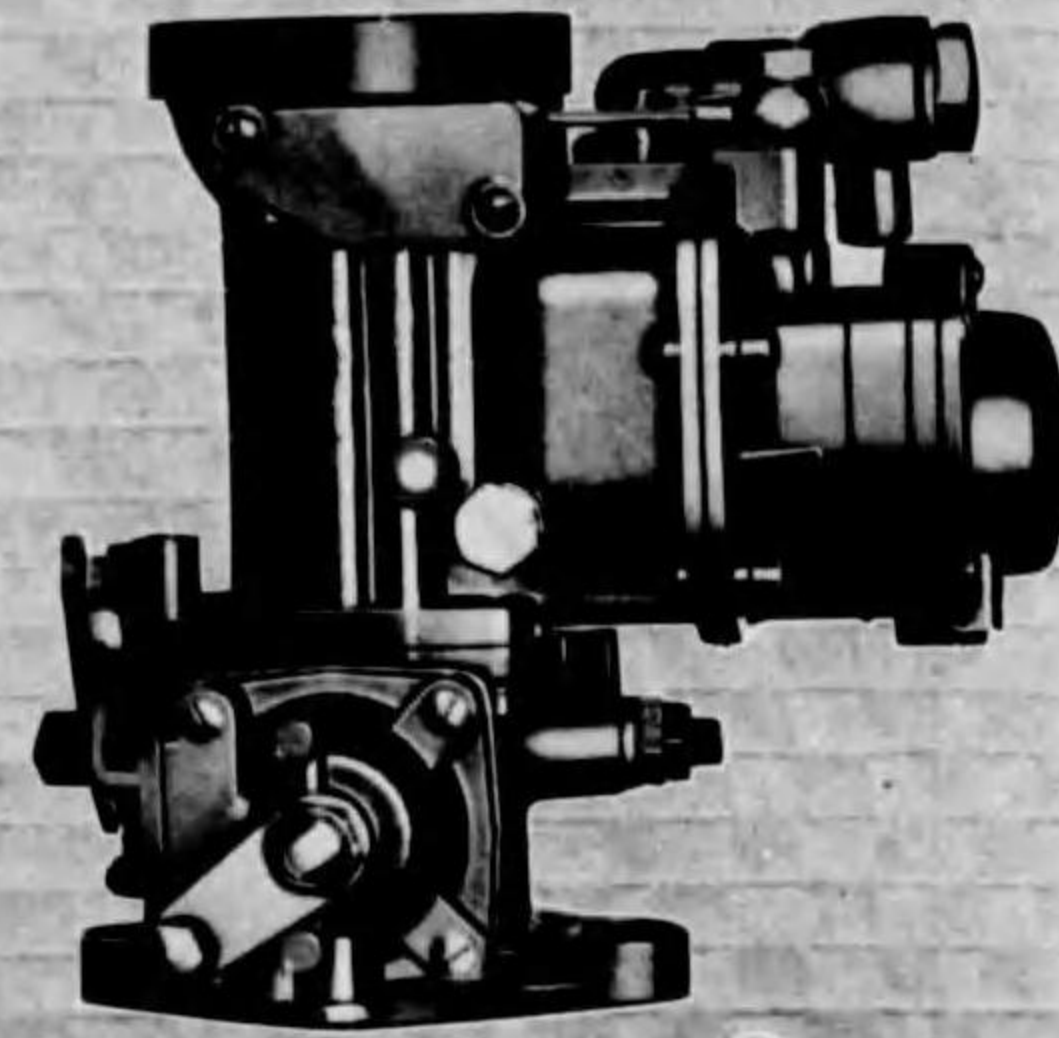
⑥



⑦

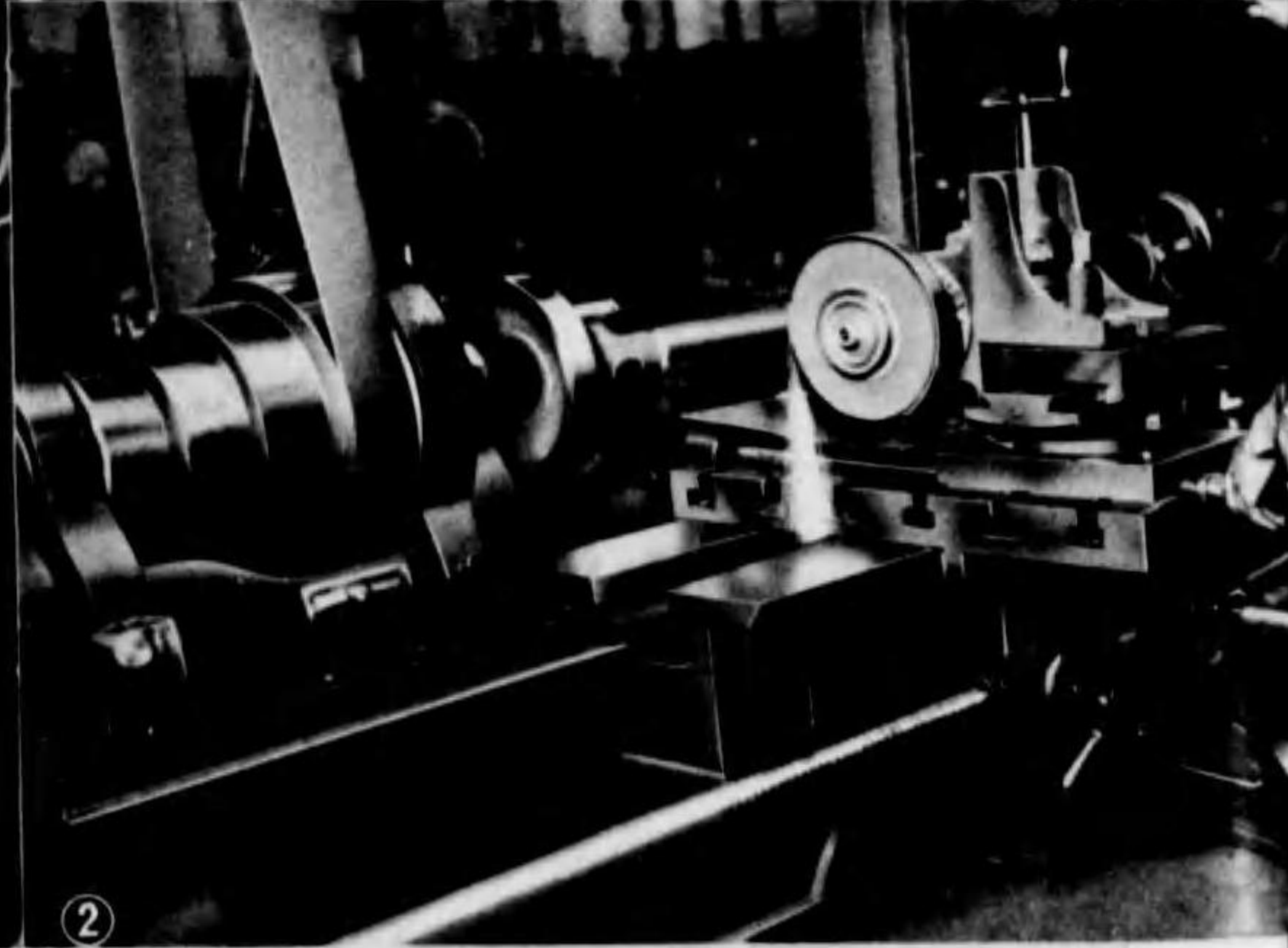
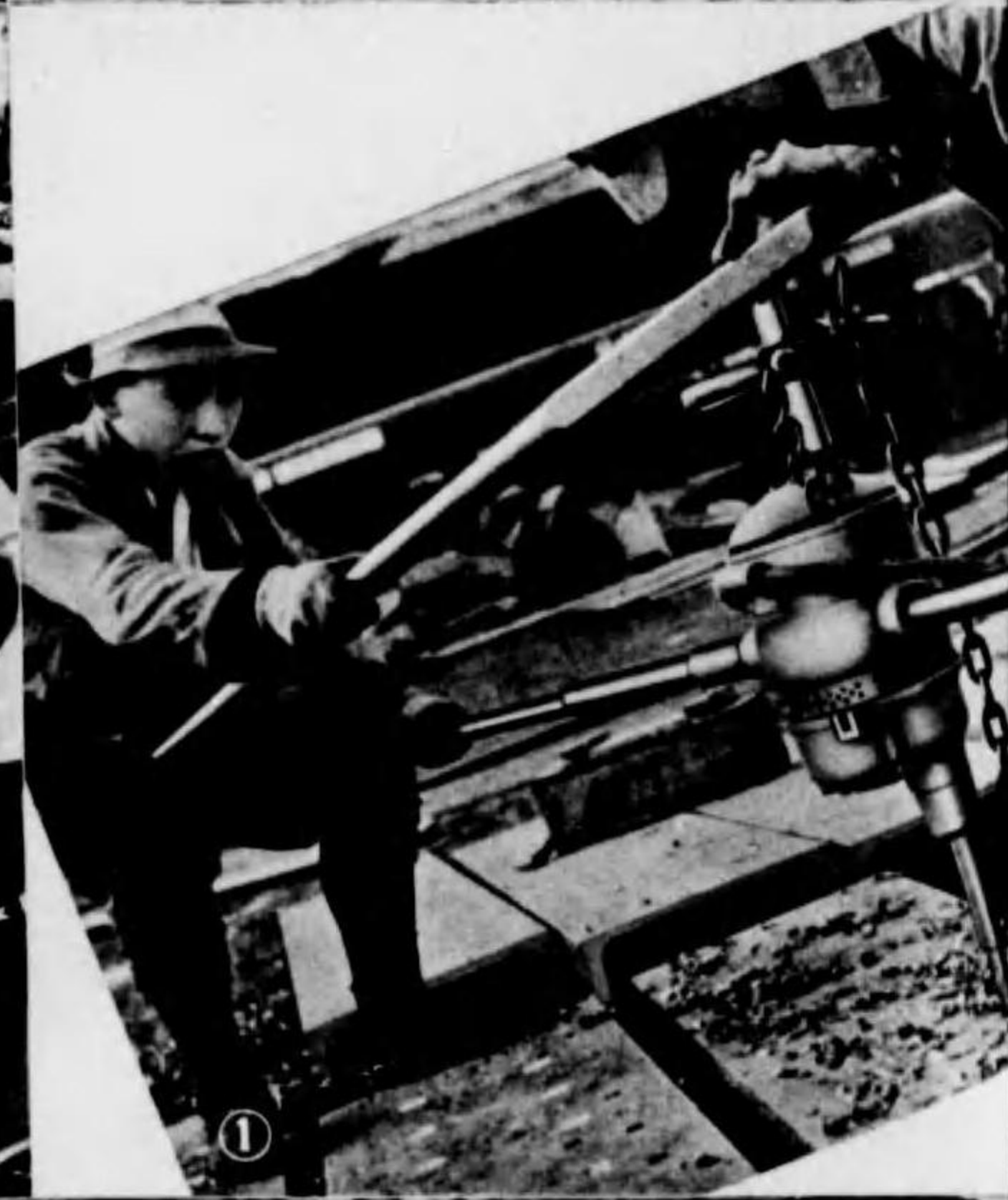
電 装 品

- ① 日立ソレックス酸化器
- ② 自動車用電装品
- ③ 發動機用磁石發電機

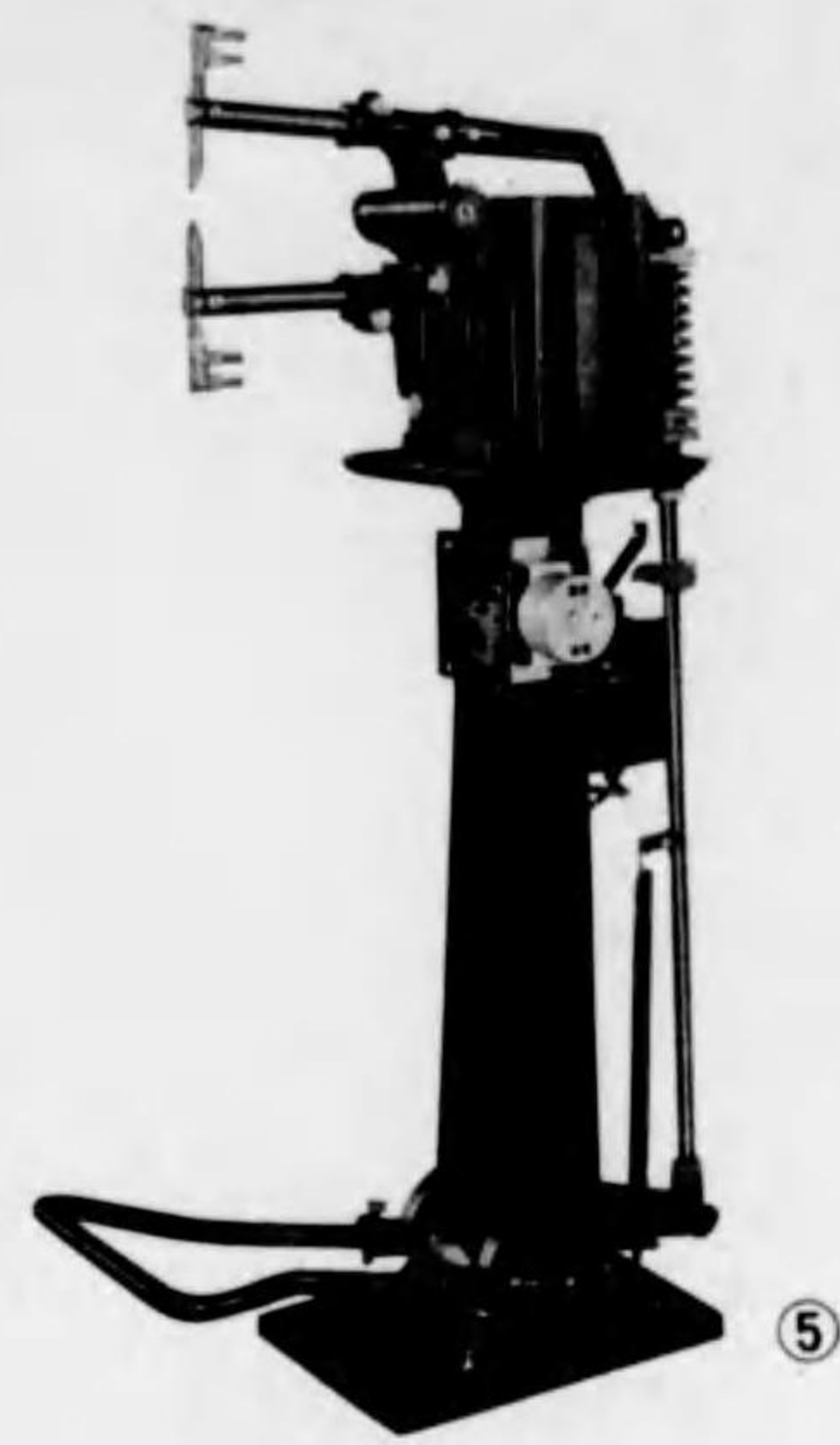
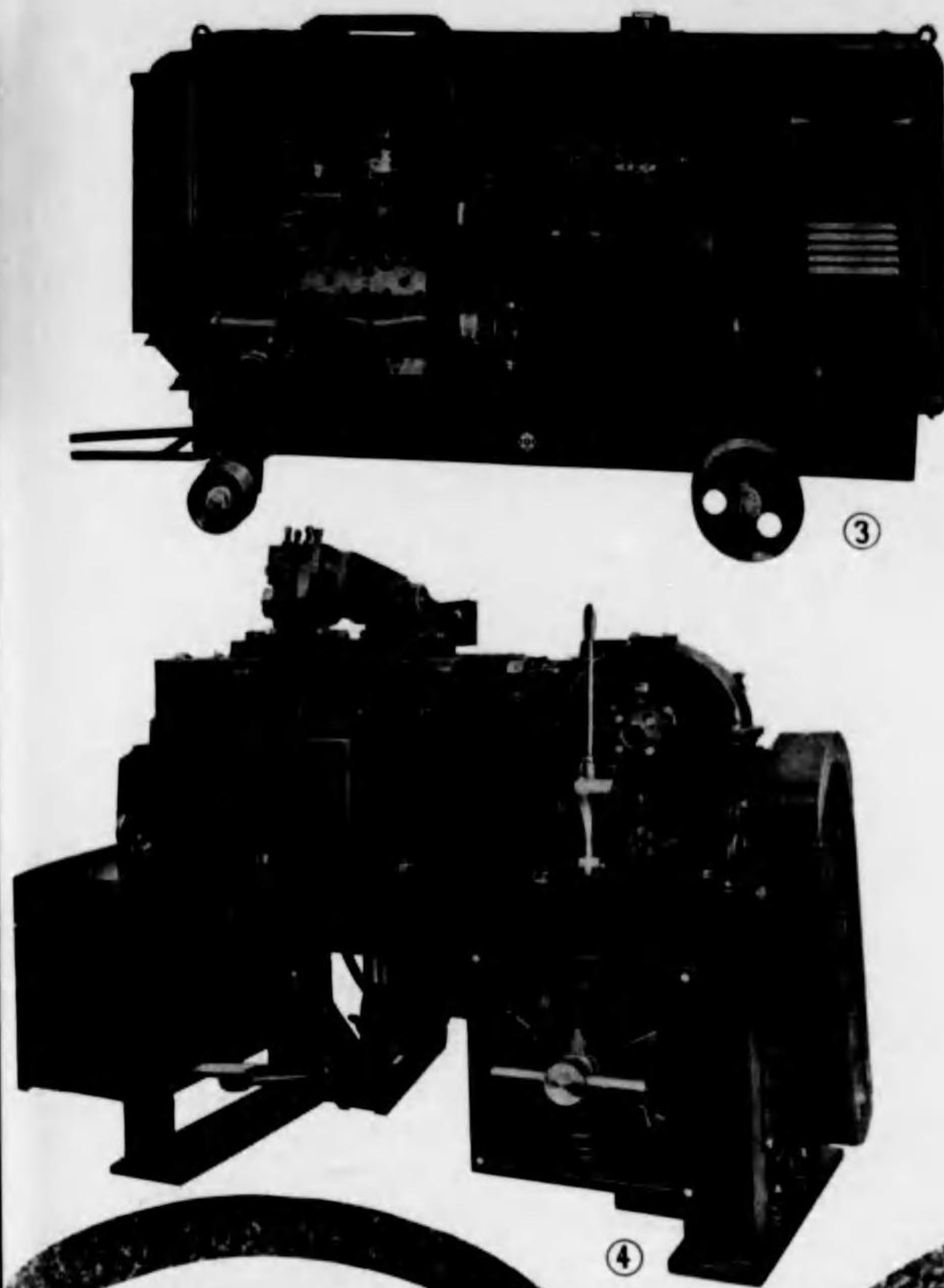
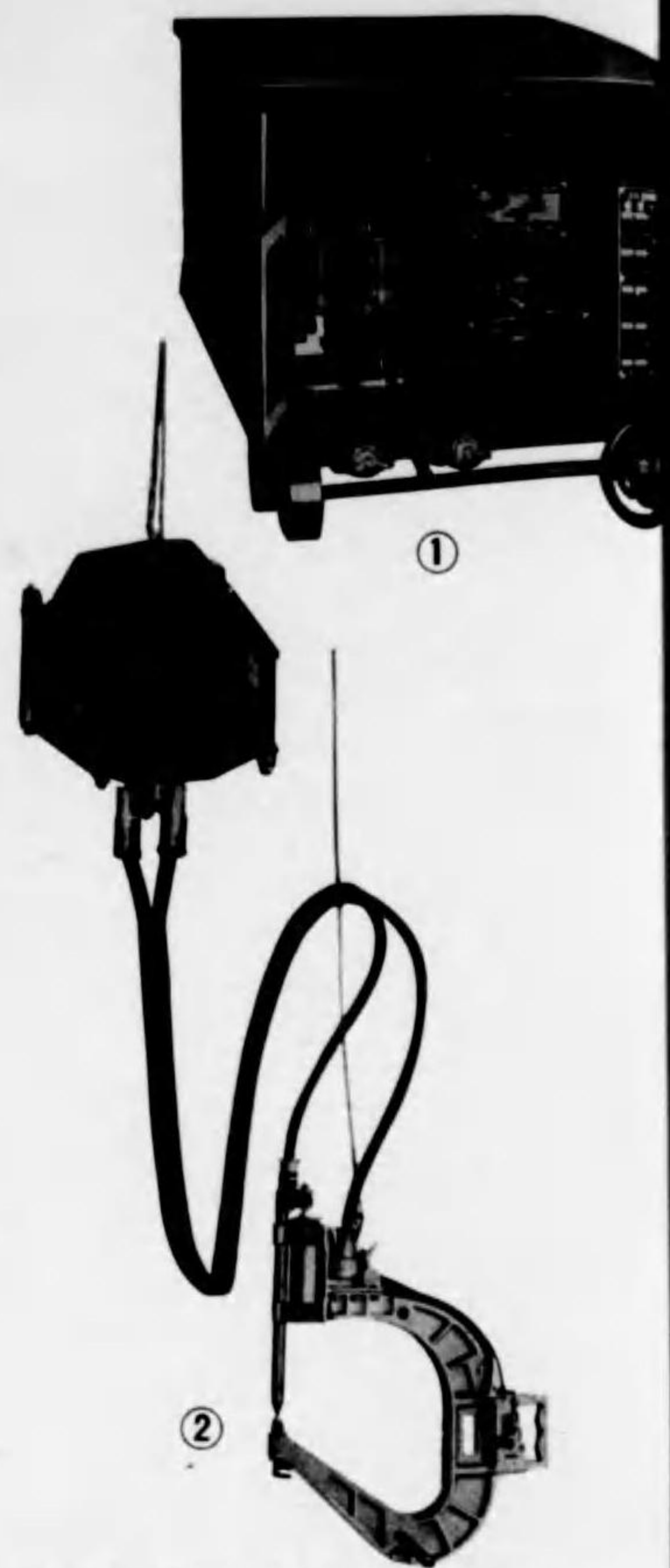


電 動 工 具

- ① 大型電気ドリル
- ② 旋盤用電気グラインダー
- ③ 携帯用電気グラインダー
- ④ 小型電気ドリル
- ⑤ 卓上用電気ドリル
- ⑥ 床上用電気ポリッシャー



電氣熔接機

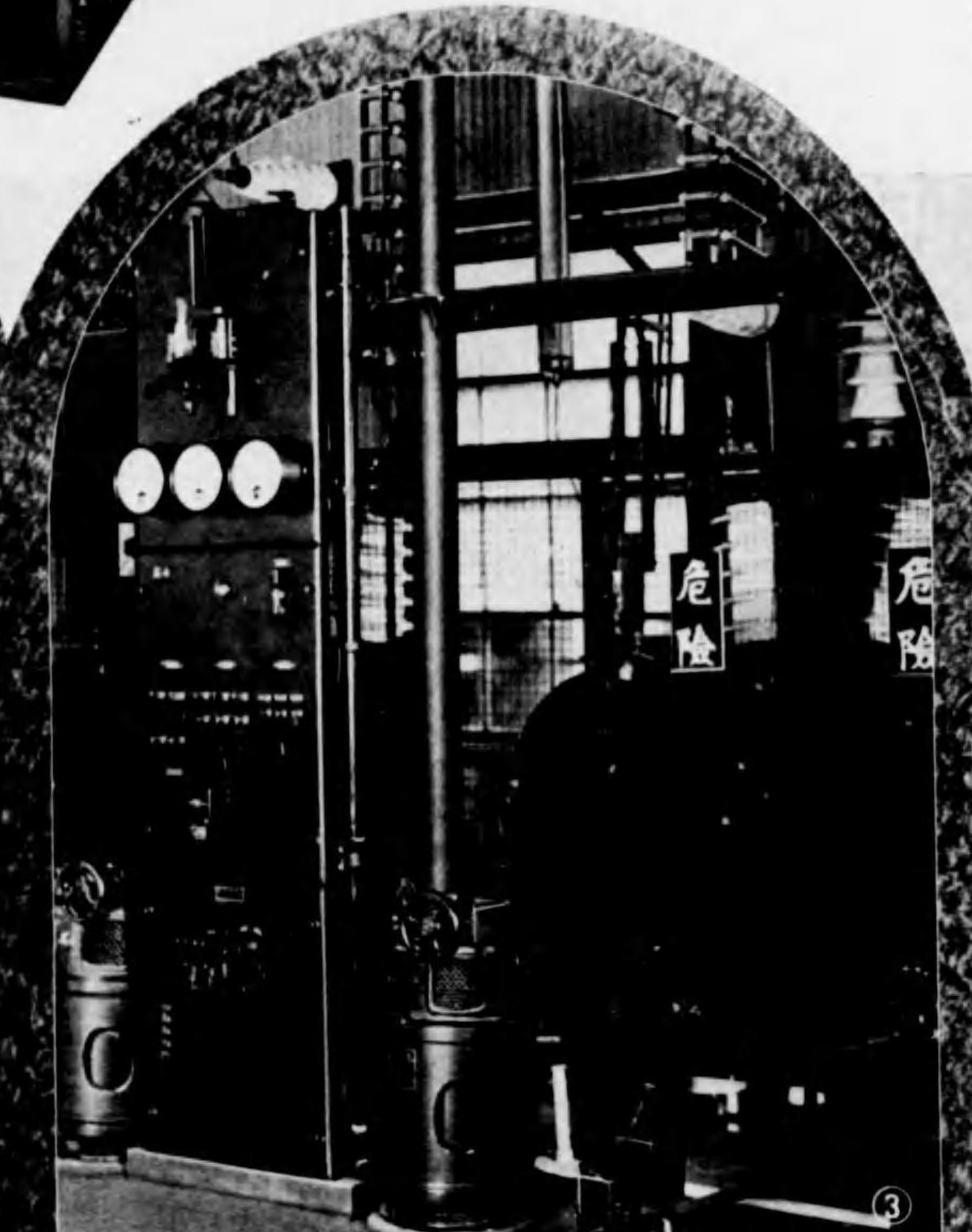


- ① 交流電弧熔接機
- ② 携帶用點熔接機
- ③ エンヂン直結直電流電弧熔接機
- ④ フラッシュユバット熔接機
- ⑤ 點熔接機

電氣收塵裝置



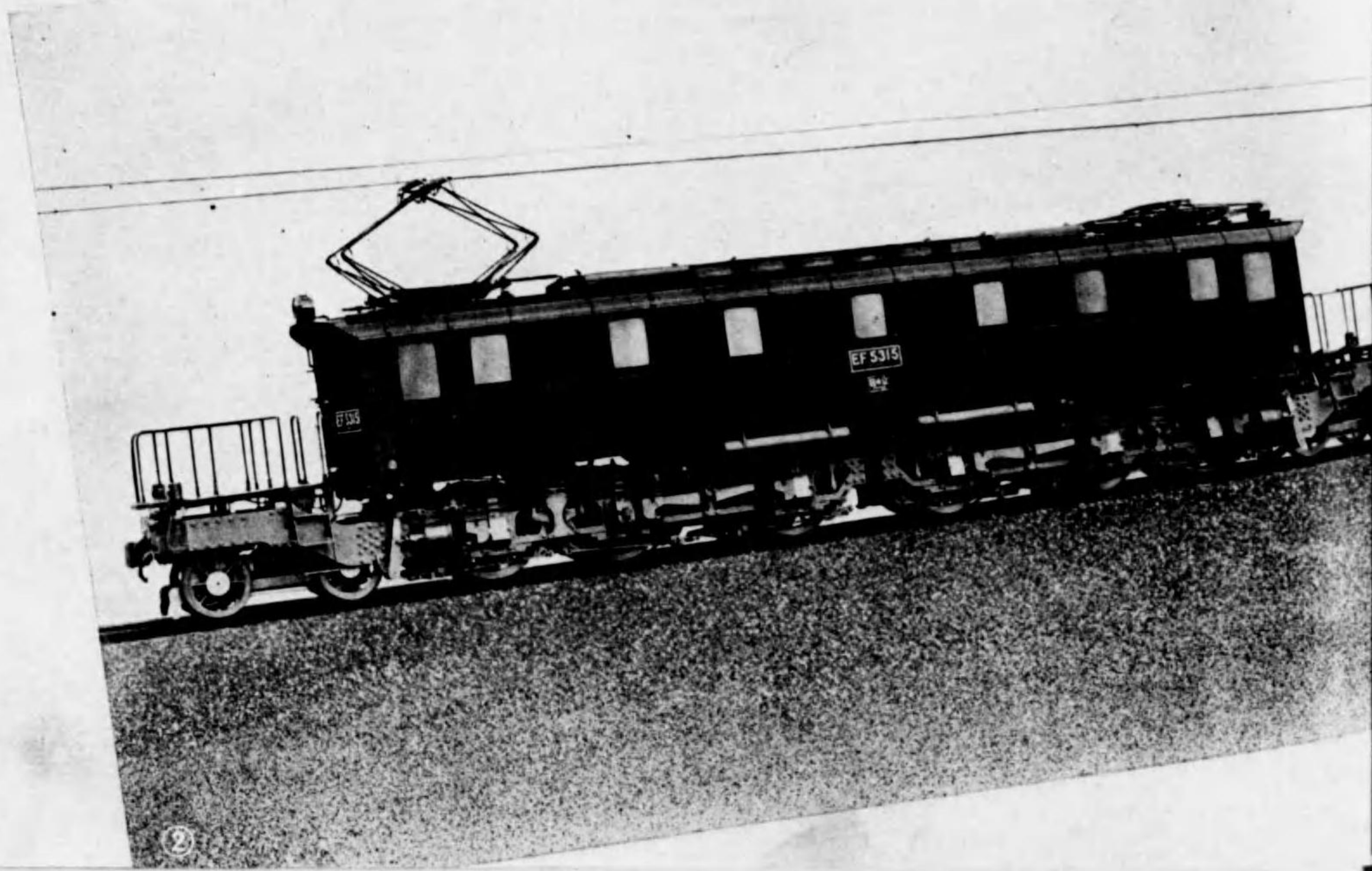
- ① 錫製鍊用電氣收塵裝置
- ② 製鋼用電氣收塵裝置
- ③ 電氣收塵裝置電氣設備



電氣機關車

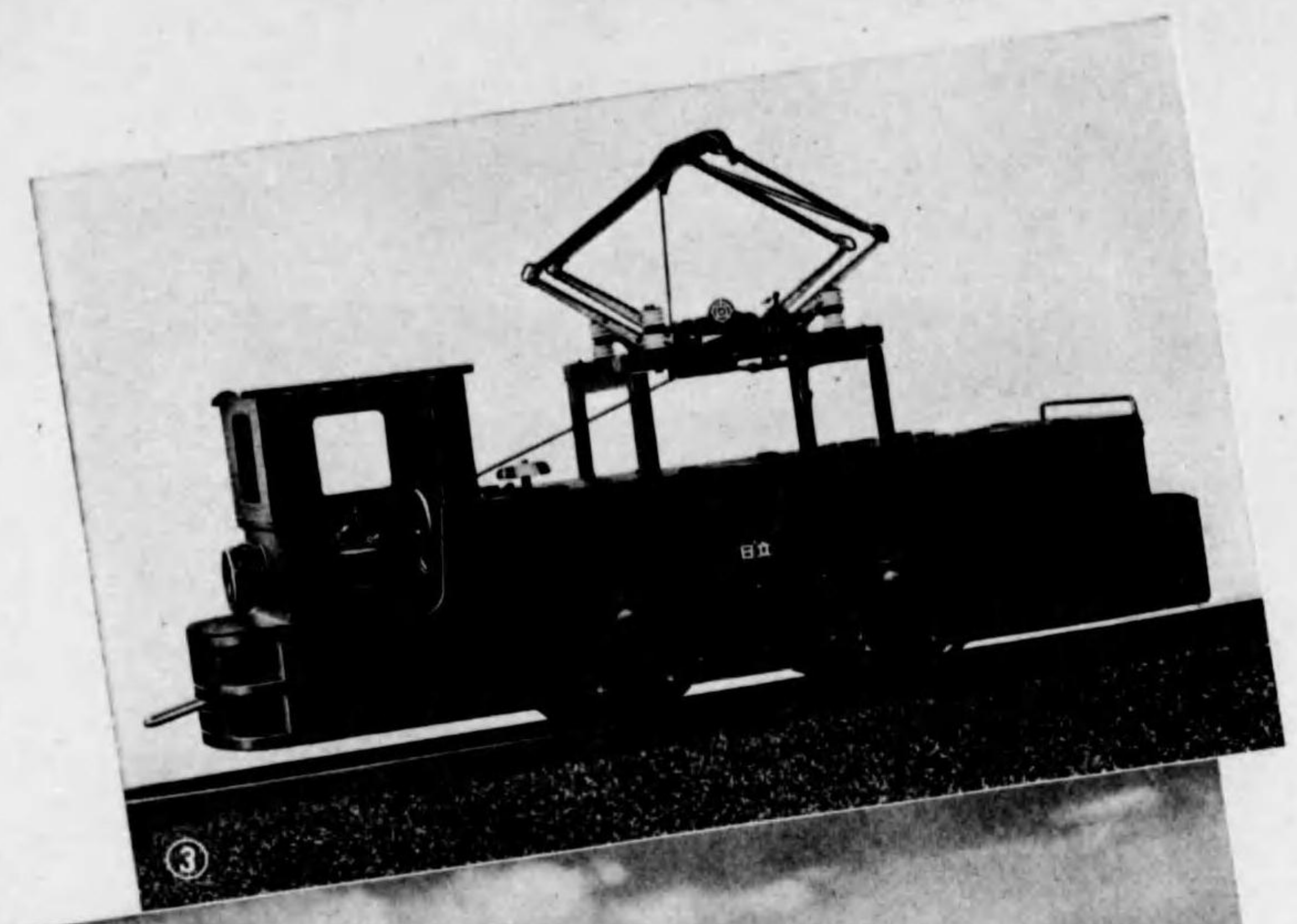


①

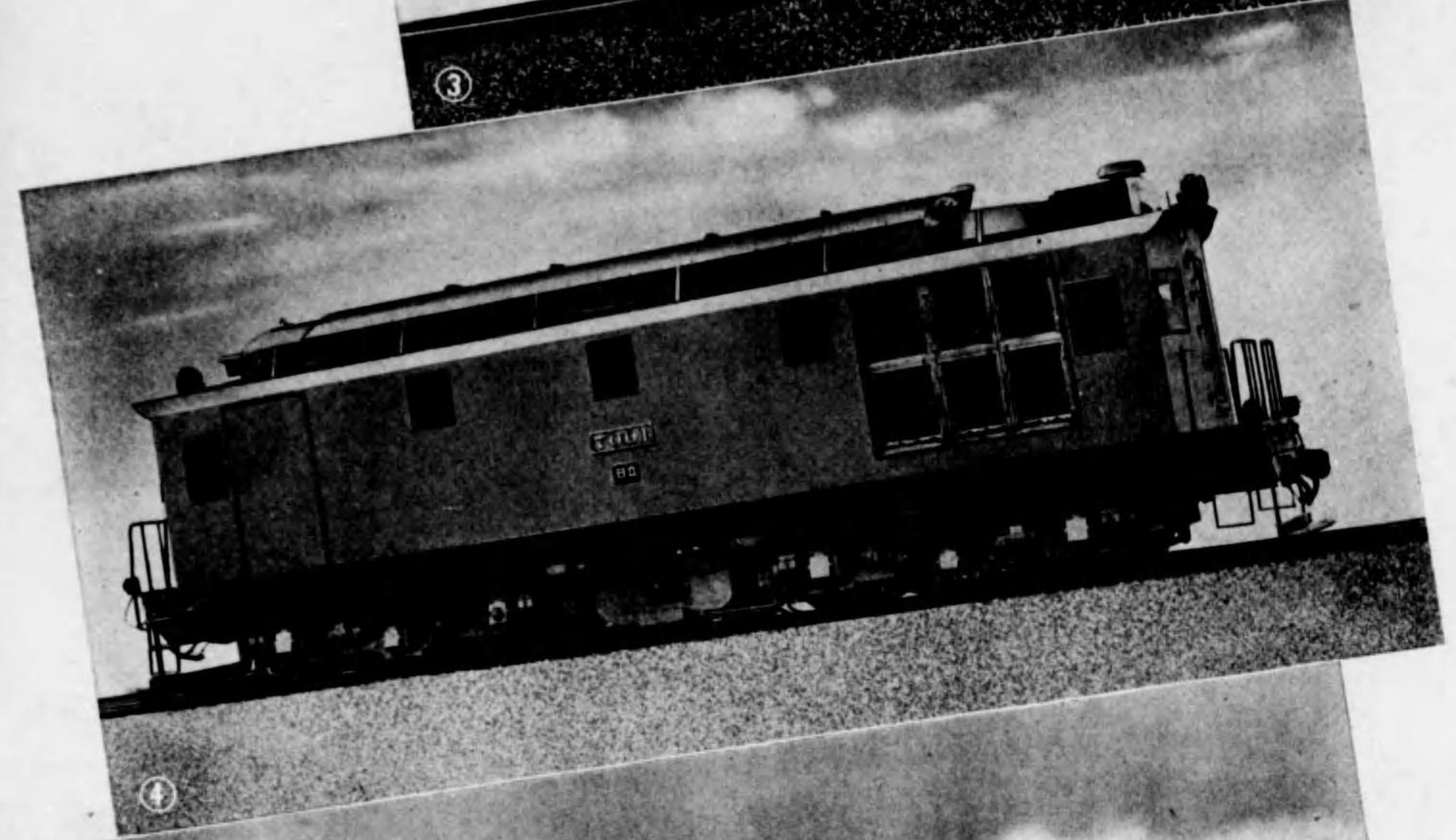


②

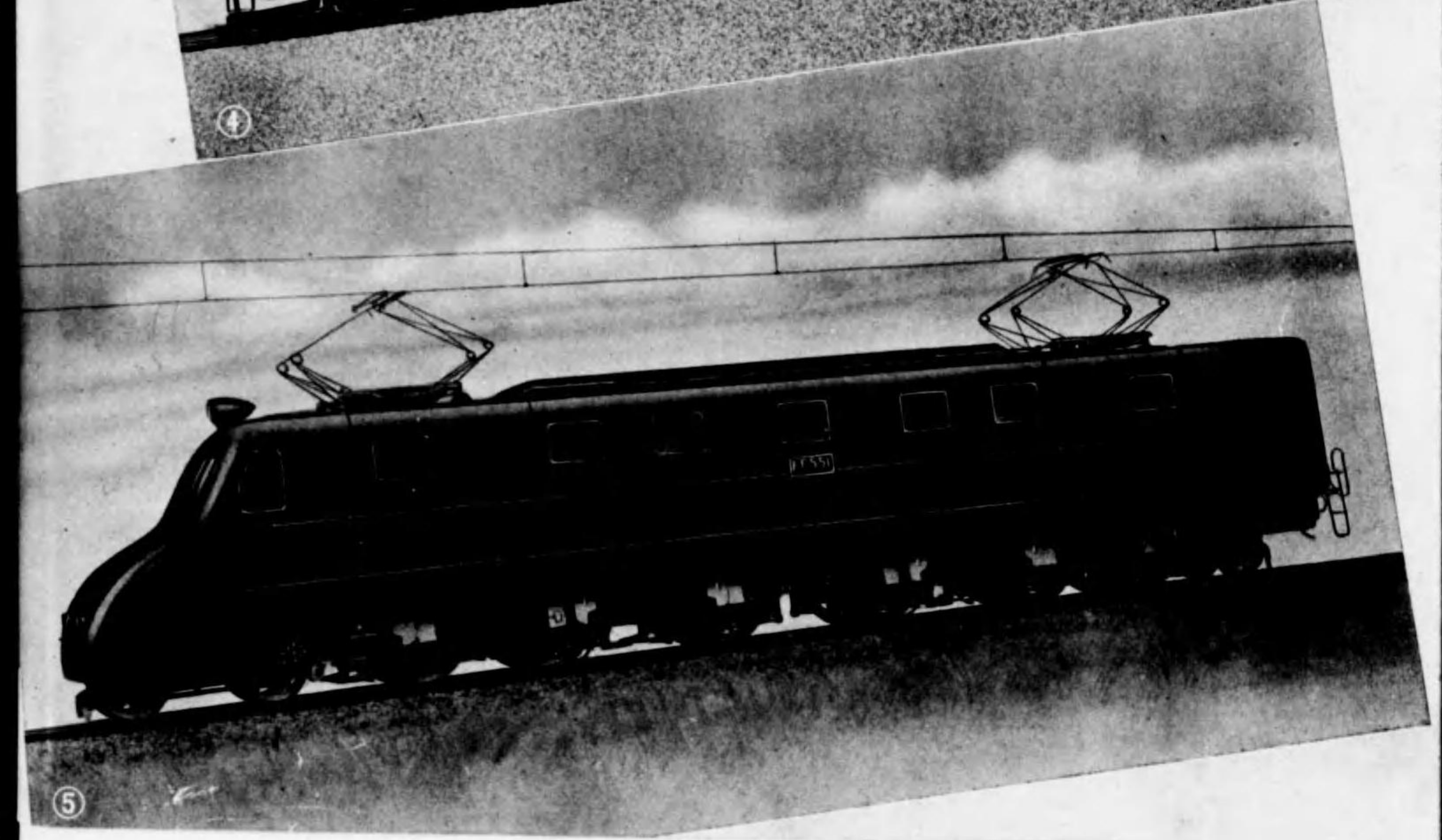
- ① 85 ton 電氣機關車
- ② 鐵道省 EF 53 型電氣機關車
- ③ 鑛山用電氣機關車
- ④ ディーゼル電氣機關車
- ⑤ 流線型電氣機關車



③



④



⑤

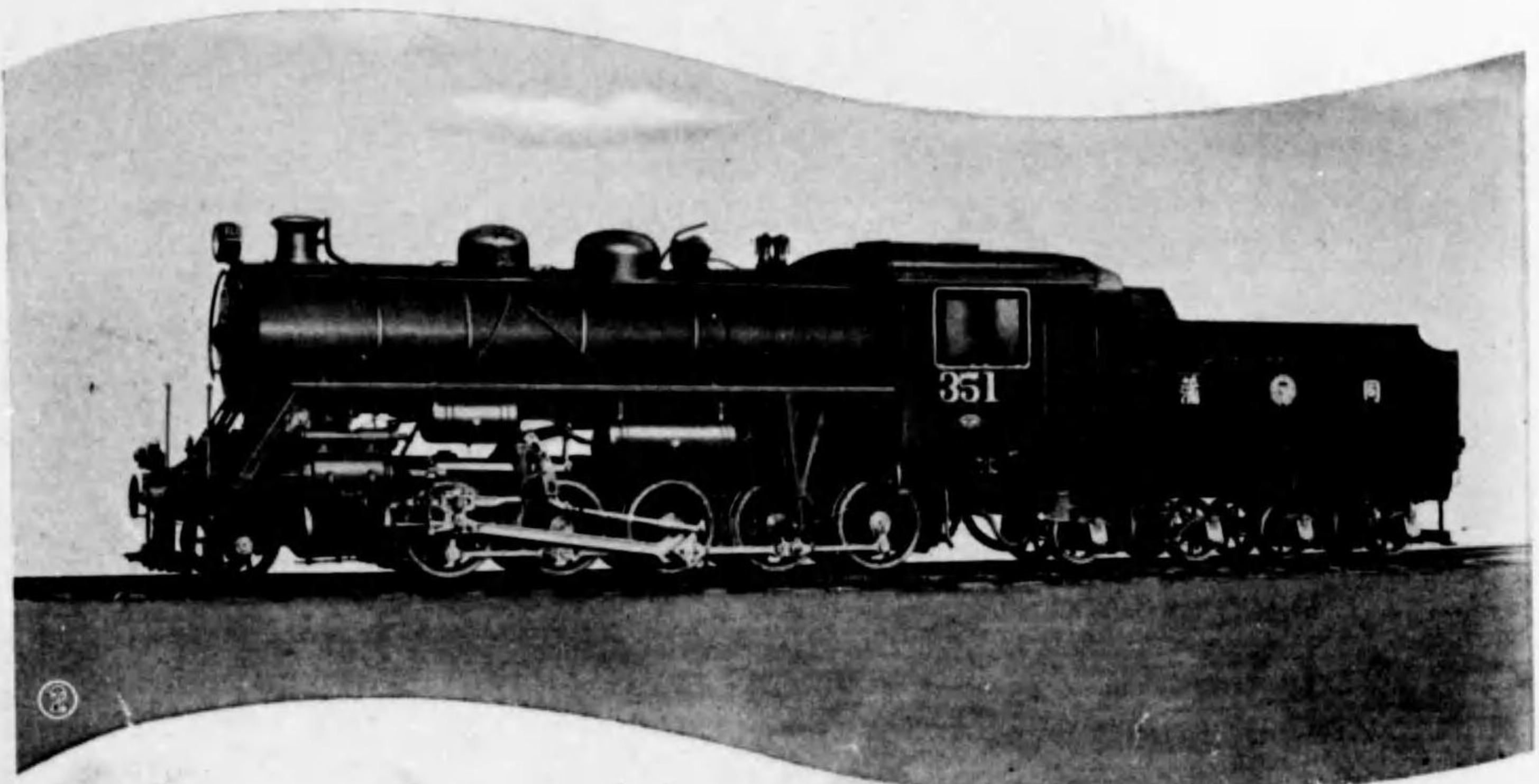
蒸汽機關車



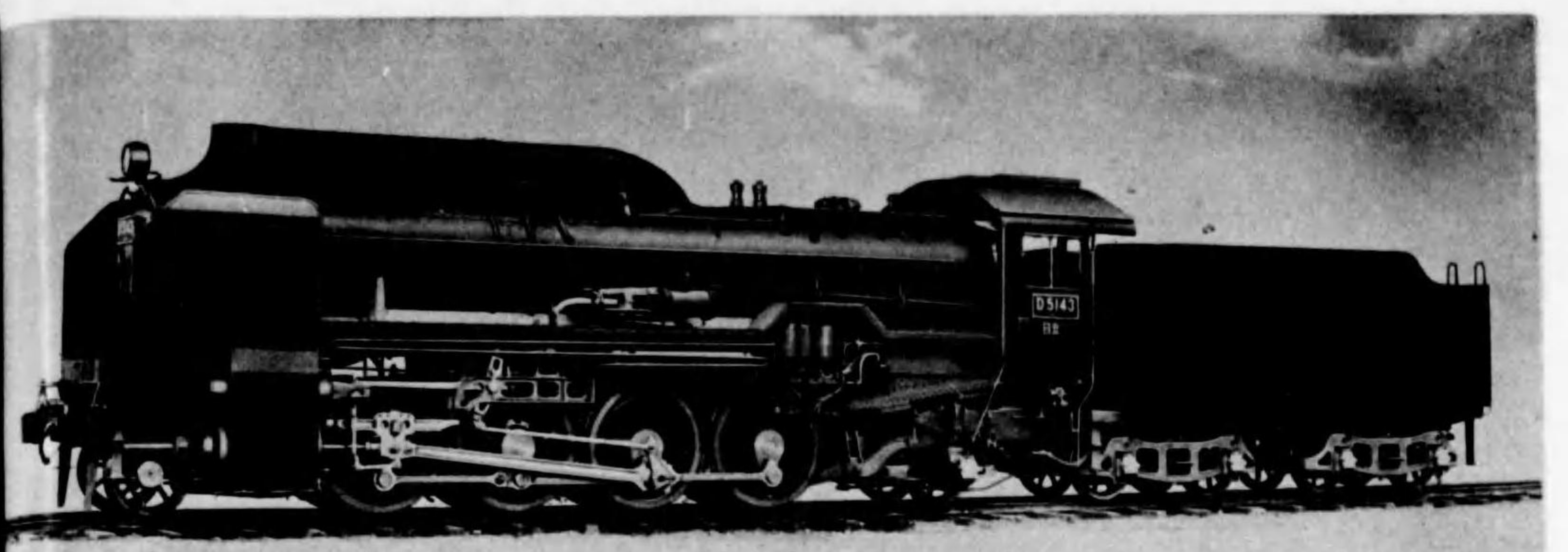
①

- ① 2C1型過熱テンダ機関車
- ② 1E型飽和テンダ機関車
- ③ D51型過熱テンダ機関車
- ④ 2C1型過熱テンダ機関車
- ⑤ 鐵道省 C11型過熱タンク機関車

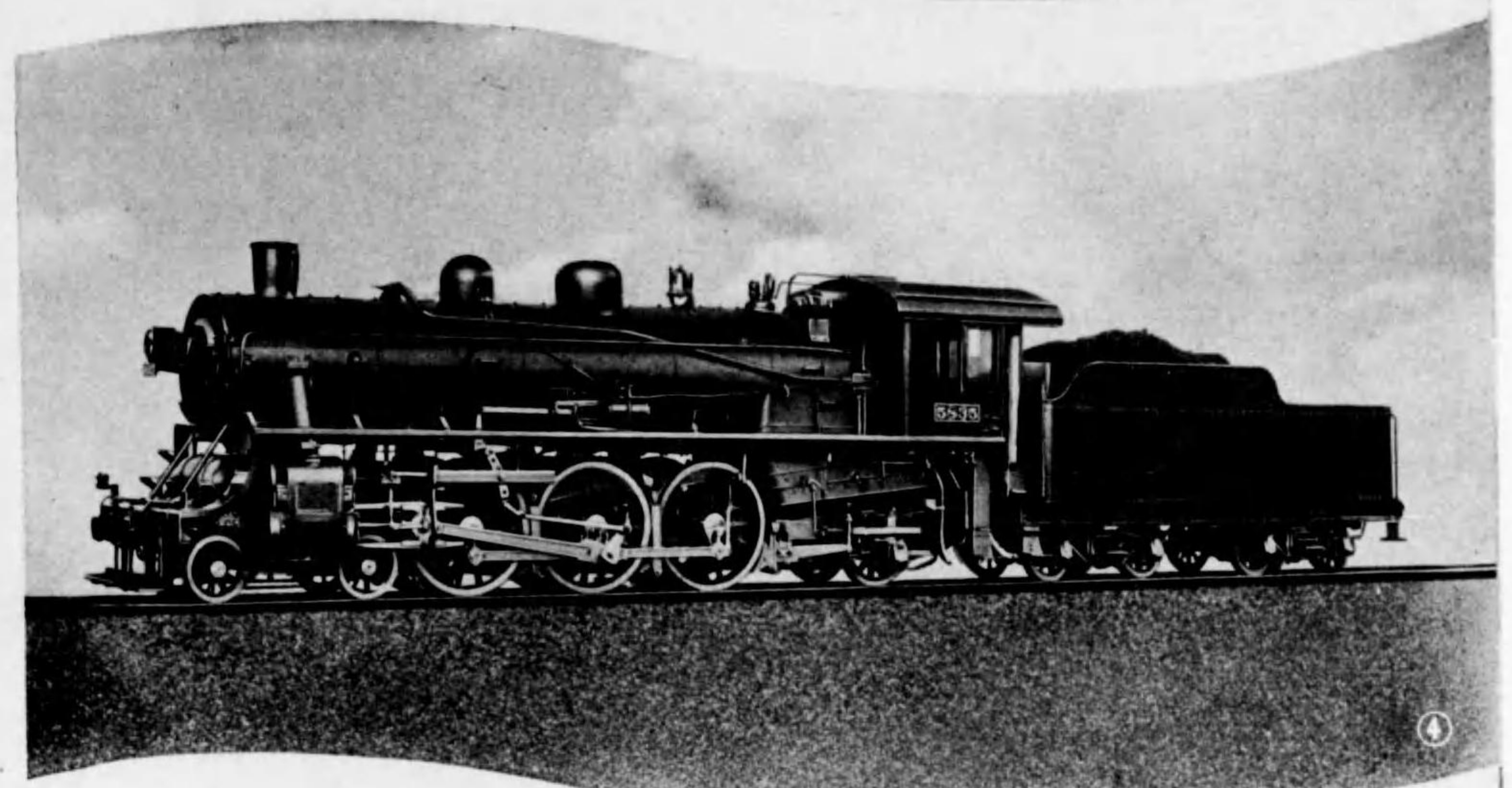
(寫眞は兵衛軍港務部徳山支那吉可濟)



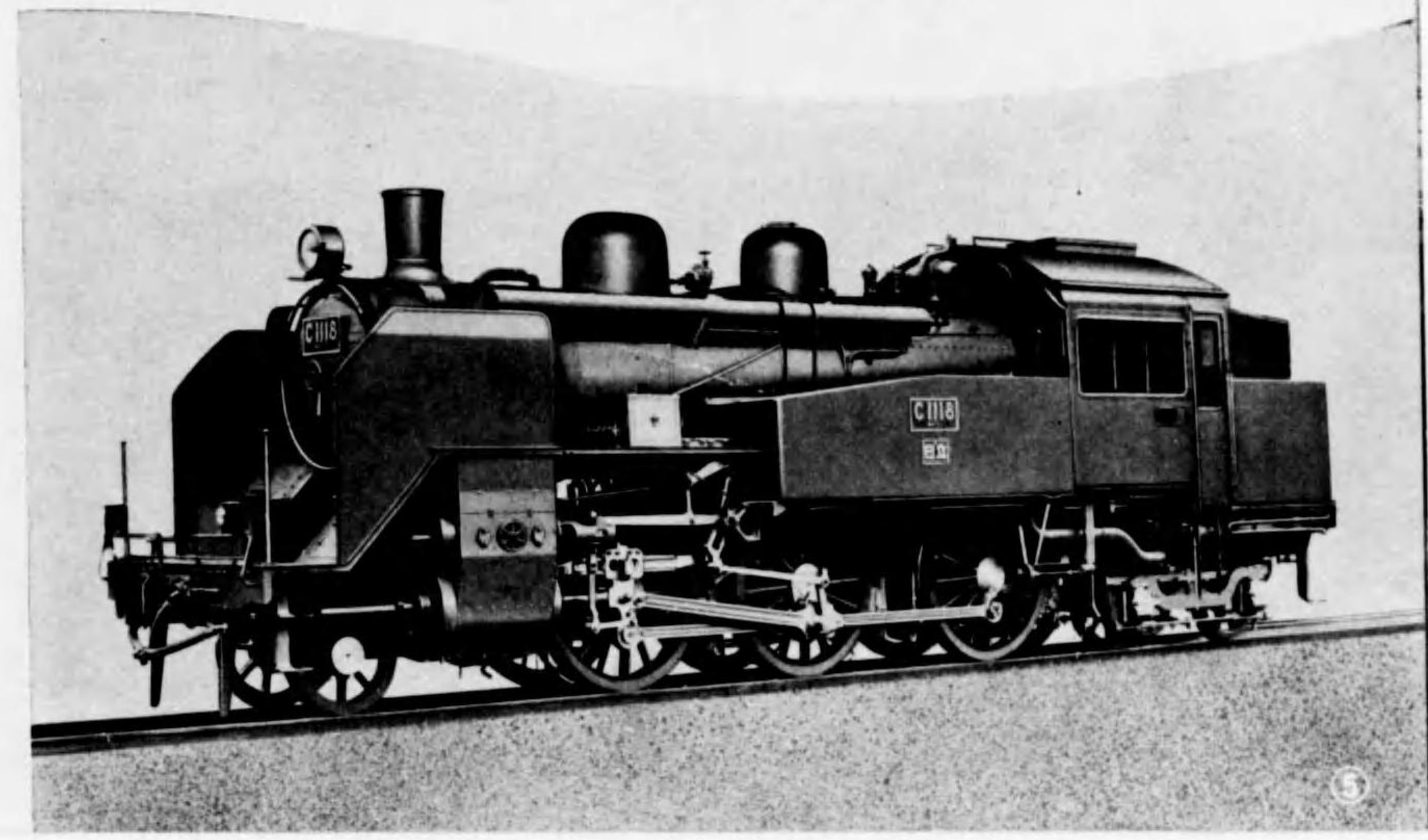
②



③

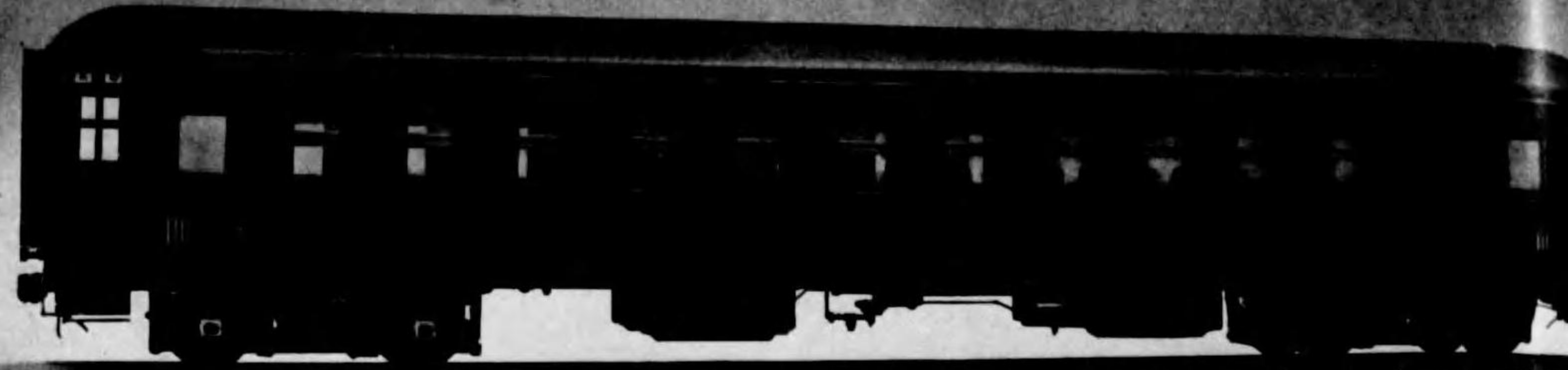


④



⑤

客・貨車



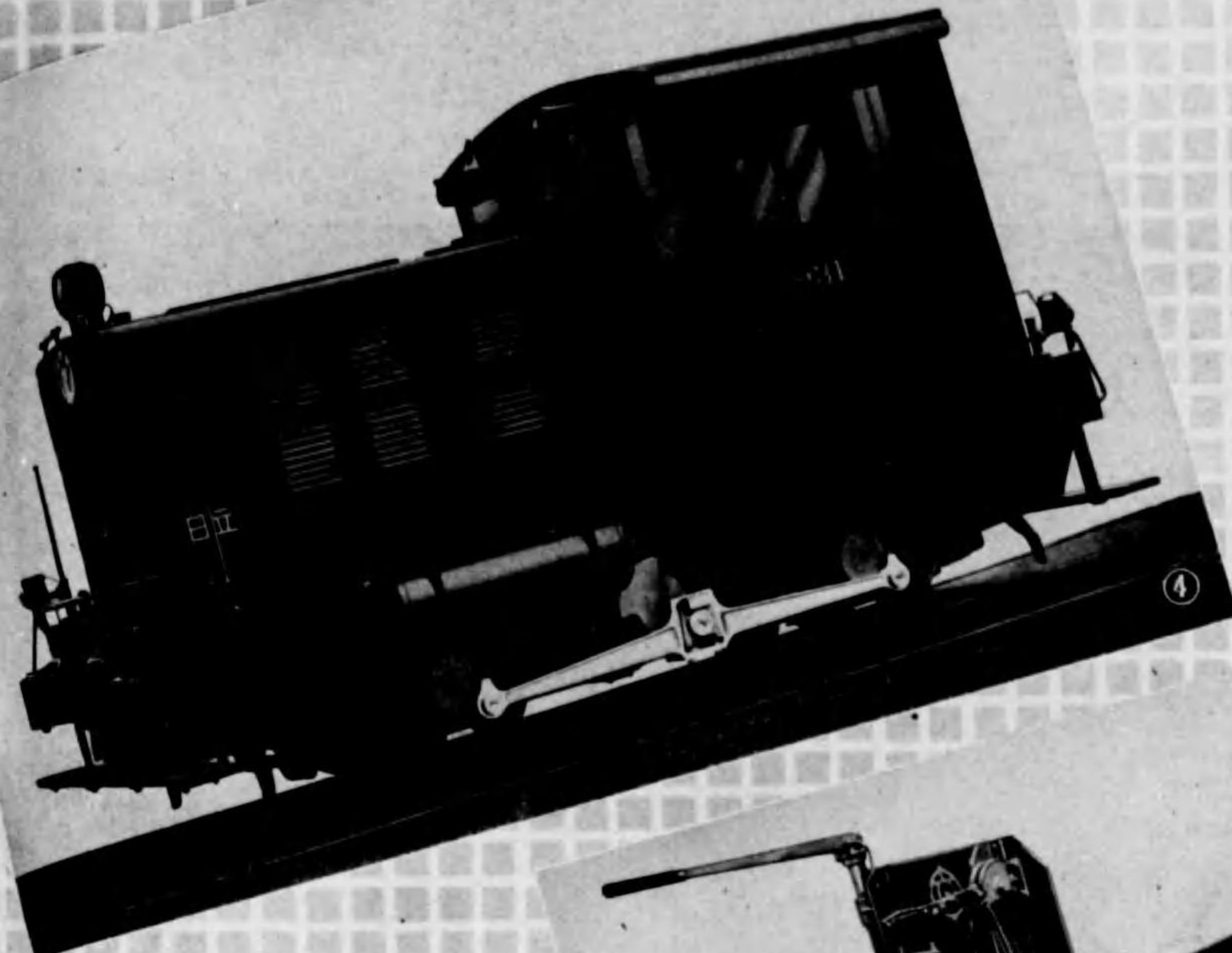
①



②



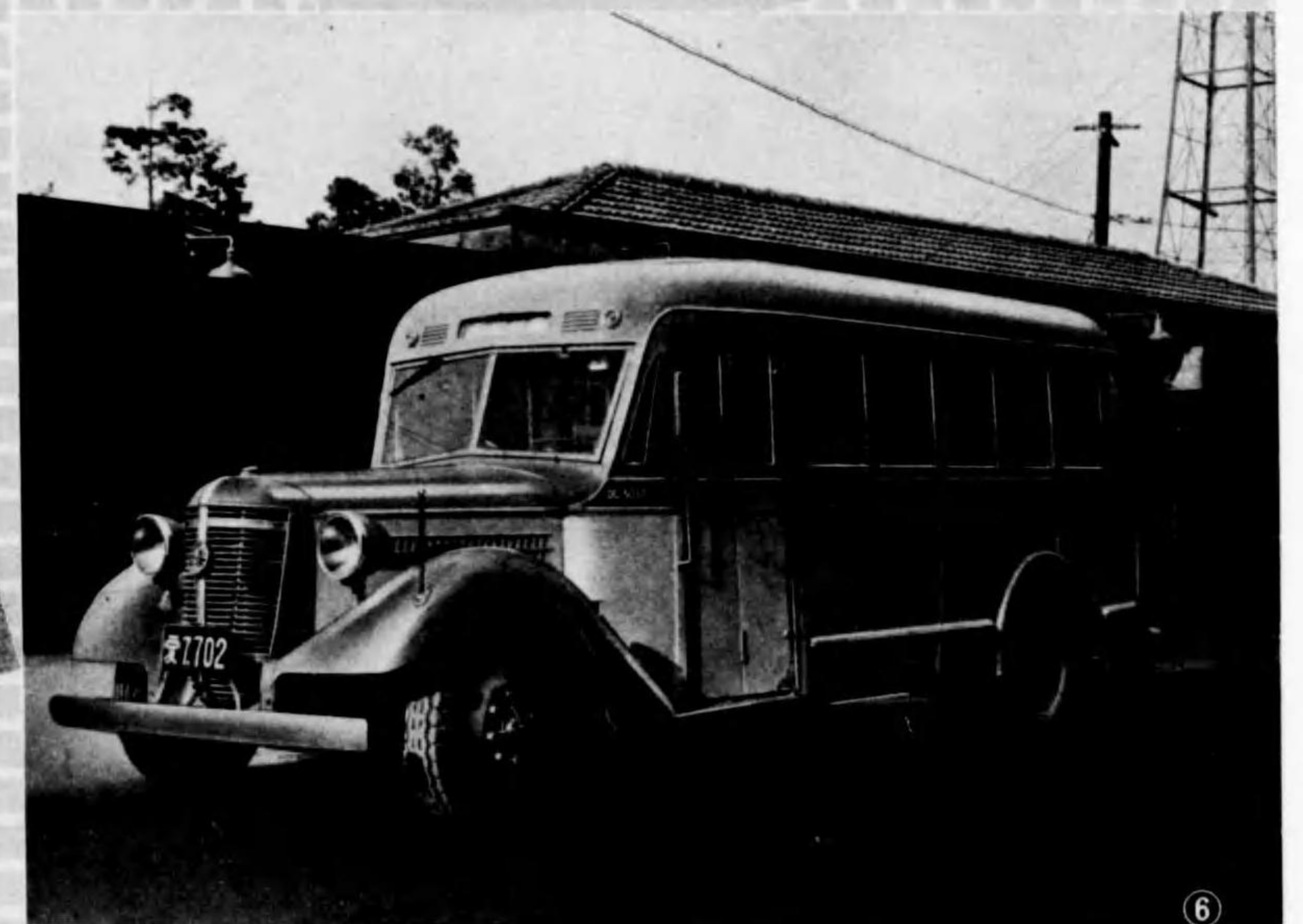
③



④



⑤



⑥

- ① 八〇型二軸ボギー三等客車
- ② 鐵道省セム6000形石炭車
- ③ 鐵道省ト20000形無蓋車
- ④ B型ディーゼル機關車
(富嶽は英海軍港務部由支那許可濟)
- ⑤ 蓄電池運搬車
- ⑥ ディーゼル自動車

起重機・輸送装置



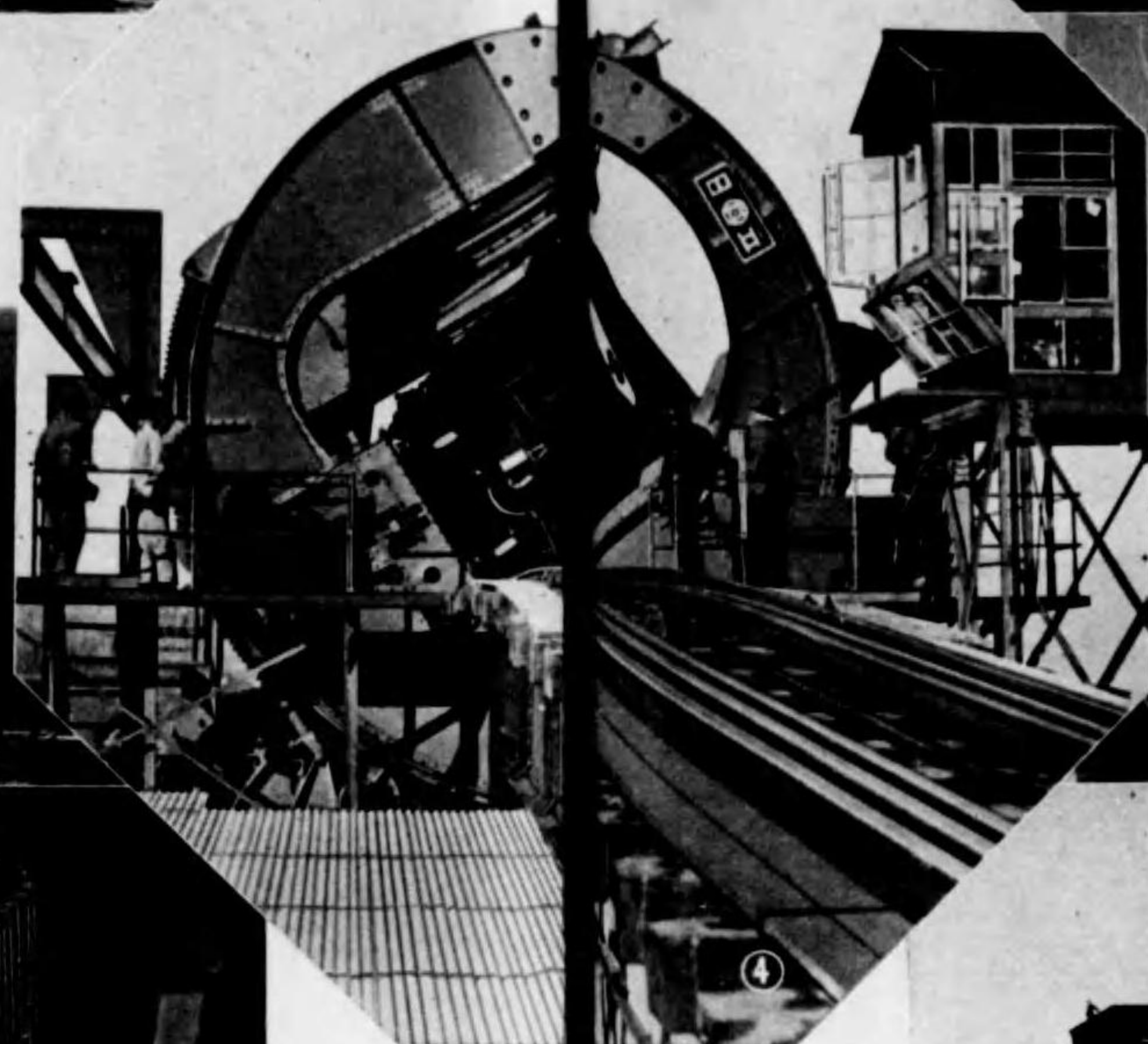
①



⑤



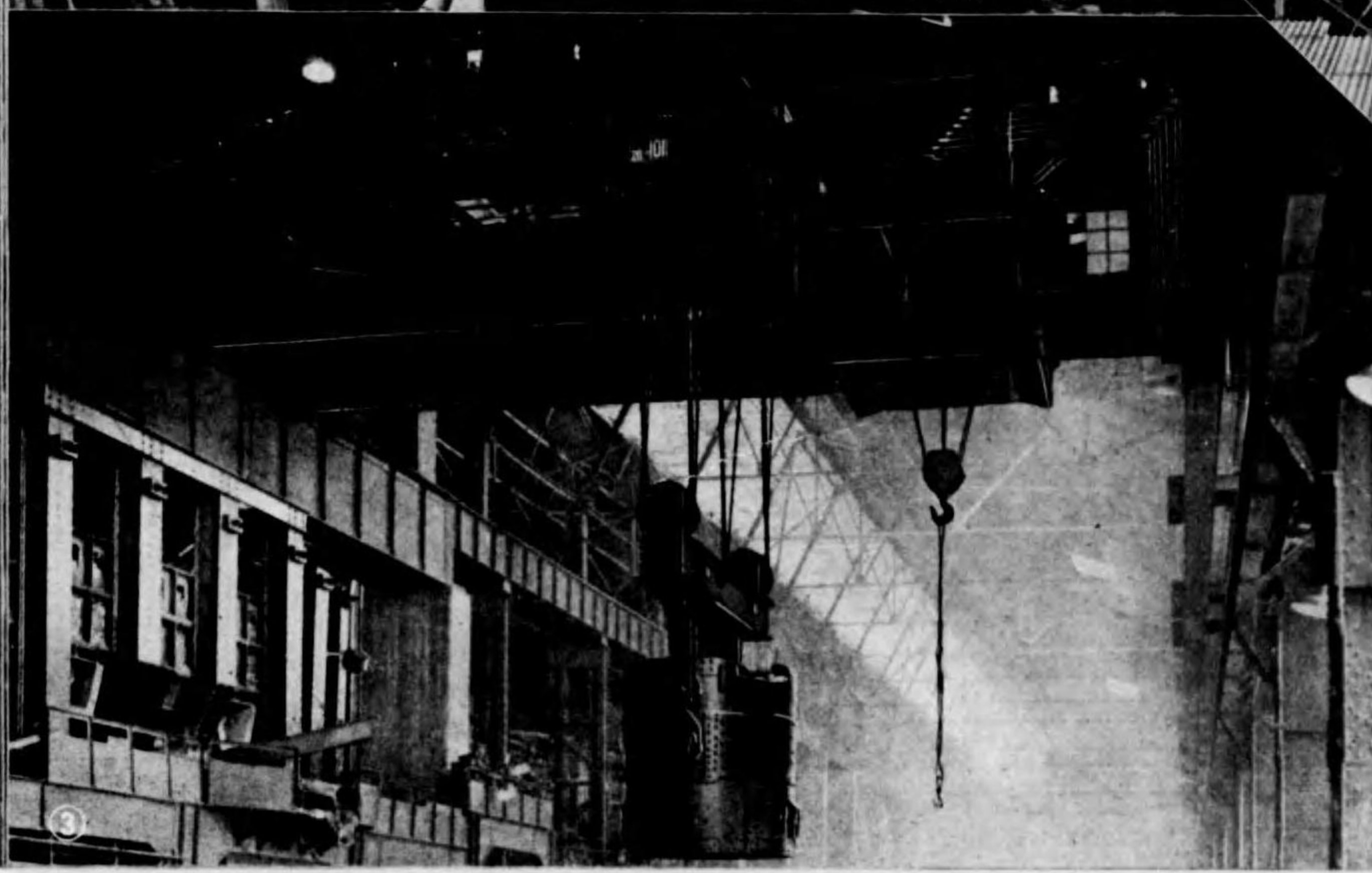
②



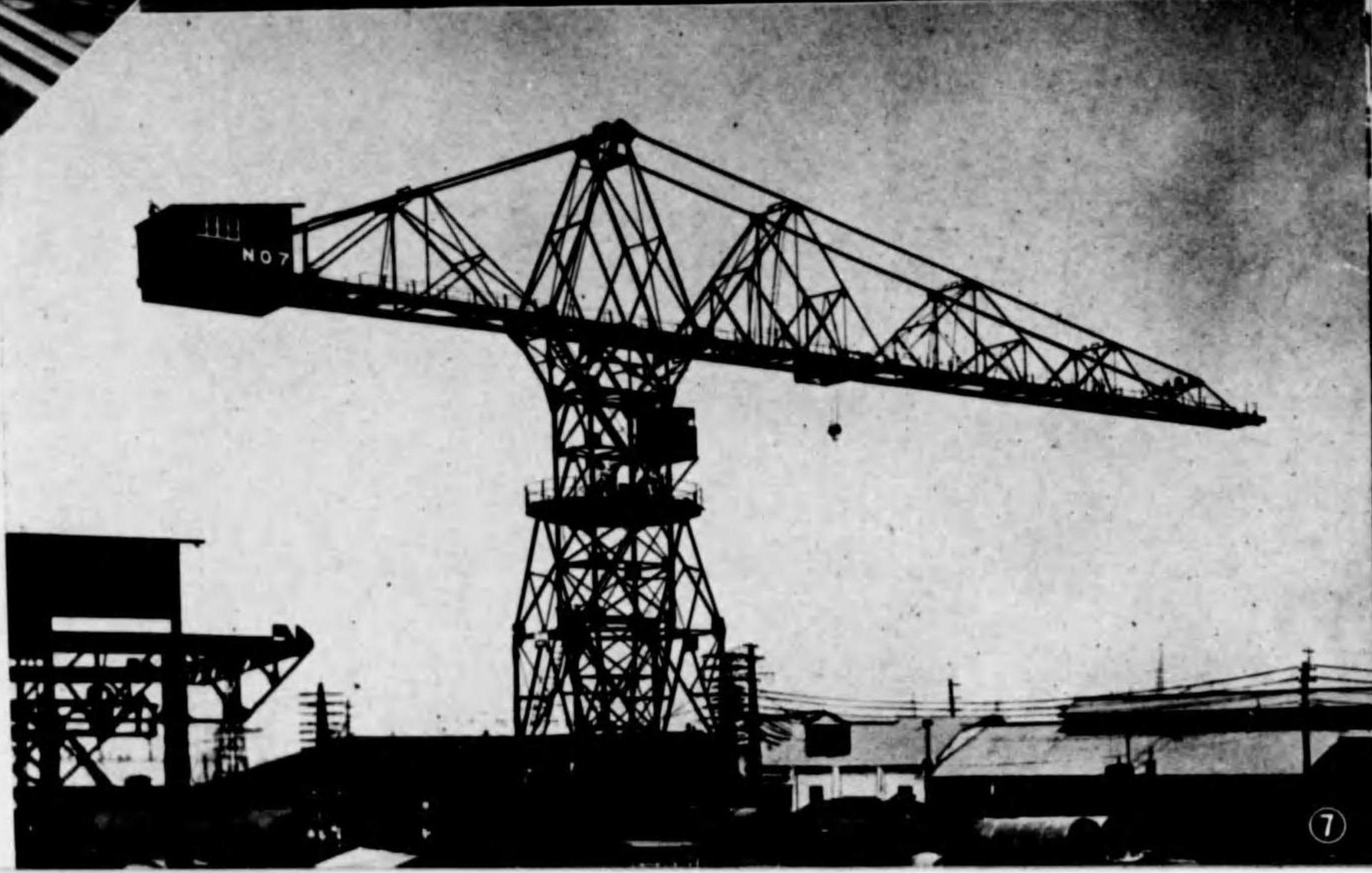
④



⑥



③



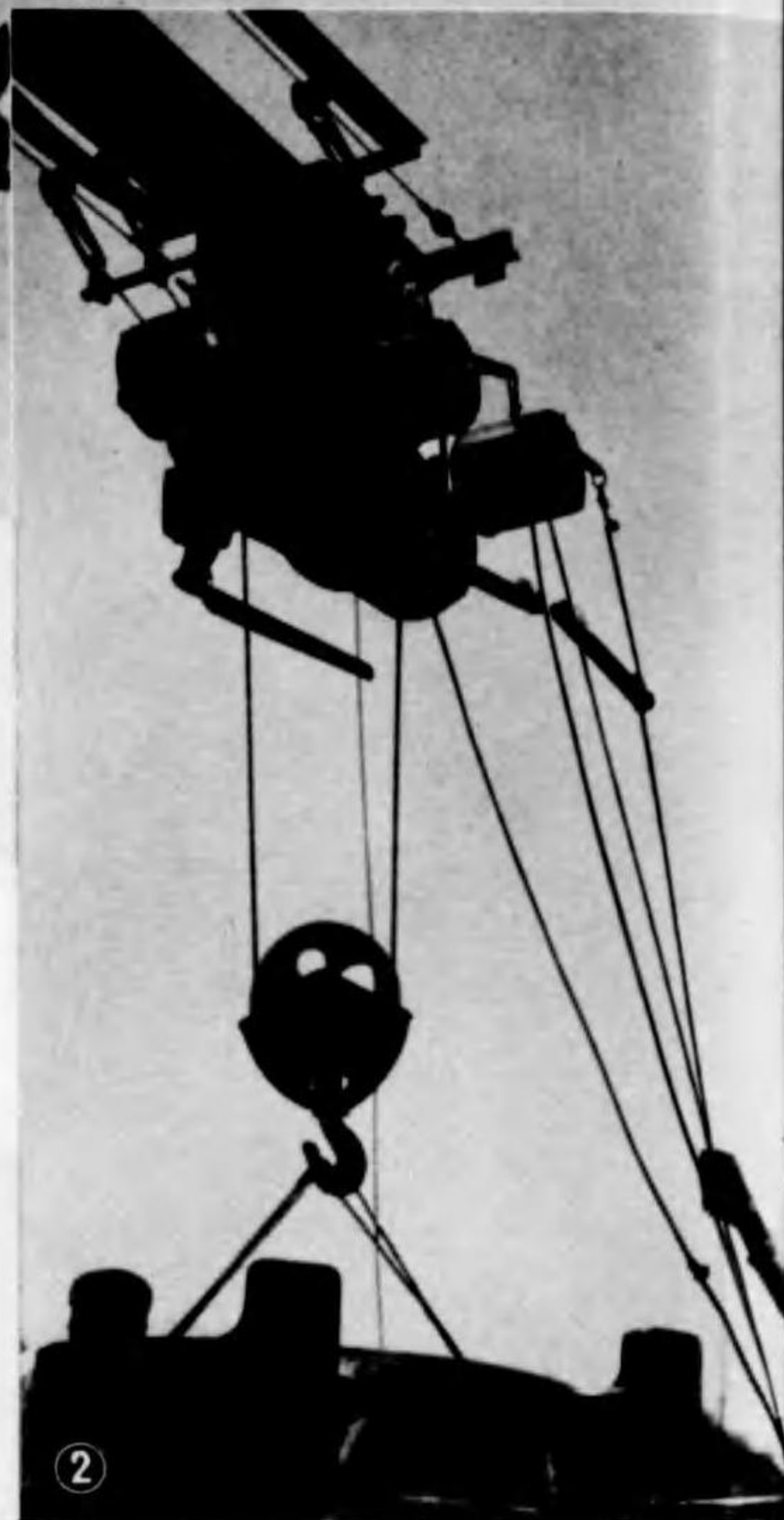
⑦

- ① ガント
- ② ケー
- ③ レー
- ④ カー
- ⑤ 陸
- ⑥ 救
- ⑦ タ

レ
機
機
機
機
機
機

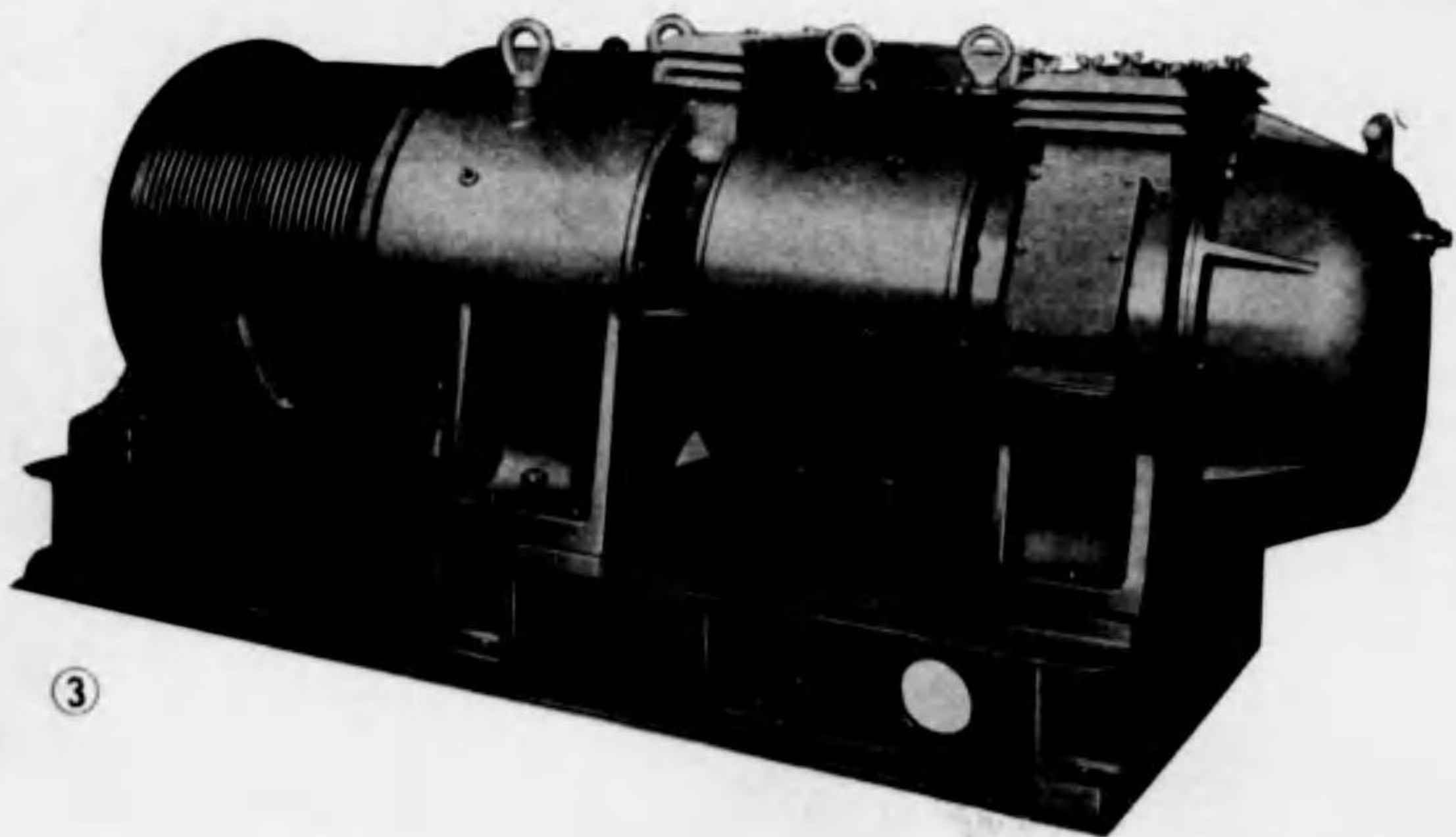
捲揚機

①

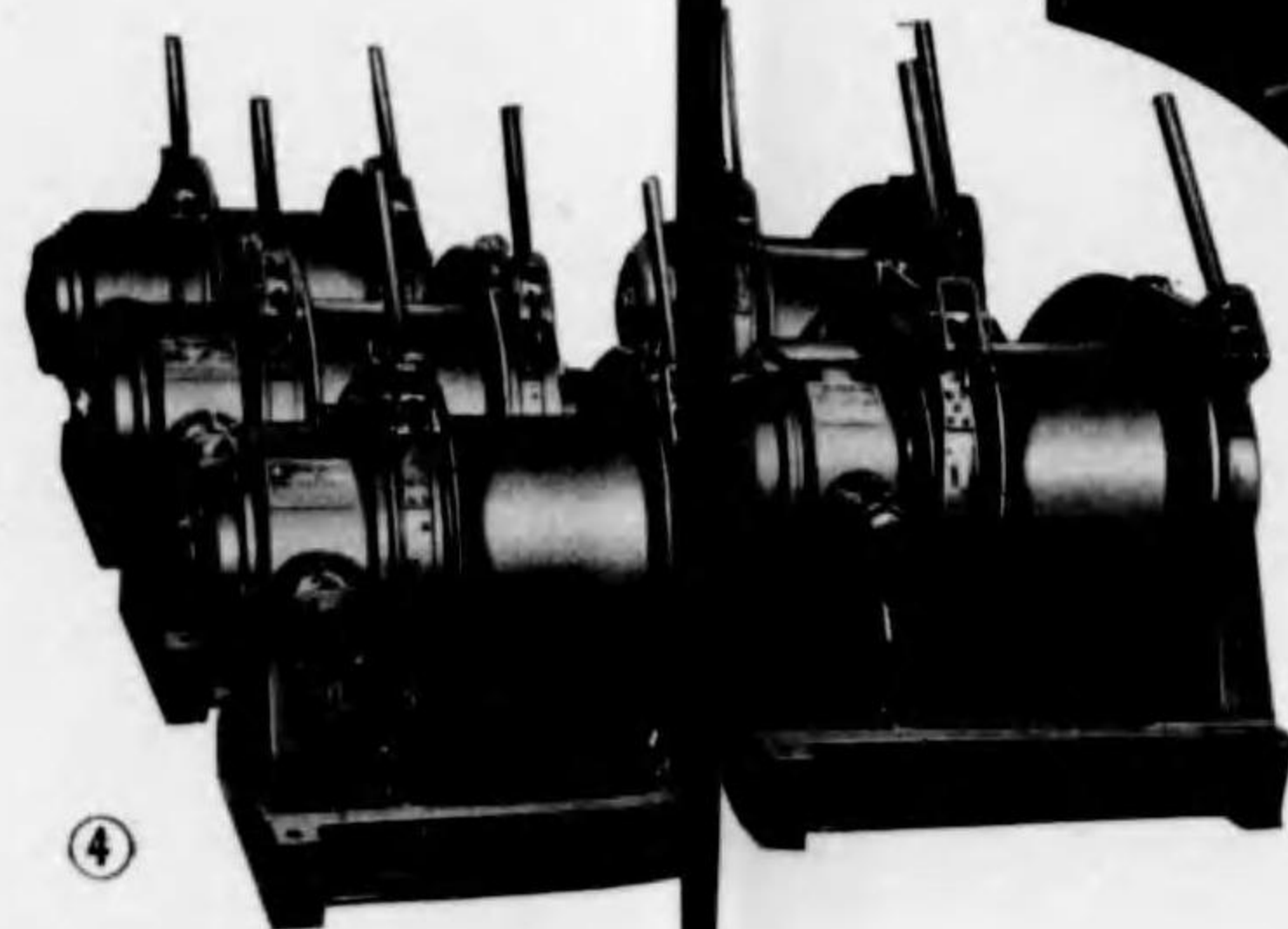


②

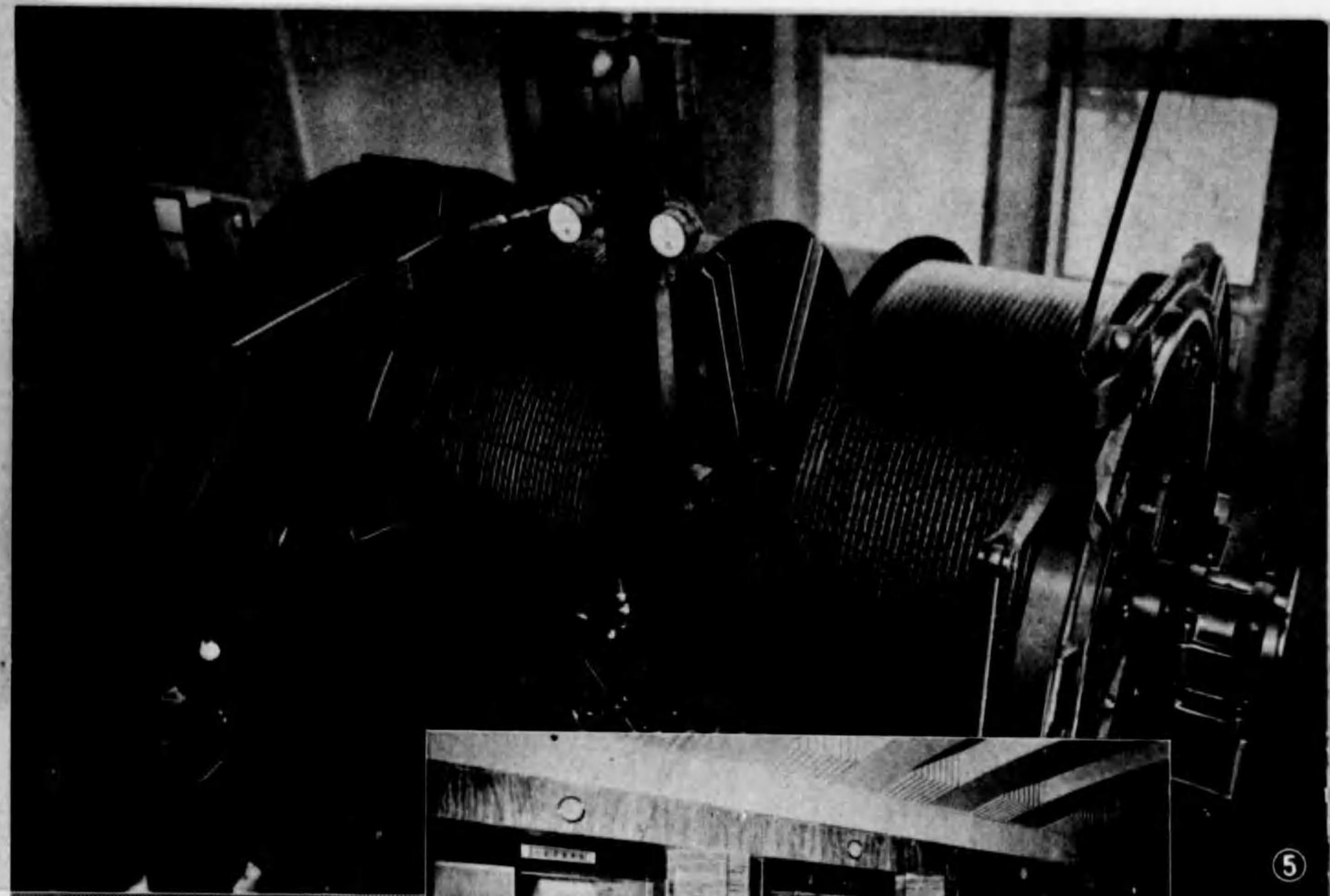
- ① テルプアー付ホイスト
- ② 電動トロリー付ホイスト
- ③ 揚艇機
- ④ 小型単脚捲揚機
- ⑤ 750HP 複段捲揚機
- ⑥ エレベーター
- ⑦ ダブルロープ式スキップ捲揚機



③



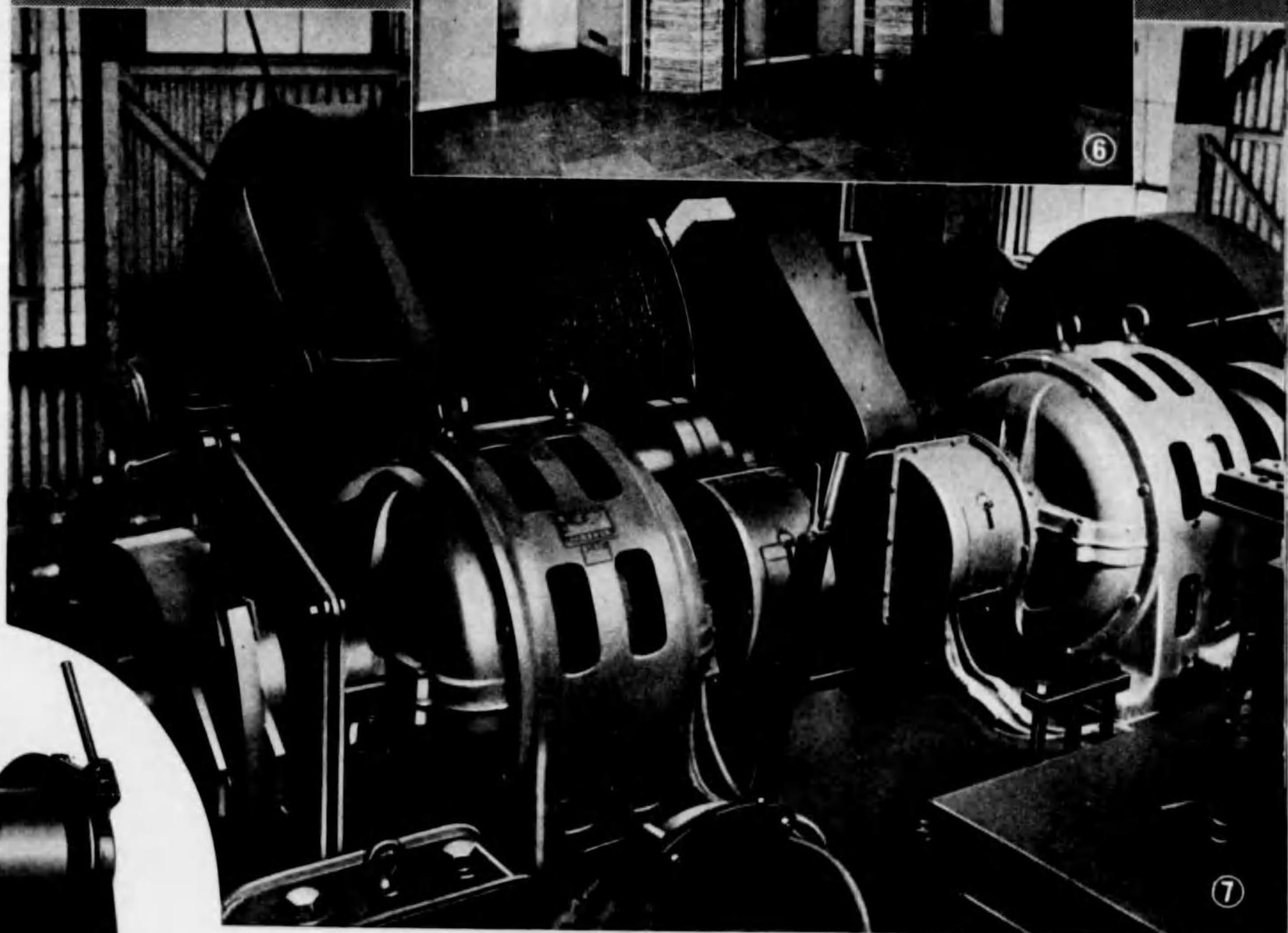
④



⑤

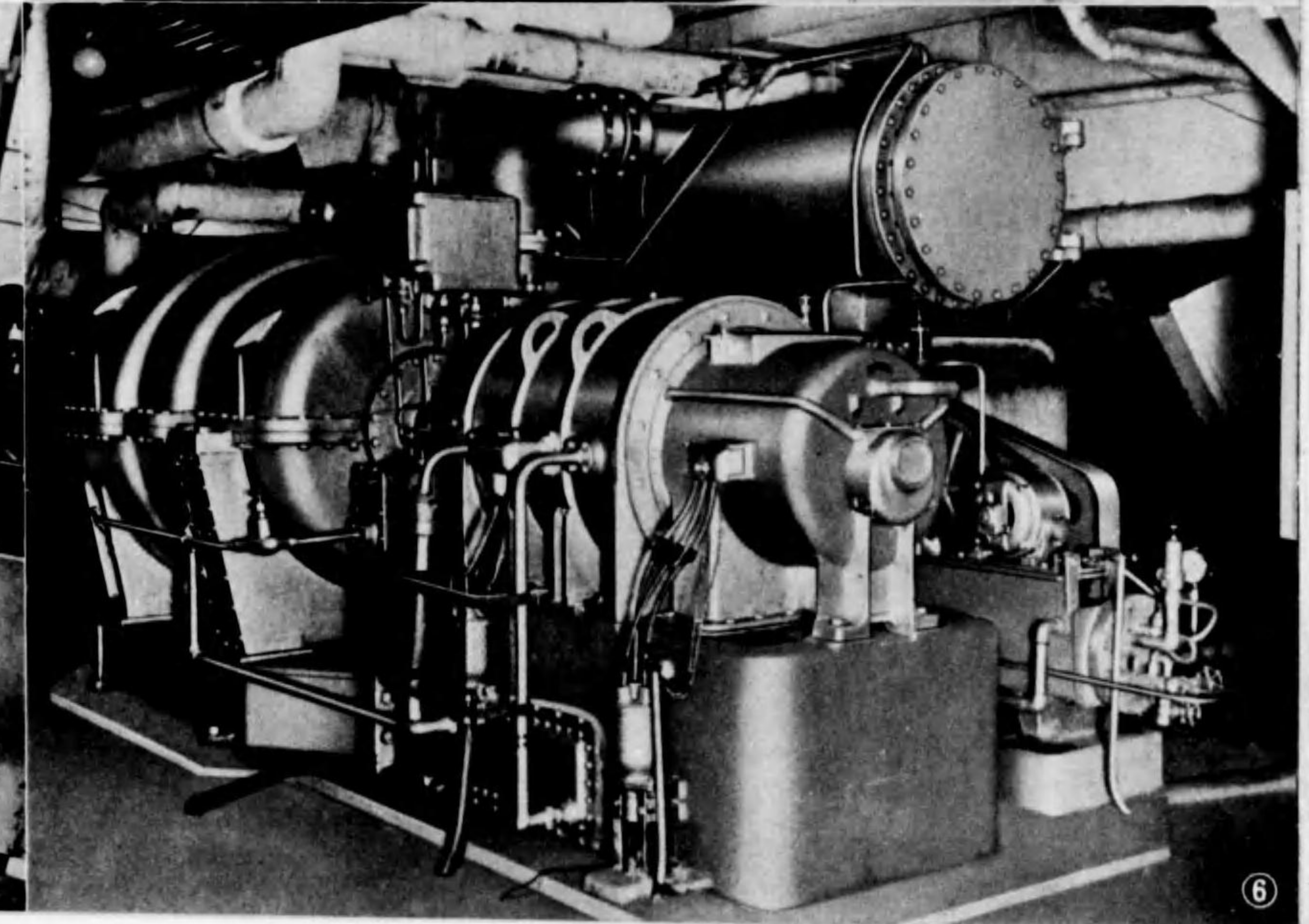
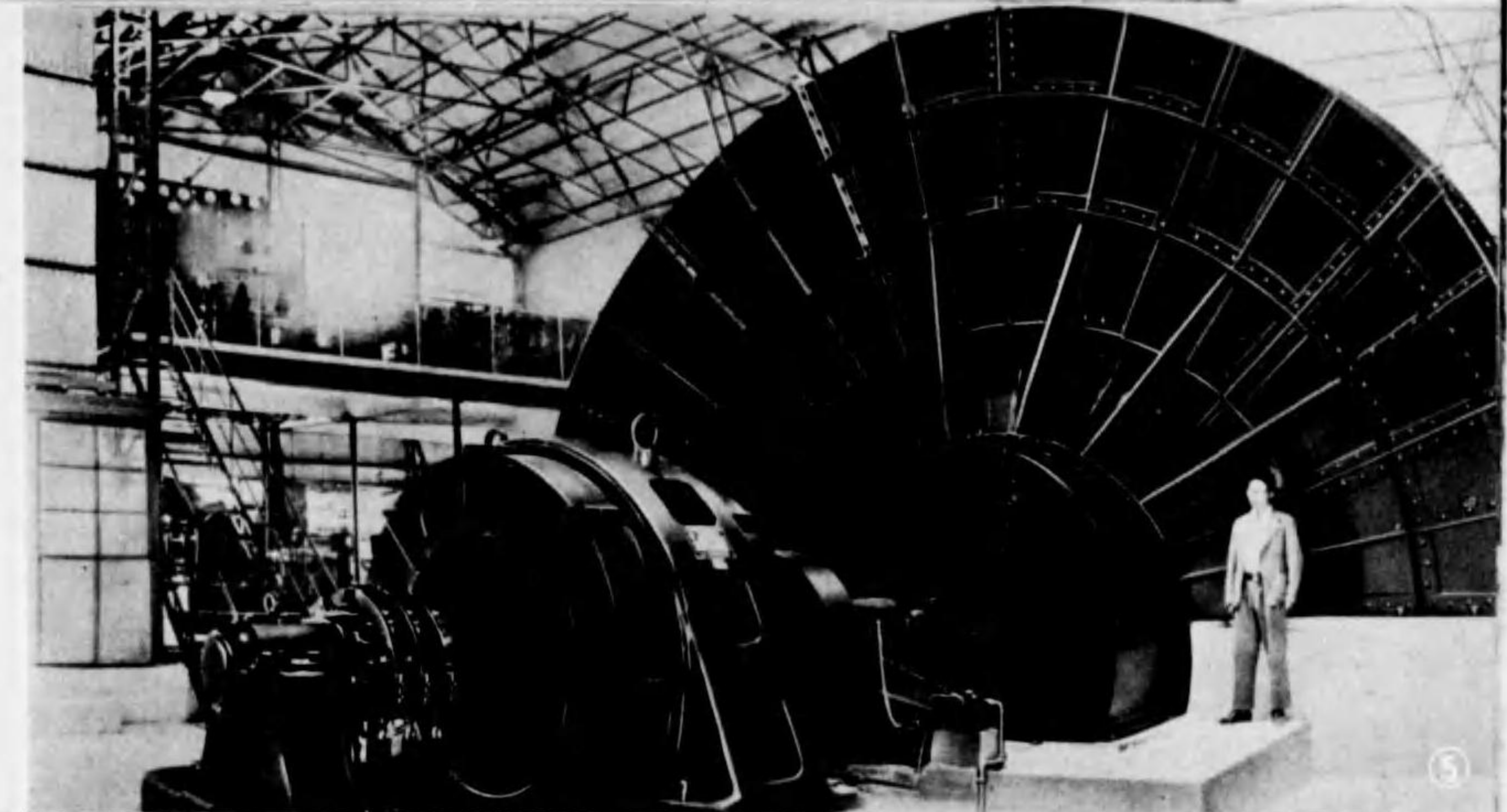
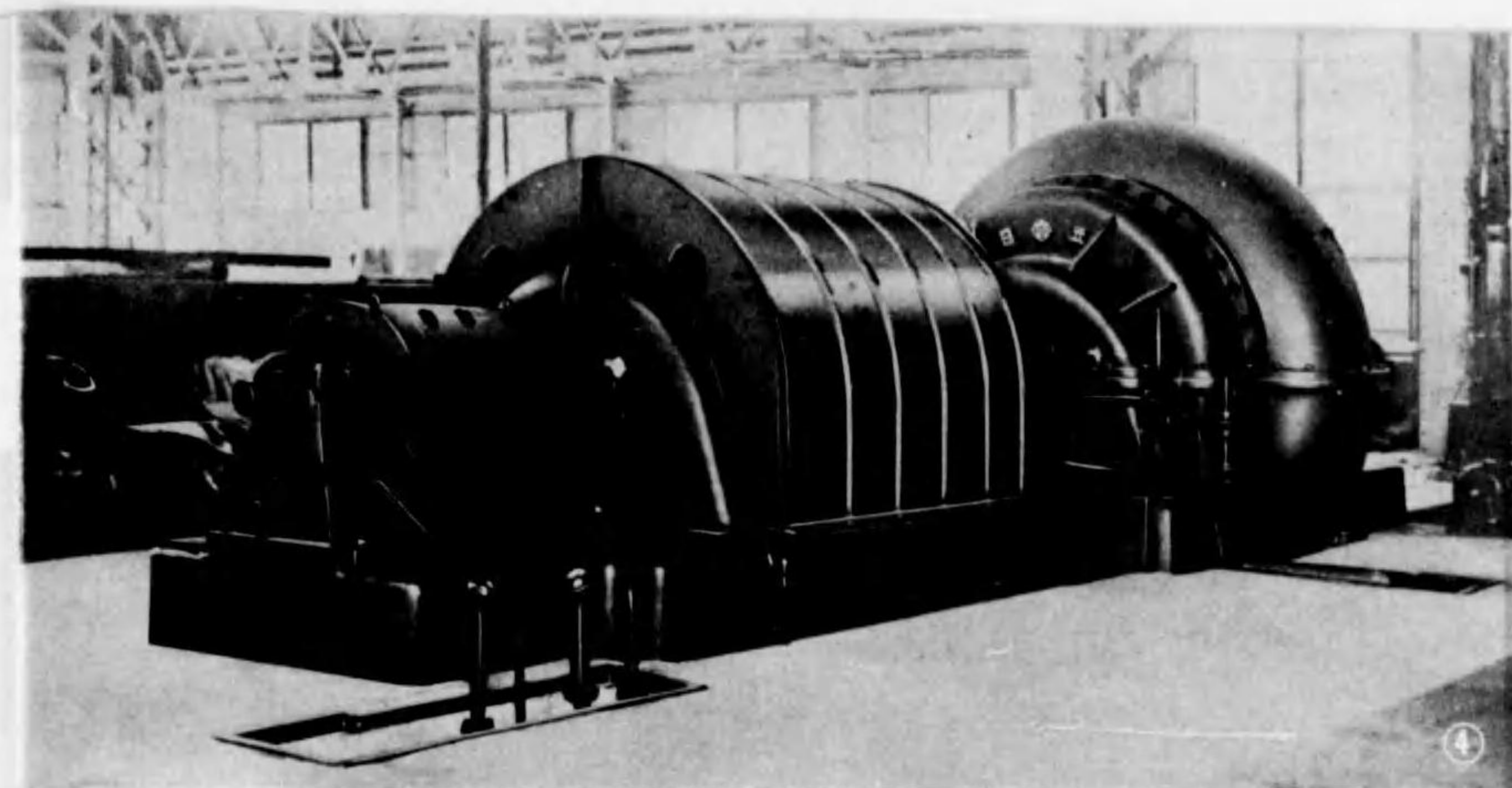
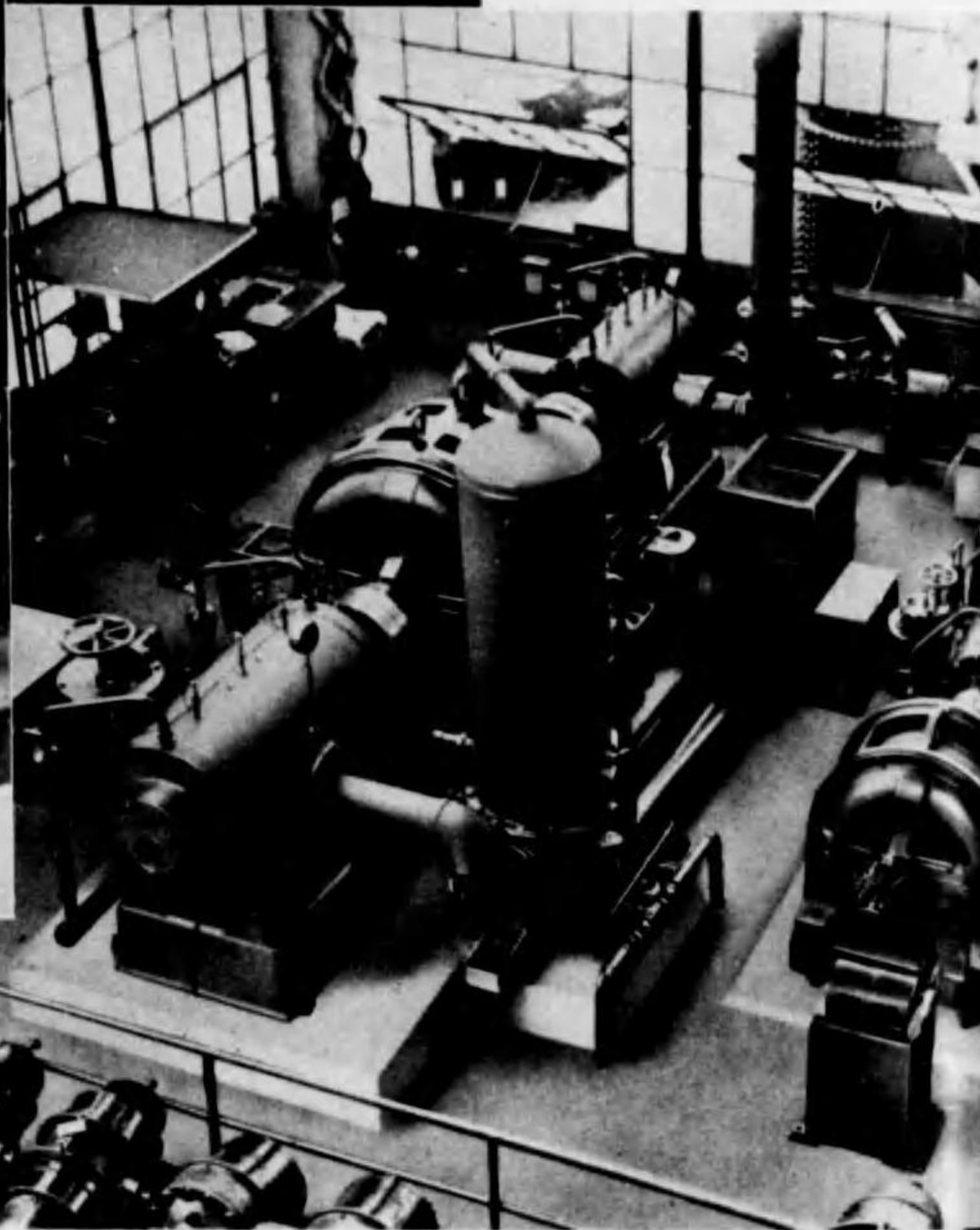
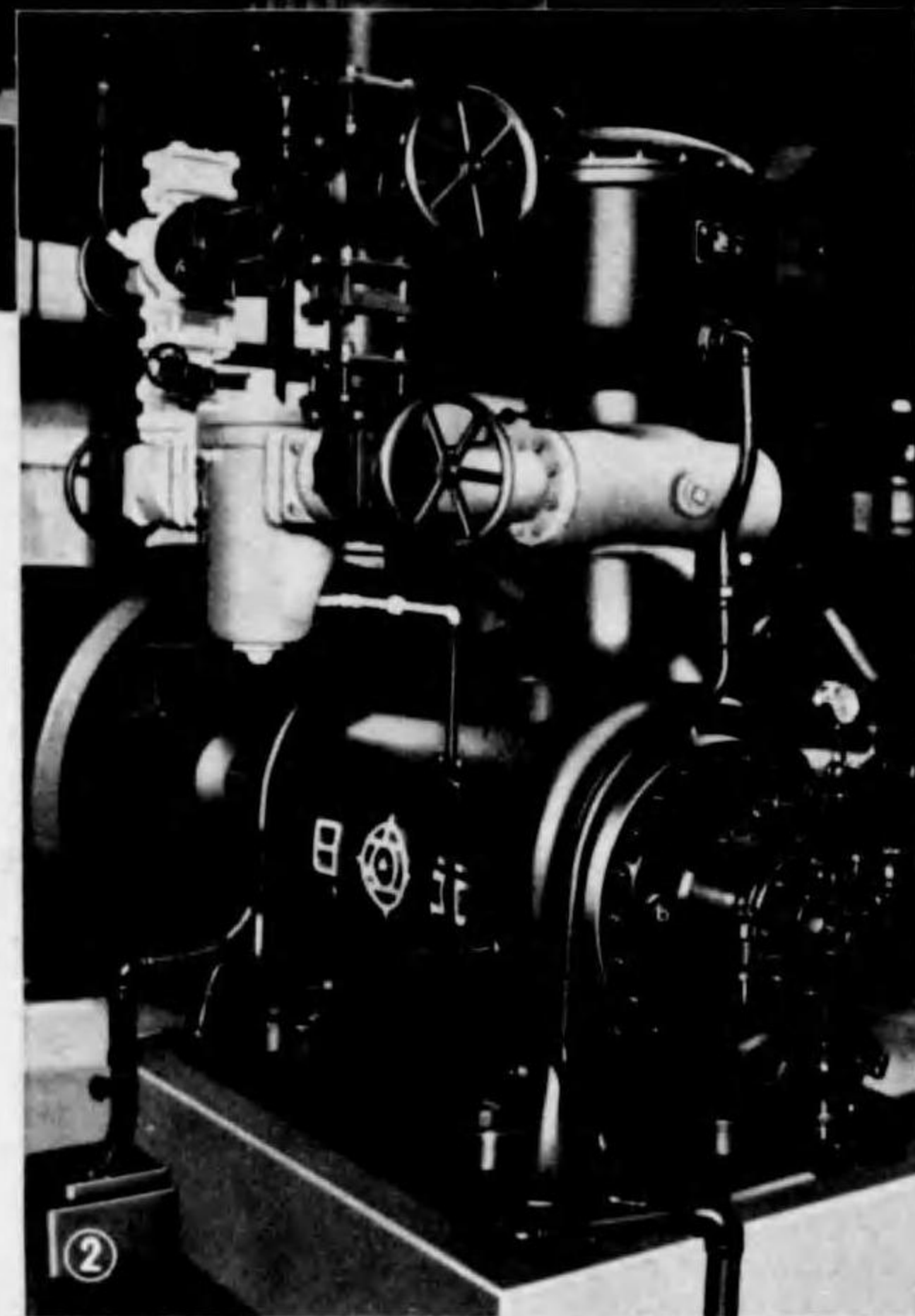


⑥



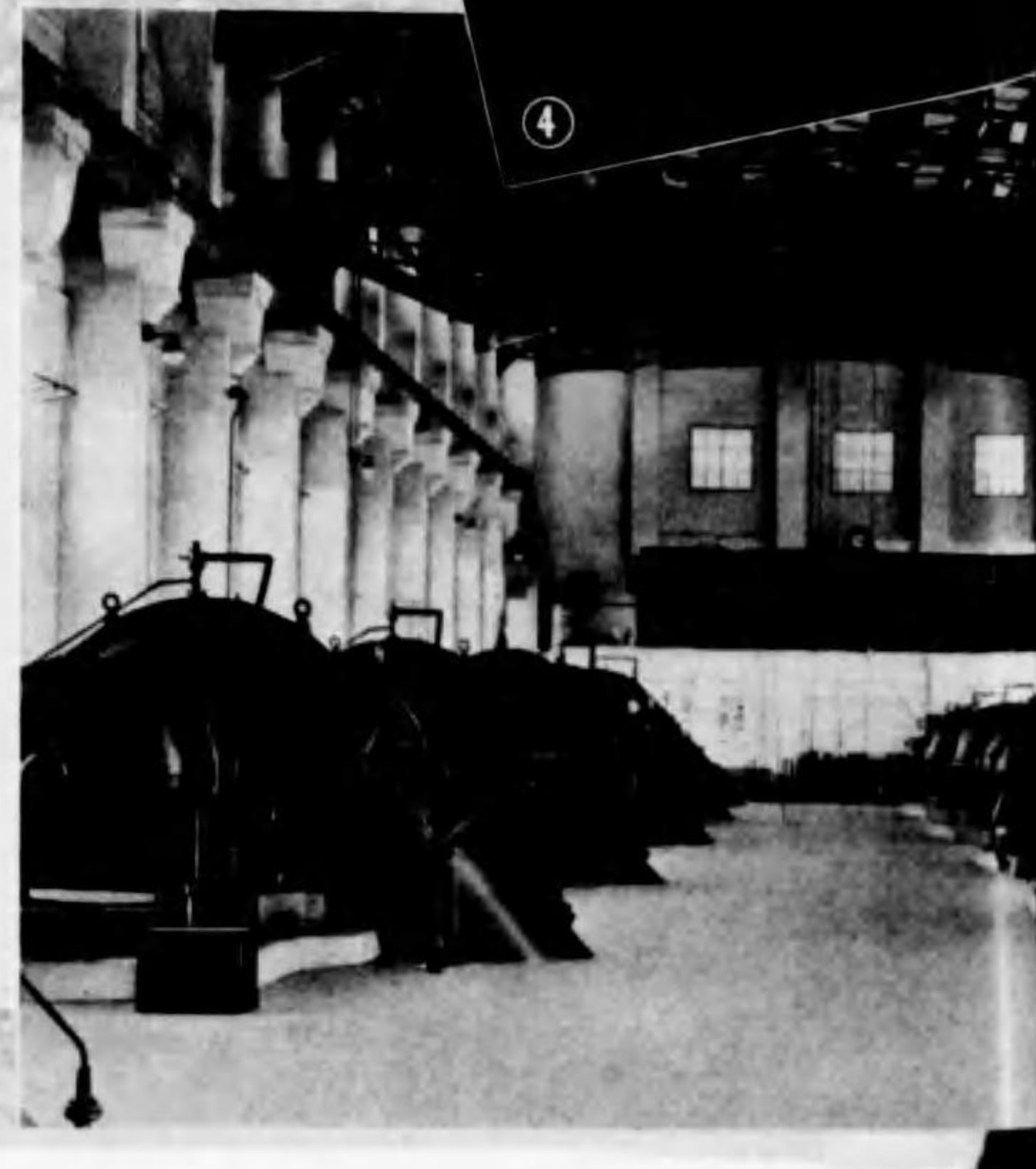
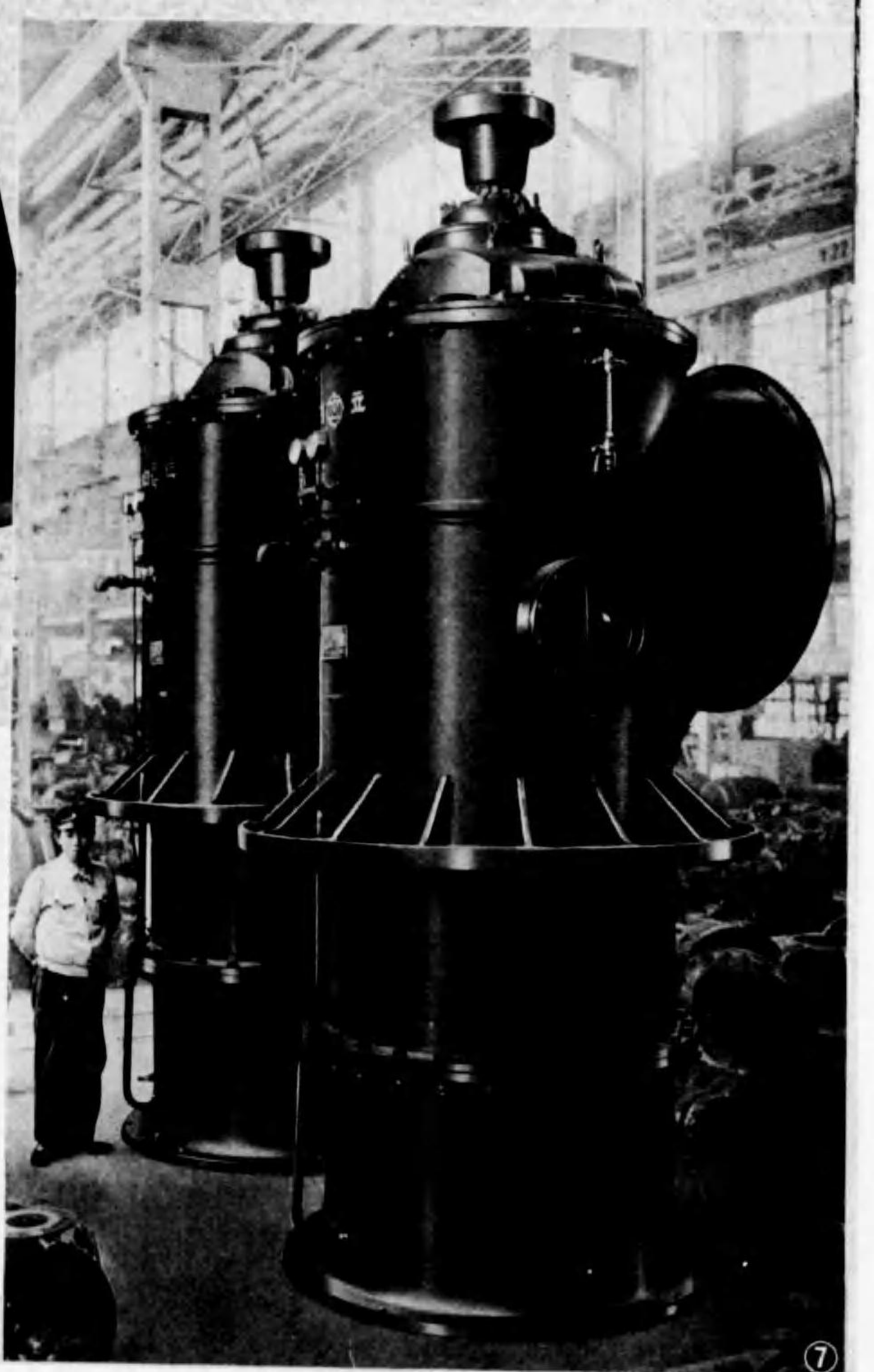
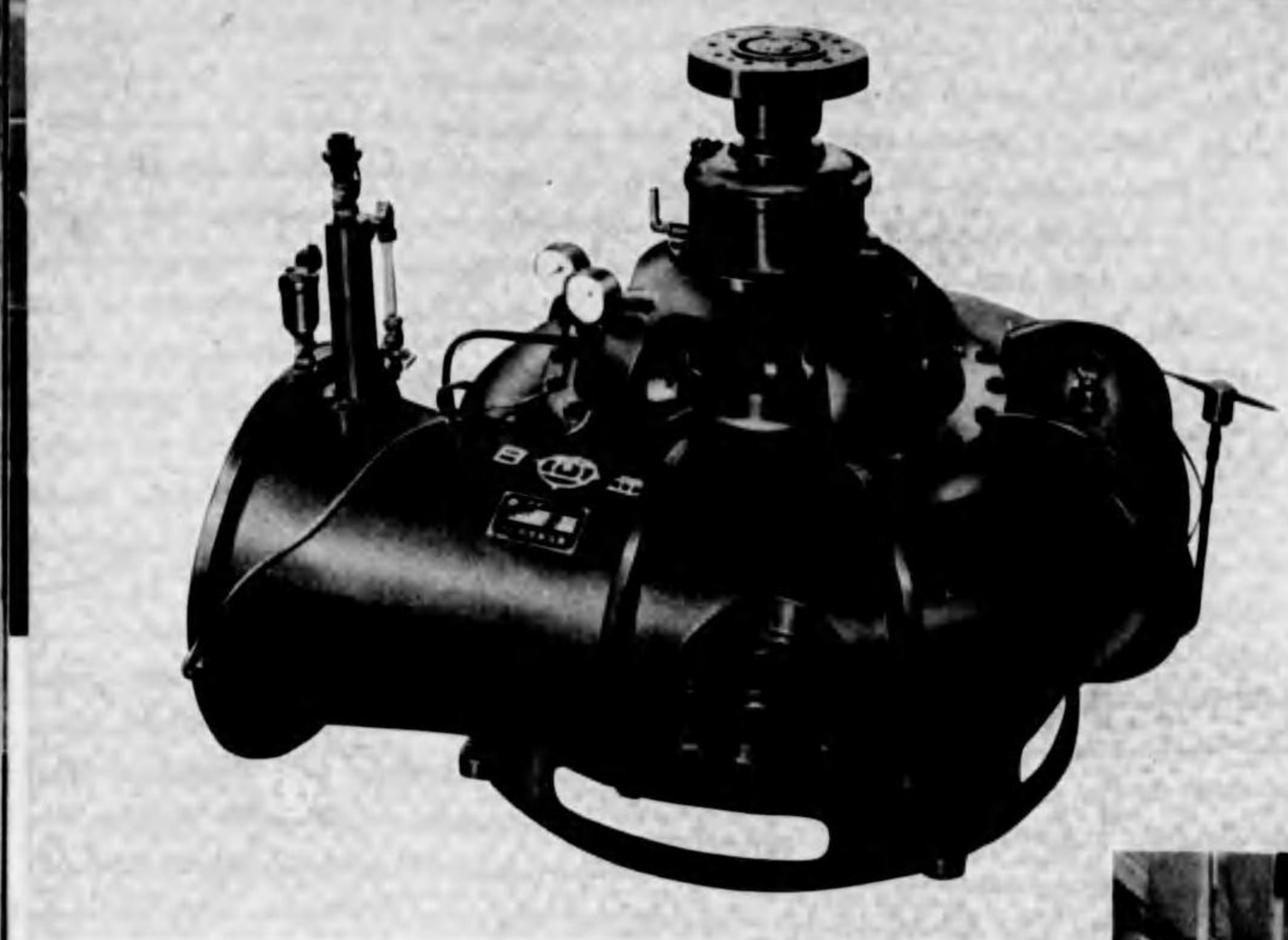
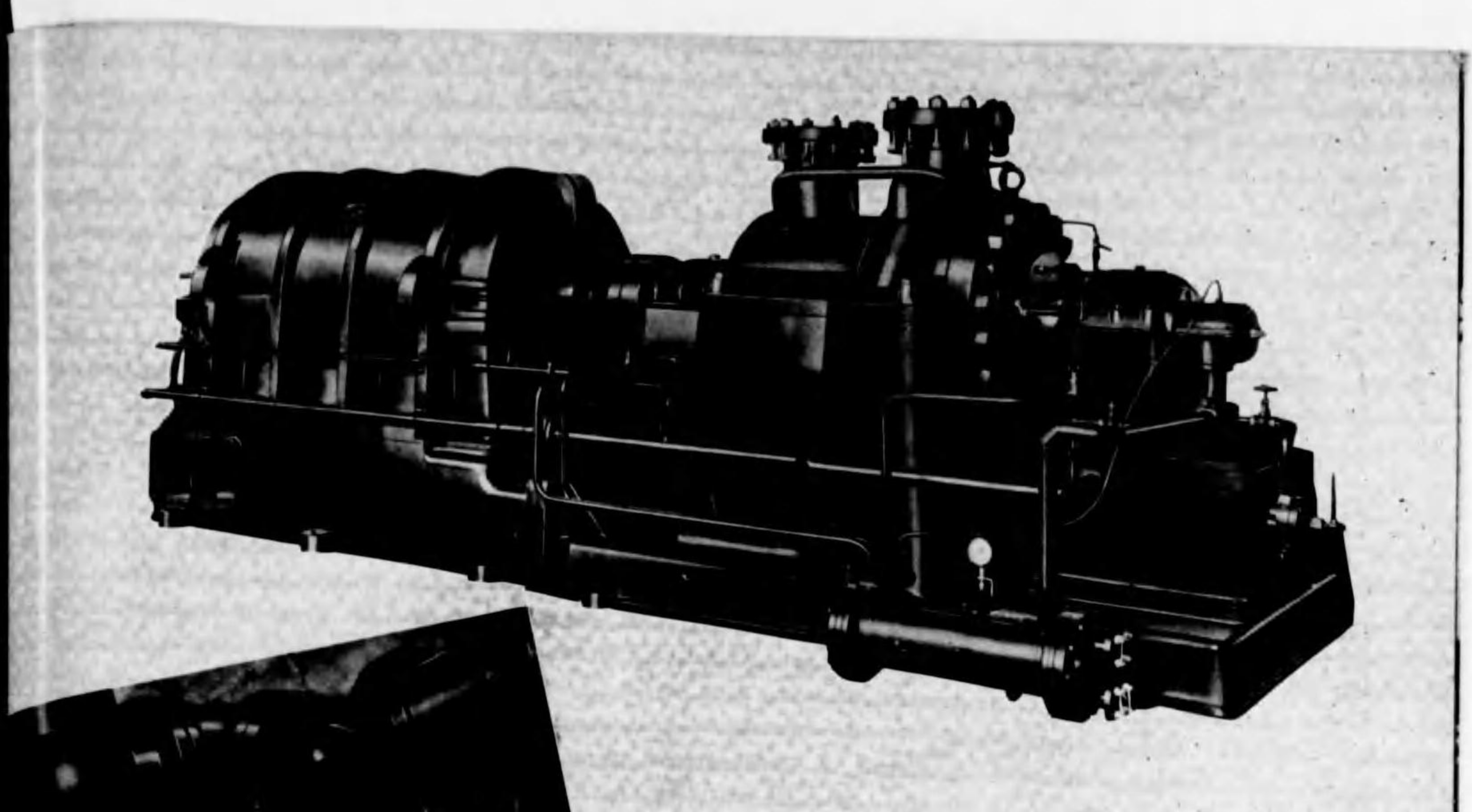
⑦

壓縮機・送風機

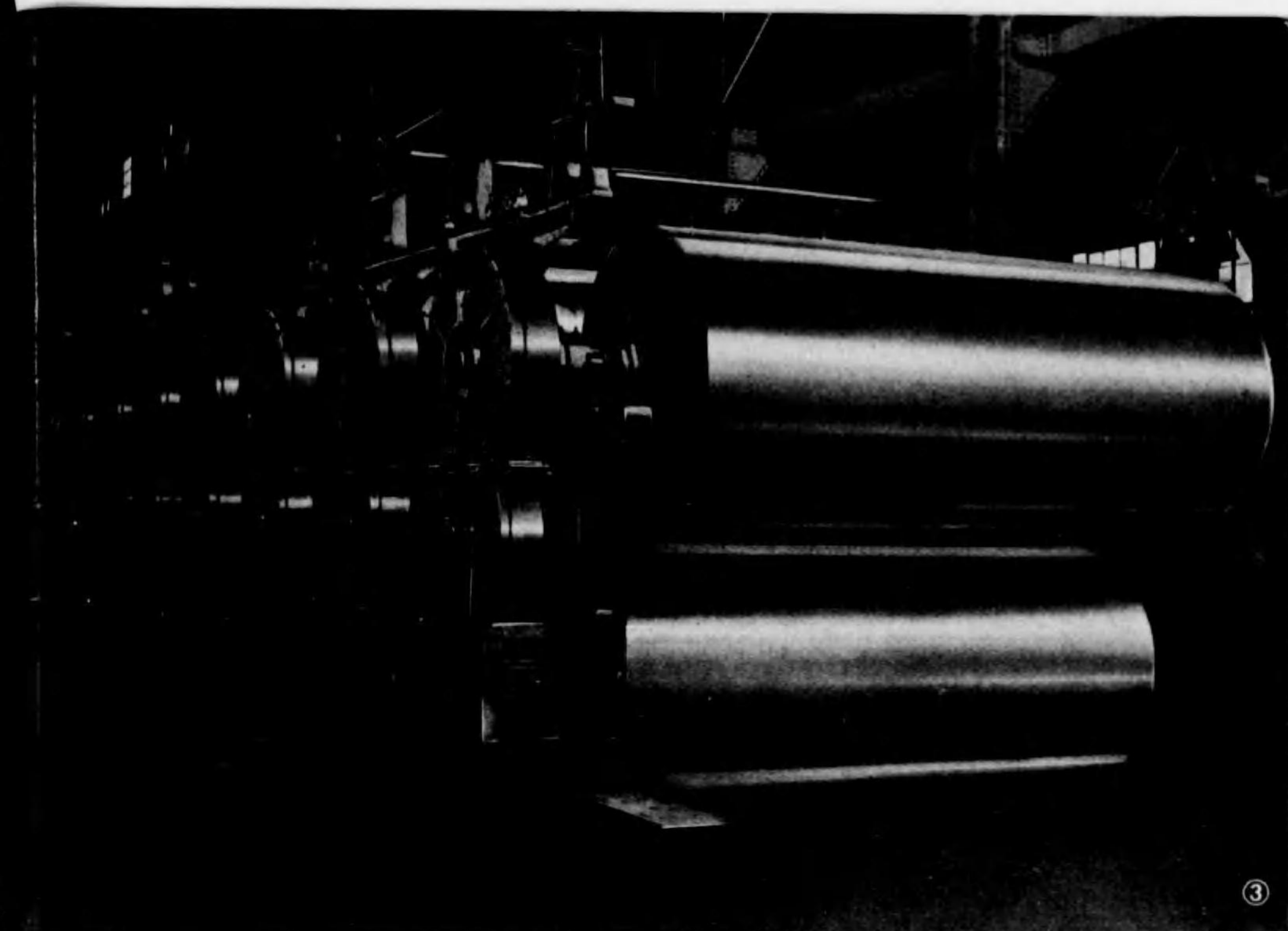
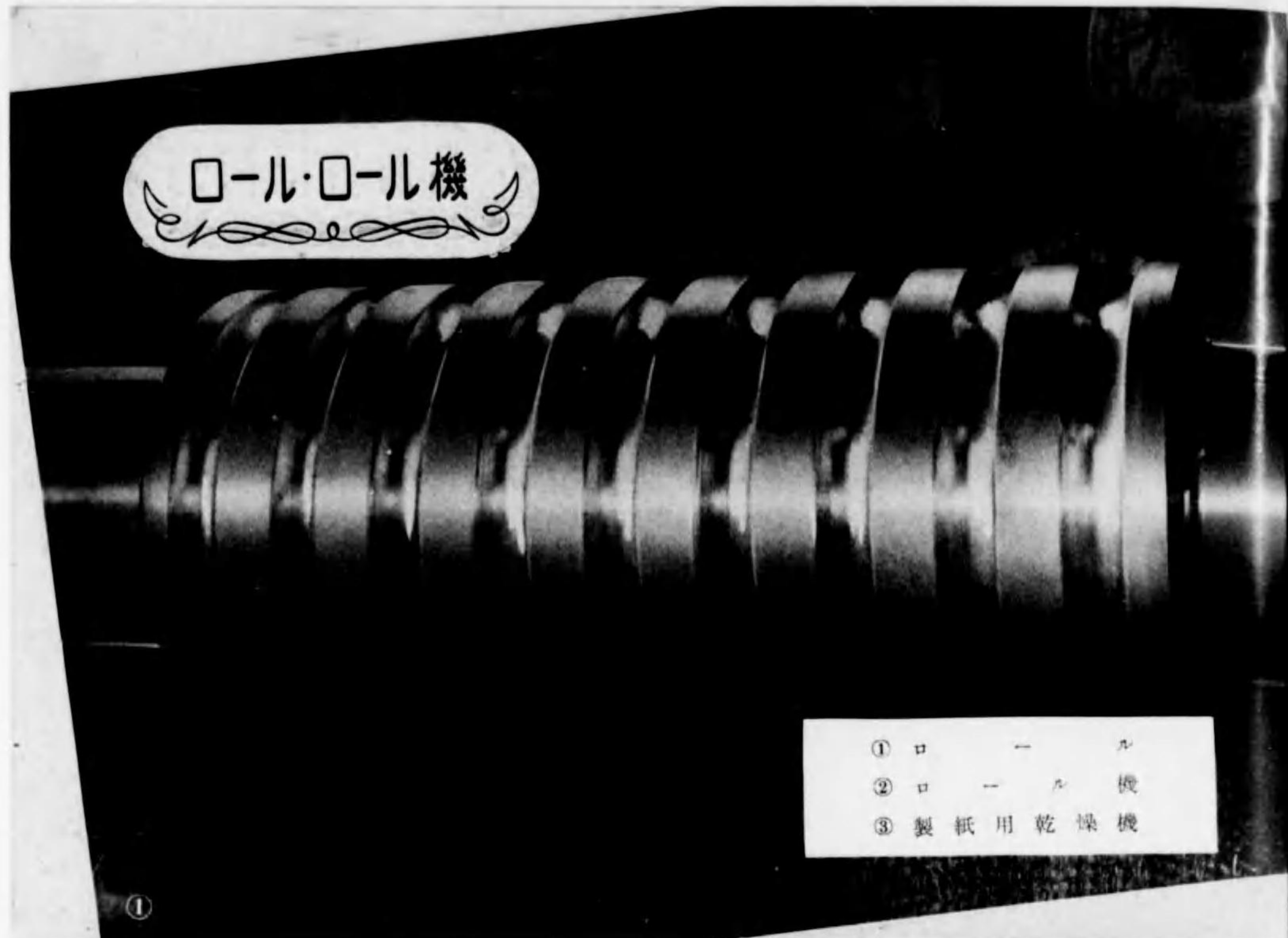


- ① 往復動空気壓縮機
- ② アンモニア冷凍機
- ③ 回轉空気壓縮機
- ④ 4,500 HP 高爐送風用ターボブロー
- ⑤ 1,500 HP ターボファン
- ⑥ ターボ冷凍機

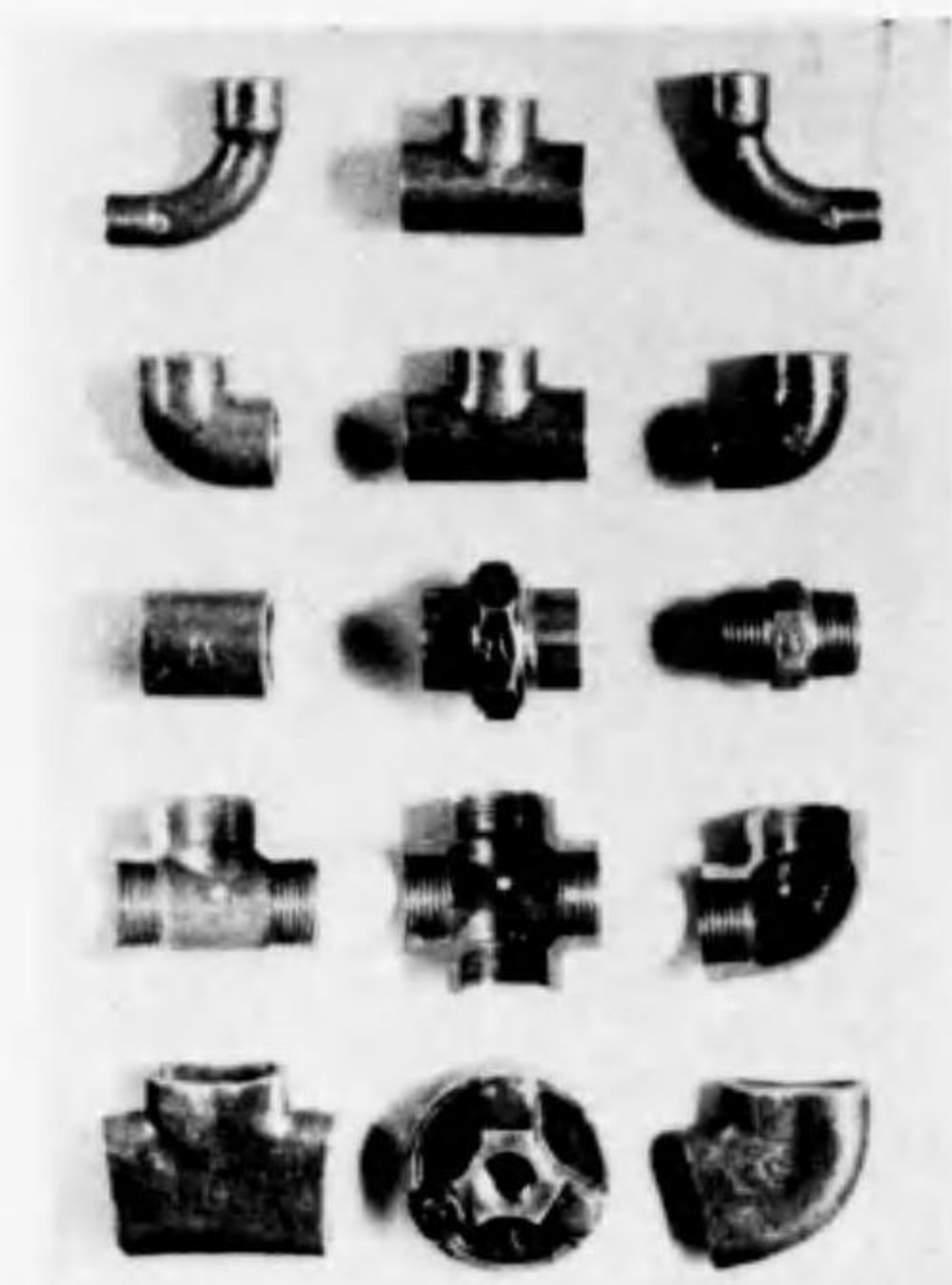
ポンプ



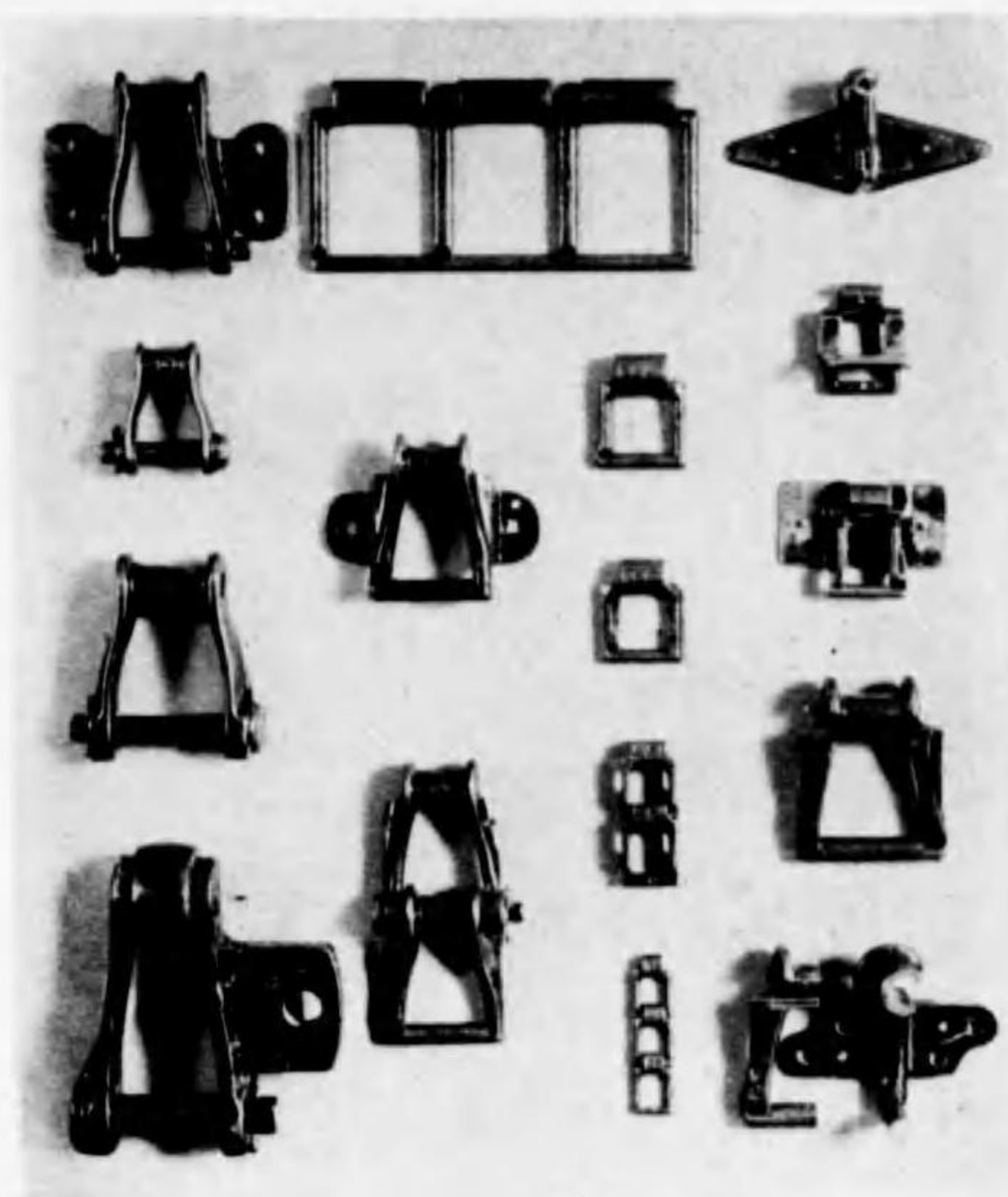
- ① 灌溉用軸流ポンプ
- ② 堅軸渦巻ポンプ
- ③ モートルポンプ
- ④ 鑛山用タービンポンプ
- ⑤ 下水處分用渦巻ポンプ
- ⑥ 罐給水タービンポンプ
- ⑦ 堅軸軸流ポンプ



継手・リンクチン



黒心可鍛鑄鐵管継手

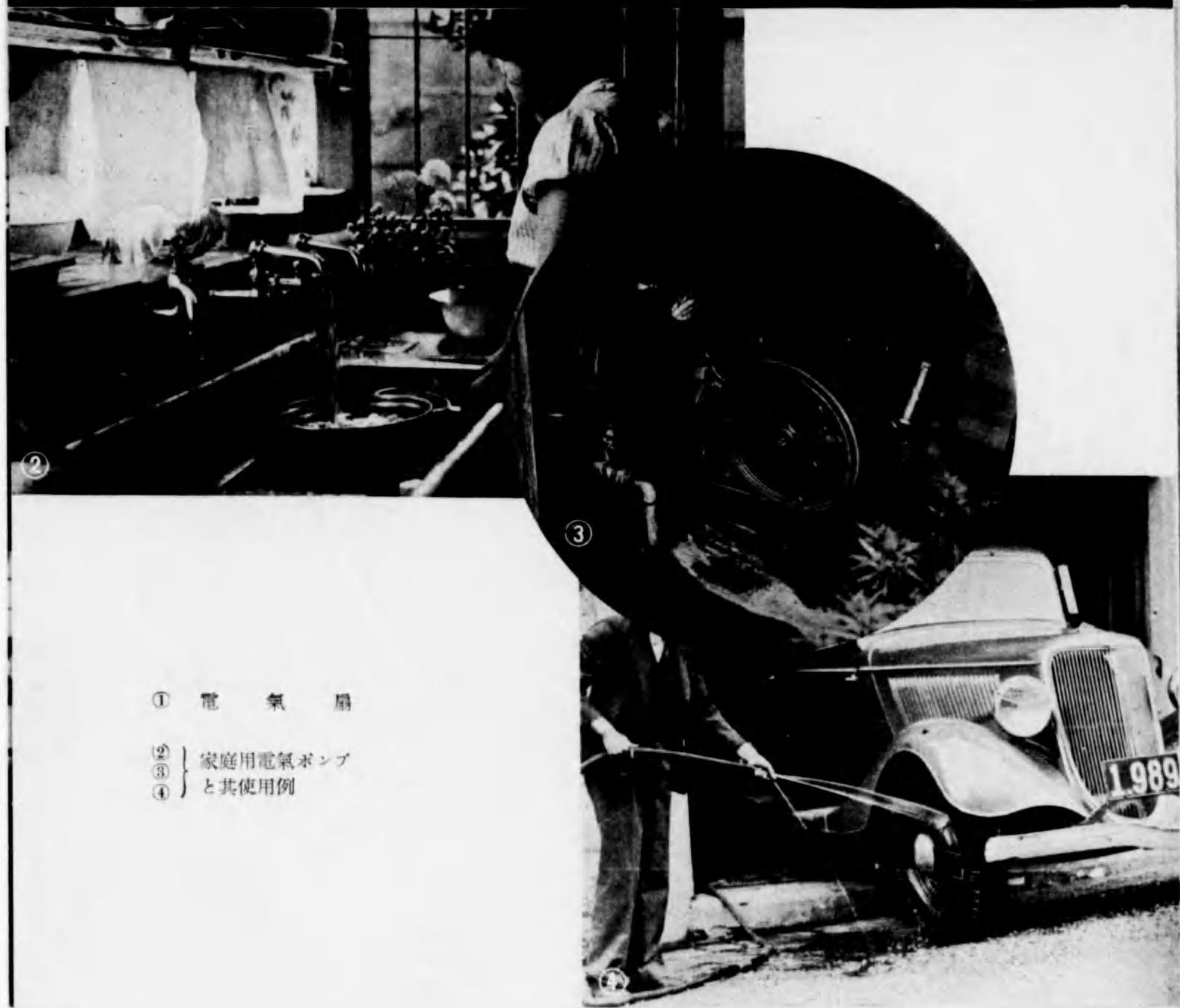


黒心可鍛鑄鐵リンクチエン

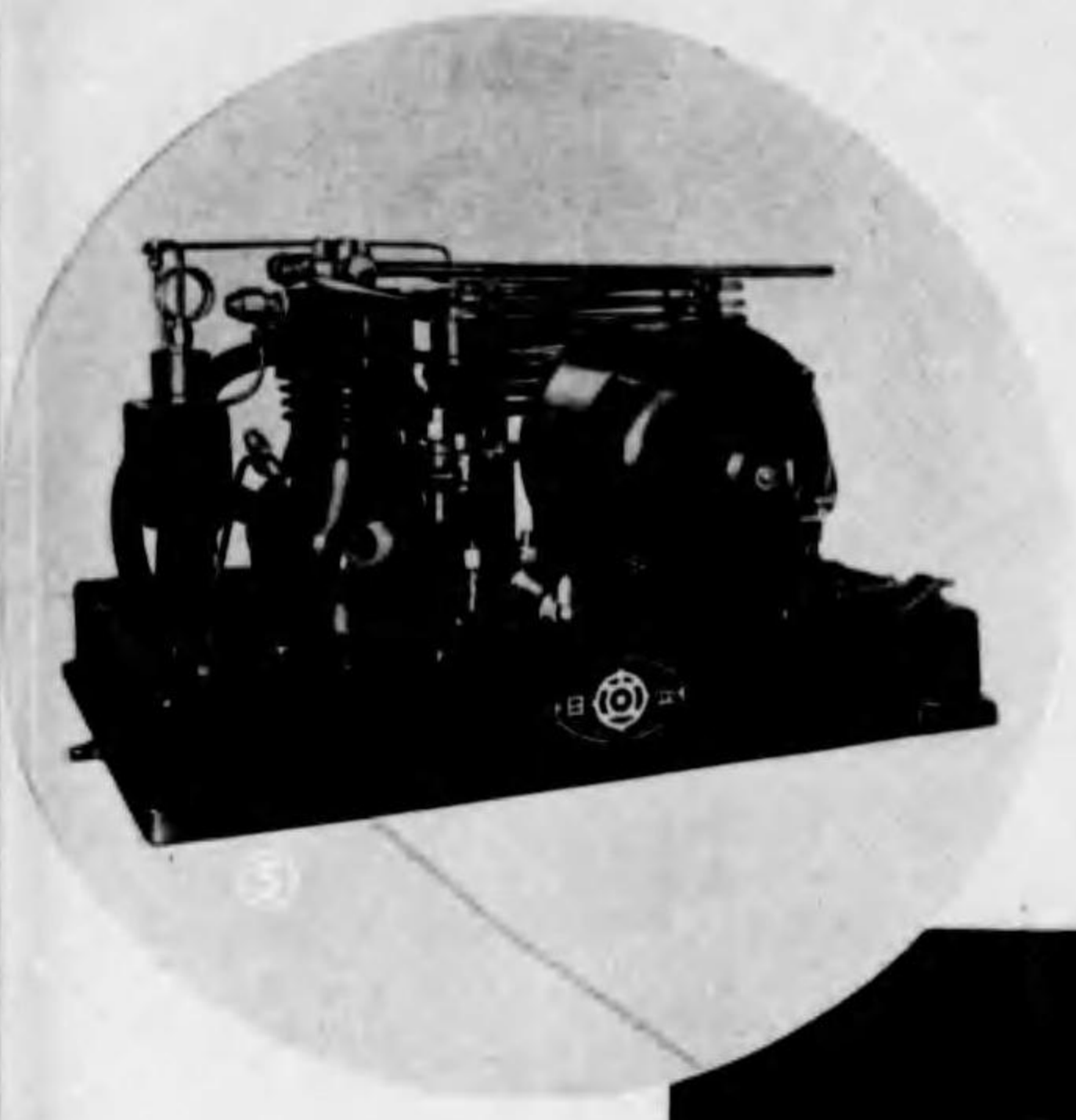
家庭用電気品



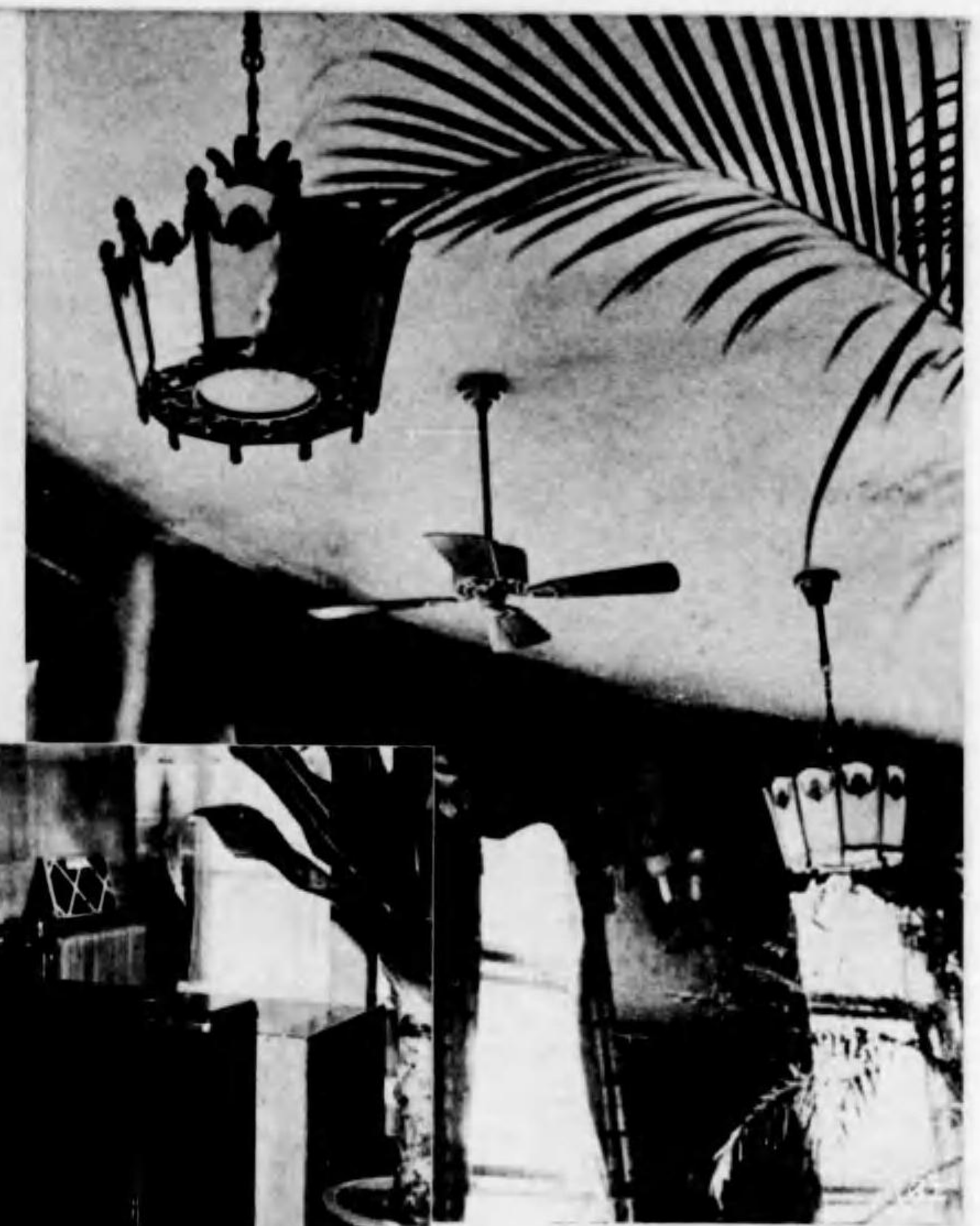
①



① 電 氣 扇
 ② } 家庭用電気ポンプ
 ③ } と其使用例
 ④ }



②



⑨



⑧

③ メチルクロライド冷凍機
 ⑥ 天 井 扇
 ⑦ ルームクーラー
 ⑧ 電 氣 冷 藏 庫
 ⑨ 換 氣 扇

製 品 概 要

極限された一島國に、無限の増大と強力を顯現せんとする日本の電機製作界に、我國產品開拓の雄叫びをあけてから三十餘年になる當社の製品は、各部門とも大規模な設備と、優秀な技術とに依つて製造され、次から次へと事業範圍は擴大進歩を重ねつゝありまして、その一を理解するだけでも、多くの紙數と深い専門的知識とを必要とし、その事業内容は、我國に於ける電氣機器製作界の一大綜合ともいふべく、これ等諸部門に於ける製作技術の詳述は、自ら本邦斯界の生ける百科辭典を成すであります。

しかしてこれ等の各製品は何れも他部門と緊密な關係を保ちつゝ、一波よく萬波を誘起して、廣大な分野の開拓に力を延ばしたのでありまして、これ等の製品は悉く陰に陽に、内外に對して工業日本を誇示するに足るものであります。しかも綜合的多角多量生産へと一路邁進しつゝある弊社の製品は、各部門に互つては夫々専門的に眞摯に研究され、精神の籠つた製品として本邦電氣機器製作界に赫々たる光彩を放つて居ります。

今これ等の事實を述べることは枚舉に遑ありませんが、その一例として、本邦の代表的製鐵會社である八幡製鐵所に納入致しました 23,600 馬力分塊ロール用可逆ミルモーターは世界的製品として一大驚異的となつたのであります。

これは要するに弊社が、不斷の研究と改良とによつて、我國電氣機器の國産化を確立して外國品の輸入を防止し、國家經濟の改善に資し、電氣製作技術を世界的水準に達せしめると共に、凡ゆる産業部門に互つてその生産活動の原動力となる電力設備を綜合製作して、全設備運轉の圓滑確實と、能率増進を圖り、各産業の發達に甚大な貢獻を爲せる結果に外ならないのであります。

文化施設

概	要
教 育 施 設	
體 育 施 設	
經 濟 施 設	
保 健 衛 生 施 設	
保 安 施 設	
慰 安 及 び 娛 樂 施 設	
向 上 施 設	
協 調 施 設 其 他	

教 育 施 設

工員教育は、その思想、知識、技能の根源をなす重要なもので、弊社は明治四十二年創業と共に徒弟養成所を設立して優良工員の養成に努め、早くも教育施設に先鞭を付け、爾來種々變遷充實して今日に至つて居ります。

私立日立第一工業青年學校

心身を鍛錬し、徳性を涵養すると共に、將來工場生活及び社會生活に必須なる知識技能を授け卒業後は當工場の幹部工員となる可き者の養成を目的として居ります。

本 科（修業年限四ヶ年）

入學資格は高等小學校卒業程度、學科は普通學科、職業學科に分れ現場各工場にて實習を行つて居ります。

研究科（修業年限一ヶ年）

本科卒業生を收容するを原則とし、電氣科、機械科、應用化學科、公民科があります。

私立日立第二工業青年學校

青年學校令による課程を教授訓練すると共に技能者養成令により熟練せる中堅工員の養成を目的として居ります。尙本校の特色は入校と同時に工員の取扱ひを受け、給料を支給される事であります。

本 科（修業年限四ヶ年）

學科は修身公民科、普通學科、職業學科とし尙別に教練科があります。

研究科（昭和十五年四月より開校豫定）

特 殊 教 育

工員教習會 一般新人見習工の知育、徳育の涵養を目的として居ります。

見習工養成所 現場配屬前新人見習工の基礎訓練を行ひます。

中學卒業生製圖手養成 優秀な高級製圖手の短期養成の目的を以て中學卒業生中より鑑衡採りし、高等程度の必須技術學科の教育をなして居ります。

甲種夜學校 従業員中より希望者を募集して、中等程度の普通教育を施すを目的として居ります。

一 般 日 常 教 育

一般従業員の知識の向上、技術の練磨のためには修養會・講習會・休憩時間中音楽放送等技藝の教育としては生花・裁縫・料理の講習その他事務競技會・珠算競技會等を開催致します。又學術・時事問題・修養等に関し工場・日立會・温交會等に於て權威者を招聘し、隨時講演會を開催致して居ります。

圖 書 室

従業員の學術の研究に資するため、圖書室の設備があり、貸出及び夜間閲覧の便に供して居ります。藏書部數 35,000 冊。



日立青年學校

体 育 施 設

下記の様な各種の施設を設け、野球・庭球・卓球・籠球・排球・水泳・剣道・柔道・弓道・登山等の各種スポーツの奨励に努め、時折社内、社外の對抗試合や運動會等を開催し、従業員の健康増進と共同精神の涵養に努めて居ります。

運 動 場

運動場四個所、テニスコート硬球軟球用合せて九個所並に籠球コート及び卓球場の設備があります。

武 徳 殿

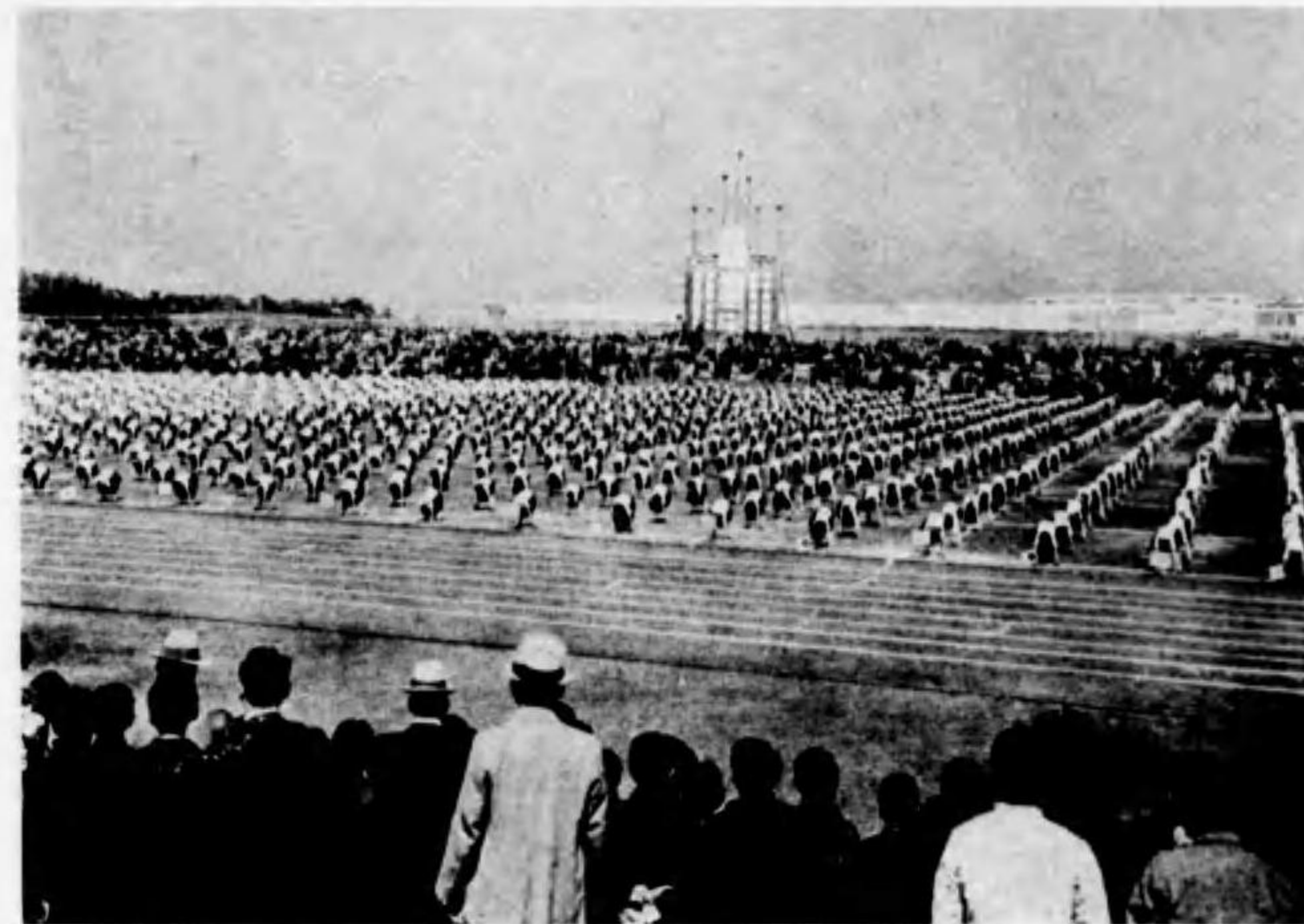
日本古來の武術を練習するため柔道、剣道、弓道等の道場があります。

プ ー ル

諏訪寮倶楽部の構内に幅 13m 長さ 25m の夜間照明設備を有するプールがあります。

ゴルフ倶楽部

常磐線隨一の勝景の地、薔の原に全十八ホール、丘陵起伏絶好の日立ゴルフ場があります。



運 動 會

経 済 施 設

物 資 供 給 所

日立鐵山と共同經營の物資供給所を設け、従業員に日用品を低廉に供給しその生計を保護すると共にその利便を計つて居ります。

専 用 電 車

専用電車の設備があり日立驛より各工場の貨物の運搬並に従業員の便乗に供して居ります。

住 宅

従業員には社員及び工員共、家族を有するものに無料で住宅を貸付し、水道、電燈、瓦斯等を設備してあります。尙獨身社員には寮の設備があります。

食 堂

従業員の食事のために山手工場に一個所、電線工場に一個所、海岸工場に三個所の食堂の設備があります。

浴 場 及 び 理 髪 所

社宅の附近に直營の理髪所及び浴場の設備をして、従業員及びその家族に対して低廉な料金を以て使用させて居ります。全部で浴場三個所、理髪所二個所があります。



社 宅

保 健 衛 生 施 設

病 院

日立病院は「正確なる診療親切なる病院」を院是とし、優秀なる内外醫療機器を設備し、精選した優良薬品を用ひ、採光・換氣・暖房・給水・給湯・排水等の諸設備は勿論防火、衛生諸設備等完備し、最も進歩せる工場病院の本領を發揮して居ります。尚ほ診療分科は内科・物療内科・外科・整形外科・小兒科・産婦人科・皮膚泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・齒科・放射線科等の外、傳染病科を設け傳染病棟の設備があります。

健康保険組合

健康保険法の實施と共に組合を設立し健康保険事務の外、健康増進の指導機關となつて居り、宣傳健康ポスター標語の掲示・リーフレットの配布・講演會・映畫會・展覽會の開催、健康週間の實施等並に體育の奨励に關しては従業員に對しリュックサック・天幕・水筒・飯盒・スキー用具の貸與、工場内各種運動競技に對しては健康優勝盃、優勝旗の寄贈等を行ひ、又健康相談施設としては健康相談並に體力検査・檢温器吸入器の備付及び貸出・太陽燈の放射及び保健衛生・體育に關する圖書の備付自由閱覽貸出等を行つて居ります。



日立病院

保 安 施 設

警 防 施 設

社員及び選拔せる模範工員よりなる常設消防隊及び聯合消防隊があります。第一第二第三消防隊及び聯合消防隊より成り、自動車ポンプ數臺、手押ガソリンポンプ數臺を設置し、工場内及び社宅附近には消火栓及び消火池が完備して居ります。油消火器・瓦斯消火器・消火用砂は各所要の場所に設備せられ工場全従業員に對し年數回防火演習を實施致します。又消防隊員には一個年に夏冬服を各一着宛支給して居ります。尚最近防空に備ふるため同上の團體より成る團員によつて各種防空訓練が行はれ一朝事ある際にも萬全を期して居ります。

安全施設

日立工場安全委員會が設置せられ絶えず従業員の災害豫防に努めて居ります。これが運動方法としては、安全デー・安全週間・安全旬間・安全競争・安全祈願式・汽罐祭・危險標識の備付・リーフレットの配布・工場安全歌の作成・服裝の統一・安全旗掲揚・安全マーク佩用等を行つて居ります。



消防隊

慰安及び娯楽施設

日立會館

従業員の集會、講演會のために白壁の近代式建築の日立會館を設け音楽會、映畫等を催して従業員の娯樂並に趣味の向上に資して居ります。

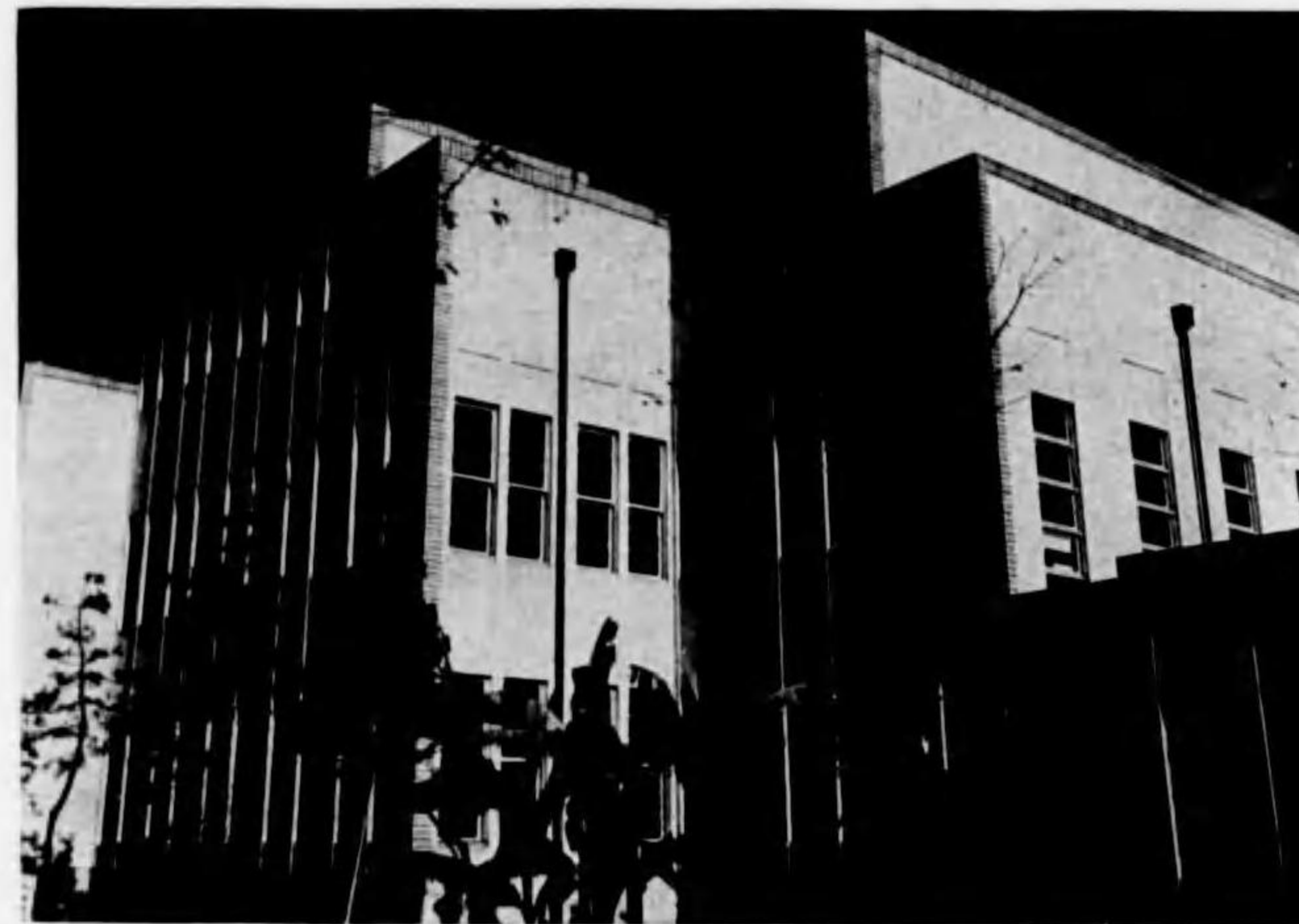
俱樂部

従業員の相互の娯樂親睦を計るため諏訪臺俱樂部・桐木田俱樂部・海岸俱樂部・温交會海岸俱樂部・温交會櫻内俱樂部等が設置されて居ります。新聞・雜誌・碁盤・將棋盤・撞球場・電氣蓄音機・ピアノ等を設備し兼ねて集會用に供して居ります。

海岸俱樂部には夏期海水浴に適する様に設備されて居ります。この外に桐木田に撞球臺五臺を設備した温交會撞球場があり、又諏訪臺俱樂部内には喫茶室の設備があります。

各課慰安會

各課単位にて春秋二回課員及び工員全員参加の懇親慰安會を開催し、工場より補助金を交付し各課では遠足とか運動會等を催すのを常として居ります。



日立會館

向上施設

日立會

社員の學術・體育・娯樂等の向上及び相互の親睦を計る目的で組織せられた團體でありまして、日立工場社員全部を會員と致して居ります。本會には學術部・講演部・柔道部・劍道部・野球部・競技部・山岳部・弓道部・蹴球部・音楽部・園藝部・將棋部・寫眞部・小型活動寫眞部・謡曲部等があります。そして本會の活動・研究・會務報告その他に關し雜誌日立會を發行致して居ります。この編輯に關しては雜誌部があります。

温交會

一般従業員の相互の救済、修養、娯樂、體育等諸般の施設を行ひ各自の福利を増進すると共に、工場の事業に貢献しやうとする目的で組織された團體であります。工員を會員とし社員を贊助會員と致して居ります。共済部・娯樂部・庶務部に分れその事業を遂行して居ります。



温交會クラブ

協 調 施 設 其 他

温 交 會 委 員 會

前記温交會の諸般の會務及び會計に關する決議機關であると同時に議事日程中に一般希望及び質問の時間を置き一般従業員の意見を代表者（委員）を通じて聴くを目的として居ります。委員は各課の人数に應じ互選したもので工場代表も列席致します。

温 交 會 委 員 懇 談 會

温交會委員のみでは意思疎通機關として充分でないので時々工場幹部と二三日に互り一回十人位を限度として親しく膝を交へて懇談し腹藏なく従業員の意見を聴くを目的として居ります。

工 場 記 念 祭

工場創立記念日には作業を休業とし盛大な創立記念祭及び工場守護神熊野神社祭典が執行せられます。



創 立 記 念 祭

投 資 會 社

株式會社大阪鐵工所
日立航空機株式會社
日立兵器株式會社
日立工作機株式會社
株式會社滿洲日立製作所
國產精機株式會社
東京機器工業株式會社
向島船渠株式會社
原田造船株式會社
日本エレベーター製造株式會社
共成工業株式會社
日立瓦斯株式會社

株式會社大阪鐵工所

本社營業所並に工場所在地

本 社 大阪市南區長堀橋筋一ノ三 日立館内
東京事務所 東京市麴町區丸ノ内二ノ二〇 郵船ビル内
神戸事務所 神戸市神戸區播磨町一七
吳出張所 吳市今西通六ノ一ノ四
櫻島工場 大阪市此花區櫻島南之町一七
築港工場 大阪市大正區船町一五
因島工場 廣島縣御調郡土生町
彦島工場 下關市江ノ浦町四〇四

創 立 昭和九年五月二十九日

資 本 金 參 千 萬 圓

營業科目

艦艇兵器並に軍需品、各種船舶、汽罐、汽機、内燃機並にタービン及び諸機械の新造製作並に修繕、車輛、橋梁、鐵骨、鐵構、鐵塔、鐵管、鑄物の製作架設並に修繕、諸般の鐵工業、土木建築業、木材工業、海難救助並に海運業、船舶その他の製作並に販賣

日立航空機株式會社

本社並に工場所在地

本社及び大森工場 東京市大森區入新井一ノ一〇〇
立川工場 東京府北多摩郡大和村字芋窪五〇
羽田工場 東京市蒲田區羽田江戸見町一五九二
川崎工場 川崎市堀ノ内蒲原耕地二七七

創 立 昭和十四年五月十五日

資 本 金 參 千 萬 圓

營業科目

航空機機體、航空機發動機並にその部分品、附屬品及び鑄物の製造並に販賣

日立兵器株式會社

本社並に工場所在地 東京市品川區大井坂下町二七一七

創 立 昭和十四年五月十五日

資 本 金 壹 千 五 百 萬 圓

營業科目

兵器の製造並に販賣

日立工作機株式會社

本社並に工場所在地 東京市大森區入新井一ノ一〇〇

創 立 昭和十四年五月十五日

資 本 金 壹 千 五 百 萬 圓

營業科目

工作機械その他一般諸機械器具及び工具の製造並に販賣

株式會社滿洲日立製作所

本社並に工場所在地 滿洲國奉天市鐵西區篤工街四段第一九號

創 立 康德五年三月十一日（昭和十三年）

資 本 金 壹 千 萬 圓

營業科目

電氣機械器具の製造及び販賣、一般機械器具の製造及び販賣、各種鑄物の製造並に販賣

國産精機株式會社

本社並に工場所在地

本社並に設谷工場 東京市設谷區新橋町一七
足立工場 東京市足立區大谷田町一九八

創 立 昭和十一年七月八日

資 本 金 五 百 萬 圓

營業科目

精密工作機械その他一般諸機械の製作並に販賣

東京機器工業株式會社

本社並に工場所在地

本 社 東京市大森區入新井一ノ一〇〇

工 場 川 崎 市 中 島 一 ノ 二

創 立 昭和十二年七月十九日

資 本 金 五 百 萬 圓

營業科目

諸計器その他精密機械の製造販賣、車輛、自動車、航空機用部分品の製造販賣

向島船渠株式會社

本社並に工場所在地

本社並に工場 廣島縣御調郡向島東村一四七五五(尾道港)

出張所 神戸市神戸區海岸通五(商船ビル内)

創 立 大正七年七月二日

資 本 金 壹 百 萬 圓

營業科目

船舶の建造及び修繕、各種機械器具の製造販賣、遭難船の救助、海底埋沈物の引揚

原田造船株式會社

本社並に工場所在地

本社及び工場 大阪府浪速區木津川町三丁目八

創 立 大正十年一月一日

資 本 金 壹 百 萬 圓

營業科目

船舶汽機、汽罐、その他諸汽罐の製造並に販賣

日本エレベーター製造株式會社

本社營業所並に工場所在地

本 社 東京市麴町區丸ノ内二丁目(丸ビル)

大阪營業所 大阪府北區堂島濱通一丁目(堂ビル)

神 崎 工 場 兵庫縣尼崎市潮江字東大寺一八ノ四

創 立 大正八年四月二十二日

資 本 金 五 拾 萬 圓

營業科目

エレベーター及び諸輸送機械設計、製作販賣並にその附帯工事、諸機械の据付及びその附帯工事

共成工業株式會社

本社營業所所在地

本社營業所 東京市芝區田村町一ノ一ノ一

出張所 大阪府南區長堀橋筋一ノ三(日立館)

創 立 昭和四年六月十日

資 本 金 貳 拾 五 萬 圓

營業科目

製氷、冷蔵、冷凍設備に關する設計、監督及び工事の請負、暖房冷房その他一般温度調整及び建物附帯設備の設計、監督及び工事の請負

日立瓦斯株式會社

本社並に工場所在地

本社並に工場 茨城縣日立市大字宮田一八二二

創 立 昭和十一年十月八日

資 本 金 貳 拾 五 萬 圓

營業科目

瓦斯の製造供給販賣及び瓦斯副生物の精製販賣

尚以上の外當社の出資によりこれが經營にかゝるものは數社あります。

19006

2

昭和十五年八月十五日 印刷
昭和十五年八月三十日 發行

日立製作所全貌 非賣品

株式會社 日立製作所
東京市麩町區丸ノ内二丁目十二番地

大阪營業所 名古屋營業所 札幌販賣所 九州營業所
京城營業所 北京營業所 臺北販賣所

JES A列4番 297mm X 210mm

東京製本・文芸堂印刷

542-H77ウ



1200500746107

542
77

終